

平成17事業年度に係る 業務の実績に関する報告書

「資料編」

平成18年6月

国立大学法人

東京芸術大学

目 次

- 資料 1 平成17年度 東京芸術大学 大学美術館展覧会 入館者数一覧
- 資料 2 平成17年度 東京芸術大学 教育課程に関連した主な展覧会
- 資料 3 平成17年度 大学会館展示室 展示表
- 資料 4 平成17年度 東京芸術大学 主な学外展覧会一覧
- 資料 5 平成17年度 東京芸術大学 主な参加プロジェクト等
- 資料 6 平成17年度 東京芸術大学 奏楽堂演奏会 入場者数一覧
- 資料 7 平成17年度 東京芸術大学 公開試験等演奏会一覧(無料演奏会)
- 資料 8 平成17年度 演奏依頼等一覧
- 資料 9 平成17年度 美術学部特別講演等について
平成17年度 音楽学部特別公開講座について
- 資料10 平成17年度 東京芸術大学奨学金等 受賞者一覧
- 資料11 東京芸術大学 国際交流協定校一覧
- 資料12 平成17年度 主な新聞掲載記事

平成17年度 東京芸術大学 大学美術館展覧会 入館者数一覧

大学美術館特別展・企画展

頁	展覧会名	会期	合計	1日平均入館者数
1	台風被災復興支援 巖島神社国宝展	4月1日～5月8日 (36日間)	53,702	1,492
5	芸大コレクション展 資料は繋ぐ - 名作と下絵・連作	4月8日～5月29日 (46日間)	38,914	846
25	500年の大系 植物画世界の至宝展	6月11日～7月18日 (33日間)	35,908	1,088
29	芸大コレクション展 柴田是真 - 明治宮殿の天井画と写生帖	6月11日～8月7日 (50日間)	33,475	670
41	「D/J Brand」展 ドイツに学んだアーティストの発火点	9月1日～9月25日 (22日間)	5,450	248
49	「台東区のとからもの」展 寺院所蔵の文化財に見る歴史・文化	9月27日～10月23日 (24日間)	5,556	232
53	退任記念 堀越保二・手塚登久夫展	10月6日～10月23日 (16日間)	5,513	345
73	退任記念 松永勲 染色作品展	11月3日～11月20日 (16日間)	3,525	220
81	吉村順三建築展	11月10日～12月25日 (40日間)	39,721	993
87	東京芸術大学・韓国藝術総合学校交流展	11月29日～12月18日 (18日間)	2,717	151
95	「世界遺産からのSOS」展 - アジア危機遺産からのメッセージ -	1月14日～2月5日 (20日間)	8,884	444
99	退任記念 伊藤隆道展	1月19日～2月5日 (16日間)	3,654	228
103	第54回 卒業・修了作品展	2月22日～2月26日 (5日間)	10,732	2,146
合計		342日間	247,751	724

巖島神社国宝展については、前年度分(3月25日～3月31日,6日間)の入場者(6,102人)を除く。

陳列館企画展

頁	展覧会名	会期	合計	1日平均入館者数
9	第1回 企業のデザイン展 iichiko design 展	4月11日～4月24日 (13日間)	3,938	303
13	東京・北京・パリ交流ポスター展	4月28日～5月8日 (10日間)	1,539	154
17	「文化財保存教育の40年」展	5月13日～5月16日 (4日間)	818	205
21	「日本におけるダダ」展	6月1日～6月18日 (16日間)	1,656	104
33	にゆうす展。 油画新人スタッフ展 2005	6月21日～6月28日 (7日間)	574	82
35	「Reflex」展 - 黄金背景テンペラ模写と現代における展開・構築 -	7月5日～7月22日 (16日間)	2,444	153
37	東京芸術大学卒業制作作品 台東区長賞展	7月29日～8月9日 (10日間)	1,016	102
47	「Rosa!」展 あらわになる色 ~ピンク	9月1日～9月25日 (22日間)	4,019	183
61	「石の思考」展 - 手塚登久夫と芸大石彫 -	10月6日～10月23日 (16日間)	1,512	95
69	日本画第一研究室発表展	10月26日～10月30日 (5日間)	960	192
77	退任記念 戸津圭之介の軌跡展	11月3日～11月20日 (16日間)	3,894	243
87	東京芸術大学・韓国藝術総合学校交流展	11月29日～12月18日 (18日間)	1,495	83
91	「スキノデリック」展 彫刻の表層	1月6日～1月22日 (17日間)	2,995	176
103	第54回 卒業・修了作品展	2月22日～2月26日 (5日間)	8,585	1,717
合計		175日間	35,445	203

平成17年度大学美術館総入館者数(+)

283,196 人



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



台風被災復興支援
厳島神社国宝展

会期： 2005年3月25日(金)-5月8日(日)
月曜休館(ただし5月2日は開館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

2004年9月、日本列島を襲った台風18号により、日本三景の一つとして有名な厳島神社(広島県宮島町)は、国宝、重要文化財計40棟のうち国宝・左楽房(さがくぼう)が倒壊するなど被害は30棟に及びました。復旧には約7億9000万円が必要とされ、修復作業は2年近くかかる見通しです。この展覧会は、復興支援のため緊急企画されました。

安芸(あき)の宮島に鎮座する厳島神社は、平安時代末期に平家一門によって整備されたみごとな景観を現在に伝え、1996年には世界遺産に登録されています。瀬戸内海に浮かぶ華麗な社殿や、平家をはじめとする武家による数々の奉納品は、後世に守り伝えるべき文化財として、今日ますますその価値を高めています。

展覧会では、平安時代、平清盛とその一族が写経した装飾経の最高傑作「平家納経」全33巻中の17巻(展示替え4回、常時4～5巻を展示)をはじめ、同社に伝わる古神宝(こしんぼう)および武器・武具などの国宝9件を中心に、舞楽面、能装束などの重要文化財18件を含む宝物計32件113点を、「平家ゆかりの品々と厳島の至宝」「国宝・平家納経 - 善美をきわめる」「厳島の芸能 仮面と装束の美」の三つのテーマで紹介します。「平家納経」は、奈良会場(奈良国立博物館:2005年1月2日～2月13日)で残りの16巻と、東京と共通の平清盛願文1巻を含む計17巻が展示されています(平清盛願文は、奈良会場で巻末、東京会場で見返しを展示します)。世界遺産の社宝を鑑賞しながら、厳島神社の一日も早い復興を祈る機会となることを願ってやみません。展覧会の収入は、厳島神社復興支援の一助となります。

主催： 東京藝術大学、厳島神社、読売新聞社

共催： NHK

後援： 文化庁、(社)日本ユネスコ協会連盟

協賛： 清水建設、ニッセイ同和損害保険、日本通運、非破壊検査、松下電器

協力： 京成電鉄

観覧料： 一般1,200円(1,000円/900円)、高校・大学生800円(600円/500円)
中学生以下無料
()内は前売/20人以上の団体料金。

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

厳島神社国宝展

2005年3月25日[金]—5月8日[日] 東京藝術大学大学美術館

- 休館日=月曜日(ただし5月2日は開館) ■ 開館時間=午前10時~午後5時(入館は閉館30分前まで)
- 主催=東京藝術大学、厳島神社、読売新聞社 ■ 共催=NHK ■ 後援=文化庁
- 協賛=清水建設、ニッセイ同和損害保険、日本通運、非破壊検査、松下電器 ■ 協力=京成電鉄

国宝 平家納経 法華経 薬王菩薩本事品第二十三(平安時代)(展示期間=4月19日~24日)



国宝「平家納経」17巻を、展示替えを行い4期に分けて常時4.5巻ずつ陳列します。

国宝「平家納経」 スタンプラリー

会場で第1期(3月25日~4月10日)に記念台紙(300円)を1人につき1枚購入し、参加登録をしてください。展示中の平家納経のそれぞれのスタンプを台紙に押し、第2期(4月12日~17日)までのスタンプを集めると、第3期(4月19日~24日)の観覧料金が無料になります。

平家の栄華
今に伝える



図説 小椋璋董逸威鏡(平安時代)

厳島神社国宝展

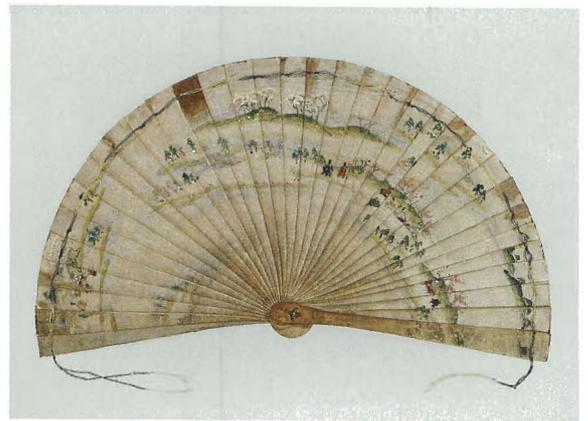
2004年9月、日本列島を襲った台風18号により、日本三景の一つとして有名な厳島神社（広島県宮島町）は、国宝、重要文化財計40棟のうち国宝・左楽房が倒壊するなど被害は30棟に及びました。復旧には約7億9000万円が必要とされ、修復作業は2年近くかかる見通しです。この展覧会は、復興支援のため緊急企画されました。

安芸の宮島に鎮座する厳島神社は、平安時代末期に、平家一門によって整備されたみごとな景観を現代に伝え、1996年には世界遺産に登録されています。瀬戸内海に浮かぶ華麗な社殿や、平家をはじめとする武家による数々の奉納品は、後世に守り伝えるべき文化財として、今日ますますその価値を高めています。

展覧会では、平安時代、平清盛とその一族が写経した装飾経の最高傑作「平家納経」をはじめ、同社に伝わる古神宝および武器・武具などの国宝9件を中心に、舞楽面や能装束など重要文化財18件を含む宝物計32件113点を、「平家ゆかりの品々と厳島の至宝」「国宝・平家納経—善美をさわめる」「厳島の芸能—仮面と装束の美」の三つのテーマで紹介いたします。世界遺産の社宝を鑑賞しながら、厳島神社の一日も早い復興を祈る機会となることを願ってやみません。展覧会の収益は、厳島神社復興支援の一助となります。



台風18号の影響で国宝・左楽房（手前）が倒壊、数蔵の屋根も損傷した厳島神社



国宝 檜扇（古神宝類のうち）〔平安時代〕

■安徳天皇の玩具との言い伝えあり



（部分図）



国宝 梨子地桐文螺鈿腰刀〔刀身は平安時代、拵は南北朝時代〕 ■刀身 銘 友成作

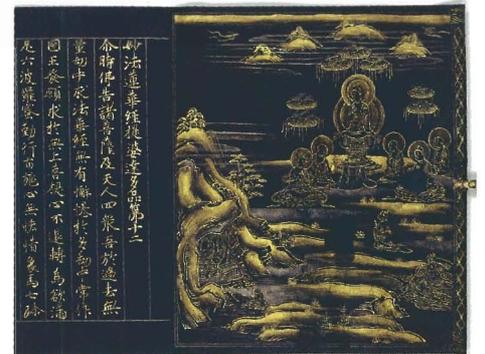


国宝 平家納経 平清盛願文〔平安時代、表紙・見返しは安土桃山時代〕
（展示期間3月25日～4月10日、見返部分のみ）
■俵屋宗達筆とみられる見返



国宝 金銀荘雲龍文銅製経箱（平家納経納置）〔平安時代〕

第一章 国宝・平家納経—善美をさわめる



国宝 紺紙金字法華経 卷第五〔平安時代〕
■冒頭の50行が清盛の直筆



重要文化財 能装束 鳳凰桜雪持笹文様唐織〔安土桃山時代〕
（展示期間4月19日～5月8日）

第三章 厳島の芸能—仮面と装束の美



重要文化財 舞楽面 納曾利〔平安時代〕
■清盛の妻・時子寄進

●観覧料金

	一般	高校・大学生
当日	1,200円	800円
前売り	1,000円	600円
団体	900円	500円

※障害者手帳をお持ちの方（介護者1人を含む）は無料
※本展観覧料金で、芸大コレクション展（4月8日～5月29日）もご覧いただけます。
※団体は20人以上

【平家琵琶の調べ】当館地下2階・展示室2（定員100人）

■4月7日（木）荒尾 努 平曲（正調平家琵琶）弾き語り奏者
①午前11時30分から（整理券は午前10時から配布、開場は午前11時）、
②午後2時から（整理券は午後12時30分から配布、開場は午後1時30分）。
本展の入場券が必要。

【公開講座】当大学美術学部中央棟第1講義室（定員200人）

■4月9日（土）「平清盛と厳島神社」
講師：五味文彦 東京大学教授
■4月10日（日）「装飾経の流行と平家納経」
講師：鳥谷弘幸 東京国立博物館文化財部展示課長
■4月16日（土）「厳島神社の芸能装束—舞楽と能—」
講師：河上繁樹 関西学院大学教授
■4月23日（土）「平家納経の書をめぐって」
講師：西嶋慎一 書道文化研究家
■4月24日（日）「厳島神社の工芸—甲冑・刀剣を中心に」
講師：原田一敏 東京国立博物館土庫研究員
※各回とも午後2時から（開場は午後1時30分）。聴講無料。



【交通案内】
・JR上野駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
・京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
※駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。

【お問い合わせ】
ハローダイヤル：03-5777-8600
ホームページ：http://www.geidai.ac.jp/museum

東京藝術大学大学美術館
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

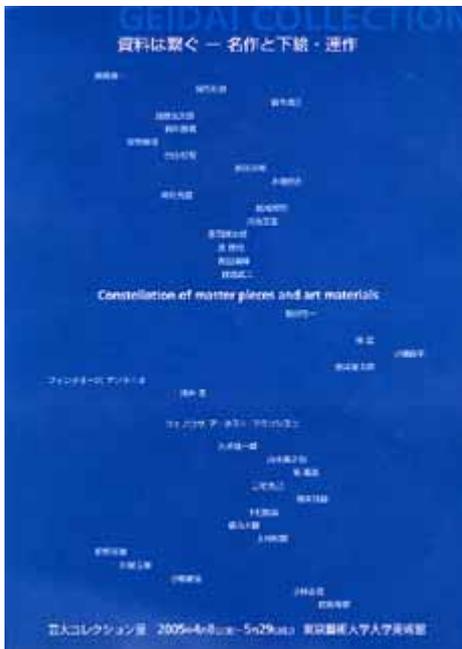
台風被災復興支援のお願い

皆様の善意のご協力をお願いします。
【振り込み先】郵便局 口座番号：01380-1-93502
口座名：厳島神社 ※通信欄に厳島神社国宝展とご記入下さい。



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



芸大コレクション展
資料は繋ぐ 名作と下絵・連作

会期： 2005年4月8日(金)-5月29日(日)(会期中、一部の作品について展示替えあり)
月曜休館(ただし5月2日は開館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

東京藝術大学ではその前身であった東京美術学校の創立以来、教育、研究を目的とした芸術資料の収集に努めてきました。その内訳は、美術品に限らず、作家や作品にまつわる資料、制作、教育、美術史研究のための資料まで多岐にわたるものです。これら資料に関する基本的な情報は、過去に刊行された収蔵品目録、年報などさまざまな方法で記述されてきました。

大学美術館では開設準備の頃より、これら資料情報のデータベース化を進めてきました。データベースの開発にあたっては、美術館内外の研究者・教育者から一般の美術愛好家までが、広くそれぞれの目的にあわせて活用できるような柔軟性が求められてきました。そこでこのデータベースでは、これまでに記録されてきた情報をもう一度編集し直すのではなく、それぞれを「関連付ける」という方法で組み立てています。

このような構造をもったデータベースで検索すると、あたかも点と点の間に線が引かれるように、作品と作品、作品と作家といった個々の情報の関係が浮かび上がってきます。そのことにより、くり返し語られてきた専門的な文脈にとらわれず、意外な図像の組み合わせに気づいたり、人物や資料の繋がりなどを発見したりするきっかけをもつくりだします。

この展覧会では、このような芸術資料の連鎖に焦点をあてながら、高橋由一「鮭」、原田直次郎「靴屋の親爺」、浅井忠「収穫」、上村松園「序の舞」、狩野芳崖「悲母観音」といった芸大コレクションを代表する名作とともに、下図、写生、習作、また東京美術学校の教官や学外の作家が共同で制作した連作など、約70件を紹介していきます。

また、展示室にパソコンを設置し、収蔵品データベースから大学美術館所蔵品が検索できるほか、本展覧会全出品作品を、高精細画像で作品の細部が閲覧できるようになっています。

主催： 東京藝術大学

観覧料： 一般300円(250円)、高校・大学生100円(50円)
中学生以下無料
()内は団体料金で、20名以上に適用
(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)

<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

[->プレスリリース PDF形式](#)

資料は繋ぐ — 名作と下絵・連作

高橋由一

尾形月耕

鏡木清方

加藤友太郎

香川勝廣

海野勝珉

白山松哉

島田佳矣

小場恒吉

高村光雲

結城素明

川合玉堂

原田直次郎

原 撫松

黒田清輝

藤島武二

Constellation of master pieces and art materials

熊谷守一

林 武

小磯良平

安井曾太郎

フォンタネージ, アントニオ

浅井 忠

フェノロサ, アーネスト・フランシスコ

久米桂一郎

山本森之助

南 薫造

三宅克己

橋本邦助

下村観山

横山大観

上村松園

狩野芳崖

川端玉章

小堀鞆音

小林古径

前田青邨

芸大コレクション展「資料は繋ぐ—名作と下絵・連作」

東京藝術大学ではその前身であった東京美術学校の創立以来、教育、研究を目的とした芸術資料の収集に努めてきました。その内訳は、美術品に限らず、作家や作品にまつわる資料、制作、教育、美術史研究のための資料まで多岐にわたるものです。これら資料に関する基本的な情報は、過去に刊行された収蔵品目録、年報などさまざまな方法で記述されてきました。

大学美術館では開設準備室の頃より、これら資料情報のデータベース化を進めてきました。データベースの開発にあたっては、美術館内外の研究者・教育者から一般の美術愛好家までが、広くそれぞれの目的にあわせて活用できるような柔軟性が求められました。そこでこのデータベースでは、これまでに記録されてきた情報をもう一度編集し直すのではなく、それぞれを「関連付ける」という方法で組み立てています。

このような構造をもったデータベースで検索すると、あたかも点と点の間に線が引かれるように、作品と作品、作品と作家といった個々の情報の関係が浮かび上がってきます。そのことにより、くり返し語られてきた専門的な文脈にとらわれず、意外な図像の組み合わせに気づいたり、人物や資料の繋がりなどを発見したりするきっかけをもつくりだします。

この展覧会では、このような芸術資料の連鎖に焦点をあてながら、高橋由一「鮭」、原田直次郎「靴屋の親爺」、浅井忠「収穫」、上村松園「序の舞」、狩野芳崖「悲母観音」といった芸大コレクションを代表する名作とともに、下図、写生、習作、また東京美術学校の教官や学外の作家が共同で制作した連作など、約70件を紹介していきます。



1



3



4



2



5



6

1. 高橋由一「写生帖」
2. 高橋由一「鮭」
3. 原田直次郎「老人」
4. 原田直次郎「靴屋の親爺」
5. 川端玉章「荷花水禽」
6. 上村松園「序の舞」
7. 浅井忠「収穫」



7

- ◆会 場：東京藝術大学大学美術館 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
- ◆日 程：2005年4月8日(金)～5月29日(日) (会期中、一部の作品について展示替えあり)
- ◆開館時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)
- ◆休館日：月曜日 ただし5月2日は開館
- ◆料 金：一般 300 (250)円 学生 100 (50)円 (小・中学生は無料)
- * ()は団体料金で、20名以上に適用 (団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)
- ◆主 催：東京藝術大学
- ◆お問合わせ：03-5777-8600 (NTTハローダイヤル)
- ◆ホームページ：<http://www.geidai.ac.jp/museum/>
- ◆交通案内：JR<上野駅>、<鶯谷駅>、東京メトロ千代田線<根津駅>より徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線<上野駅>、京成電鉄<上野駅>より徒歩15分
- * 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。



<次回展覧会予告>

英国王立園芸協会 (RHS) 創立200周年記念
500年の大系「植物画世界の至宝展」
会期：2005年6月11日(土)～7月18日(月・祝)

英国王立園芸協会 (RHS) リンドレー図書館収蔵の植物画、約2万点以上の中から、近代ポタニカルアートの出発点となった16世紀の植物図譜をはじめとして、18世紀以降、英国が園芸大国への道を歩んだ軌跡を示すオリジナル作品を中心に、厳選し大系的に紹介いたします。

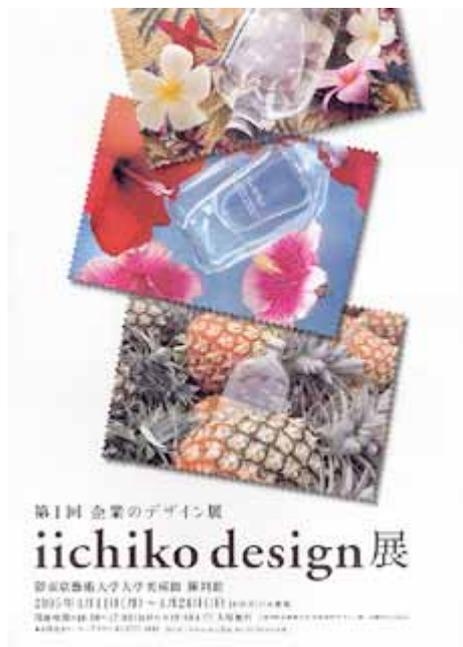
芸大コレクション展「柴田是真—明治宮殿の天井画と写生帖」
会期：2005年6月11日(土)～8月7日(日)

東京藝術大学大学美術館には、江戸末期から明治時代にかけて活躍した画家・蒔絵師、柴田是真の作品が所蔵されています。本展は、様々な草花を描いた明治宮殿千種之間天井綴織下図112枚とそれらが実際に千種之間の天井に配置された様子、写生帖・素描帖に焦点をあてた構成となります。



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



第1回 企業のデザイン展
iichiko design 展

会期: 2005年4月11日(月)-4月24日(日)
18日(月)のみ休館
10:00 ~ 17:00(初日のみ19:00まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 陳列館

良い企業イメージ、良いブランドイメージ。それらはどのように築かれるのでしょうか。大きな鍵をにぎるのは、企業がおこなう「デザイン」展開です。「どういったコンセプトで、どういう表現をおこなえば、どのようなイメージが醸成されるか。」これらを解き明かすために本学デザイン科では「企業のデザイン展」シリーズを企画しました。

その第1回目は河北秀也教授が手がける「いいちこのデザイン」。従来の焼酎のイメージをくつがえす斬新なコンセプトと表現により、一地方の酒であった「いいちこ」は日本のトップブランドはもとより世界有数の酒にまで成長しました。その「デザイン展開」の一端を、TVCM、ポスター、パッケージ、雑誌広告、企業文化誌などで展示、紹介いたします。デザインの有益性や影響力を、ぜひご覧ください。

主催: 東京藝術大学美術学部デザイン科

共催: iichiko

観覧料: 入場無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600



第1回 企業のデザイン展

iichiko design展

東京藝術大学大学美術館 陳列館

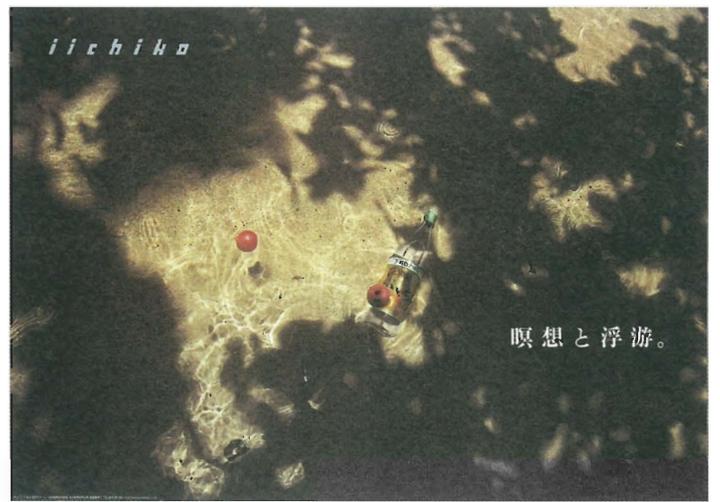
2005年4月11日(月)～4月24日(日) 18日(月)のみ休館

開館時間=10:00～17:00(初日のみ19:00まで) 入場無料 主催=東京藝術大学美術学部デザイン科 共催=iichiko

●お問合せ=ハローダイヤル 03-5777-8600 <http://www.geidai.ac.jp/museum>



1



2

良い企業イメージ、良いブランドイメージ。それらはどのように築かれるのでしょうか。大きな鍵をにぎるのは、企業がおこなう「デザイン展開」です。「どういったコンセプトで、どういう表現をおこなえば、どのようなイメージが醸成されるか」。これらを解き明かすために本学デザイン科では「企業のデザイン展」シリーズを企画いたしました。

その第1回目は河北秀也教授が手がける「いいちこのデザイン」。従来の焼酎のイメージをくつがえす斬新なコンセプトと表現により、一地方の酒であった「いいちこ」は日本のトップブランドはもとより世界有数の酒にまで成長しました。その「デザイン展開」の一端を、TVCM、ポスター、パッケージ、雑誌広告、企業文化誌などで展示、紹介いたします。デザインの有益性や影響力を、ぜひご覧ください。



3



4



10



11



12



5



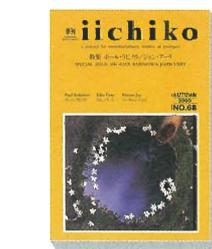
6



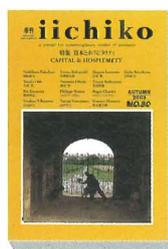
7



13 iichiko design project <http://goods.iichiko.co.jp>



8



9

1.2=B倍ポスター 3.4=PERSON雑誌広告
 5=いいちこフラスコボトル 6.7=SUPER雑誌広告 8.9=季刊誌 10=CM(アラスカ/タイトルキートナ編) 11.12=PERSON車箱ポスター 13=iichiko original goods

第1回 企業のデザイン展 iichiko design展

東京藝術大学大学美術館 陳列館 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
 《交通案内》JR[上野駅]公園口、東京メトロ千代田線「根津駅」より徒歩10分 京成線「上野駅」、東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」より徒歩15分
 ※駐車場はございませんので、お車での御来館はご遠慮ください。



東京藝術大学大学美術館 陳列館



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



東京・北京・パリ交流ポスター展

東京芸術大学・清華大学美術学院・国立高等装飾美術学校3校の学生による共通課題
サリー インスティテュート オブ アート アンド デザイン大学の学生による賛助出品

会期： 2005年4月28日(木)-5月8日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館2階

この作品展は、2003年より3ヶ年の企画として計画され、今回は3度目の最終となります。テーマ設定は、初年度はフランス、昨年は中国、今年は日本からとなり「のこすもの、なくすもの」とするポスター形式の作品を、各校約10点ずつ、計40作品の展示となりました。「入学試験に造形試験を課し、また国立のデザイン教育機関としても共通の基盤をもつ3校が、社会環境や文脈に違いを乗り越えて比較・評価することによって刺激しあい、ネットワーク時代における新たなデザインと展望と地平を目指す」という共通意識のもとで、一昨年秋からネットワークをメディアとしてこの課題を進めてまいりました。

更に今年は、イギリスの学生による賛助出品により新たに映像部門を設け、13点の作品も加わりました。

この企画での経験をもとに、今後様々な国との交流を深め、表現形式も多様とした内容へと展開出来ればと願っております。学生や教職員の人的移動を前提とせずネットワーク上において共通な課題を進めることは、今後の交流授業のひとつの試みとして有効であり、意義深いものと考えます。

作品の展示は各国ほぼ同時に開催されます。

企画・主催： 東京芸術大学美術学部デザイン科

参加学校： 東京芸術大学デザイン科 / 日本
清華大学美術学院 / 中国
国立高等装飾美術学校 / フランス
サリー インスティテュート オブ アート アンド デザイン大学 / イギリス

観覧料： 入場無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

留下的東西 失去的東西

のこすもの なくすもの

ce qu'on garde ce qu'on perd
what's left what's lost

e a o

東京・北京・パリ 交流ポスター展

Tokyo National University of Fine Arts and Music (TOKYO-Japan) ・ Academy of Arts and Design, Tsinghua University (PEKING-China)
Ecole National Supérieure Des Arts Decoratifs (PARIS-France) ・ The Surrey Institute of Art and Design University College (LONDON-The United Kingdom)

東京藝術大学・清華大学美術学院・国立高等装飾美術学校 3校の学生による共通課題
サリー インスティテュート オブ アート アンド デザイン大学の学生による賛助出品

東京藝術大学美術館 陳列館2階 入場無料
2005年4月28日 [木] — 5月8日 [日] 月曜休館 10:00 — 17:00

企画・主催 東京藝術大学美術学部デザイン科

Design : Masumi ANZAI

東京・北京・パリ 交流ポスター展

東京藝術大学・清華大学美術学院・国立高等装飾美術学校 3校の学生による共通課題
サリー インスティテュート オブ アート アンド デザイン大学の学生による賛助出品

Tokyo National University of Fine Arts and Music (TOKYO-Japan) ・ Academy of Arts and Design, Tsinghua University (PEKING-China)
Ecole Nationale Supérieure Des Arts Decoratifs (PARIS-France) ・ The Surrey Institute of Art and Design University College (LONDON-The United Kingdom)

この作品展は、2003年より3ヶ年の企画として計画され、今回は3度目の最終となります。テーマ設定は、初年度はフランス、昨年は中国、今年は日本からとなり「のこすもの、なくすもの」とするポスター形式の作品を、各校約10点ずつ、計40作品の展示となりました。「入学試験に造形試験を課し、また国立のデザイン教育機関としても共通の基盤をもつ3校が、社会環境や文脈の違いを乗り越えて比較・評価することによって刺激しあい、ネットワーク時代における新たなデザインと展望と地平を目指す」という共通意識のもとで、一昨年秋からネットワークをメディアとしてこの課題を進めてまいりました。

更に今年は、イギリスの学生による賛助出品により新たに映像部門を設け、13点の作品も加わりました。

この企画での経験をもとに、今後様々な国との交流を深め、表現形式も多様とした内容へと展開出来ればと願っております。学生や教職員の人的移動を前提とせずネットワーク上において共通な課題を進めることは、今後の交流授業のひとつの試みとして有効であり、意義深いものと考えます。

作品の展示は各国ほぼ同時に開催されます。

デザイン科

ー ポスター部門 ー

□東京藝術大学美術学部デザイン科／日本

安西 真澄 池田 雅恵 伊澤 瑞江 梶野 沙羅 川上 恵莉子 甲田 さやか 佐藤 あすか
清水 千春 高村 健 西村 藍

□清華大学美術学院／中国

林 園 張 坤 尤 霜萍 韓 可斌 賀 婧 彭 渺 段 芳 牧 婧
王 静哲 李 潇潇

□国立高等装飾美術学校／フランス

Marie-Laure BAGOT Charlotte FREREAU Juliette MEUNIER Nicolas VALLET
Mila LAMOURET-SLAVKOVIC Emmanuelle SAINT-FARE Marielle DURAND
Carolina ESPINOSA Delphine ZIGONI Daniela CYTRYN

□サリー インスティテュート オブ アート アンド デザイン大学／イギリス

Chris MOUNT Risa SAKAI Paul DAWES Dan GILLOTT Andy ELLIS Andy CLARKE
David BREWER Wing Bo CHAN Mei THAM Rosalind MOSELING Jamie WOOD

ー 映像部門 ー

□東京藝術大学美術学部デザイン科／日本

青木 純 恵土 敦 小柳 祐介 三田 創平 高村 健 大西 景太 加藤 隆 中里 彩子

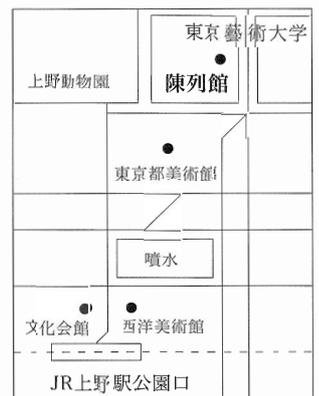
□サリー インスティテュート オブ アート アンド デザイン大学／イギリス

Chris PERRY Jonathan HARRIS Peter BAXTER Steve ANZACOT
Harold DICKENSON Jr. Peter TAYLOR Richard McPAUL

東京藝術大学美術館 陳列館2階

2005年4月28日[木]ー5月8日[日] 月曜休館 10:00ー17:00

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-6 〔お問い合わせ〕ハローダイヤル 03-5777-8600 <http://www.geidai.ac.jp/museum>
〔交通案内〕JR上野駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分 京成上野駅、東京メトロ日比谷線、銀座線上野駅より徒歩15分
※駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮下さい。





[展覧会・催し物日程](#) [過去の記録](#)

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



文化財保存教育の40年

会期： 2005年5月13日(金)-5月16日(月)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

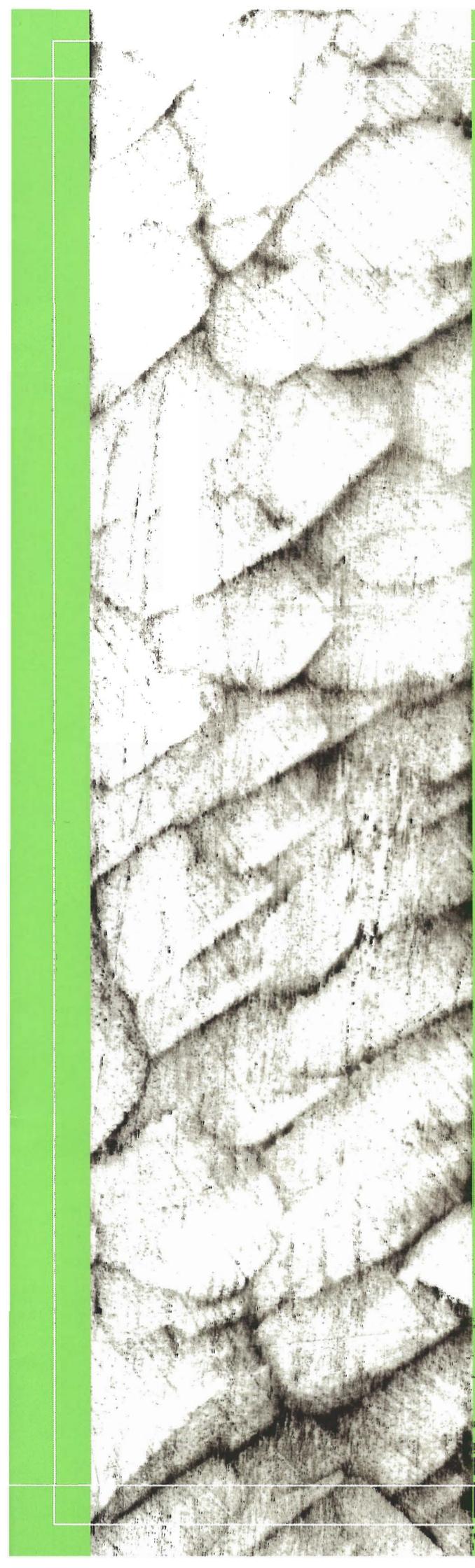
会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

主催： 文化財保存修復学会大会実行委員会
東京藝術大学大学院文化財保存学専攻

後援： (財)文化財保護・芸術研究助成財団

観覧料： 無料

[-> 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻](#)



文化財保存学教育の40年

会場 東京藝術大学美術学部陳列館
会期 平成17年5月13日(金)~16日(月)
10:00~17:00

文化財保存学教育の40年

主催：文化財保存修復学会大会実行委員会、東京藝術大学大学院文化財保存学専攻
後援：(財)文化財保護・芸術研究助成財団

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

<http://www.geidai.ac.jp/labs/hozon/>

Tokyo National University of Fine Arts and Music

12-8 Ueno-Park Taito-ku Tokyo JAPAN

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



日本におけるダダ

マヴォ /メルツ

村山知義 / クルト・シュヴィッターズ

会期： 2005年6月1日(水)-6月18日(土)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

この展覧会は、日本の前衛美術においてめざましい展開を見せた「マヴォ」の時代に光を当てることにあります。「マヴォ」は、9か月間のベルリン滞在を終えて帰国した美術家村山知義が、1923年東京で創設したグループおよび機関誌です。村山が生み出した「構成派 constructionnisme」は、ダダイズムと構成主義を取り入れた彼独自のヴィジョンです。

「マヴォ」は、絵画、活版印刷物、構成物、装飾など数々のハプニング・パフォーマンスを生み出した日本のグループですが、ドイツには「メルツ」という、クルト・シュヴィッターズが創出した作品群があり、メルツ詩、メルツ構成物、プリミティブな音響のソナタ(Ursonate)、メルツ活版印刷といった創作活動が展開されていました。この二つの運動体を会わせることもこの展覧会のもうひとつの目的です。

事実、当時ヨーロッパでは「メルツ」のなかで、ダダイズムの日本における継承者である村山の才能が発見されており、ハンス・アルプと共にエル・リシツキーがデザインに関わった『芸術のイズム』(1925年)の「メルツ」の項には彼の名が引用されています。

両者の関係は明言されてはいませんが、共通の性質が数多く提示されており、マヴォはメルツと同じく、極めて実り多き文化的背景をもった大正時代に誕生しています。第一次大戦後ということで権力の解体があり、ドイツの場合、かつてない芸術的危機がそこに加わっていましたが、この危機が抽象化運動をあらためて生み出すことになったのです。

展覧会にあわせて、(日本、フランス、ドイツからの参加者による)国際シンポジウムならびに20年代のアヴァンギャルド芸術映画作品の上映会の開催も予定しています。

主催： 「日本におけるダダ」展 実行委員会

共催： 東京藝術大学、東京ドイツ文化センター、東京日仏学院

助成： 財団法人野村国際文化財団、財団法人朝日新聞文化財団、独仏芸術支援基金

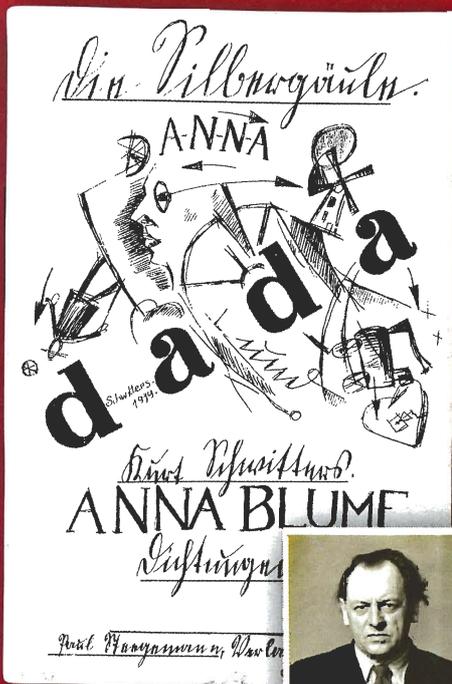
協賛： ルフトハンザドイツ航空、エールフランス航空、DHL

協力： ギャラリーTOM、(株)水声社

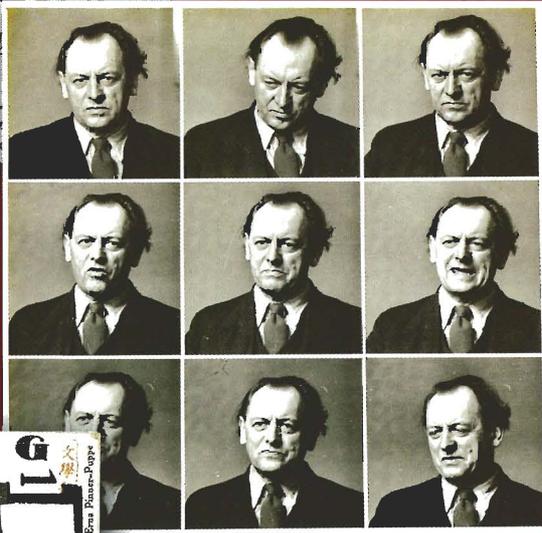
展覧会コミッション マルク・ダシー (Marc DACHY)

観覧料： 無料

[-> 東京芸術大学 2005/2006「日本におけるドイツ年」](#)



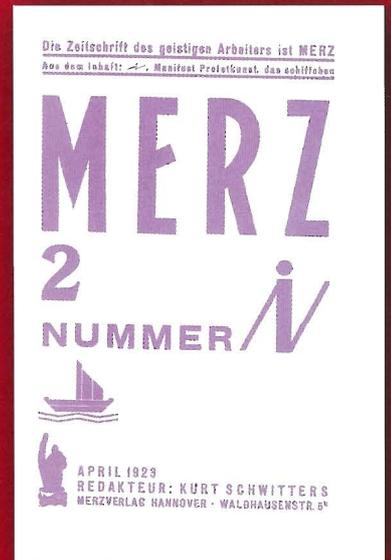
Umslag Kurt Schwitters
Anna Blume, 1919



Kurt Schwitters reciting Ursonate in London, 1944



Katalog MAVO Ausstellung, hg MURAYAMA
Tomoyoshi, Tokyo, 1923



Merz 2, 1923

日本におけるダダ展



「踊る人 村山知義」
(写真提供：村山治江)

マヴォ MAVO / メルツ MERZ

村山知義 (MURAYAMA Tomoyoshi) /
クルト・シュヴィッターズ (Kurt SCHWITTERS)

会期：6月1日(水)～6月18日(土)

10:00～17:00 (16:30 まで入場可)

会場：東京芸術大学美術学部内 陳列館 2階

主催：「日本におけるダダ」展 実行委員会
共催：東京芸術大学、東京ドイツ文化センター、東京日仏学院
助成：財団法人野村国際文化財団、財団法人朝日新聞文化財団、
独立芸術支援基金

協賛：ルフトハンザドイツ航空、エールフランス航空、DHL
協力：ギャラリーTOM、(株)水声社

展覧会コミッショナー：マルク・ダシー (Marc DACHY)

オープニング：6月1日(水) 17:00～美術学部内 大浦食堂

2005
2006

Deutschland
in Japan
日本における
ドイツ



日本におけるダダ展

マヴォ／メルツ

村山知義／クルト・シュヴィッターズ

この展覧会は、日本の前衛美術においてめざましい展開を見せた「マヴォ」の時代に光を当ててことにあります。「マヴォ」は、9か月間のベルリン滞在を終えて帰国した美術家村山知義が、一九二三年東京で創設したグループおよび機関誌です。村山が生み出した「構成派 constructionisme」は、ダダイスムと構成主義を取り入れた彼独自のヴィジョンです。「マヴォ」は、絵画、活版印刷物、構成物、装飾など数々のハブニング・パフォーマンスを生み出した日本のグループですが、ドイツには「メルツ」という、クルト・シュヴィッターズが創出した作品群があり、メルツ詩、メルツ構成物、プリミティブな音響のソナタ (Usunata)、メルツ活版印刷といった創作活動が展開されていきました。この二つの運動を出会わせることもこの展覧会のもうひとつの目的です。

事実、当時ヨーロッパでは「メルツ」のなかで、ダダイスムの日本における継承者である村山の才能が発見されており、ハンス・アルプと共にリシツキーがデザインに関わった「芸術のイズム」の「メルツ」の項には彼の名が引用されています。両者の関係は明言されてはいませんが、共通の性質が数多く提示されており、マヴォはメルツと同じく、極めて実り多き文化的背景をもった大正時代に誕生しています。第一次大戦後ということで権力の解体があり、ドイツの場合、かつてない芸術的危機がそこに加わっていましたが、この危機が抽象化運動をあらためて生み出すことになったのです。

カーリン・オーチャード (Karin ORCHARD) 講演会「クルト・シュヴィッターズ／メルツパウについて」

6月2日(木) 14:00
東京芸術大学美術学部内 講義室 入場無料 通訳付
問合せ:ダダ展実行委員会 Tel:03-5685-7567
(内線3310)担当:安藤、池田

シンポジウム「日本におけるダダ」

マルク・ダシー (Marc DACHY)、
カーリン・オーチャード (Karin ORCHARD)、
宇野邦一 (UNO Kuniichi)
6月3日(金) 18:30
ドイツ文化会館ホール 入場無料 通訳付
問合せ:東京ドイツ文化センター Tel:03-3584-3201

対談:マルク・ダシー (Marc DACHY) / 白川昌生 (SHIRAKAWA Yoshio)

6月9日(木) 14:00
東京芸術大学美術学部内 講義室 入場無料 通訳付
問合せ:ダダ展実行委員会(同上)

映画上映

6月1日(水)、2日(木)、9日(木)、12日(日)、
18日(土) 各日 10:30 / 14:00
東京芸術大学美術学部内 陳列館1階 入場無料

6月6日(月) 19:00

東京日仏学院エスパイマージュ 入場無料
問合せ:東京日仏学院 Tel:03-5261-3933

(順不同)

ヴィキング・エゲリング (Viking EGGELING):
「対角線交響楽」Symphonie diagonale (1921 / 9分)
ハンス・リヒター (Hans RICHTER):
「リズム 21」Rhythmus 21 (1922-24 / 4分)
「リズム 23」Rhythmus 23 (1923-24 / 4分)
「フィルムスタディ」Filmstudies (1926 / 5分)

マン・レイ (Man RAY):
「ヒトデ」Etoile de mer (1928 / 6分)

マルセル・デュシャン (Marcel DUCHAMP):
「アメニック・シネマ」Anémic Cinéma (1925 / 7分)

オスカー・フィッシンガー (Oskar FISCHINGER):
「スパイラル」Spirals (1926 / 4分)
「ラブプレイ」Liebesspiel (1931 / 3分)
「スクエア」Squares (1934 / 5分)

ラスロー・モホイ＝ナジ (モホリ・ナギ):
(Laszlo MOHOLY-NAGY)
「光の遊戯・黒・白・灰」Lichtspiel, Schwarz, weiss, grau / 5分)

ポール・ストランド／チャールズ・シーラー (Paul STRAND - Charles SHEELER):
「マンハッタン」Manhatta (1921 / 9分)

ルネ・クレール (René CLAIR):
「幕間」Entr'acte (1924 / 25分)

ジェルメーン・デュラック (Germaine DULAC):
Disque 957 (1928 / 16分)

*都合によりプログラムが変更されることがありますので、御了承ください。

*この展覧会にあわせて水声社から「村山知義とクルト・シュヴィッターズ」が出版されます。

東京芸術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12番8号
<http://www.geidai.ac.jp/>
【JR】 上野駅・鶯谷駅 下車徒歩10分
【地下鉄】 銀座線・日比谷線上野駅 下車徒歩15分
千代田線・根津駅 下車徒歩約10分
【京成電鉄】 京成上野駅 下車徒歩15分
【都営バス】 上26系統(亀戸←→上野公園)
谷中下車徒歩約3分

東京ドイツ文化センター

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館内
<http://www.goethe.de/tokyo>

東京日仏学院

〒107-0052 東京都新宿区船河原町15
<http://www.institut.jp>



マルク・ダシー (Marc DACHY):

1952年生まれ。美術史家、エディター、「Luna-Park」誌を主宰するとともに、出版社「Transedition」を設立。数々の展覧会を企画。1993年のリヨン・ピエンナーレ「彼等はみな世界を変える」のコミッションを務める。ダダとクルト・シュヴィッターズの専門家として、関西日仏交流会館(京都)での研究滞在を経たのち、2002年、フランス大学出版局(パリ)より『日本におけるダダ』を出版している。



カーリン・オーチャード (Karin ORCHARD):

1961年生まれ。ハンブルク、エディンバラ、ロンドンで美術史、歴史学および文学を専攻。ハンブルクのグンストハレでの研修を経て、1991年よりハノーファーのシュプレングル美術館のキュレーター。94年より、同美術館のクルト・シュヴィッターズ・アーカイブ所長。シュヴィッターズや16世紀、20世紀のアートに関する数多くの出版・刊行にたずさわる。



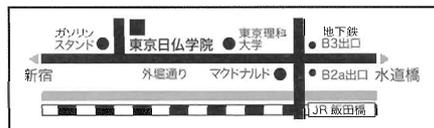
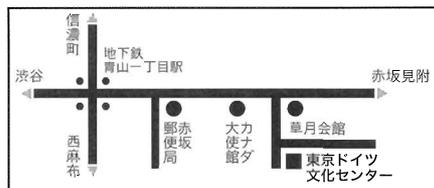
宇野邦一 (UNO Kuniichi):

1948年松江市生まれ。1976年京都大学、パリ第8大学で学ぶ。現在は立教大学文学部教授。現代フランス文学思想専攻。著書に『アルトール思考と身体』、『ドゥルーズ 流動の哲学』、『ジャン・ジュネー身振りと内在平面』、『破局と渦の考察』、『<単なる生>の哲学』(05年、平凡社)、訳書に、ドゥルーズ『フォーコー』、『巽』(河出書房新社)など。



白川昌生 (SHIRAKAWA Yoshio):

1948年北九州生まれ。美術作家。群馬在住。国立デュッセルドルフ美術大学卒業。国内外にて多数作品発表。現在前橋文化服装専門学校講師、群馬県立女子大非常勤講師。著作多数。





展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



英国王立園芸協会 (RHS) 創立200周年記念
500年の大系: 植物画世界の至宝展

会期: 2005年6月11日(土)-7月18日(月)
月曜休館(ただし7月18日は開館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館

エリザベス女王を総裁に戴く、英国王立園芸協会(以下、RHS)は、1804年に園芸を愛する世界中の人々に奉仕することを目的として創立されました。本展示会ではRHS創立200周年を記念し、RHSリンドリー図書館収蔵の植物画、約2万数千点の中から、近代ボタニカルアートの出発点となった16世紀の植物図譜をはじめとして、18世紀以降、英国が園芸大国への道を歩んだ奇跡を示すオリジナル作品を中心に、厳選し体系的に紹介いたします。

古来より建築・陶器・貨幣などの文様として描かれた植物のモチーフは、ルネサンス期に自然観察に基づいた緻密でリアルな描写の近代植物画として発展し、多くの素晴らしい植物図版が出版されました。そして、大航海時代を経て、植物画は黄金時代を迎えます。探検家とともに未知の世界に乗り出した画家達は、あらゆる風景、人間、動植物を描いています。プラントハンターが持ち帰った魅力的な植物は、本国内で栽培され、18世紀の英国に園芸ブームを巻き起こしました。庭園とともに華麗な植物画は王国貴族の注目を集め、多くの豪華な植物図譜が出版されています。そうした中で植物学者と植物画家の協業は「サイエンスとアートの融合」としての独自のジャンルを生み出しました。

後に写真の出現によって記録画としての需要が失われてからも、植物画の伝統は受け継がれ、今なお、ボタニカルアートとして、多くの人々を魅了しています。

本展では、植物画の出発点となった16世紀のフックス(1501-1566)による木版挿絵の入った植物図譜をはじめ、ナポレオン皇帝のおかかえ絵師であったルドゥテ(1759-1840)のリンドリー図書館から出るのは世界初といわれる未出版書籍、ヴィクトリア女王に仕えた植物画家ウィザーズ(1793-1864)の植物画など、書籍8点をふくむ計129点を、「近代植物画の誕生」から「植物画のルネサンス」にいたる五つの章で紹介いたします。

RHSの植物画のコレクションは英国国内においても簡単には閲覧不可能なものであり、我が国において公開されるのは初めてとなります。

500年に及ぶ世界の植物文化の交流の証として多彩な魅力を持った植物画の至宝、その美しさと魅力をお楽しみください。

主催: 英国王立園芸協会日本支部(RHSJ)、東京藝術大学、「植物画世界の至宝展」実行委員会

後援: 英国王立園芸協会(RHS)、英国大使館商務部

特別協賛: セゾン カード

協賛: 朝日工業株式会社、オリックス株式会社、株式会社資生堂、株式会社そごう、株式会社西武百貨店、ソニー株式会社、株式会社損害保険ジャパン、東京電力株式会社、凸版印刷株式会社、マネックスビーンズ証券株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行、財団法人三菱財団、AIGエジソン生命保険株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社WOWOW

観覧料: 一般1,200円(1,000円 / 1,000円)、高校・大学生800円(600円 / 600円)
中学生以下無料

()内は前売 / 20人以上の団体料金

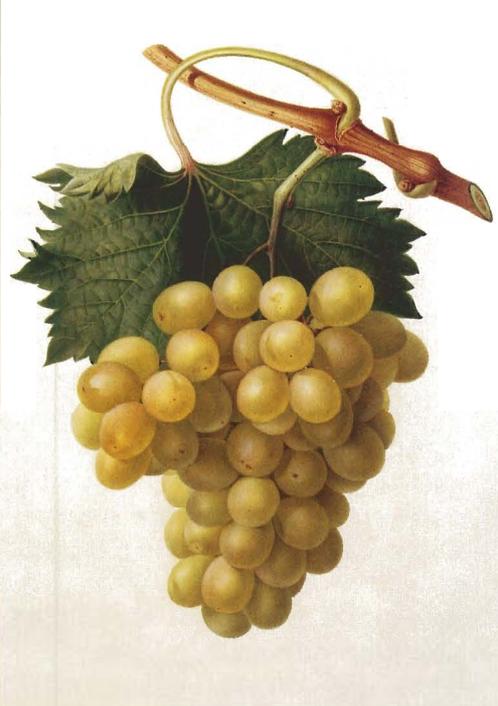
<問い合わせ>

「植物画世界の至宝展」実行委員会事務局:03-3466-1708

ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> 本展公式サイト](#)

[-> 英国王立園芸協会日本支部](#)



500年の大系 植物画 世界の 至宝展

The Royal Horticultural Society (RHS) Bicentenary
Five Hundred Year Old
"Treasures from the World of Botanical Art"



英国王立園芸協会 (RHS)
創立200周年記念

6月11日[土]—7月18日[月]
東京藝術大学大学美術館

開館時間=午前10時~午後5時(入館は開館30分前まで)
休館日=毎週月曜日(ただし7月18日は開館)
観覧料=一般1,200(1,000)円、大学・高校生800(600)円、
中学生以下無料 ※()内は前売り料金
主催=英国王立園芸協会日本支部(RHSJ)、東京藝術大学
「植物画世界の至宝展」実行委員会
後援=英国王立園芸協会(RHS)、英国大使館商務部
特別協賛=《セゾン》カード
協賛=朝日工業株式会社、オリックス株式会社、株式会社資生堂、株式会社そごう、
株式会社西武百貨店、ソニー株式会社、株式会社損害保険ジャパン、
東京電力株式会社、凸版印刷株式会社、マネックスビーンズ証券株式会社、
株式会社みずほコーポレート銀行、財団法人三菱財団、
AIGエジソン生命保険株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社WOWOW
巡回予定=神戸市立小磯記念美術館(7/23~9/4)
全国都市緑化ふくおかフェア(10/22~11/20)
©The Royal Horticultural Society/Lindley Library



英国が誇る植物画の至宝、本邦初公開!

エリザベス女王を総裁に戴く、英国王立園芸協会(以下、RHS)は、1804年に園芸を愛する世界中の人々に奉仕することを目的として創立されました。本展示会ではRHS創立200周年を記念し、RHSリンドリー図書館収蔵の植物画、約2万数千点の中から、近代ボタニカルアートの出発点となった16世紀の植物図譜をはじめとして、18世紀以降、英国が園芸大国への道を歩んだ軌跡を示すオリジナル作品を中心に、厳選し大系的に紹介いたします。

古来より建築・陶器・貨幣などの文様として描かれた植物のモチーフは、ルネサンス期に自然観察に基づいた緻密でリアルな描写の近代植物画として発展し、多くの素晴らしい植物図版が出版されました。そして、大航海時代を経て、植物画は黄金時代を迎えます。探検家とともに未知の世界に乗り出した画家達は、あらゆる風景、人間、動植物を描いています。プラントハンターが持ち帰った魅力的な植物は、本国で栽培され、18世紀の英国に園芸ブームを巻き起こしました。庭園とともに華麗な植物画は王国貴族の注目を集め、多くの豪華な植物図譜が出版されています。そうした中で植物学者と植物画家の協業は「サイエンスとアートの融合」としての独自のジャンルを生み出しました。

後に写真の出現によって記録画としての需要が失われてからも、植物画の伝統は受け継がれ、今なお、ボタニカルアートとして、多くの人々を魅了しています。

本展では、植物画の出発点となった16世紀のフックス(1501-1566)による木版挿絵の入った植物図譜をはじめ、ナポレオン皇帝のおかかえ絵師であったルドゥテ(1759-1840)のリンドリー図書館から出るのは世界初といわれる未出版書籍、ヴィクトリア女王に仕えた植物画家ウィザーズ(1793-1864)の植物画など、書籍8点をふくむ計129点を、「近代植物画の誕生」から「植物画のルネサンス」にいたる五つの章で紹介いたします。

RHSの植物画のコレクションは英国国内においても簡単には閲覧不可能なものであり、我が国において公開されるのは初めてとなります。

500年に及ぶ世界の植物文化の交流の証として多彩な魅力を持った植物画の至宝、その美しさと魅力をお楽しみください。

第1章 近代植物画の誕生

古くから文様などに用いられてきた植物のモチーフは、ルネサンス期に入りより詳細な記述とリアルなイラストが求められるようになりました。この章では近代植物画の祖といわれるレオンハルト・フックスの『新植物誌』(1543)など貴重な書籍を中心に展示します。



Fuchs, Leonhart (1501-1566) 'New Kreuterbuch, Basel 1543'

第2章 大航海時代と植物画の黄金時代

大航海時代、多くの商船や探検隊は、各方面の専門家や画家を同伴し、新大陸・新地域の風景、動植物などを写生させました。探検隊は本国にそれら植物の種子や球根を持ち帰り、栽培・繁殖、そして販売も行われ、珍しい植物を紹介した園芸書やカタログが出版されることで植物画への需要が増大した1750年から1830年頃までは、植物画の黄金時代と言われていました。この章では、RHSが雇用した最初の画家であるウィリアム・フッカーがRHSの依頼で描いた果実作品など、様々な画家の作品を紹介いたします。



Hooker, William (1779-1832) 'Red Quarrenden' apple

第3章 “植物画”—ジャンルとしての確立

植物画の黄金時代を築いた画家達による華麗な植物画は王侯貴族の注目を集め、多くの豪華な植物図譜が作られた一方、植物学者と植物画家による協業により「植物分野における科学と芸術の融合」と言った言葉で表現されるジャンルが確立されました。

この章では、ナポレオン皇帝の後ジョゼフィーヌに厚く庇護された植物画家ピエール・ジョセフ・ルドゥテの未出版書籍など多くの作品を展示します。



Redouté, Pierre Joseph (1759-1840) 'Album of unpublished aquatint plates'

第4章 植物画の衰退と伝統の継承

印刷技術の発達、書籍・図譜が安価で大量に売られることによる植物画の普及とともにその画質の低下をもたらした。また写真の出現により植物画の衰退をも余儀なくされました。そんな中、英国王立キュー植物園は「ボタニカル・マガジン」を発行し続け、植物画の伝統を保ってきました。この章ではその「ボタニカル・マガジン」で活躍したリアン・スネリングの作品などを紹介します。



Snelling, Lilian (1879-1973) 'Paulownia tomentosa 'Lilacina''

第5章 植物画のルネサンス

個人としては世界一を誇る現代植物画コレクター、シャーリー・シャーウッド博士(英国)は、近年を「植物画のルネサンス」と位置づけています。この最終章では、ブラジルのエティエンヌ・デモンテなど現在活躍している世界各地の画家の作品を展示します。



Demonte, Etienne (1931-) 'Miltonia cuneata'

- 表面作品について(左上から時計回り)
Stones, Margaret "Muscaria" sp. ヒヤンソンス科 ムスカリ
Kouwenhoorn, Pieter van "Tulipa cultivars" ユリ科 チューリップの園芸品種
Withers, Augusta Innes "Vitis vinifera L." Grape vine ブドウ科 ブドウ
Viazemsky, Alexander "Fungi" 菌類
Withers, Augusta Innes "Ribes sanguineum Pursh" Flowering Currant スグリ科 ハナスグリ
Pope, Clara Maria "Canelha japonica L." Common Canelha ツバキ科 ツバキ
Fitch, John Nugent "Paphiopedilum douglasianum" ラン科 パフィオペディウム・ドウレアリウム

©The Royal Horticultural Society/Lindley Library

英国王立園芸協会(RHS) 創立200周年記念
500年の大系
植物画
世界の
至宝展

6月11日(土)―7月18日(月) 東京藝術大学大学美術館

開館時間＝午前10時～午後5時(入館は開館30分前まで) 休館日＝毎週月曜日(ただし7月18日は開館)
主催＝英国王立園芸協会日本支部(RHSJ)、東京藝術大学、「植物画世界の至宝展」実行委員会
後援＝英国王立園芸協会(RHS)、英国大使館商務部
特別協賛＝《セゾン》カード
協賛＝朝日工業株式会社、オリックス株式会社、株式会社資生堂、株式会社そごう、株式会社西武百貨店、ソニー株式会社、株式会社損害保険ジャパン、東京電力株式会社、凸版印刷株式会社、マネックスビーンズ証券株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行、財団法人三菱財団、AIGエジソン生命保険株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社WOWOW

観覧料	当日	前売	団体(20名以上)
一般	1200円	1000円	1000円
大学・高校生	800円	600円	600円
中学生以下	無料でご覧になれます。		

※前売券は東京藝術大学ミュージアムショップ、イープラス、電子チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、JR東日本みどりの窓口・びゅうプラザ、全国のJTB各支店、他でお求めになれます。
※イープラスURL: <http://eee.eplus.co.jp>

●お問い合わせ
『植物画世界の至宝展実行委員会事務局』 ☎03-3466-1708
<http://www3.ocn.ne.jp/rhsj/>
ハローダイヤル ☎03-5777-8600
<http://www.geidai.ac.jp/museum>



東京藝術大学大学美術館 東京都台東区上野公園12-8

●交通案内
JR上野公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分
駐車場はございませんので、車のご来館はご遠慮ください。

同時開催

芸大コレクション展「柴田是真 ―明治宮殿の天井画と写生帖―」

会期：2005年6月11日(土)～8月7日(日)

※「植物画世界の至宝展」をご覧のお客様は無料でご覧いただけます。

東京藝術大学大学美術館には、江戸末期から明治時代にかけて活躍した画家・蒔絵師、柴田是真の作品が所蔵されています。本展は、様々な草花を描いた明治宮殿千種之間天井間下絵112枚とそれらが実際に千種之間の天井に配置された様子、写生帖・素描帖に焦点をあてた構成となります。

巡回予定

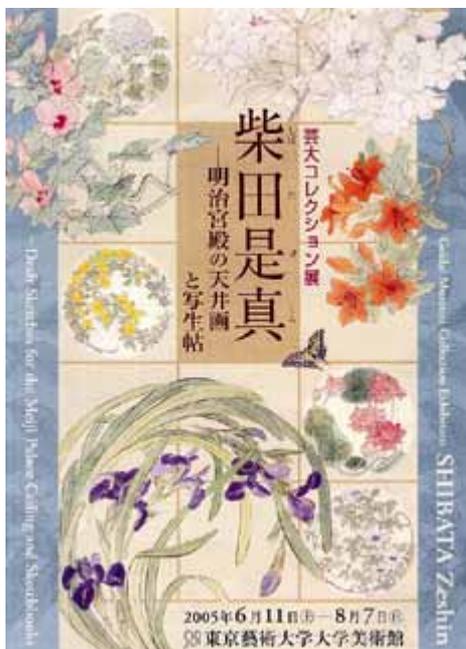
神戸市立小磯記念美術館 [7月23日(土)～9月4日(日)]

全国都市緑化ふくおかフェア [10月22日(土)～11月20日(日)]



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



芸大コレクション展

柴田是真 - 明治宮殿の天井画と写生帖

会期： 2005年6月11日(土)-8月7日(日)
月曜休館(ただし7月18日は開館、19日は休館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

【展覧会概要】

東京藝術大学大学美術館には完成された美術作品の点数よりも、教育資料として収集された下絵、写生帖などが数多く保管されています。下絵や写生といえども、歴史的にその価値が重要な資料も多く、今回の展覧会に出品する予定の柴田是真の下絵・写生帖もその貴重な資料の一群といえましょう。

柴田是真は文化4(1807)年に江戸両国に生まれ、円山四条派直系の絵師および江戸蒔絵を継承する蒔絵師として、幕末から明治前半に活躍し、初代帝室技芸員のひとりとして明治24(1891)年に世を去った、19世紀日本美術を代表する逸材のひとりです。

東京藝術大学は昭和50(1975)年に、柴田是真の遺族から、震災や戦災を越えて大切に守ってこられた柴田是真の下絵と写生帖を譲り受けました。現在は、東京藝術大学大学美術館が所蔵する柴田是真の資料は、明治宮殿千種之間天井画下絵112枚、写生帖95冊などで、是真の芸術を凝縮させたような質の高い貴重なコレクションです。とりわけ鋭い観察に基づき、流麗かつ確実な線で精緻に描かれた植物表現は、大作品におとらない芸術作品として十分に観賞に値し、さらに、現代の様々なデザインの参考資料にもなりうる魅力を持っています。

今回の展示ではこれらの下絵や写生帖とともに、昭和20年に戦火で焼失したためにモノクロ写真およびこの下絵類でしか確認できない明治宮殿の千種之間の壮麗な天井を、宮内庁の御協力のもと、写真および下絵を題材にして、見事な色彩および文様のコンピュータグラフィックスによって再現する予定です。

【主な出品作品】

明治宮殿千種之間天井画下絵(112枚のうち)

常御殿杉戸絵下絵

写生帖(95冊のうち)

主催： 東京藝術大学

観覧料： 一般300円(250円)、高校・大学生100円(50円)

中学生以下無料

()内は団体料金で、20名以上に適用

(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)

障害者とその介護者各1名は無料

「植物画世界の至宝展」(6月11日-7月18日)をご覧のお客様は無料でご覧頂けます。

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

[->プレスリリース PDF形式](#)

Geidai Museum Collection Exhibition

SHIBATA Zeshin

芸大コレクション展

柴田是貞

—明治宮殿の天井画

と写生帖

2005年6月11日(土) — 8月7日(日)
東京藝術大学大学美術館

—Draft Sketches for the Meiji Palace Ceiling and Sketchbooks

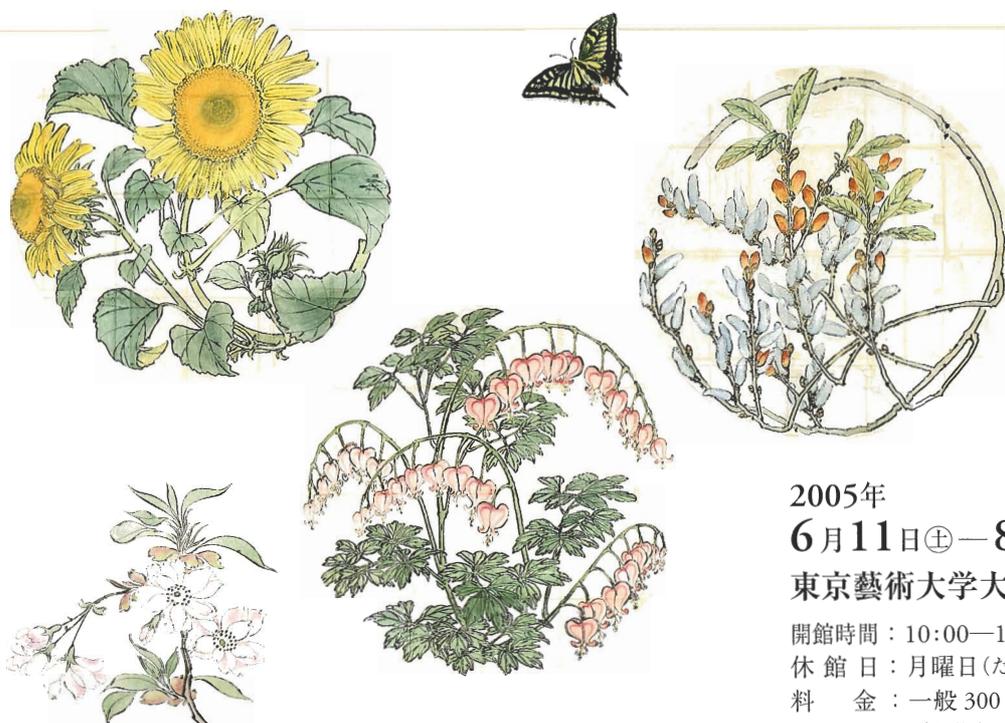


芸大コレクション展

柴田是真

明治宮殿の天井画
と写生帖

天井画下絵



2005年
6月11日(土) - 8月7日(日)

東京藝術大学大学美術館 (〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8)

開館時間：10:00—17:00 (入館は16:30まで)

休館日：月曜日(ただし7月18日は開館、19日は休館)

料金：一般 300 (250)円 大学・高校生 100 (50)円
(中学生以下は無料)

- ・()内は20名以上の団体料金(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)
- ・障害者とその介護者各1名は無料
- ・「植物画世界の至宝展」(6月11日～7月18日)をご覧のお客様は無料でご覧頂けます。

主催：東京藝術大学
問い合わせ：03-5777-8600 (ハローダイヤル)
ホームページ：<http://www.geidai.ac.jp/museum/>

【展覧会概要】

東京藝術大学大学美術館には完成された美術作品の点数よりも、教育資料として収集された下絵、写生帖などが数多く保管されています。下絵や写生といえども、歴史的にその価値が重要な資料も多く、今回の展覧会に出品される柴田是真の下絵・写生帖もその貴重な資料の一群といえましょう。

柴田是真は文化4(1807)年に江戸両国に生まれ、円山四條派直系の絵師および江戸蒔絵を継承する蒔絵師として、幕末から明治前半に活躍し、初代帝室技芸員のひとりとして明治24(1891)年に世を去った、19世紀日本美術を代表する逸材のひとりです。

東京藝術大学は昭和50(1975)年に、柴田是真の遺族から、震災や戦災を越えて大切に守ってこられた柴田是真の下絵と写生帖を譲り受けました。現在、東京藝術大学大学美術館が所蔵する柴田是真の資料は、明治宮殿千種之間天井画下絵112枚、写生帖95冊などで、是真の芸術を凝縮させたような質の高い貴重なコレクションです。とりわけ鋭い観察に基づく、流麗かつ確実な線で精緻に描かれた植物表現は、大作品におとらない芸術作品として十分に観賞に値し、さらに、現代の様々なデザインの参考資料にもなりうる魅力を持っています。

今回の展示ではこれらの下絵や写生帖とともに、昭和20(1945)年に戦火で焼失したためにモノクロ写真およびこの下絵類でしか確認できない明治宮殿の千種之間の壮麗な天井を、宮内庁の御協力のもと、写真および下絵を題材にして、見事な色彩および文様のコンピュータグラフィックスによって再現する予定です。

【主な出品作品】

明治宮殿千種之間天井画下絵(112枚のうち)

常御殿杉戸絵下絵

写生帖(95冊のうち)

桜



写生帖



動物 昆虫 魚 鳥 青果 草花



『柴田是真 下絵・写生集』

東京芸術大学大学美術館が所蔵する貴重な下絵や写生帖の中から、厳選した作品をオールカラーで収録しています。

序文／竹内順一(東京芸術大学大学美術館館長)
編著者／橋満廣子(東京芸術大学大学美術館助教授)
薩摩雅登(東京芸術大学大学美術館助教授)

体裁／B4変形 320mm×240mm 上製・ケース入・356頁
定価／18,900円(本体18,000円+税)
発行／東方出版 06-6779-9571

ISBN4-88591-935-5

好評発売中!

【交通案内】

- ・JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分。
- ・京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分。
- ・駐車場はございませんので、車のご来館はご遠慮ください。





展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



にゆうす展。

東京藝術大学 油画新人スタッフ展 2005

会期： 2005年6月21日(土)-6月28日(月)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

主催： 「にゆうす展。」実行委員会

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



Reflex

- 黄金背景テンペラ模写と現代における展開・構築 -

会期： 2005年7月5日(火)-7月22日(金)
休館日：7月11日(月)・7月19日(火)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

主催： [東京藝術大学大学院美術研究科油画技法材料研究室](#)
[東京藝術大学大学院美術研究科保存油画修復研究室](#)

観覧料： 無料

<問い合わせ>

油画技法材料研究室：03-3466-1708

ハローダイヤル：03-5777-8600

[展覧会・催し物日程](#)

[過去の記録](#)

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



東京藝術大学卒業制作作品
台東区長賞展

会期: 2005年7月29日(金)-8月9日(火)
月曜休館
午前10時~午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 陳列館2階

主催: 台東区

協力: 東京藝術大学

観覧料: 無料

<問い合わせ>

[台東区役所](#) 企画財政部 文化振興課: 03-5246-1146

ハローダイヤル: 03-5777-8600

H10
GOTO Tamio

IKA Masae
H12
YOSHIMIYA Sachiko

H14
KUMAGAI Naoto

H16
TAKAO Yukino

上野の村を巣立った若き**芸術家**たちの出発点
～東京藝術大学卒業制作作品～

平成17年**7月29日**(金)から**8月9日**(火)まで
月曜日休館 午前10時から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

会場  東京藝術大学大学美術館 陳列館2階
東京都台東区上野公園12-8

入場料 無 料

主催 台東区

協力 東京藝術大学

問い合わせ先

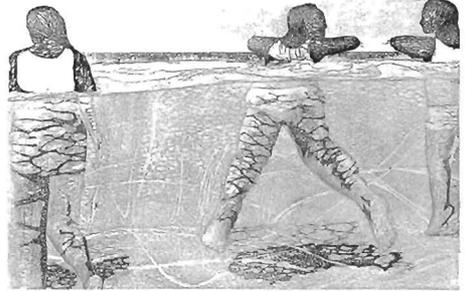
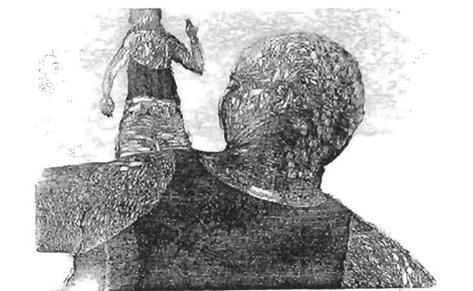
台東区役所 企画財政部 文化振興課
電話 03-5246-1146
<http://www.city.taito.tokyo.jp>

台東区長賞展

台東区では、昭和56年度から東京藝術大学生の優秀な卒業制作作品に「台東区長賞」を贈り、若い芸術家の育成に協力しています。今日までの受賞作品は、油画や日本画、木版画を合わせて、60点にのぼり、区の貴重な文化的財産となっています。

今回の「台東区長賞展」では、平成10年度から平成16年度までの受賞作品のうち、油画と木版画を展示いたします。どの作品も作者の想いが込められた、大学生活の集大成ともいえる力作ばかりです。上野の杜を巣立った若き芸術家の出発点の作品をぜひご鑑賞ください。

<p>平成10年度受賞</p> <p>『日暮里』(油画)</p> <p>後藤 民雄 GOTO Tamio</p> <p>1974年 北海道生まれ、東京芸術大学卒業後、 2001年 同大学大学院美術研究科修士課程修了 <最近の主な展覧会> 2003年 個展(銀座、高輪、函館) 2004年 第80回白日展入選 など</p>	<p>平成11年度受賞</p> <p>『装飾と人物』(油画)</p> <p>飯塚 雅恵 IIZUKA Masae</p> <p>東京芸術大学卒業後 2002年 同大学大学院美術研究科修士課程修了 <最近の主な展覧会> 2003年 個展(銀座) など</p>	<p>平成12年度受賞</p> <p>『日映』(油画)</p> <p>好宮佐知子 YOSHIMIYA Sachiko</p> <p>1977年 東京生まれ、東京芸術大学卒業後 2003年 同大学大学院美術研究科修士課程修了 現在、博士後期課程在籍中 <最近の主な展覧会> 2004年 「VOCA展・2004現代美術の展望」 (上野の森美術館) 「定点2004」(東京) など</p>
<p>平成13年度受賞</p> <p>『帰趨』(油画)</p> <p>津田やよい TSUDA Yayoi</p> <p>1976年 大阪生まれ、東京芸術大学卒業後 2004年 同大学大学院美術研究科修士課程修了 2005年 同大学大学院美術研究科研究生修了 <最近の主な展覧会> 2004年 「レスポワール展」(銀座) 「ぜんだいアートアニュアル」(仙台) 2005年 「NEW WAVE 5」(名古屋) など</p>	<p>平成14年度受賞</p> <p>『森』(油画)</p> <p>熊谷 直人 KUMAGAI Naoto</p> <p>1978年生まれ、東京芸術大学卒業後 2005年 同大学大学院美術研究科修士課程修了 現在、博士後期課程在籍中 <最近の主な展覧会> 2003年 「ARTISTS BY ARTISTS」入選出品 「シェル美術賞」入選出品 2004年 「レスポワール展」(銀座) など</p>	<p>平成15年度受賞</p> <p>『投射された絵画』(油画)</p> <p>上條 花梨 KAMIJO Karin</p> <p>1980年 東京生まれ、東京芸術大学卒業後、 現在、同大学大学院美術研究科修士課程在籍中 <最近の主な展覧会> 2004年 「上條花梨と川崎優のトゥインクルトゥ インクル」(西麻布) 2005年 「蒼穹展」「絹谷幸二研究室展」(新宿) など</p>

<p>平成16年度受賞</p> <p>『観察』／「夜」「姉妹」「SWIMMING POOL」「川遊び」「海へ」「遊園地」(6点1組・木版画)</p> <p>高尾 雪野 TAKAO Yukino</p> <p>1981年 岡山生まれ、東京芸術大学卒業後、 現在、同大学大学院美術研究科修士課程在籍中 <最近の主な展覧会> 2003年 「SKIMA THE BATHHOUSE展」(谷中) など</p>	 <p>「SWIMMING POOL」</p>	 <p>「川遊び」</p>
--	---	--

東京藝術大学の陳列館について

東京藝術大学大学美術館の本館ができるまで、芸術資料館のメイン・ギャラリーとして長く親しまれてきた展示室です。外壁に貼られた赤いスクラッチタイルには味わいがあり、1階は窓のある空間、2階はトップライトを生かした高い天井をもつ個性的な展示室になっています。陳列館は、企画展開催時のみの公開になります。

JR上野駅、東京メトロ千代田線 根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線 上野駅より15分
駐車場はありませんので、お車での来館はご注意ください。





展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



D/J Brand

ドイツに学んだアーティストの発火点

会期： 2005年9月1日(木)-9月25日(日)
月曜休館(ただし9月19日は開館、翌20日閉館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

主催： 日本におけるドイツ年 2005/2006「D/J Brand」展実行委員会

共催： 東京藝術大学美術学部

協賛： 野村国際文化財団、EU・ジャパン フェスト日本委員会、財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

後援： ドイツ連邦共和国大使館、DAAD ドイツ学術交流会

企画： 渡辺好明(東京藝術大学美術学部助教授)

観覧料： 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

[-> 公式ウェブサイト](#)

2005

9/01

THU



9/25

SUN



東京芸術大学 大学美術館

Tokyo National University of fine arts and music
The University Art Museum

「日本におけるドイツ年 2005/2006」公式プログラム

An exhibition project within the program "German year in Japan 2005/2006"

D/J Brand

デー・ジェイブランド

The burning point of the artists who studied in Germany

ドイツに学んだアーティストの発火点

□開館時間

10:00 - 17:00 [入場は 16:30 まで]

月曜日休館

[ただし 9月19日開館、翌20日閉館]

入場無料

□Museum Hours

10:00 - 17:00 [no entry after 4:30p.m.]

Closed on Mondays

[(except Sept. 19) and Sept. 20]

□Admission

entrance free



□主催：日本におけるドイツ年 2005/2006 「D/J Brand」 実行委員会

□共催：東京芸術大学美術学部

□協賛：野村国際文化財団、EU・ジャパン・フェスト日本委員会、財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

□後援：ドイツ連邦共和国大使館、DAAD ドイツ学術交流会

□企画：渡辺好明 (東京芸術大学美術学部助教授)

□Organized by: The executive committee of "D/J Brand" exhibition for German year in Japan 2005/2006

□Co-organized by: Tokyo National University of Fine Arts and Music

□Sponsored by: The Nomura Cultural Foundation, EU-Japan Fest Committee, Foundation for Cultural Heritage and Art Research

□Sponsored by: Embassy of the Federal Republic of Germany, DAAD Tokyo

□Organizer: Prof. Yoshiaki Watanabe (Tokyo National University of Fine Arts and Music)

http://www.ima.fa.geidai.ac.jp/d_jbrand/d_j_brand_top.html

「フランクフルト - 東京」(作品部分) 2005年 増山裕之
"Frankfurt-Tokyo" (detail), 2005, Hiroyuki Masuyama

D/J Brand

The burning point of the artists who studied in Germany
ドイツに学んだアーティストの発火点

デュッセルドルフ芸術アカデミー教授のヨーゼフ・ボイスは、1984年東京藝術大学での特別講演の際に、「自己決定＝創造性＝自由＝芸術」とその重要なモットーを黒板に書き残している。

それから20年がたった今、数多くのアーティストがドイツの芸術大学で研鑽を積み、そのままの地に留まり、あるいは日本にもどって活躍している状況を目にするようになってきた。世界に数多くの芸術系大学があるが、社会全体が先のボイスのモットーを実践する環境を整えている国はドイツを置いて他にない。

本展は、2005年の「日本におけるドイツ年」に際して、ドイツでその創造性を点火させた日本のアーティストたちを「D/J Brand」として一つのゆるやかなブロックの中に包み込んでみることによって、それぞれのアーティストが作り出す作品の特質を、あらためて日本とドイツという文化資本の差異から検証しようとするものである。

山本和弘 (栃木県立美術館特別学芸員)

*「D/J Brand」とは「Deutschland/Japan Brand」の略であり、「Brand」は独語で「燃焼」を意味する、と同時に、英語で「焼き印 (品質保証としての) ブランド」を意味する。

□ 特別出品 / Special exhibition

ヨゼフ・ボイス / Joseph Beuys

東山魁夷 / Kaiji Higashiyama

脇田和 / Kazu Wakita

2005 日本におけるドイツ年 2005/2006 公式プログラム

9/01 THU 9/25 SUN

東京芸術大学 大学美術館
Tokyo National University of Fine Arts and Music
The University Art Museum

□ 開館時間 / Museum Hours

10:00 - 17:00 [入場は 16:30 まで]

月曜日休館

[ただし 9月19日開館、翌20日閉館]

□ 関連イベント

映像 + ダンスパフォーマンス (上演時間約 65分)

日時: 9/1 (木) 16:30 会場 17:00 開演

会場: 東京芸術大学美術館地下2階ギャラリー

企画、演出: 田中奈緒子 + モルガン・ナルディ

振付け: モルガン・ナルディ

ビデオインスタレーション、舞台: 田中奈緒子

ダンス、動きのマテリアル: 菅田浩憲



© Naoko Tanaka

アクセス-access-

東京芸術大学 大学美術館
Tokyo National University of Fine Arts and Music,
The University Art Museum



□ 交通案内

JR 上野公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10分

京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩 15分

駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮ください。

□ お問い合わせ

東京芸術大学 大学美術館 / 東京都台東区上野公園 12-8

ハローダイヤル 03-5777-8600

<http://www.geidai.ac.jp/museum/>

0 JUN / 0 Jun

大西 博 / Hiroshu Onishi

菊池 省吾 / Shogo Kikuchi

今 義典 / Yoshinori Kon

斎藤 美奈子 / Minako Saito

坂口 寛敏 / Hirotooshi Sakaguchi

佐藤 一郎 / Ichiro Sato

紫牟田 和俊 / Kazutoshi Shimuta

高木 公史 / Koshi Takagi

田中 奈緒子 / Naoko Tanaka

戸川 英夫 / Hideo Togawa

中瀬 康志 / Koji Nakase

野村 和弘 / Kazuhiro Nomura

ビルギット・ミュラー / Birgit Mueller

藤幡 正樹 / Masaki Fujihata

古川 聖 / Kiyoshi Furukawa

増山 裕之 / Hiroyuki Masuyama

宮田 亮平 / Ryohei Miyata

宮島 葉一 / Yoichi Miyajima

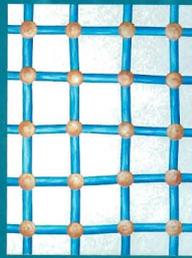
山野辺 英明 / Hideaki Yamanobe

ロベルト・ダロル / Robert Darroll

渡辺 好明 / Yoshiaki Watanabe



© Koshi Takagi



© Hideo Togawa



© Hiroyuki Masuyama



© Hideaki Yamanobe



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



Rosa!

あらわになる色 ~ ピンク

会期: 2005年9月1日(木)-9月25日(日)
月曜休館(ただし9月19日開館、翌20日閉館)
午前10時~午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 陳列館

主催: バウハウス大学ワイマール造形学部

共催: 東京藝術大学

協賛: チューリンゲン州文部省・資生堂・JAL・JENOPTIK AG・バウハウス大学ワイマール造形学部

後援: ドイツ連邦共和国大使館・DAAD・ドイツ学術交流会

観覧料: 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

[-> 公式ウェブサイト\(東京藝術大学\)](#)

[-> 公式ウェブサイト\(バウハウス大学\)](#)



「日本におけるドイツ年 2005/2006」公式プログラム
An exhibition project within the official program
"German year in Japan 2005/2006"

東京芸術大学 + バウハウス大学ワイマール国際交流プログラム
International Exchange Program
Tokyo National University of Fine Arts and Music + Bauhaus-University Weimar

2005年9月1日 | 木 | - 25日 | 日 |
September 1 - 25, 2005

東京芸術大学 陳列館
The Chinnreitsukan Gallery of
Tokyo National University of Fine Arts and Music

□開館時間
10:00 - 17:00 [入場は 16:30 まで]
月曜日休館
[ただし 9月 19日開館、翌 20日開館]
入場無料

□Museum Hours
10:00 - 17:00 [no entry after 4:30p.m.]
Closed on Mondays
[except Sept. 19 and Sept. 20]
□Admission
entrance free

die entblößte Farbe: Rosa
the Exposed Colour: Pink

ROSA

あらわになる色
〜ピンク

- 企画: パーバ・ネーミッツ (バウハウス大学ワイマール造形学部教授)
- A project by: Barbara Nemitz (Bauhaus-University Weimar)
- 主催: バウハウス大学ワイマール造形学部 □共催: 東京芸術大学美術学部
- 協賛: チューリッゲン州文部省・資生堂・JAL・JENOPTIK AG・バウハウス大学ワイマール造形学部
- 後援: ドイツ連邦共和国大使館・DAAD ドイツ学術交流会
- Organized by: Bauhaus-University Weimar □Co-organized by: Tokyo National University of Fine Arts and Music
- Sponsored by: State of Thuringia / Ministry of Culture, SHISEIDO, JAL, JENOPTIKAG, Bauhaus-University Weimar
- Supported by: Embassy of the Federal Republic of Germany, DAAD Tokyo



□Homepage: <http://www.uni-weimar.de/projekte/rosa/> http://www.ima.fgaidai.ac.jp/d_jbrand/rosa_top.html

the Exposed Colour: Pink

2005年9月1日 | 木 | - 25日 | 日 |

東京芸術大学 陳列館

The Chimirtsukan Gallery of
Tokyo National University of Fine Arts and Music

□開館時間

10:00 - 17:00 [入場は 16:30 まで]

月曜日休館

[ただし9月19日開館、翌20日閉館] [(except Sept.19) and Sept.20]

Closed on Mondays

□Museum Hours

10:00 - 17:00 (no entry after 4:30p.m.)

月曜日休館

[ただし9月19日開館、翌20日閉館] [(except Sept.19) and Sept.20]

Closed on Mondays

あらわになる色 ~ピンク

「これは「ピンク」という色の本質を描き出す展覧会だ。

色彩はわたしたちの日常生活に重要な役割を担っている。色彩の使い方や認識の仕方は進化の影響だけでなく、それぞれの文化圏のコンテクストによって決まってくる。」

「ピンク。このエモーショナルで矛盾に満ちた色はこれまでほとんど研究されることがなかった。それだけに、何百年もの歴史を持つ造形芸術の伝統にあって、この微妙な色彩をみごとに使ったエネルギッシュで独特な世界が、繰り返し生み出されて来たのである。」

「この展覧会では国際的に著名なアーティストの作品と並んで、東京芸術大学とバウハウス・ワイマール大学の才能溢れる若い学生の実験的な作品も、様々なメディアを用いて展示される。」

Barbara Nemitz, "the Exposed Colour: Pink", 2005 より抜粋

"The exhibition is about the representation of the nature of the colour pink.

Colours play an important role in our daily life. Besides evolutionary influences, the use and perception of colour is determined by the context of each cultural sphere..."

"As yet, there has been little research into pink, the colour with such emotional, contradictory factors. But during the centuries of fine art tradition there have been many powerful, outstanding works - including current productions - which have drawn attention to this colour in a notable way."

"The exhibition includes works of art in various media by international artists, as well as experimental contributions from young emerging talents of the Tokyo National University of Fine Arts and Music, Tokyo Geijutsu Daigaku and the Bauhaus-University Weimar, Germany." talents of the Tokyo National University of Fine Arts and Music, Tokyo Geijutsu Daigaku and the Bauhaus-University Weimar, Germany."

Barbara Nemitz, "the Exposed Colour: Pink", 2005

□Barbara Nemitz (Artist and professor of fine arts at the Bauhaus-University Weimar)

Her oeuvre includes interdisciplinary artistic works using different media and strategies. Besides comprehensive work groups in the field of painting, it also encompasses staged scenarios with musical elements, lectures, exhibitions and works in public space.

Her works have been shown at museums, galleries and festivals world-wide, including in Berlin, London, Los Angeles, New York, Rome, Peking and Tokyo.

□美術学部特別講演会

カール・シャペルカ教授 (バウハウス大学ワイマール造形学部 学部長)

「ピンク色における生物学的要素」

会場：美術学部中央棟 1階大会議室

日時：8月31日(水) 18:30 - 20:00

□Special Lecture

Prof. Dr. Karl Schawelka (Bauhaus-University Weimar)

Titel: "Biologisches zur Farbe Rosa"

Place : Conference Room, 1st Floor of the Central Building of the Faculty of Arts

Date/ Time : August 31 / from 18:30 to 20:00

同時開催

2005 日本に広がるドイツ年 2005/2006 公定プログラム

9/01 THU 9/25 SUN

D/J Brand

The burning point of the artists who studied in Germany

ドイツに学んだアーティストの発火点

東京芸術大学 大学美術館

□A12	□Makoto AIDA	□Liz BACHHUBER	□David CERNY	□Linda DENNIS	□Regula DETTWILER	□Kensaku FUKAZAWA	□Paul Armand GETTE	□Christiane HAASE	□Masahiro HASUNUMA	□Annika von HAUSSWOLFF	□Tamami HITSUDA	□Grit HOEHN, Walther-Maria SCHEID, Toralf KANDERA	□Stephanie HOTZ	□Rie ISHII	□Emiko KASAHARA	□Friederike LORENZ	□Cassandra MEHLHORN	□Miho MICHIKURA	□Yu MIKAJIRI	□Max MOHR	□Haruna NAKAYAMA	□Barbara NEMITZ	□Enrico NIEMANN	□Minako NISHIYAMA	□Adoka NIITSU	□Kazue OKADA	□Susanne PAESLER	□David ROBBINS	□Frida Bell ROTH	□Zhang JingRu	□Kiyomi SATOH	□Asae SOYA	□Katrín SCHAFER	□Theresa SCHUBERT	□Danny SCHULZ	□Reiko SHITARA	□Shiriji SODA	□Maki TOSHIMA	□Takafumi TSUCHIYA	□Mako WATANABE	□Mai YAMASHITA	□Naoto KOBAYASHI
------	--------------	----------------	--------------	---------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------------	--------------------	------------------------	-----------------	---	-----------------	------------	-----------------	--------------------	---------------------	-----------------	--------------	-----------	------------------	-----------------	-----------------	-------------------	---------------	--------------	------------------	----------------	------------------	---------------	---------------	------------	-----------------	-------------------	---------------	----------------	---------------	---------------	--------------------	----------------	----------------	------------------

東京芸術大学 陳列館

The Chimirtsukan Gallery of
Tokyo National University of Fine Arts and Music

アクセス -access-

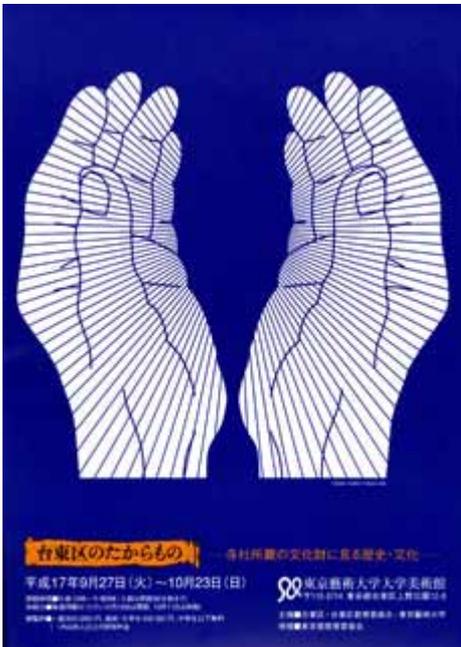
□お問い合わせ
東京芸術大学美術館
東京都台東区上野公園1-3
ハロー・ダイヤル
03-5777-8600
http://www.getidai.ac.jp/museum/

□交通案内
JR上野公園口、東京メトロ千代田線湯島より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分
駐車場はございませんので、車でご来館はご遠慮ください。



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



台東区のとからもの

寺社所蔵の文化財に見る歴史・文化

会期： 2005年9月27日(火)-10月23日(日)
月曜休館(ただし10月10日は開館、10月11日は休館)
午前10時~午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

主催： 台東区・台東区教育委員会・東京藝術大学

後援： 東京都教育委員会

観覧料： 一般300円(250円)、高校・大学生100円(50円)
中学生以下無料
()内は20人以上の団体料金

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

[-> 台東区による展覧会情報](#)



DESIGN : SHIGEO FUKUDA 2005

台東区のとからもの

— 寺社所蔵の文化財に見る歴史・文化 —

平成17年9月27日(火)～10月23日(日)

開館時間■午前10時～午後5時(入館は閉館30分前まで)

休館日■毎週月曜日(ただし10月10日は開館、10月11日は休館)

観覧料■一般300(250)円、高校・大学生100(50)円、中学生以下無料
()内は20人以上の団体料金

 東京藝術大学大学美術館
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

主催■台東区・台東区教育委員会・東京藝術大学
後援■東京都教育委員会

台東区のたからもの

— 寺社所蔵の文化財に見る歴史・文化 —

台東区には、340あまりの寺院、44もの神社が存在します。この数は東京23区の中では群を抜いて多く、台東区独自の町並みを形成しています。そしてこれら寺院、神社には彫刻、絵画、歴史資料、石造物など多くの文化財がよく残され、歴史と文化の深さを伝えていきます。

台東区は昭和62年7月に文化財保護条例を施行し、これらの文化財を調査して保護・活用に努めています。「台東区のたからもの」展は、これらの台東区の文化財を中心に、4つのテーマにわけて展示します。台東区の歴史と文化の深さ、そして身近に存在する文化財を過去から現在まで伝えた先人の思い、そしてこれから未来へと伝えていく私たちの役割について改めて考えて頂きたいと思えます。通常は非公開の文化財がほとんどですので、この機会にぜひご覧ください。

「台東区のたからもの」展 4つのテーマ

- 〈草創・縁起〉 縁起や遺物に見る寺社の由来・歴史
- 〈民衆〉 人々の素朴な祈りや願い、神仏への信仰
- 〈武家・文人・絵師〉 江戸文化を担う武士や文人と寺社との関わり
- 〈神仏・宗祖〉 仏像、画像に見る人々の神仏への帰依、崇敬の念

「百万塔」 奈良時代
(書道博物館)



「絹本墨画着色髑髏図」伊藤若冲
(谷中 臨江寺)



「浅草寺縁起」狩野氏信 寛文2(1662)
(浅草 浅草寺)



「紙本着色権寺縁起絵巻」石川雅望・栗原信充 文政4(1821)
(蔵前 権寺)



[文化財講座] お話と展示品の鑑賞

- ① 台東区の仏像 水野敬三郎 (新潟県立近代美術館館長)
10月1日(土) 午後1時-3時
- ② 下谷・浅草の近世絵画 河合正朝 (慶應義塾大学教授)
10月8日(土) 午後1時-3時

会場=東京藝術大学 美術学部 講義室 I

定員=①、②とも100人 ※無料

申込方法=往復はがきに、氏名(1枚につき2名様まで)、住所(返信にも)、電話番号、希望日をご記入の上、9月20日までに下記の宛先にお申込みください。(1枚につき1講座)

宛先=〒111-8621 東京都台東区西浅草3-25-16

台東区生涯学習センター 文化事業スポーツ課文化財担当

■お問い合わせ 03-5246-5852

[文化財記録ビデオ]

展示室に文化財記録ビデオ上映コーナーがあります。(谷中の富突 他)

東京藝術大学大学美術館
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

■交通案内

JR上野公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分。
京成線上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分。

※駐車場はございませんので、車での御来館はご遠慮ください。

■お問い合わせ ハローダイヤル03-5777-8600

■ホームページ <http://www.geidai.ac.jp/museum>

会期中、台東区役所前から大学美術館行の無料バスを運行します。



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



退任記念
堀越保二展

会期： 2005年10月6日(木)-23日(日)
月曜休館(ただし10月10日は開館、10月12日は休館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 3階

主催： 東京藝術大学

観覧料： 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600





退任記念

堀越 保二展

H O R I K O S H I , Y a s u j i

2005年

10月6日^木 - 10月23日^日

【開館時間】 10:00-17:00 (入場は16:30まで)

【休館日】 月曜日 但し、10/10 (月・祝)は開館、10/11 (火)は休館

【主 催】 東京藝術大学

入場無料

 東京藝術大学大学美術館

東京都台東区上野公園12-8 【お問合せ】 ハローダイヤル 03-5777-8600



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



退任記念
手塚登久夫展

会期： 2005年10月6日(木)-23日(日)
月曜休館(ただし10月10日は開館、10月11日は休館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 3階

主催： 東京藝術大学

観覧料： 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600

同時開催：「石の思考」 手塚登久夫と芸大石彫 東京藝術大学美術館 陳列館



退任記念 ■ 手塚登久夫展

2005年10月6日(土) - 23日(日)

東京藝術大学大学美術館 ■ 3階

開館時間 ■ 午前10時~午後5時 (入館は閉館30分前まで)

休館日 ■ 毎週月曜日(ただし10月10日は開館、10月11日は休館)

お問い合わせ ■ ハローダイヤル03-5777-8600

同時開催・『石の思考』手塚登久夫と芸大石彫 東京藝術大学美術館陳列館



トルソ 1964



月夜 1978



鳥寄せ 1984

T O K U O T E Z U K A



森に帰える日 1998

石を彫る
鑿の一振り一振りから形を彫り出す、
悠久の創造。
寡黙で静かで強靱な意志。
何億回も繰り返された槌の音、石の音。
利便性の先行する現代、
太古から変わらず
腕一本で彫りだした彫刻。
瞑想の彫刻、
手塚登久夫退任展



梟の森 2001



梟の森 2002



梟家族 2003



梟の森 2004

東京藝術大学大学美術館

- 〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>
- お問い合わせ
NTTハローダイヤル 03-5777-8600
- 交通案内
JR[上野駅公園口]・JR[鶯谷駅]下車徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 [上野駅]下車徒歩15分
東京メトロ千代田線 [根津駅]下車徒歩10分
京成電鉄[京成上野駅]下車徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。



手塚登久夫 TOKUO TEZUKA

- 1938 栃木県今市市に生まれる
- 1959 東京藝術大学美術学部彫刻科入学
- 1963 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業
- 1965 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1984-85 文部省在外研修員として米国ロード・アイランド・スクール・オブデザイン (R.I.S.D.) およびメキシコに研修

個展

- 1978 ギャラリーせいほう(銀座) '81 '83 '85 '89 '94
- 1985 RISD美術館(米国)
- 1989 高島屋(東京、日本橋)
- 1994 藤崎百貨店(仙台)、倉吉博物館(倉吉市)倉吉緑の彫刻賞受賞記念展

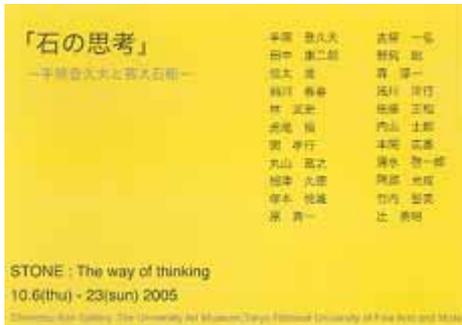
グループ展

- 1961 二科展初出品 2002年まで出品 2003年退会
- 1986 第6回八王子彫刻シンポジウム招待参加
- 1991 第1回石ヶ関彫刻シンポジウム招待参加



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



「石の思考」
手塚登久夫と芸大石彫

会期： 2005年10月6日(木)-23日(日)
月曜休館(ただし10月10日は開館、10月11日は休館)
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

今年度をもって、彫刻科ならびに石彫研究室の中心教員として後進の指導にあたられてきた手塚登久夫先生が定年退任されます。そこで私たちは本学大学美術館にて開催される退任記念展に合わせて、手塚先生の教えを受け、且つ石彫を続けている卒業生による展覧会を陳列館にて企画しました。しかし、卒業生全てとなると会場、展覧会構成からして無理があります。残念ではありますが、本展覧会の参加作家を先生の在任中に指導を受けた後、彫刻科ならびに取手石材工房で講師、助手として関わった卒業生に限定したことをご理解いただきたい。

本展覧会は、これまでの芸大石彫4半世紀の一端を通覧する目的ではなく、手塚先生の退任記念を機会に、現代における石彫の魅力をもつて22名の彫刻家が、個々の石の思考をもって展覧するものであります。

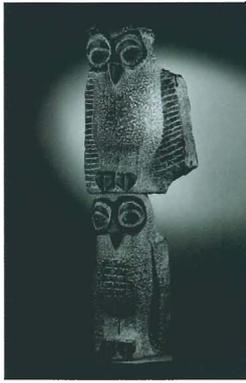
東京藝術大学彫刻科助教授 林武史

- 出品作家：
 手塚登久夫
 田中康二郎
 信太進
 前川義春
 林武史
 虎尾裕
 関孝行
 丸山富之
 相澤久徳
 塚本悦雄
 原真一
 古屋一弘
 野尻聡
 森淳一
 浅川洋行
 佐藤正和
 内山士郎
 本間広基
 清水啓一郎
 阿部光成
 竹内智美
 辻英明

観覧料： 無料

<問い合わせ>

東京藝術大学美術学部彫刻科研究室: 03-5685-7578



梟(Ⅱ)'96
1996年/黒御影石

手塚 登久夫 TEZUKA Tokuo

- 1938 栃木県今市市生まれ
- 1965 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1961 二科展初出品 以後2001まで出品
- 1978 ギャラリーせいほう(銀座) 81、83、85、89、97
- 1993 第7回神戸具象彫刻大賞展 優秀賞
- 1994 倉吉緑の彫刻賞受賞
- 1999 長野市野外彫刻賞



Ohne Titel '04 - '05 konjunktion
2005年/黒御影石、銅

田中 康二郎 TANAKA Kojiro

- 1953 福岡県久留米市生まれ
- 1983-86 シュツットガルト国立美術学校「独」ユルゲン・プロトヴォルフ教授教室
- 1982 第2回現代九州彫刻展大賞受賞 作品「環」(福岡)
- 1984 「Junge Kunst in der alter stadt」展(独)
「Des Ecoles d'Art en Europe」展(仏)
- 1986 個展 ギャラリー「Fossati」(スイス) 1988 八王子彫刻シンポジウム(東京)
- 1989 個展 みゆき画廊(東京) 91、93、95、97、99、01、03
- 1992 第3回現代彫刻ピエンナーレシンポジウム草津静可山展(群馬)
- 2002 Dialegs Barcelona-Toquio東京-バルセロナ現代美術展2002(西)



4つの石と10のかくれた形
2005年/黒御影石

信太 進 SHIDA Susumu

- 1954 秋田県生まれ
- 1981 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1991 信太進彫刻展(横瀬画廊、ひたちなか市) 92、94、95
信太進展(ギャラリー16、京都市)
- 1992 ダイアローグ1992展(茨城県立県民文化センター)
- 1994 信太進彫刻展(杏屋、会津若松市)
- 1996 バイアニュアル・ディアロゴス1996(水戸芸術館、水戸市)
- 2003 日立の美術-歴史と現状(日立市郷土博物館、日立市)



パージナー墓地の水汲み場
1991年/安山岩

前川 義春 MAEKAWA Yoshiharu

- 1955 福井県生まれ
- 1991 ミュンヘン造形芸術大学彫刻専攻修了
- 1986~ ブルキナファソ国際石彫シンポジウム(西アフリカ)をはじめ、
ドイツ、オーストリア、ハンガリー、スロバキア、イタリア、ポーランド、
フィンランドの彫刻シンポジウムに参加
- 1995~ 「都市の成熟と芸術の役割-歴史的建造物と芸術の共振」展
'95、'97、'98(広島市)
- 2004 「インターディペンデンス-Cのかたち-」展(長崎県南有馬町)

Photo: Yukara Shimizu



「三つの泉」
2005年／御影石

林 武史 HAYASHI Takeshi

- 1956 岐阜県生まれ
1982 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1999-00 「30周年記念展－森に生きるかたち」彫刻の森美術館(神奈川)
2000 「第3回光州ビエンナーレ」光州市立美術館(韓国)
2002-03 「みちのくアートフェスティバル2002高山登×林武史」(宮城)
2003 「彫刻の身体」東京藝術大学大学美術館陳列館(東京)
2004 「表現から表現へ 小清水漸+林武史」ヨコハマポートサイドギャラリー
2005 「第1回出雲・玉造アートフェスティバル」(島根)



林床Ⅱ-a
2005年／安山岩

虎尾 裕 TORAO Yutaka

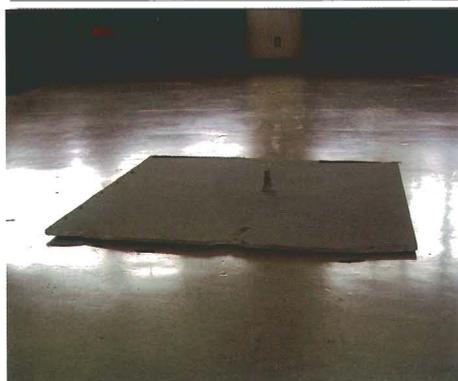
- 1958 東京都生まれ
1984 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1986 個展 ときわ画廊(東京) 89、91、94、97
1995 第11回国際彫刻家シンポジウム(チェコ共和国)
1998 個展 ヒノギャラリー(東京) 01、03、
2000 アートみやぎ(宮城県美術館)
2002 個展 (Galerie de Beerenburgh, オランダ)
東日本一彫刻(東京ステーションギャラリー)



僕のビーナス
2005年／御影石

関 孝行 SEKI Takayuki

- 1958 東京都生まれ
1984 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1984 個展 ときわ画廊(東京) 86、
1987 個展 みゆき画廊(東京)
1998 個展 ギャラリーなつか(東京) 00、03、05、
2001 グループ展 今市市まるごと博物館企画展(栃木県今市市)
グループ展 石彫ファイブ ギャラリー和田(東京) 02、03、04、05、



作品「05-90」
2005年／砂岩

丸山 富之 MARUYAMA Tomiyuki

- 1956 長野県生まれ
1986 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1986-04 ときわ画廊(東京)、ギャラリーなつか(東京)、なびす画廊(東京)、
ヒノギャラリー(東京) 等で個展
2002 「かたちの所以」佐倉市立美術館(千葉)
2003 「雨引の里と彫刻」(茨城県大和村)
「表象都市・広島」旧日本銀行広島支店(広島)
2005 Saraylar彫刻シンポジウム(トルコ)



時の舟
2005年／黒御影石、大理石

相澤 久徳 AIZAWA Hisanori

- 1959 神奈川県横浜市生まれ
- 1987 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1987 第43回横浜市ハマ展協会大賞、横浜市長賞
- 1990 個展 ときわ画廊(東京)5回 '94年 ギャラリーなつか(東京)6回
- 1997 第33回神奈川県美術展 準大賞
- 2001 グループ展「石彫5」 ギャラリー和田(東京)5回
- 2002 個展 ギャラリー深志(松本)2回 '04 ギャラリー澄光(東京)
- 2003 立体七人展 ギャラリー52(東京)



徒歩
2004年／大理石

Photo: Ellen Tanaka

塚本 悦雄 TSUKAMOTO Etsuo

- 1962 熊本県生まれ
- 1989 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1988 個展 ギャラリーK(東京)
- 1989 個展 ときわ画廊(東京)
- 2000 個展 ギャラリー山口(東京)
- 2002 個展 ギャラリー北村(東京)
- グループ展 杉並木公園ギャラリー(栃木県今市市)
- 2003 グループ展 盛岡クリスタル画廊(岩手)



White
2002年／大理石

原 真一 HARA Shinichi

- 1964 茨城県生まれ
- 1989 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1996 横浜ガレリアペリーニの丘ギャラリー(神奈川)
- 1999 キリンアートアワード1999/2000
(キリンビール新川本社・東京/キリンプラザ大阪・大阪)
- 2002 GEISAI-1/-2(東京タワー/東京ビッグサイト・東京)
- 2003 GEISAI-3(パシフィコ横浜・神奈川)
- 2005 GEISAI-7メダリスト展(東京ビッグサイト・東京)

古屋 一弘 FURUYA Kazuhiro



Button
2005年／大理石

- 1959 東京都生まれ
- 1993 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1993 ときわ画廊(東京)
- 1994 ギャラリーNWハウス(東京)
- 1996 「To imagine of a person」横浜ガレリアペリーニの丘ギャラリー(神奈川)
- 1997 「Japan Eye Exhibition」シネマテーク(エルサレム、イスラエル)
- 2000 「樂園」藤屋画廊(東京)
- 「河」ギャラリーなつか(東京)



Photo : Koichi Hayakawa

「風成柱 (Air born pillar)」 参考作品
2001年/安山岩

野尻 聡 NOJIRI Satoshi

- 1959 東京都国分寺生まれ
- 1994 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 2003 個展 ギャラリー深志(松本)
日本・トルコ現代美術交流展「インタラクション」(京都 東京)
個展 ギャラリーなつか(東京)
- 2004 ハーベスト展. ギャラリー深志(松本)
- 2005 ハーベスト展. ギャラリー深志(松本)



Photo : Keizo Kikoku

SPin-2
2004年/大理石 参考作品

森 淳一 MORI Junichi

- 1965 長崎県生まれ
- 1996 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1998 ギャラリー山口(東京)
- 1999 '拡張する美術'99' 茨城県つくば美術館(茨城)
- 2004 'Foolish' SPACE FORCE(東京)
'interdependence'(長崎)
'ポーラ新鋭展' ポーラミュージアム アネックス(東京)
- 2005 'shade' エキジビジョン・スペース(東京)



反射望遠鏡
2005年/黒御影石

浅川 洋行 ASAKAWA Hiroyuki

- 1969 神奈川県横浜市生まれ
- 1997 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1996 ギャラリー山口(京橋)
- 1998 ギャラリー山口(京橋)
- 2000 ギャラリーイセヨシ(銀座)
- 2003 日本トルコ国際彫刻交流展(新宿、京都)
イスタンブール国際大理石シンポジウム参加(イスタンブール)
クズゲンジュック彫刻ワークショップ参加(イスタンブール)



「蛹の時」
2004年/ゴールデンマール、安山岩

佐藤 正和 SATO Masakazu

- 1973 北海道函館市生まれ
- 1998 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1999 アートヒル三好ヶ丘'99彫刻フェスタ グランプリ受賞
- 2001 栃木県今市市 杉並木公園に「オオクワガタ」設置
- 2002 個展 甲虫彫刻展 ギャラリー青羅(銀座)
- 2003 さくら彫刻コンペティション2003 大賞受賞
- 2004 東京都多摩動物公園 昆虫生態園に4体の彫刻を設置
- 2005 佐藤正和展 - 古代甲虫文明 - 横浜高島屋7階美術画廊



霧の刻
2005年／黒御影石

内山 士郎 UCHIYAMA Shiro

- 1972 埼玉県生まれ
- 2000 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 2000 那須野が原国際彫刻シンポジウム(栃木県)
二人展『脈』 日比谷公園内第一陳列場(東京)
- 2002 まちまるごと推進事業企画展 杉並木公園(栃木県今市市)
- 2003 個展 日比谷公園内第一陳列場(東京)



「無為」
2005年／自然石

本間 広基 HONMA Hiroki

- 1974 埼玉県生まれ
- 2001 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了



ケーロインの羽翼
2005年／大理石

清水 啓一郎 SHIMIZU Keiichiro

- 1975 愛知県常滑市生まれ
- 2001 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 2002 インターナショナル彫刻シンポジウム(イタリア)
個展 フタバ画廊(東京)
- 2003 個展 リベストギャラリー創(東京)
第9回うしく現代美術展(茨城)
- 2004 個展 Takashi Saito Gallery(茨城)
個展 リベストギャラリー創(東京)



岳並
2005年／黒御影石

阿部 光成 ABE Mitsunari

- 1976 東京都生まれ
- 2004 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1999 Wtokyo展(多摩美術大学 八王子)



RockStar
2005年／御影石

竹内 智美 TAKEUCHI Tomomi

1977 愛知県生まれ
2004 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
2004 SPRING BOARD展 (Break Station Gallery・東京)



both
2005年／白御影石

辻 英明 TSUJI Hideaki

1975 神奈川県横浜市生まれ
2005 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

「石の思考」展について

道具の進歩により幾分か楽になったが、彫刻家にとって石は重く、硬い難儀な素材である。そしてモニュメントを想起させる。石彫を志す者はそれらを理解した上で、自らの表現を石と身体とで感じながら探さなければならない。しかし、これこそが石への興味であり、石への造形意欲の起因である。私が現代の多様な表現の中からこうした石彫を選択したのは、はるかなる記憶を呼び覚ます、精神と物質の出会いの力を体現したいからである。

今年度をもって、彫刻科ならびに石彫研究室の中心教員として後進の指導にあたられてきた手塚登久夫先生が定年退任される。そこで私たちは本学大学美術館にて開催される退任記念展に合わせて、手塚先生の教えを受け、且つ石彫を続けている卒業生による展覧会を陳列館にて企画した。しかし、卒業生全となると会場、展覧会構成からして無理がある。残念ではあるが、本展覧会の参加作家を先生の在任中に指導を受けた後、彫刻科ならびに取手石材工房で講師、助手として関わった卒業生に限定したことをご理解いただきたい。

本展覧会は、これまでの芸大石彫4半世紀の一端を通覧する目的ではなく、手塚先生の退任記念を機会に、現代における石彫の魅力をもつて22名の彫刻家が、個々の石の思考をもって展覧するものである。

東京藝術大学彫刻科助教授 林 武史

「石の思考」—手塚登久夫と芸大石彫— Stone : The way of thinking

会期 2005年10月6日(木)～10月23日(日)
会場 東京藝術大学大学美術館陳列館
主催 東京藝術大学美術学部彫刻科／東京藝術大学大学美術館／「石の思考」展実行委員会
印刷 アート印刷株式会社
発行 「石の思考」展実行委員会 2005年10月6日



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



東京藝術大学
日本画第一研究室発表展

会期： 2005年10月26日(水)-10月30日(日)
会期中無休
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで/金曜日は19:00まで夜間開館)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館 + 正木記念館

主催： 東京藝術大学大学院美術研究科日本画第一研究室

助成： 財団法人 野村国際文化財団

協力： 台東区東上野 石井三太夫表具店

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

メール: 1kenten@mail.goo.ne.jp

正木記念館

陳列館

東京藝術大学
日本画
第一研究室
発表展

Tokyo University of Fine Arts Japanese Painting Exhibition

2005 10/26 (水) - 10/30 (日)

9:00 - 17:00

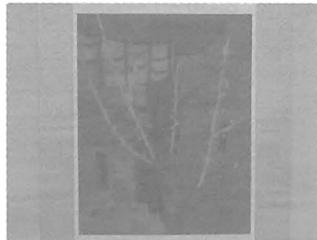
 東京藝術大学大学美術館陳列館+正木記念館
THE UNIVERSITY ART MUSEUM
TOKYO NATIONAL UNIVERSITY OF FINE ARTS AND MUSIC

- 主催/東京藝術大学大学院美術研究科日本画第一研究室 ■助成/財団法人  野村国際文化財団
- 協力/台東区東上野 石井三太夫表具店 ■お問い合わせ/ハローダイヤル:03-5777-8600 /mail:1kenten@mail.goo.ne.jp
- 開館時間/9:00-17:00 (最終入場は閉館30分前まで/金曜日は19:00まで夜間開館) 会期中無休・入場無料
- 住所/東京藝術大学大学美術館陳列館+正木記念館2階 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

正木記念館 2階



今村 雅弘
「soil」



海老 洋
「梅」



大島 真由美
「けしき」 180×720 cm



大沢 拓也
「CELLULAR」

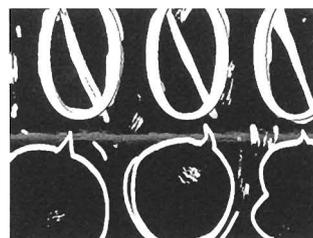
陳列館



斉藤 典彦
「in her hills」 130.3×388.0 cm



宮 いつき
「ヴォカリーズ2」 170×220 cm



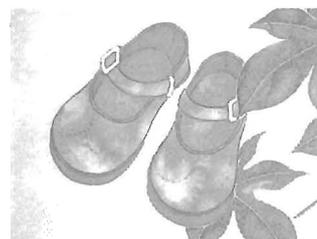
和田 雄一
「zero hour」



金子 朋樹 248.0×540.0cm
「帰りの指標」・満足のいく戦いはできたか・



喜多 祥泰
「記憶の森」 276×370 cm ×2枚



アダム ブロス
「7th heaven cloud nine」部分 175×267.5cm



荒木 亨子
「明るい部屋」 200×200 cm



笹川 香織
「かげろうと水時計」 227.3×90.9 cm ×4枚



萬代 恵子
「連袴」 163×320 cm



藤木 奈緒
「SHELTER」 330×259 cm



小川 麗
「アメノチハレ」 35×180cm ×7piece



關根 冬敏
「nero」 162×324 cm



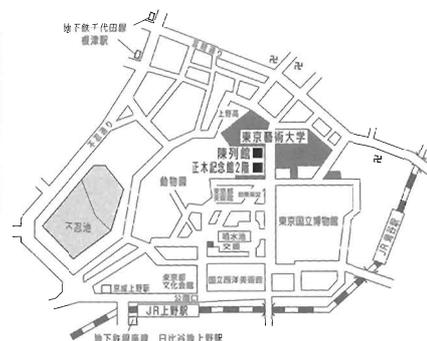
中村 恭子
「裏返された身体としての植物の考察」複数



野村 朋香
「link:p」 364×117 cm



満尾 洋之
「瞬く」 125.3×319.1 cm



本展は平成13年度に制作発表演習の一環として始まり、学生によって企画運営されています。

2005 10/26(水) - 10/30(日) 9:00 - 17:00

[最終入場は閉館30分前まで/金曜日は19:00まで夜間開館] 会期中無休 入場無料

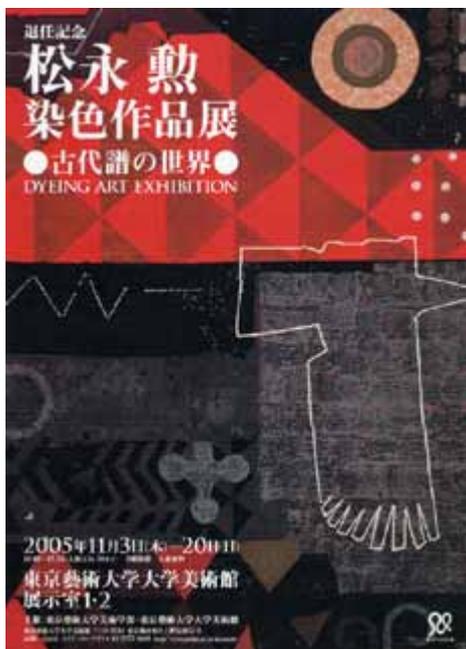
東京藝術大学大学美術館 陳列館 + 正木記念館
THE UNIVERSITY ART MUSEUM
TOKYO NATIONAL UNIVERSITY OF FINE ARTS AND MUSIC

- 交通案内
JR上野駅公園口、鶯谷駅より徒歩10分
京成上野駅より徒歩15分
地下鉄銀座線、日比谷線上野駅より徒歩15分
地下鉄千代田線根津駅より徒歩10分
- 会場案内
展示会場は2会場、東京芸術大学大学美術館
陳列館と正木記念館2階で展示しております。
- お問い合わせ
NTT東日本ハローダイヤル：03-5777-8600
mail: I Kenten@mail.goo.ne.jp



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



退任記念
松永勲 染色作品展 古代譜の世界

会期: 2005年11月3日(木)-20日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 B2F

松永勲は、1963年東京藝術大学美術学部工芸科図案専攻を卒業、その後、京都の工房で染色を学び、1965年染色講座の設立に携わりました。1967年染色講座が正式に発足し、以来現在まで永きにわたって情熱を持って後進の指導にあたり、来春3月定年を迎えることになりました。このたびの退任記念展は、制作の発表の場とされていた日展、現代工芸美術展の初期から近作までの作品を中心に、個展出品作その他を含め、型染めによる作品約75点を展観します。

主催: 東京藝術大学美術学部、東京藝術大学大学美術館

観覧料: 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

ギャラリートークのご案内
11月17日(木)14:00～ 展示室内にて松永勲自身によるギャラリートーク「私の制作について」

退任記念

松永 勲 染色作品展

●古代譜の世界●
DYEING ART EXHIBITION

2005年11月3日(木)—20日(日)

10:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜休館 入場無料

東京藝術大学大学美術館
展示室1・2

主催:東京藝術大学美術学部・東京藝術大学大学美術館

東京藝術大学大学美術館 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

お問い合わせ:NTTハローダイヤル 03-5777-8600 <http://www.geidai.ac.jp/museum/>



GEIDAI MUSEUM

退任記念
松永 勲
染色作品展
 ●古代譜の世界●
 DYEING ART EXHIBITION

このたび、東京藝術大学美術学部工芸科染織研究室・松永 勲教授の退任にあたり、松永 勲 染色作品展—古代譜の世界—を開催する運びとなりました。

松永 勲先生は、1963年東京藝術大学美術学部工芸科図案計画専攻を卒業、その後、京都の工房で染色を学び、1965年 染織講座の設立の一員として大学へ戻られました。

1967年 染織講座が正式に発足し、以来 現在までの永きにわたって先生は情熱をもって後進の指導にあたってこられました。来春3月、停年を迎えることとなりました。

このたびの退任記念展は、制作の発表の場とされていた日展、現代工芸美術展の初期から近作までの作品を中心に、個展出品作その他を含め、型染めによる作品約75点を展覧いたします。

ぜひ、ご来館ご高覧賜りますよう、ご案内申し上げます。

2005年10月
 東京藝術大学美術学部
 東京藝術大学大学美術館

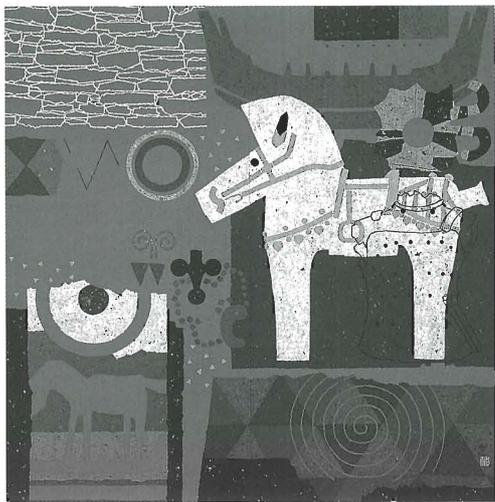


松永 勲 Isao Matsunaga

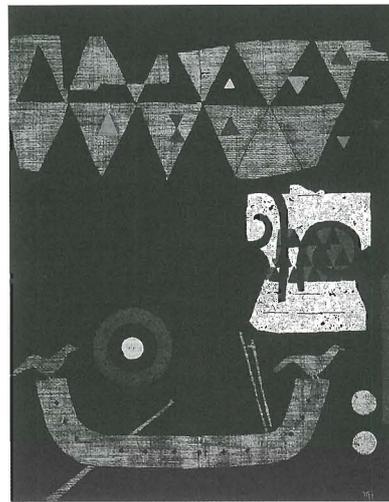
—ギャラリートークのご案内—

11月17日(木) 14:00~
 大学美術館展示会場にて

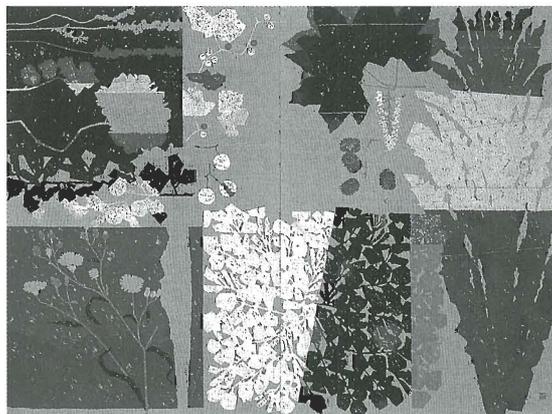
松永 勲
 私の制作について



はにわの馬 2000



遺跡 1980



植物譜 1991



古代の形象'02 2002



古代譜 92-1 1992

東京藝術大学大学美術館

- 〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>
- お問い合わせ
NTTハローダイヤル 03-5777-8600
- 交通案内
JR[上野駅公園口]・JR[鶯谷駅] 下車徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 [上野駅] 下車徒歩15分
東京メトロ千代田線 [根津駅] 下車徒歩10分
京成電鉄[京成上野駅] 下車徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。





展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



退任記念
戸津圭之介の軌跡展

会期： 2005年11月3日(木)-20日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

2005年度末をもって東京藝術大学を退任する戸津圭之介の記念展を開催いたします。本展覧会は戸津圭之介が在任中に制作し発表した多くの作品の中から厳選した60数点を展覧し、同時に携わった鑄金の文化財に関する調査と修復の報告書や著書の一部も公開いたします。また鑄金工房においては制作実演も企画し、本学ならではの催しとなります。

主催： 東京藝術大学

協力： 木下株式会社、コクヨ株式会社

観覧料： 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

公開制作のご案内
12日(土)、13日(日)、15日(火)、16日(水)、17日(木) 13:30～17:00
東京藝術大学美術学部内総合工房棟B・C棟1階 鑄金研究室 工房にて

退任記念

録る

戸津圭之介の軌跡展

Follow the tracks of KEINOSUKE TOTSU

2005年

11月3日(木)―20日(日)

東京藝術大学大学美術館 陳列館

10:00―17:00(入館は16:30まで)

月曜休館 入場無料

主催：東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館

協力：木下株式会社 コクヨ株式会社

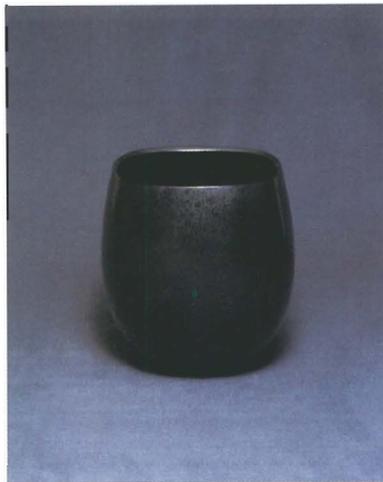
お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600

<http://www.geidai.ac.jp/museum>

題字：関山 中尊寺前貫主 多田厚隆 書



1



2



3

退任記念

戸津圭之介の軌跡展

2005年度末をもって東京藝術大学を退任する戸津圭之介教授の記念展を開催いたします。

本展覧会は戸津圭之介教授が在任中に制作し発表した多くの作品の中から厳選した60数点を展覧し、同時に携わった鑄金の文化財に関する調査と修復の報告書や著書の一部も公開いたします。また、鑄金工房に於いては制作実演も企画し、本学ならではの催しとなりますので、是非ご高覧いただきたくご案内申し上げます。



4



5



6



1. 鑄銅花器「青の譜」 2000 / 白銅
2. 臘銀花器「みのもと」 1997 / 臘銀
3. 蠟型格子文花器 2004 / ブロンズ
4. 鑄銅花器「炎の風景」 1991 / ブロンズ
5. 金彩佐波理盤 1983 / 佐波理
6. かばの親子 1979 / ブロンズ

公開制作

「蠟型廻転体」による原型から鑄型までの制作工程をご覧ください。

- 東京藝術大学美術学部内総合工房棟 B・C棟1階
鑄金研究室 工房にて
- 12(土)・13(日)・15(火)・16(水)・17(木)
- 13:30~17:00
- 公開制作のお問い合わせ
「戸津圭之介の軌跡展」実行委員会
TEL/FAX 03-5685-7594

東京藝術大学 大学美術館 陳列館

- 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
<http://www.geidai.ac.jp/museum>
- お問い合わせ
NTTハローダイヤル03-5777-8600
- 交通案内
JR上野駅公園口下車徒歩10分
JR鶯谷駅下車徒歩10分
東京メトロ銀座線
東京メトロ日比谷線上野駅下車徒歩15分
東京メトロ千代田線根津駅下車徒歩15分
京成電鉄京成上野駅下車徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

[展覧会・催し物日程](#)

[過去の記録](#)

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



吉村順三建築展

会期： 2005年11月10日(木)-12月25日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

「建築家として、もっともうれしいときは、建築ができ、そこへ人が入って、そこでいい生活がおこなわれているのを見ることである。日暮れどき、一軒の家の前を通ったとき、家の中に明るい灯がついて、一家の楽しそうな生活が感じられるとしたら、それが建築家にとっては、もっともうれしいときなのではあるまいか」 - 吉村順三・1965年

建築家・吉村順三は、建築にたずさわる喜びをこの飾りけのない言葉が示す深い心根に置き、生涯にわたって人々の日々の暮らしの場に温かなまなざしを向け続け、日本の自然や固有な文化風土に根ざす数多くの秀作を残しました。

本展は、その温かな人間愛と深い生活への洞察をとおして取り組んだ住宅作品をはじめ、多様な公共性を持つ建築への取り組みを一堂に集め、建築家・吉村順三の創作世界とその今日的な意味を再考しようとするものです。

主催： 東京藝術大学、吉村順三建築展実行委員会、東京藝術大学美術学部建築科

共催： 匠美会(東京藝術大学建築科卒業生の会)、吉村設計事務所

後援： 朝日新聞社、日本建築学会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、建築業協会、ジャパン・ソサエティー

企画協 新建築社
力：

観覧料： 一般800円(600円)、高校・大学生500円(400円)
中学生以下無料
()内は20人以上の団体料金

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600

2005年11月27日(日)9:00～(再20:00～)

NHK教育テレビ

新日曜美術館

「簡素にして品格あり・建築家吉村順三」

記念シンポジウム

「吉村順三の現代的意味」

2005年11月19日(土)14:00～16:00 場所:東京藝術大学美術学部大浦食堂

植田 実(建築評論家)

藤森照信(東京大学生産技術研究所教授)

松山 巖(小説家・評論家)

「吉村順三の設計方法」

2005年12月3日(土)14:00～16:00 場所:東京藝術大学美術学部大浦食堂

藤岡洋保(東京工業大学大学院教授)

高間三郎(科学応用冷暖研究所所長)

横内敏人(京都造形芸術大学教授)

野沢正光(建築家)

いずれも聴講無料 定員:各回150名(定員を超える場合は入場できない場合があります)

す)

ギャラリートーク

吉村設計事務所OBによる作品解説

11月26日(土)、12月10日(土) いずれも14:00～16:00 定員30名程度

記念コンサート

「シュトゥットガルト室内管弦楽団トリオコンサート」

11月2日(水) 19:00開演(18:30開場) 旧東京音楽学校奏楽堂

入場料4000円(全席自由・税込み)

チケット予約:電子チケットぴあ 音声確認予約:0570-02-9966

オペレーター予約:0570-02-9990(Pコード:209-356)

ソナーレ・アートオフィス:FAX 03-5754-3103

問い合わせ:ソナーレ・アートオフィス:TEL 03-5754-3102

11月4日(金) 14:30開演(14:00開場) 愛知県立芸術大学 奏楽堂

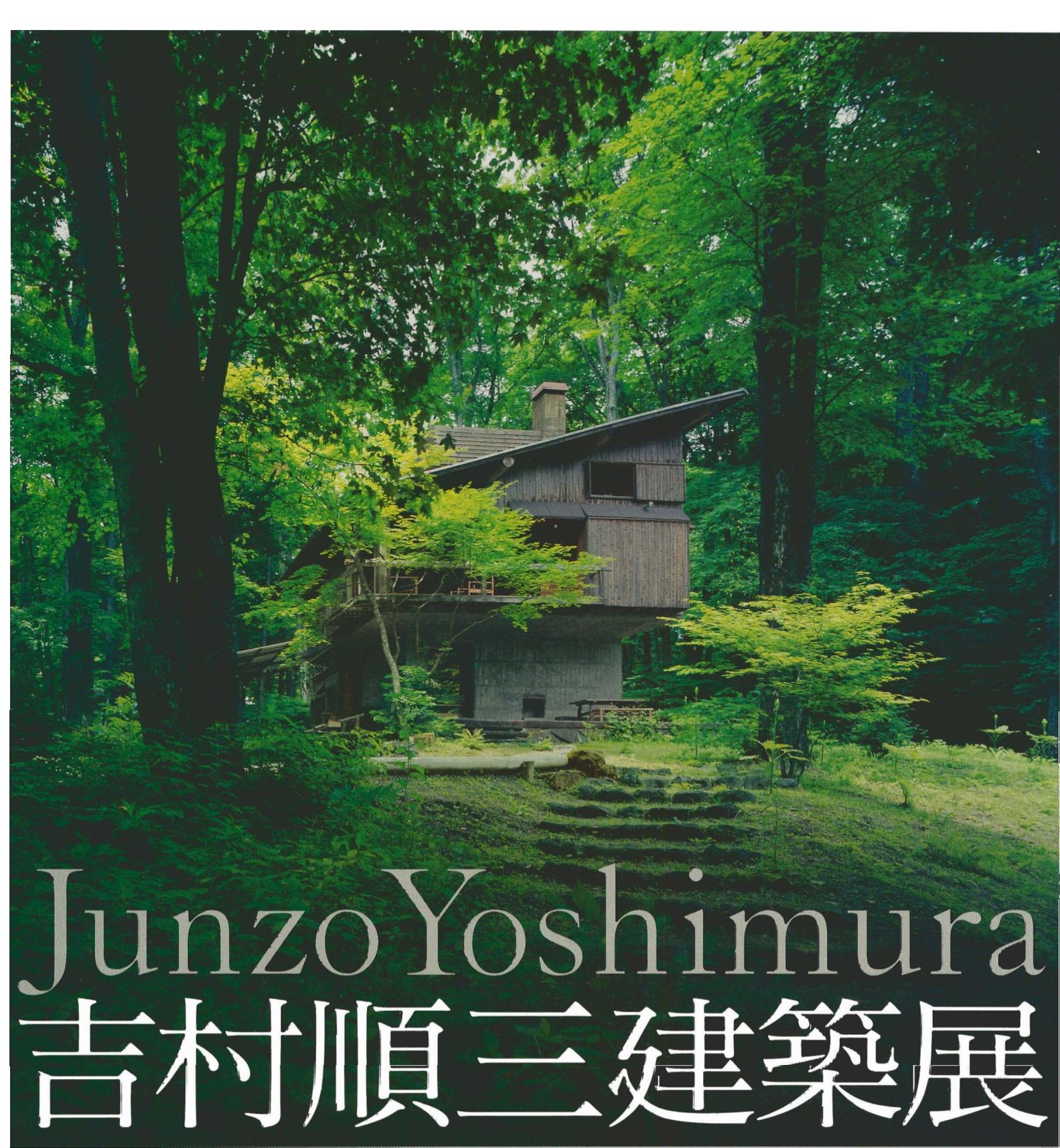
入場無料

11月5日(土) 17:30開演(16:30開場) ハヶ岳高原音楽堂

入場料9000円(ディナーパーティー、宿泊プラン別料金)

ご予約・お問い合わせ:ハヶ岳高原ロッジ予約係 TEL 0267-98-2131

[図録販売はミュージアムショップでどうぞ。](#)



Junzo Yoshimura 吉村順三建築展

東京藝術大学 大学美術館

The University Art Museum - Tokyo National University of Fine Arts and Music

2005年11月10日 木 — 12月25日 日

開館時間 / 10:00~17:00(入館16:30まで) 月曜日休館

主催 / 東京藝術大学、吉村順三建築展実行委員会、東京藝術大学美術学部建築科

共催 / 匠美会(東京藝術大学建築科卒業生の会)、吉村設計事務所

後援 / 朝日新聞社、日本建築学会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、建築業協会、ジャパン・ソサエティー 企画協力 / 新建築社

写真: 門馬金昭



東京藝術大学建築科100周年記念事業

Junzo Yoshimura 吉村順三建築展

—— 建築家吉村順三の作品とその世界 ——

「建築家として、もっともうれしいときは、建築ができ、そこへ人が入って、そこでいい生活がおこなわれているのを見ることである。日暮れどき、一軒の家の前を通ったとき、家の中に明るい灯がついて、一家の楽しそうな生活が感じられるとしたら、それが建築家にとっては、もっともうれしいときなのではあるまいか」 —— 吉村順三・1965

建築家・吉村順三は、建築にたずさわる喜びをこの飾りけのない言葉が示す深い心根に置き、生涯にわたって人々の日々の暮らしの場に温かなまなざしを向け続け、日本の自然や固有な文化風土に根ざす数多くの秀作を残しました。

本展は、その温かな人間愛と深い生活への洞察をとおして取り組んだ住宅作品をはじめ、多様な公共性を持つ建築への取り組みを一堂に集め、建築家・吉村順三の創作世界とその今日的な意味を再考しようとするものです。

吉村順三はまた東京藝術大学建築科において長く後輩の指導にあたり、建築界で活躍する多くの人材を育てました。いま建築科は創設100年の節目にあり、建築教育の歴史や今後の環境を考える記念行事のひとつの柱としても本展を位置付けています。この展覧会をとおして、建築や建築家の活動が、広く一般の方々に理解されることを願っております。



南台の家(1957) photo: 新建築社写真部



船田山荘(1970) photo: 新建築社写真部



青山タワービル(1969) photo: 新建築社写真部



八ヶ岳高原音楽堂(1988) photo: 門馬金昭



吉村順三(よしむらじゅんぞう)
1908年東京・本所生まれ。1931年東京美術学校(現・東京藝術大学)建築科卒業。1931~41年アントニン・レーモンド建築設計事務所勤務。1941年吉村設計事務所設立。1945年~70年東京藝術大学助教授から教授として後輩の指導育成にあたる。人々に対する温かな眼差しやその生活への奥深い洞察を通して、南台町の家、軽井沢の山荘、ロックフェラー邸ほか数多くの秀れた住宅作品を創作し、また皇居新宮殿基本設計、奈良国立博物館陳列館、八ヶ岳高原音楽堂ほか広範な公共的な施設において、現代の合理的志向をもとに日本の固有な文化性を映し出す作品群を多く残した。1997年4月逝去。

観覧料(円) 一般 / 800(600) 高校・大学生 / 500(400) ※()内は団体、20名以上。中学生以下は無料

■ 記念シンポジウム

「吉村順三の現代的意味」2005年11月19日(土) 14:00~16:00

植田 実(建築評論家) / 藤森照信(東京大学生産技術研究所教授) / 松山 巖(小説家・評論家)

「吉村順三の設計作法」2005年12月3日(土) 14:00~16:00

藤岡洋保(東京工業大学大学院教授) / 高間三郎(科学応用冷暖研究所所長) / 横内敏人(京都造形芸術大学教授) / 野沢正光(建築家)

会場: 東京藝術大学美術学部大浦食堂 定員: 各回150名(聴講無料。ただし定員を超える場合は入場できない場合があります。)

■ 記念コンサート「シュトゥットガルト室内管弦楽団トリオコンサート」

11月2日(水) 午後7時開演 台東区立旧東京音楽学校演奏堂 / 11月4日(金) 午後2時30分開演 愛知県立芸術大学演奏堂

11月5日(土) 午後5時30分開演 八ヶ岳高原音楽堂

■ ギャラリートーク

11月26日(土)、12月10日(土) 14:00~16:00 定員30名程度

■ 交通機関

JR上野駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線
上野駅より徒歩15分

※駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。

■ お問い合わせ

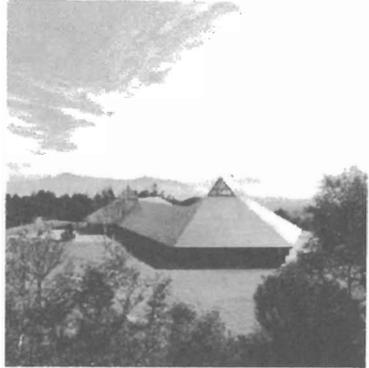
ハローダイヤル: 03-5777-8600 ホームページ: <http://www.geidai.ac.jp/museum>



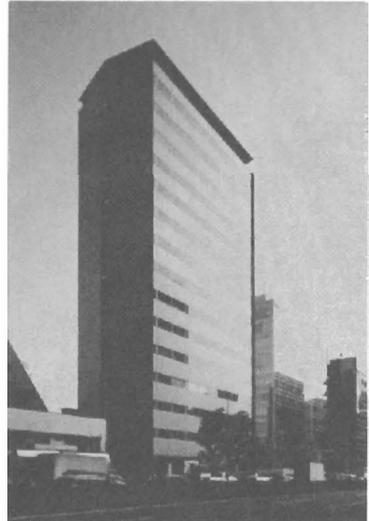
協賛: アーキテクトファイブ、アイ建築工房、相羽建設、秋田建工、阿部建設、勇工務店、イリア、岩本組、OM研究所、OMソーラー協会、大須賀建設、オリエンタルカーペット、鹿島建設、川田工業、北野建設東京本社、北村総合設備、九電工東京支店、協和熱学工業、ケイ・ジェイ・ワークス、建築設備設計研究所、コトブキ、三機工業、サンブライツビル管理、秀建、住宅装備、松栄企画、昭和鋼機、シンケン、新建築社、新菱冷熱工業、菅原賢二設計スタジオ、杉山工務店、鈴与建設、銭高組、大成建設、大洋金物、大和工務店、竹中工務店、ツキデ工務店、出口工務店、東京倉庫運輸、東京電力、トモス、鳥沢工務店、ナガシマ、日建設計、日新工業、日本設計、羽根建築工房、ビュースコパヤシコーポレーション、深谷建設、藤木工務店東京支店、不二サッシ、ベスト、松石設備工業、マト設計・コンサル、丸宗建設、丸山工務店、幹建設、美登利工務店、八木惣、安池建設工業、安井奎工務店、ヤマキ工業、山本・堀アーキテツツ、リンケン、渡辺富工務店



雁井沢の山荘 (1962) photo: 門馬金郎



浜岡研究所会堂 (1968) photo: 門馬金郎



青山タワービル (1969) photo: 新建築社写真部



真田の家 (1967) photo: 新建築社写真部



青山山荘 (1970) photo: 新建築社写真部

◇記念シンポジウム

「吉村順三の現代的意味」

2005年11月19日(土) 14:00～16:00

場所：東京藝術大学美術学部大浦食堂

植田 実 (建築評論家)

藤森照信 (東京大学生産技術研究所教授)

松山 巖 (小説家・評論家)

「吉村順三の設計作法」

2005年12月3日(土) 14:00～16:00

場所：東京藝術大学美術学部大浦食堂

藤岡洋保 (東京工業大学大学院教授)

高間三郎 (科学応用冷暖研究所所長)

横内敏人 (京都造形芸術大学教授)

野沢正光 (建築家)

いずれも聴講無料 定員：各回150名
(定員を超える場合は入場できない場合があります)

◇ギャラリートーク — 吉村設計事務所 OB による —

2005年11月26日(土) 14:00～16:00

2005年12月10日(土) 14:00～16:00

場所：東京藝術大学美術館

定員30名程度

◇NHK テレビ放映 新日曜美術館

2005年11月27日(日)

第1回放送 9:00～10:00

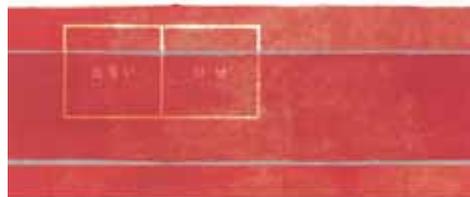
第2回放送 20:00～21:00

NHK 教育テレビ

「吉村順三建築展」関連イベント

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



東京藝術大学・韓国藝術総合学校交流展

会期： 2005年11月29日(火)-12月18日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 全体展 大学美術館地下2階 及び陳列館1階・2階
建築展会場 大学内 総合工房棟2階多目的ラウンジ

2005年は日本と韓国との国交正常化40周年という記念すべき年に当たります。両国は首脳間の合意に基づき、この機会に両国民がより広く、互いを理解しあうことを目的として『日韓友情の年2005』の実施を宣言いたしました。

今回の韓国藝術総合学校と東京藝術大学とが共に協力し合い、教育を担う教員のそれぞれの創作姿勢を韓国と日本において展開するという展覧会、シンポジウムを中心にした内容は、まさしく「より深い文化の相互理解をめざす」という日韓友情年の趣旨に合致した内容であると考えております。

本事業のタイトルにあります「(マンナム)と出会い」は多くの示唆に富んでいます。日本と韓国の両国の文化の交流を鑑みますと、多くの出会いがあって現在の「似ているが違う」という相互文化の表出がなされています。

『現代の美術』を切り口として、双方の芸術大学の教員の創作表現が一堂に展開することで、現代という時間軸の中で表現素材がどのように変化をするかを、体感したく思っています。本展覧会の成功を機に、『進もう未来へ、一緒に世界へ』両国民が、お互いに良く知り合い、学びあい、尊敬しあう、良好な関係を創っていきたくと考えており、日韓両国が『本当のよりよき友人』になることを信じております。

東京藝術大学学長 平山郁夫

主催： 東京藝術大学、韓国藝術総合学校

後援： 韓国文化観光部

協力： 文化庁

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル：03-5777-8600

全体セミナー 日時：12月7日(水) 17:00～19:00 会場：大学内中央棟2階第3講義室
建築セミナー 日時：12月8日(木) 17:00～19:00 会場：大学内総合工房棟4階 FM(ファクトリーミュージアム)

INTERNATIONAL EXCHANGE EXHIBITION

Tokyo National University of Fine Arts and Music
The Korea National University of Arts

出会い

만남

JAPAN—KOREA Interchange Exhibition

東京藝術大学・韓国藝術総合学校交流展

11月29日〔火〕— 12月18日〔日〕

全体展：大学美術館B2F及び陳列館1F・2F

建築展会場：大学内 総合工房棟2階多目的ラウンジ

開館時間 10:00—17:00（入館は16:30まで）月曜日休館 入場無料

主催/東京藝術大学 韓国藝術総合学校 後援/韓国文化観光部 協力/文化庁

全体セミナー 日時：12月7日（水）17:00～19:00 会場：大学内 中央棟2階第3講義室

建築セミナー 日時：12月8日（木）17:00～19:00 会場：大学内 総合工房棟4階FM

お問い合わせ/ハローダイヤル 03-5777-8600 <http://www.geidai.ac.jp/museum>



日韓友情年 2005
HONKOSU JAPAN KOREA
進もう未来へ、一緒に世界へ

INTERNATIONAL EXCHANGE EXHIBITION

出 会 い	만 남
-------	-----

東京藝術大学・韓国藝術綜合学校交流展

JAPAN—KOREA Interchange Exhibition

2005年は日本と韓国との国交正常化40周年という記念すべき年に当たります。両国は首脳間の合意に基づき、この機会に両国民がより広く、互いを理解しあうことを目的として『日韓友情の年2005』の実施を宣言いたしました。

今回の韓国藝術綜合学校と東京藝術大学とが共に協力し合い、教育を担う教員のそれぞれの創作姿勢を韓国と日本において展開するという展覧会、シンポジウムを中心にした内容は、まさしく「より深い文化の相互理解をめざす」という日韓友情年の趣旨に合致した内容であると考えております。

本事業のタイトルにあります「만남(マンナム)と出会い」は

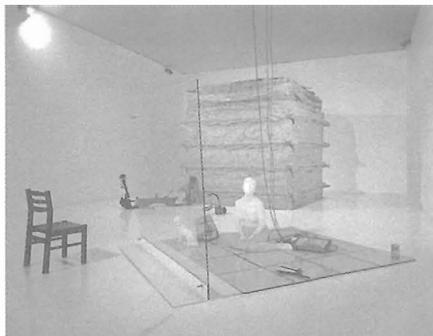
多くの示唆に富んでいます。日本と韓国の両国の文化の交流を鑑みますと、多くの出会いがあって現在の「似ているが違う」という相互文化の表出がなされています。

『現代の美術』を切り口として、双方の芸術大学の教員の創作表現が一堂に展開することで、現代という時間軸の中で表現素材がどのように変化をするかを、体感したく思っています。本展覧会の成功を機に、『進もう未来へ、一緒に世界へ』両国民が、お互いに良く知り合い、学びあい、尊敬しあう、良好な関係を創っていきたいと考えており、日韓両国が『本当のよりよき友人』になることを信じております。

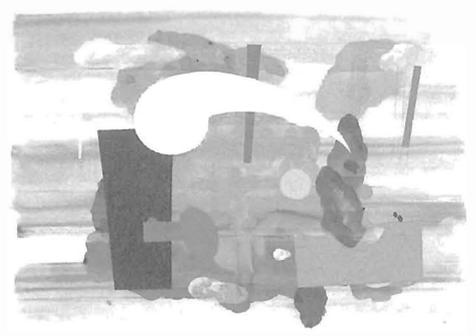
東京藝術大学学長 平山郁夫



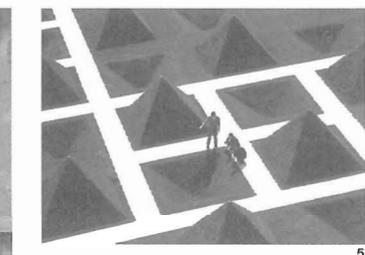
1



2



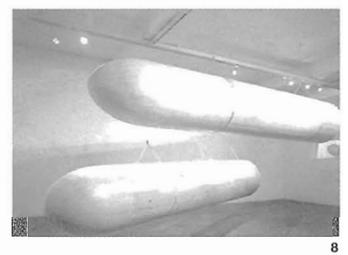
3



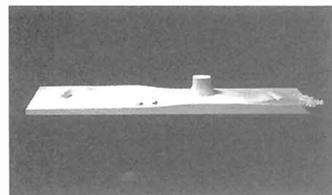
5



6



8



6

- 1 納谷幸二: Noï amiano / 1997 / We are in Love
- 2 전수현: 사회풍경화 | 혼합매체 / 2004
- 3 설원기: 문법 | 종이 위에 이크림 / 2000
- 4 斉藤典彦: かのみず / 2001 / kanomizu
- 5 田南律子: POSTUTOPIA / 1994 / POSTUTOPIA
- 6 山本王道: Versilia'02 / 2002
- 7 김지원: 멘드라미 Mendrami / oil on canvas / 2005
- 8 남진원: 남으로 | 자적나무 / 2003

11月29日[火]—12月18日[日]

全体展: 大学美術館B2F及び陳列館1F・2F
建築展会場: 大学内 総合工房棟2階 多目的ラウンジ

開館時間 10:00—17:00 (入館は16:30まで) 月曜日休館 入場無料 主催/東京藝術大学

- 全体セミナー 日時: 12月7日(水) 17:00~19:00 会場: 大学内 中央棟2階第3講義室
- 建築セミナー 日時: 12月8日(木) 17:00~19:00 会場: 大学内 総合工房棟4階FM

交通機関

JR上野駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
※駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮ください。

お問い合わせ

ハローダイヤル: 03-5777-8600
ホームページ: <http://www.geidai.ac.jp/museum>



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



スキノデリック
彫刻の表層

会期： 2006年1月6日(金)-1月22日(日)
休館日なし
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

東京藝術大学彫刻科では1997年より、歴史ある東京藝術大学大学美術館陳列館を展示空間として、「空間の変容」「彫刻 - 具象表現の解体と構築」「垂直の時間 彫刻 - 過去・現在・未来 - 」「彫刻の身体」といった、現代における彫刻のありようを問う展覧会を隔年ごとに開催してきました。今回はその第5回展として「スキノデリック - 彫刻の表層 - 」と題した展覧会を企画いたしました。

展覧会タイトル「スキノデリック」とは、サイケデリックをもじつた造語ですが、これはpsyche(精神)をskin(皮膚)へと転換させることで彫刻表現の在り様、捉え方の再構築をはかる、という意図を含んでいます。ここで言う「皮膚」は、字義通りの意味というよりは比喩としての「皮膚/表層」であり、皮膚という概念を“表面”“身体”“場”といった彫刻表現が抱える様々な問題の交差する“結節点”であると捉え、そこから新たな彫刻のビジョンを提案していくことが、この展覧会のねらいです。

出品作家は本学彫刻科スタッフに加え、学外より伊藤誠、中村哲也両氏を招待作家として迎えます。また、本学先端芸術表現科、古川聖氏の協力のもと、会場全体を舞台とした、彫刻と音との関わりを考えるサウンド・インスタレーションも併せて行います。

出品作家=伊藤誠/奥田真澄/北郷悟/清水淳/高見直宏/塚本悦雄/中村哲也/藤原彩人/吉賀伸/古川聖
テキスト=谷川渥

主催： 東京藝術大学美術学部、東京藝術大学大学美術館、彫刻科企画展実行委員会

助成： 文化財保護・芸術研究助成財団、野村国際文化財団

観覧料： 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> 本展公式サイト](#)

ギャラリートーク
1月14日[土]13:30
本展出品作家X谷川渥(國學院大学教授・美学)



Skinodelic
SKINODELIC
THE SCULPTURE
FACE-SURFACE-INTERFACE

Skinodelica スキノデリック

彫刻の表層

SKINODELIC
THE SCULPTURE
FACE-SURFACE-INTERFACE

2006年1月6日[金]-1月22日[日]
東京藝術大学美術館 陳列館

出品作家 = 伊藤 誠 / 奥田真澄 / 北郷 悟 / 清水 淳 / 高見直宏 / 藤原彰也 / 中村哲也 / 藤原彰人 / 吉賀 伸 / 古川 聖 テキスト = 谷川 暲

開館時間 = 10:00-17:00 (最終入場は開館30分前まで) 休館日無し 入場無料 キャラポートーク = 1月14日[土]13:30 - 本展出品作家 × 谷川暲 (東京大学大学院文学部) 主催 = 東京藝術大学美術学部 / 東京藝術大学美術館 / 彫刻科企画展実行委員会 助成 = 財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 / 財団法人野村国際文化財団

SKINODELIC THE SCULPTURE/FACE・SURFACE・INTERFACE January 6 (Friday) - January 22 (Sunday), 2006

VENUE : Chinretsukan gallery, The University Art Museum, Tokyo National University of Fine Arts and Music

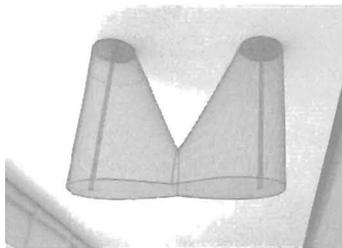
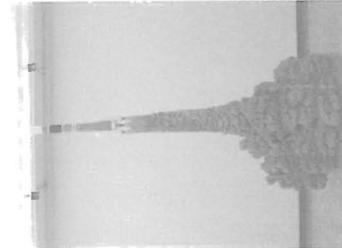
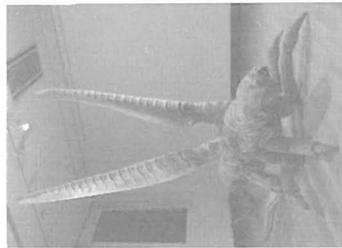
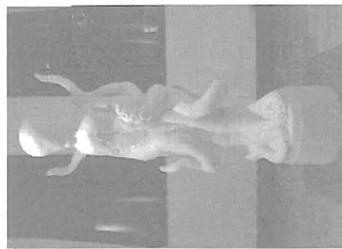
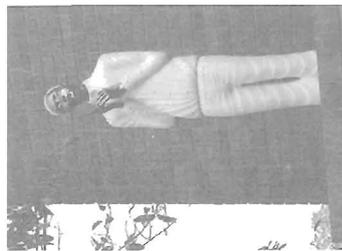
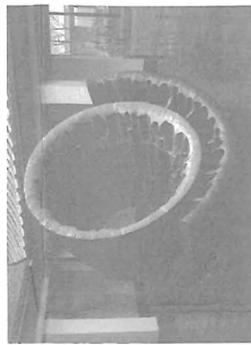
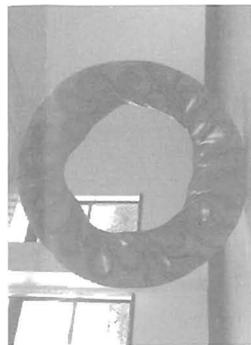
HOURS : 10:00a.m.-5:00p.m. (No admittance after 4:30p.m.) ADMISSION : Free

ORGANIZER : Tokyo National University of Fine Arts and Music, The University Art Museum, Sculpture Department Exhibition Executive Committee

SUPPORT : Foundation for Cultural Heritage and Art Research, The Nomura Cultural Foundation

1. 中村 哲也 NAKAMURA Tetsuya
[ドラゴンホイール G] DRAGONWHEEL G
2. 吉賀 伸 YOSHIKA Shin
[Private Ruin] Private Ruin
3. 北郷 悟 KITAGO Satou
[沈黙] silence
4. 藤原彰人 FUJIWARA Ayato
[願望または賛美の歌-427界隈-]
The Song of Wish or Praise-427Neighborhood-
5. 塚本悦雄 TSUKAMOTO Etsuo
[彫刻の壁-タコキ10] Species of a sculpture-Octopus#10

Photo UCHIDA Yoshiaki
Design MURAKAMI Masashi



東京藝術大学彫刻科では1997年より、歴史ある東京藝術大学美術館陳列館を展示空間として、「空間の変容」「彫刻の変容」「彫刻一具象表現の解体と構築」「垂直の時間 彫刻一過去・現在・未来一」「彫刻の身体」といった、現代における彫刻のありようを問う展覧会を隔年ごとに開催してきました。今回はその第5回展として「スキノデリック-彫刻の表層-」と題した展覧会を企画いたしました。

展覧会タイトル「スキノデリック」とは、サイケデリックとは、サイケデリックをもじった造語ですが、これはpsyche(精神)をskin(皮膚)へと転換させることで彫刻表現の在り様、捉え方の再構築をはかる、という意図を含んでいます。ここで言う「皮膚」は、宇織通りの意味というよりは比喩としての「皮膚/表層」であり、皮膚という概念を“表面”“身体”“場”といった彫刻表現が抱える様々な問題の交差する“結節点”であると捉え、そこから新たな彫刻のビジョンを提案していくことが、この展覧会のねらいです。

出品作家は本学彫刻科スタッフに加え、学外より伊藤誠、中村哲也両氏を招待作家として迎えます。また、本学先端芸術表現科、古川聖氏の協力のもと、会場全体を舞台とした、彫刻と言との関わりを考えるサウンド・インスタレーションも併せて行います。

東京藝術大学美術館陳列館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

JR [上野駅] (公園口)、(鶯谷駅) 下車徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 (上野駅) 下車徒歩15分
東京メトロ千代田線 (根津駅) 下車徒歩10分
京成電鉄 (京成上野駅) 下車徒歩15分

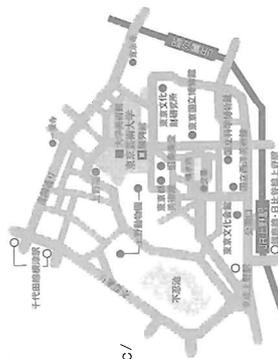
お問い合わせ

ハローダイヤル 03-5777-8600

<http://www.geidai.ac.jp/event/skinodelic/>

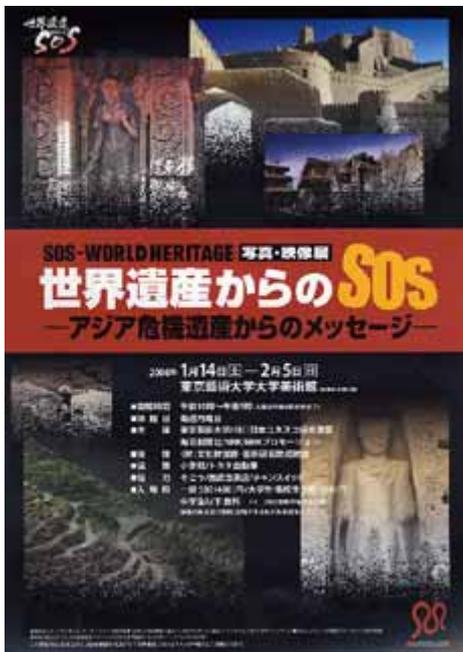


PREMIUM MUSEUM



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



世界遺産からのSOS

- アジア危機遺産からのメッセージ - 写真・映像展

会期： 2006年1月14日(土)-2月5日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 B2F

世界遺産の核心としての危機遺産

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の世界遺産条約に基づき登録された世界遺産は、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと世代を越えて継承されてきた地球が共有する宝物です。いまを生きる私たちには、その素晴らしい人類共有の遺産を未来へ伝える責任と義務があります。しかし、現実には世界遺産の維持にはさまざまな困難や障害が存在し、多くの遺産が危機に瀕しています。

その象徴的な存在が『危機遺産』です。現在、ユネスコの危機遺産リストに記載された遺産は世界で34件。その中にはアジアの遺産も多く含まれています。世界の中でも極めて多彩な文化に彩られたアジアの自然と文化の豊かさを未来世代へ引き継いで行くためには、これらの危機遺産の現実を直視することが不可欠です。

アジアの危機遺産からの訴え

アジアを中心に幅広く活躍するフォトジャーナリストたちや専門家からの貴重な報道写真とNHKのパイピジョン映像により構成されるこの展覧会は、これらの危機遺産を救い未来の世代へ伝えるために、「私たちに何ができるのか」、「何をしなければならないのか」を訴えかけるために開催されるものです。

今回は特に、紛争により失われたアフガニスタンのパーミヤン遺跡、大地震で脆くも崩れ去ったイランのバム城砦、急激な都市化が伝統文化に彩られた都市の崩壊を招きつつあるネパールのカトマンズ、社会構造の変化が伝統的な稲作文化に危機をもたらしているフィリピンのコルディリエラへの棚田や、2004年に危機遺産リストからは脱したとはいえ、急激な観光開発などによって新たな危機を迎えているカンボジアのアンコール遺跡などを中心に取り上げ、アジアの危機遺産の現状を訴えます。

この展覧会は、(社)日本ユネスコ協会連盟がおこなうアジアの危機遺産救済のための募金活動、『SOSアジア世界遺産』の一環として開催されます。

主催： 東京藝術大学、(社)日本ユネスコ協会連盟、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション

後援： (財)文化財保護・芸術研究助成財団

協賛： 小学館、トヨタ自動車

協力： そごう、西武百貨店、チャンスイット

観覧料： 一般500円(400円)、高校・大学生300円(200円)
中学生以下無料
()内は20人以上の団体料金
障害のある方は無料(証明できるものをお持ちください)

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600

テレビ放映
NHK総合テレビ「こんにちは いっと6けん」
1月21日(土)11:30～11:54

[トップ](#)>

秋篠宮妃殿下「世界遺産からのSOS展」を視察（東京芸大大学美術館）

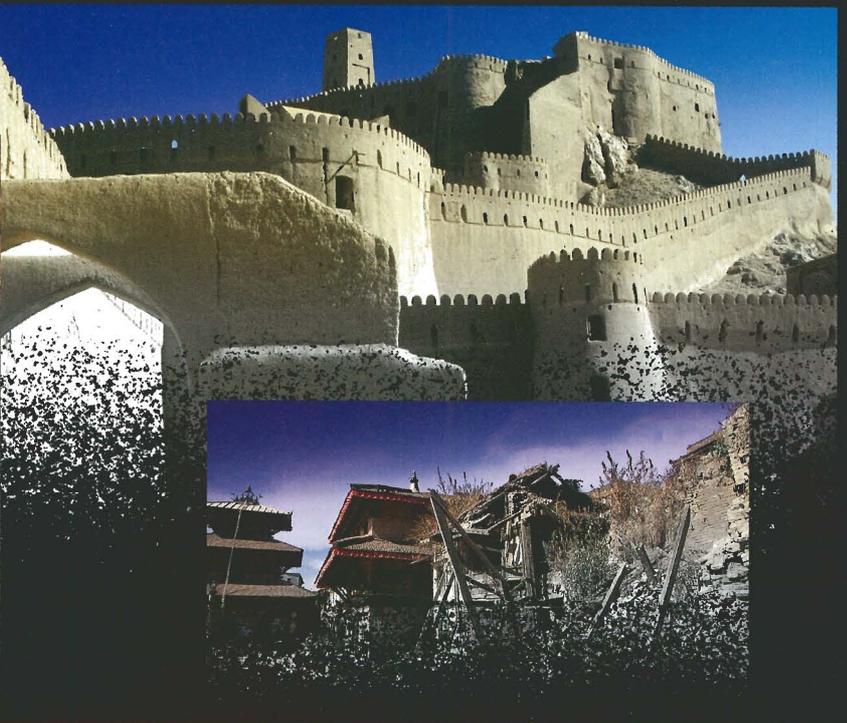
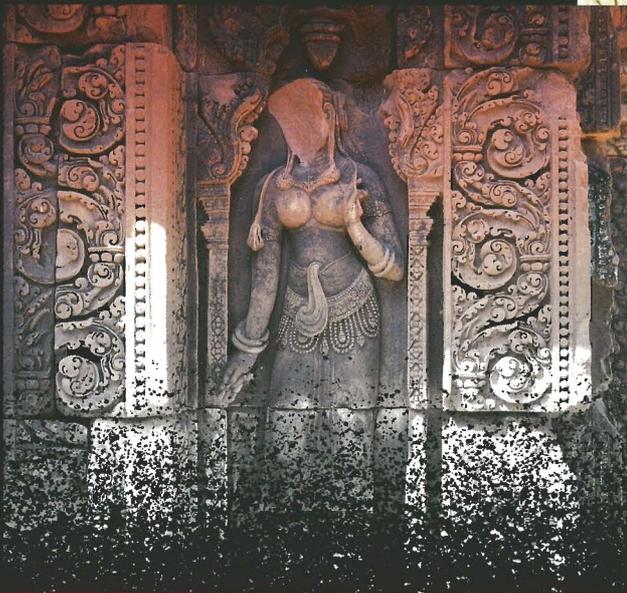
秋篠宮妃殿下は、去る1月27日に東京芸術大学大学美術館をご訪問され、同館で開催中の「世界遺産からのSOS - アジア危機遺産からのメッセージ - 展」を視察された。宮田亮平学長、野口昇（社）日本ユネスコ協会連盟理事長らの出迎えを受けた後、主催者側からのご説明のもと、写真などを約1時間にわたり熱心にご鑑賞された。

同展は、アフガニスタンのバーミヤン遺跡、カンボジアのアンコール遺跡などを中心に取り上げ、アジアの危機遺産の現状を訴えたもの。2月5日まで開催。



このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。



SOS-WORLD HERITAGE 写真・映像展

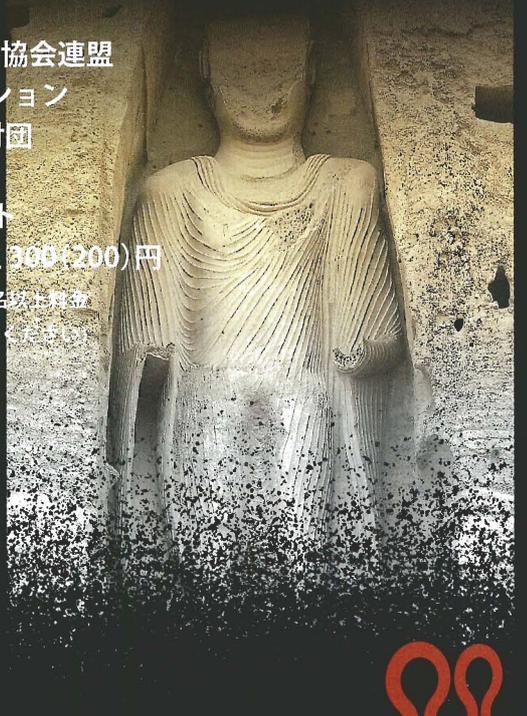
世界遺産からのSOS

—アジア危機遺産からのメッセージ—

2006年 1月14日(土) — 2月5日(日)

東京藝術大学大学美術館 (台東区上野公園)

- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日
- 主催 東京藝術大学/(社)日本ユネスコ協会連盟
毎日新聞社/NHK/NHKプロモーション
- 後援 (財)文化財保護・芸術研究助成財団
- 協賛 小学館/トヨタ自動車
- 協力 そごう/西武百貨店/チャンスイット
- 入場料 一般 500(400)円/大学生・高校生 300(200)円
中学生以下 無料 ※ ()内は団体20名以上料金
障害のある方は無料(証明できるものをお持ちください)

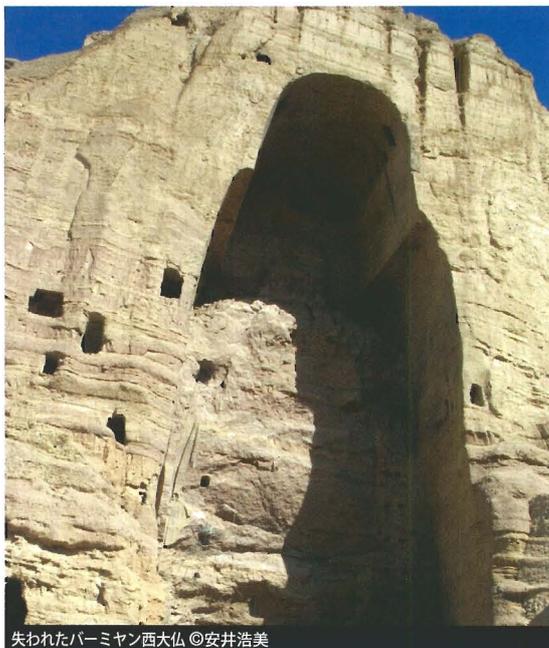


■爆破前のパルミヤン東大仏・アフガニスタン(©樋口隆康[京都大学名誉教授]) ■ありし日のアルゲ・ハム遺跡・イラン(©ジョッセフ・ガスバーンプール) ■コルディリエーラの棚田・フィリピン(©大村次郷)
■崩壊が進むカトマンズの伝統建築・ネパール(©大村次郷) ■盗掘された女神・アンコール(©大村次郷)

この展覧会は、日本ユネスコ協会連盟の「SOSアジア世界遺産プロジェクト」の一環として開催されます。



東京藝術大学大学美術館
THE UNIVERSITY OF ARTS MUSEUM



失われたバミヤン西大仏 ©安井浩美



ナツメヤシの葉の墓標を立てる母親 バミ遺跡 ©ジョセフ・ガスバーンブル

世界遺産の核心としての危機遺産

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の世界遺産条約に基づき登録された世界遺産は、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと世代を越えて継承されてきた地球が共有する宝物です。いまを生きる私たちには、その素晴らしい人類共有の遺産を未来へ伝える責任と義務があります。しかし、現実には世界遺産の維持にはさまざまな困難や障害が存在し、多くの遺産が危機に瀕しています。

その象徴的な存在が『危機遺産』です。現在、ユネスコの危機遺産リストに記載された遺産は世界で34件。その中にはアジアの遺産も多く含まれています。世界の中でも極めて多様な文化に彩られたアジアの自然と文化の豊かさを未来世代へ引き継いで行くためには、これらの危機遺産の現実を直視することが不可欠です。

アジアの危機遺産からの訴え

アジアを中心に幅広く活躍するフォトジャーナリストたちや専門家からの貴重な報道写真とNHKのハイビジョン映像により構成されるこの展覧会は、これらの危機遺産を救い未来の世代へ伝えるために、「私たちに何ができるのか」、「何をしなければならないのか」を訴えかけるために開催されるものです。

今回は特に、紛争により失われたアフガニスタンのバーミヤン遺跡、大地震で脆くも崩れ去ったイランのバム城砦、急激な都市化が伝統文化に彩られた都市の崩壊を招きつつあるネパールのカトマンズ、社会構造の変化が伝統的な稲作文化に危機をもたらしているフィリピンのコルディリエラへの棚田や、2004年に危機遺産リストからは脱したとはいえ、急激な観光開発などによって新たな危機を迎えているカンボジアのアンコール遺跡などを中心に取り上げ、アジアの危機遺産の現状を訴えます。

◎観覧料

	当日	団体(20名以上)
一般	500円	400円
大学生・高校生	300円	200円
中学生以下	無料でご覧いただけます。	

- 障害のある方は無料(証明できるものをお持ちください)。
- 団体料金は20名より適用。

◎お問い合わせ

ハローダイヤル 03-5777-8600
<http://www.geidai.ac.jp/museum>

◎交通案内

JR上野公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
 京成線上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分
 駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。



東京藝術大学大学美術館
THE UNIVERSITY ART MUSEUM
 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

SOS-WORLD HERITAGE 写真・映像展

世界遺産からのSOS

—アジア危機遺産からのメッセージ—



イフガオ族老女の正装 ©大村次郷



仏の目が見守る街 カトマンズ ©大村次郷



朝焼けに映えるアンコール ©大村次郷

ご優待
割引

チラシ裏面右下のご優待券1枚につき、1名様のみ下記の料金にてご覧いただけます。
 一般 500円 → 400円 大学生・高校生 300円 → 200円

半日券
ご優待
1日券

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



退任記念
伊藤隆道展

会期： 2006年1月19日(木)-2月5日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 3F

伊藤隆道が、学生時代から今まで約50年の間続けてきた表現活動の基本となっているのは「光、動き」である。その非物質的な素材を用い、具体的な作品展開でさまざまなジャンルをクロスオーバーしながら今日にいたっている。工芸から始まり、ショウインドウディスプレイ、ひかり・照明デザイン、展示デザイン、野外彫刻、パブリックアート、最近では舞台美術を担当することも多い。時にはジュエリーデザインも手掛ける。2006年3月の東京藝術大学デザイン科教授退任を記念して開催される本展では、過去の作品から新作まで多様に展示を行い、時代や年代などの時間を越えた会場構成から、伊藤隆道が長年追い求めている「光や動き」を感じてほしい。

伊藤隆道 略歴

1939年札幌市生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科彫金卒業。同年から資生堂ウィンドウデザインを手掛ける。毎日産業デザイン賞など多数受賞。大阪万博、沖縄海洋博、つくば科学博などに参加。照明デザインや環境造形など幅広い活動。野外彫刻展(動く彫刻)でも多数の賞を受賞。国内、海外に多数の作品が設置されている。音楽学部との共同研究でオペラ、邦楽舞台で美術を担当。1993年から東京藝術大学美術学部デザイン科教授、環境芸術学会会長。

主催： 東京藝術大学

協力： シーアイ化成株式会社

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> 本展公式サイト](#)

ミュージアムコンサートのご案内

美術学部・音楽学部学生による音楽とパフォーミングオブジェのコラボレーション演奏

日時:1月19日(木) 16:00～16:30

会場:展示室内にて

曲目:「冬の朝より」

作品:「上昇・下降」

協力:音楽学部邦楽科



TAKAMICHI ITO

exhibition of kinetic sculpture

退任記念

伊藤 隆道 展

2006年

1月19日[木]

→2月5日[日]

東京藝術大学大学美術館3F

開館時間/10:00-17:00(入館は16:30まで)

月曜日休館 入場無料

主催/東京藝術大学 協力/シーアイ化成株式会社

The University Art Museum-Tokyo National
University of Fine Arts and Music 3F
19 January thu 2006-5 February sun

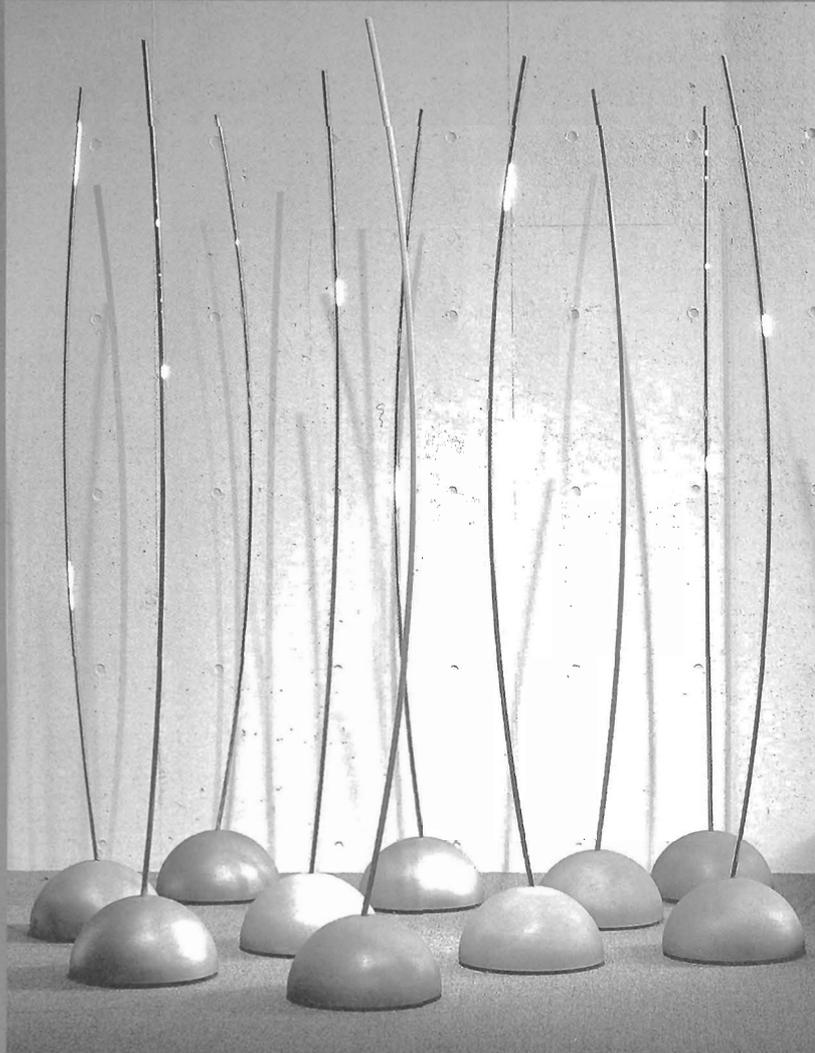


退任記念

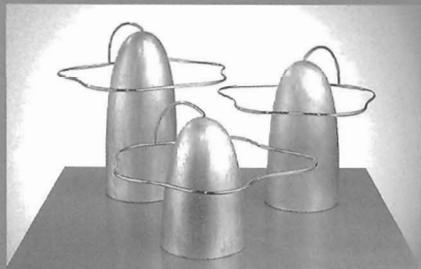
伊藤隆道展

TAKAMICHI ITO

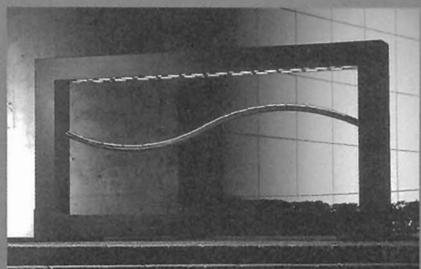
exhibition of kinetic sculpture



10本の弧(1991)



漂う・3(2002)



光る曲線(1992)



バランスをもつ曲線・B(1999)

退任記念「伊藤隆道展」開催にあたって

学生時代から今日まで約50年の間続けてきた表現活動の基本となっているのは「光、動き」である。その非物質的な素材を作品の根底に据え、さまざまなジャンルをクロスオーバーしながら今日にいたっている。工芸やモビール制作から始まり、ショウウィンドウディスプレイ、ひかり・照明デザイン、展示デザイン、動く彫刻、野外彫刻、パブリックアート、時にはジュエリーデザインも手掛ける。最近では舞台美術を担当することも多い。そのさまざまな条件への対応はそれぞれ異なるが、基本となる思考や発想は変わってはいない。結果的に出来上がった作品がデザイン的であったりアートのであったりするが、けっして既成の枠にとどまっていはいない。つまり、主観と客観がモビールのバランスのように釣り合う造形を考えている。しかし、吹いてくる風がおだやかとは限らず、客観的な視線や社会的なスタンスも表現活動に科せられた重要な役割があることも忘れてはいない。

今回の展覧会はこれまでの業績や足跡を回顧する展覧会ではない。展示する作品は過去から新作まで多様であるが、時代や年代などの時間を超えた構成を演出している。そこにある凝縮された時間を空間全体から感じてほしいし、長年追い求めている「光や動き」によって生まれた空気を楽しんでもらいたい。

学生たちや若いひとたちに何らかのメッセージになればと思う。是非見てもらいたい展覧会である。

チラン表作品: 1本の線・上下の動き(1985)



1939年札幌市生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科彫金卒業。同年から資生堂ウィンドウデザインを手掛ける。毎日産業デザイン賞など多数受賞。大阪万博、沖繩海洋博、つくば科学博などに参加。照明デザインや環境造形など幅広い活動。野外彫刻でも(動く彫刻)多数の賞を受賞。国内、海外に多数の作品が設置されている。音楽学部との共同研究でオペラ、邦楽舞台で美術を担当。1993年から東京藝術大学美術学部デザイン科教授、環境芸術会長。

交通機関

JR上野駅、東京メトロ千代田線
根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東武東上線谷塚駅・
銀座線の上野駅より徒歩15分
※駐車場はございませんので、
車でのご来館はご遠慮ください。

お問い合わせ

ハローダイヤル: 03-5777-8600

ホームページ: <http://www.geijai.ac.jp/musujm>



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



第54回東京藝術大学卒業・修了作品展

会期： 2006年2月22日(水)-26日(日)
9:00 ~ 16:30(入場は16時まで)
最終日は12:00まで(入場は11:30まで)

会場： 学部生 - 東京都美術館・大学構内
大学院生 - 大学美術館・陳列館(大学構内)

主催： 東京藝術大学

観覧料： 無料

<問い合わせ>
東京藝術大学 美術学部教務係 03-5685-7556

[-> 本展公式サイト](#)

先端芸術表現科は、ドキュメント展示となります。
実作品は、「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展にて一般公開いたします。

「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展

会期： 2006年1月28日(土) ~ 2月5日(日)

11:00-19:00

会場： 横浜旧関東財務局 / 神奈川県横浜市中区日本大通34

企画・運営： 先端芸術表現科 (Project the Projectors 2006実行委員会)

URL： <http://www.project-the-projectors.jp/>



[トップ](#)>

第54回東京芸術大学卒業・修了作品展

概要

- 日時 : 2006年2月22日(水)~26日(日)
9:00~16:30(入場は16時まで)
最終日は12:00まで(入場は11:30まで)
- 会場 : 学部生 東京都美術館・大学構内
大学院生 大学美術館・陳列館(大学構内)
(下記案内図参照)
- 入場料金 : すべての会場で入場無料
- 主催 : 東京芸術大学
- お問い合わせ先 : 美術学部教務係 03-5685-7556
〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8

先端芸術表現科は、ドキュメント展示となります。
実作品は、「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展にて一般公開いたします。

「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展

- 日時 : 2006年1月28日(土)~2月5日(日)
11:00-19:00
- 会場 : 横浜旧関東財務局 / 神奈川県横浜市中区日本大通34
- 企画・運営 : 先端芸術表現科 (Project the Projectors 2006実行委員会)
- URL : <http://www.project-the-projectors.jp/>

主な展示会場

東京都美術館	
1階	学部生卒業作品(デザイン・建築・染織)、工芸科自画像作品
B1階	学部生卒業作品(日本画・油画)
B2階	学部生卒業作品(彫金・鍛金・鍍金・漆芸・陶芸)
B3階	学部生卒業作品(彫刻)、彫刻科自画像作品
大学美術館(東京芸術大学内)	
3階	大学院生修了作品(油画・彫刻・デザイン・美術教育)
2階 テラス	ドキュメント展示(先端芸術表現科)
エントランス	大学院生修了作品(立体作品)
B2階	大学院生修了作品(日本画・油画・工芸・デザイン)
大学美術館 陳列館(東京芸術大学内)	
2階	大学院生修了作品(建築)
1階	大学院生修了作品(文化財保存学)
絵画棟(東京芸術大学内)	
8階	大学院生修了作品(油画)
7階	大学院生修了作品(油画)
5階	大学院生修了作品(油画)
彫刻棟(東京芸術大学内)	
3階	大学院生修了作品(彫刻)
中央棟(東京芸術大学内)	
1階 ロビー	大型作品

総合工房棟（東京藝術大学内）	
3階 プレゼン ルーム	学部・修了卒業作品（デザイン）
2階	多目的ラウンジ 学部・修了卒業作品（建築）
1階 オープン アトリエ	学部・修了卒業作品（建築）
オープン デッキ	大型作品
大学会館（東京藝術大学内）	
学部・大学院とも（映像作品・大型作品等）	
大学美術館前広場 他、東京藝術大学内	
学部・大学院とも（屋外展示作品等）	

会場案内

東京藝術大学 上野校地・東京都美術館

東京藝術大学
東京都台東区上野公園12-8

東京都美術館
東京都台東区上野公園8-36



交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

第54回東京藝術大学卒業・修了作品展

学部4年間、大学院修士2年間、大学院博士3年間 それぞれの創作研究の成果を発表します。若いアーティスト達に皆様のご支援をいただけますよう心からお願い申し上げます。

会期：2006年2月22日(水)～26日(日) (会期中無休)

時間：9:00～16:30 (入場は16時まで)

※最終日は12:00まで (入場は11:30まで)

会場：学部生 東京都美術館・大学構内

大学院生 大学美術館・陳列館 (大学構内)

観覧料：すべての会場で入場無料

主催：東京藝術大学

お問合せ：美術学部教務係 03-5685-7556

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

URL: <http://www.geidai.ac.jp/>

※先端芸術表現科は、ドキュメント展示となります。

実作品は、「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展にて一般公開いたします。

「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展

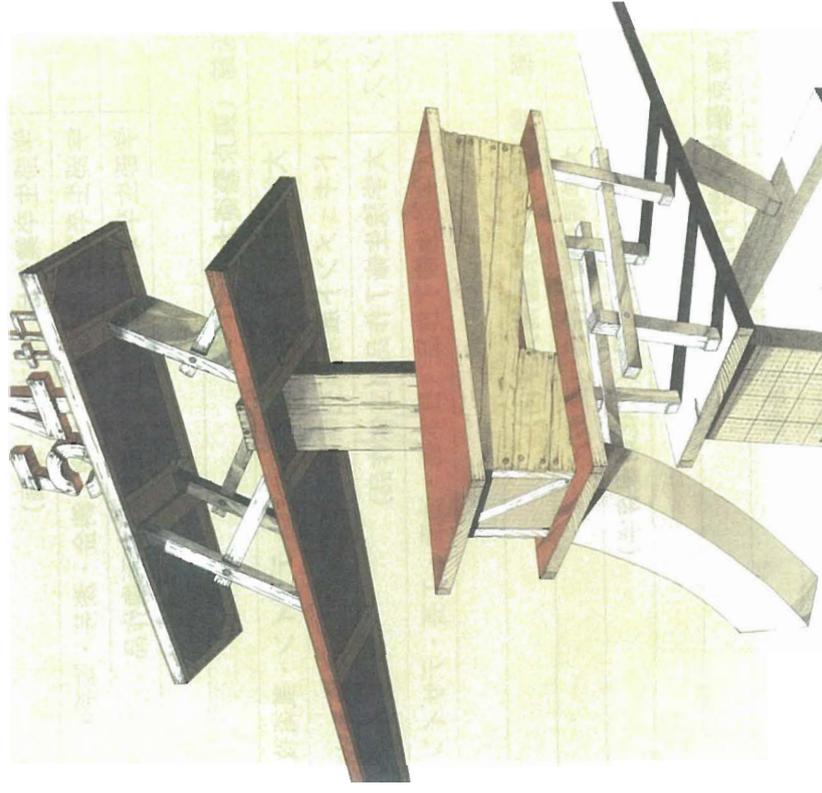
会期：2006年1月28日(土)～2月5日(日) (会期中無休)

時間：11:00-19:00

会場：横浜旧関東財務局／神奈川県横浜市中区日本大通34

企画・運営：先端芸術表現科 (Project the Projectors 2006 実行委員会)

URL: <http://www.project-the-projectors.jp/>



54th Tokyo National University
of Fine Arts and Music
The Graduation Works Exhibitions

主な展示会場

東京都美術館	
1階	学部生卒業作品 (デザイン・建築・染織)、工芸科自画像作品
B1階	学部生卒業作品 (日本画・油画)
B2階	学部生卒業作品 (彫金・鍛金・鍍金・漆芸・陶芸)
B3階	学部生卒業作品 (彫刻)、彫刻科自画像作品

大学美術館 (東京藝術大学内)	
3階	大学院生修了作品 (油画・彫刻・デザイン・美術教育)
2階テラス	ドキュメント展示 (先端芸術表現科)
エントランス	大学院生修了作品 (立体作品)
B2階	大学院生修了作品 (日本画・油画・工芸・デザイン)

大学美術館 陳列館 (東京藝術大学内)	
2階	大学院生修了作品 (建築)
1階	大学院生修了作品 (文化財保存学)

絵画棟 (東京藝術大学内)	
8階	大学院生修了作品 (油画)
7階	大学院生修了作品 (油画)
5階	大学院生修了作品 (油画)

彫刻棟 (東京藝術大学内)	
3階	大学院生修了作品 (彫刻)

中央棟 (東京藝術大学内)	
1階ロビー	大型作品

総合工房棟 (東京藝術大学内)	
3階プレゼンルーム	学部・修了卒業作品 (デザイン)
2階	多目的ラウンジ 学部・修了卒業作品 (建築)
1階オープンアトリエ	学部・修了卒業作品 (建築)
オープンデッキ	大型作品

大会館 (東京藝術大学内)	
学部・大学院とも (映像作品・大型作品等)	

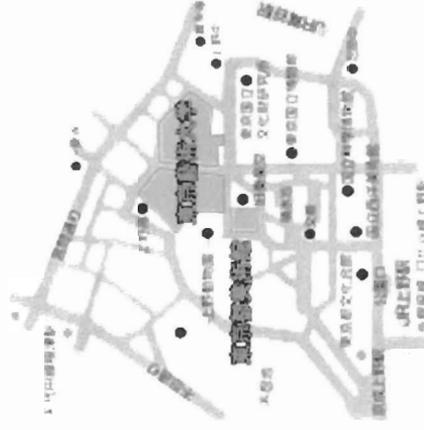
大学美術館前広場 他、東京藝術大学内	
学部・大学院とも (屋外展示作品等)	

会場案内

東京藝術大学 上野校地・東京都美術館

東京藝術大学 (台東区上野公園 12-8)

東京都美術館 (台東区上野公園 8-36)



交通案内

JR 上野駅・JR 鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10 分

京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩 15 分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

平成17年度 東京芸術大学 教育課程に関連した主な展覧会

No	展覧会等の名称	会期等	概要
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	開催場所	
1	アーカイブ展	7月4日～7月8日	絵画科(油画)3年生対象で行われた大竹敦人ゼミの研究発表展。基礎課程を終え、専門課程における事故の創作表現研究を深めていく(自己の方向性を定めていく)時期に今まで行ってきた創作活動を振り返り、アーカイブを作成して、発表するもの。ポートフォリオ作りの実習を兼ねている。
	油画	附属図書館	
2	椅子展 2005 朝/椅子～状況とかたち～	9月27日～10月2日	学部建築科1年生の5月～7月の実習課題で制作した作品の発表展。毎年開催されている。
	建築 (http://www.geidai.ac.jp/labs/architoride/prjct2005/isu/isu.html)	総合工房棟2階 多目的ラウンジ	
3	表層の内側 東京-大邱 東京展	10月24日～10月28日	大邱大学絵画科西洋画専攻と本学大学院美術研究科絵画専攻油画第4研究室の交流展。平成16年に続き、第2回目開催。11月には、韓国KBS大邱放送局第12展示室等でも同展が開催された。
	油画	絵画等1階展示スペース 大学会館	
4	先端芸術表現科修士1年後期展 「Connect the dots」	11月9日～11月16日	先端芸術表現専攻修士1年生27名による成果発表展。
	先端芸術表現 (http://ctd.hp.infoseek.co.jp/)	取手校地 メディア教育棟他	
5	アート・パス'05	12月9日～12月11日	取手校地の学生が中心となった年に一度の大規模な作品発表。大学という場が300を超える作品を持つ大展覧会場に姿を変え、また、学生の企画したイベントも多数行われる。展示される作品は、授業の課題によるものや有志によるもの等さまざま。またワークショップ、公開討論会、体験講座等、一般来場者が見るだけでなく、参加できるイベントも多数開催。
	取手校地学生 (http://www.geidai.ac.jp/event/artpath05/indexxx.html)	取手校地	
6	「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒業・修了制作展	1月28日～2月5日	1999年度に新設された先端芸術表現科の卒業制作展。「project the projectors」という展覧会名は、考案し、企画し、ものごとを起こす者としての「projector」たちが、その自分自身を前方へ(pro)投げる(ject)ことを表しており、2003年度(第1期)から継承しているもので、卒業を迎える学生それぞれの表現に対する態度表明であり、展覧会そのものの趣旨でもある。
	先端芸術表現 (http://www.project-the-projectors.jp/)	横浜市旧関東財務局・旧労働基準局	
7	東京芸術大学音楽環境創造科 卒業制作発表会 「-et-ten」	2月17日～2月19日	2002年に新設された音楽環境創造科の第1期卒業生による発表会。
	音楽環境創造	東京芸術大学取手校地 大学美術館取手館・メディア教育棟4F 大学会館	
8	東京芸術大学 卒業・修了制作展	2月22日～2月26日	美術学部卒業生、美術研究科修士課程及び博士後期課程修了者の卒業・修了生作品を展示。学部生は、東京都美術館・大学構内、大学院生は大学美術館・陳列館(大学構内)で開催。(先端芸術表現科・専攻はドキュメントのみの展示で作品展示は、上記7で実施。)芸術学科・専攻の卒業論文の概要も含め、作品集を刊行している。
	美術学部・美術研究科の各学科・専攻 (http://www.geidai.ac.jp/topic/sintyaku_kiji/20051227/index.html)	東京都美術館、大学美術館、同陳列館、絵画棟、彫刻棟、中央棟、総合工房棟、大学会館他	

平成17年度 大学会館展示室 展示表

使用時間：9時00分～19時30分〔但し、夏期、冬期及び春期休業中は9時00分～16時30分〕

使用期間の区分	休館日等	展示名等	展示概要等	展示者所属・人数等
4月4日(月)～4月8日(金)		5人展	平面と映像	美術学部(油画)5名
4月11日(月)～4月15日(金)		工芸科1年有志	1年次のガラス作品展示	美術学部(工芸)1名
4月18日(月)～4月22日(金)		根上組	立体作品等	美術学部(彫刻)3名
4月25日(月)～4月28日(木)	29日 みどりの日	滝沢レディ	絵画展示(平面)	美術学部(油画)2名
5月2日(月)～5月6日(金)	3～5日 祝祭日			
5月9日(月)～5月13日(金)		四芸術大学体育・文化交歓会使用		
5月16日(月)～5月23日(月)		四芸術大学体育・文化交歓会使用		
5月24日(火)～5月27日(金)		アートノーマライゼーション	絵画, 立体, パフォーマンス	美術学部(先端)2名
5月30日(月)～6月3日(金)		raindrops4	絵画, 立体	美術研究科(美術教育)2名
6月6日(月)～6月10日(金)		メモリートオセンボ展	映像, アニメーション, インスタレーション	美術研究科(油画)3名
6月13日(月)～6月17日(金)				
6月20日(月)～6月24日(金)		魚介エキス	平面	美術学部(油画)2名
6月27日(月)～7月1日(金)		藍毘尼園(らんびにおん)	写真	美術学部(工芸)2名
7月4日(月)～7月8日(金)		配分ミス調整	平面作品	美術学部(油画)2名
7月11日(月)～7月15日(金)		大人の葡萄の裏側in京都	壁面を使った展示	美術学部(油画)2名
7月19日(火)～7月22日(金)	18日海の日			
7月25日(月)～7月29日(金)				
8月1日(月)～8月5日(金)				
8月8日(月)～8月12日(金)				
8月15日(月)～8月19日(金)		兄弟展	絵画, 彫刻	美術研究科(デザイン)2名
8月22日(月)～8月26日(金)		×展(仮)	絵画, 平面作品等	美術学部(油画)4名
8月29日(月)～9月2日(金)	1,2日は19時30分まで	ゲイガクテキ(仮称)	平面, 立体, 映像	美術学部(芸術学)12名
9月5日(月)～9月9日(金)		芸術祭関係使用		
9月12日(月)～9月14日(水)		芸術祭関係使用		
9月15日(木)～9月16日(金)		2人展(未定)	主に平面作品	美術学部(油画)2名
9月20日(火)～9月22日(木)	19日, 23日 祝祭日			
9月26日(月)～9月30日(金)		2人展	平面及び立体作品	美術学部(デザイン)2名
10月3日(月)～10月7日(金)	4日 開学記念日			
10月11日(火)～10月14日(金)	10日 体育の日			
10月17日(月)～10月21日(金)				
10月24日(月)～10月28日(金)		表層の内側・東京-大邱(国際交流展・油画4研)		

使用期間の区分	休館日等	展 示 名 等	展 示 概 要 等	展示者所属・人数等
10月31日(月)～11月4日(金)	3日文化の日	美術教育研究会展示発表会		
11月7日(月)～11月11日(金)		美術教育研究会展示発表会		
11月14日(月)～11月18日(金)		染織展	染織作品展示	美術学部(工芸)19名
11月21日(月)～11月25日(金)	23日勤労感謝の日			美術学部(デザイン) (仮予約)
11月28日(月)～12月2日(金)		2人展		美術研究科(油画)2名
12月5日(月)～12月9日(金)		MOGA3	平面作品を中心とした展示	美術研究科(版画)3名
12月12日(月)～12月16日(金)		シカパンダ展	奈良での活動の報告展	美術研究科(油画技法・材料)7名
12月19日(月)～12月22日(木)	23日天皇誕生日	あか	写真と服の展示	美術学部(工芸)2名
1月5日(木)～1月6日(金)		ひかりのある場所(仮)	平面	美術学部(油画)2名
1月10日(火)～1月13日(金)	9日成人の日			
1月16日(月)～1月20日(金)		52.5/72(時/年)展	デザイン3年	美術学部(デザイン)3名
1月23日(月)～1月27日(金)		デジタル芸大展(芸術情報センター)		
1月30日(月)～2月3日(金)		木村と仲間たち	写真と立体	美術研究科(美術解剖)2名
2月6日(月)～2月10日(金)		日本画展	日本画の展示	美術研究科(日本画)3名
2月13日(月)～2月17日(金)		卒業・修了作品展準備		
2月20日(月)～2月24日(金)		卒業・修了作品展(26日まで)		
2月27日(月)～3月3日(金)	入 構 禁 止 期			
3月6日(月)～3月10日(金)				
3月13日(月)～3月17日(金)				
3月20日(火)～3月24日(金)				
3月27日(月)～3月31日(金)		彫刻展	作品展示	美術学部(彫刻)2名

網掛け部分は、展示準備が不十分のため、キャンセルの申し出があり、開催されなかったもの。

太字部分は、大学行事等での使用。

学校行事以外の学生展覧会開催件数 計25件

平成17年度 東京芸術大学 主な学外展覧会一覧

No.	展覧会名	会場	会期	出展学生	概要
1	SPRING BOARD 2005 Part1	上野駅 Break Station Gallery	4月2日 ~ 4月21日	日本画、油画 彫刻、デザイン 保存修復	平成16年度卒業・修了者のうち、作品が大学員上となった学生たちによる成果発表のグループ展
2	SPRING BOARD 2005 Part2	上野駅 Break Station Gallery	4月23日 ~ 5月12日	日本画、油画 彫刻、漆芸 染織、デザイン	
3	Ceramic Exhibition 2005	天王洲セントラルタワー アートホール	5月2日 ~ 5月12日	陶芸	陶芸専攻の学部4年生、大学院生による作品発表展
4	東京芸術大学鍛金展	天王洲セントラルタワー アートホール	5月16日 ~ 6月10日	鍛金	鍛金専攻の平成16年度卒業・修了者による作品展
5	愛着<衣>生活	2005愛・地球博 地球市民村	6月1日 ~ 6月30日	染織	愛・地球博の中の「愛着<衣>生活」プログラムでの展示に染織専攻の大学院生、修了生が出品並びにワークショップ参加。
6	SUPER THIGHT 2005 Pr1	日比谷国際ビル ショーウィンドー・ギャラリー	6月20日 ~ 7月15日	陶芸	陶芸専攻の大学院生、研究生による作品発表展
7	日韓友情年2005 日韓芸術交流展 -ssugoremigi-	COEX 韓国/ソウル	6月30日 ~ 7月3日	日本画、壁画、版画、 彫刻、工芸、デザイン、 建築、先端芸術表現、 美術解剖学	韓国の弘益大学と本学学生による作品展示をはじめ、携帯電話を使ったムビープロジェクト、シボルレコムの制作、シボジウム、ホームステイを実施。
8	第4回 金属彫刻作家新鋭展 -FOUNDATION-	メタルアート ミュージアム 光の谷	7月2日 ~ 7月31日	彫刻	本学と筑波大学が選出された主に金属を素材として表現研究を行っている作家（在学生又は卒業生）の作品。
9	龍生派 龍生陶器フェア	龍生会館	7月4日 ~ 7月5日	陶芸	花器をテーマにした作品の展示。陶芸専攻の大学院生、研究生が参加。
10	東京芸術大学油画教員展	日本橋高島屋	8月10日 ~ 8月16日	油画教員	油画・版画・壁画・油画技法材料の各分野の教員13名による展覧会
11	東京芸術大学・韓国芸術総合学校交流展 - 出会い -	芸術の殿堂ハンガラム美術館	8月26日 ~ 9月4日	日本画、油画、彫刻、 工芸、デザイン、 先端芸術表現、 美術教育（教員）	大学間国際交流協定校である韓国芸術総合学校との合同展示。韓国側27名、本学25名の教員の作品を展示。11/29~12/18には本学大学美術館でも同展が開催された。日韓友情年関係イベント。
12	交叉する線	上野駅 Break Station Gallery	8月27日 ~ 9月29日	日本画、油画 彫刻	本学・藝術祭との共同企画展。学部2, 3, 4年生8名の「交叉する線」をテーマにした作品の展示。
13	第42回 杜窯会陶芸展	MITSUBISHI 日本橋本店	10月6日 ~ 10月23日	陶芸	陶芸専攻第1期生から在校生（第43期生）までによる作品発表展。卒業生と在学生の交流を通して技術向上を図る。
14	おわせひのき フェスタクレーレ2005	三重県北牟婁郡海山町大白地区 熊野灘臨海公園	9月11日 ~ 9月25日	染織	染織専攻学生21名の作品を野外展示。
15	韓国大邱大学校国際交流展 国際セミナー	大邱大学美術館、 博物館 韓国/大邱	9月12日 ~ 9月24日	工芸	大邱大学で行われた日・韓・中・米の4ヶ国の国際交流展。

No.	展覧会名	会場	会期	出展学生	概要
16	「結」 ヒコみづのジュエリーカ レッジ 合同Exhibition	天王洲セントラ ルタワー	9月12日 ~ 9月30日	鍛金	ヒコみづのジュエリーカレッジと本学 工芸科鍛金専攻の合同作品展。
17	表層の内側 東京 - 大邱 東京展	gallery J2	10月25日 ~ 10月30日	油画	大邱大学絵画科西洋画専攻と本学大学 院美術研究科絵画専攻油画第4研究室 の交流展。平成16年に続き、第2回目 開催。 10/24~28には、本学絵画棟及び大学会 館でも同展が開催された。
	表層の内側 東京 - 大邱 大邱展	KBS 大邱放送局 第12展示室 韓国 / 大邱	11月11日 ~ 11月16日		
		Gallery Yesulsarang 韓国 / 大邱	11月14日 ~ 11月18日		
18	対話するまなざし -取手のアーティストたち-	上野駅 Break Station Gallery	10月29日 ~ 12月8日	油画(卒業生)	取手アートプロジェクト(TAP)の開催に あわせてTAPに関わりの深いアーティ ストを紹介。
19	JAPAN TEX 2005 学生による「変容する空間 '05」	東京ビッグサイ ト 西展示ホール3	11月22日 ~ 11月25日	染織	全国30校の学生による作品展示。本学 染織専攻大学院生、研究生が参加。
20	版画の彩展2005 第30回 全国大学版画展	町田市立国際版 画美術館	12月3日 ~ 12月18日	版画	全国の美術系大学の版画作品展。本学 版画専攻の大学院生等12名が参加。
21	アトリエの未裔あるいは未来	旧平櫛田中邸	1月6日 ~ 1月22日	彫刻	近隣に所在する彫刻家平櫛田中の旧邸 を使用した彫刻展。本学彫刻専攻の大 学院生、教員の作品を展示。
22	「ストリート!2006」展 PART.1	上野駅 Break Station Gallery	1月28日 ~ 2月28日	日本画、油画 版画 先端芸術表現	本学在学生の作品展示。JR東日本と本 学大学美術館の共催。
23	「ストリート!2006」展 PART.2	上野駅 Break Station Gallery	3月2日 ~ 3月30日	日本画、油画 彫刻、デザイン 先端芸術表現	
24	「Project the Projectors 2006」先端芸術表現科 卒 業・修了制作展	横浜市旧関東財 務局・旧労働基 準局	1月28日 ~ 2月5日	先端芸術表現	1999年度に新設された先端芸術表現科 の卒業制作展。「project the projectors」という展覧会名は2003年 度(第1期)から継承しているもの。
25	鑄金科成果報告展 IMO COLLE	天王洲セントラ ルタワー アートホール	2月20日 ~ 2月24日	鑄金	本学鑄金専攻の学部生、大学院生の成 果報告展。
26	JAPAN TEX 2004 学生による 「布の邂逅2004」 京都巡回展	京都芸術セン ター講堂	3月8日 ~ 3月15日	染織	「学生による布の邂逅2004」の京都巡 回展。平成16年度染織専攻大学院修士 課程2年生の作品が展示される。

平成17年度 東京芸術大学 主な参加プロジェクト等

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	開催場所・連携先等	
1	学生ボランティア ギャラリートーク	9月6日 ~ 1月31日	平成15年度より東京国立博物館と行っている連携事業。博物館来館者への学習機会の提供とともに将来、美術館・博物館で学芸員として働くことに興味を持つ本学学生の実地研修の意味合いを持つ。展示作品の解説又は古典技法理解の参考とするための仏像製作工程資料の作成を行い来館に説明を行うもの。本年度は、計30回実施された。
	芸術学、文化財保存学	東京国立博物館	
2	東京都立学校 学校設定教科・科目 「日本の伝統・文化」カリキュラム 開発	東京都教育委員会	都立高等学校学校設定教科科目「日本の伝統・文化」カリキュラムの研究・開発を東京都教育委員からの受託研究として行った。日本の伝統・文化理解教育を推進するための基本的な考え方や年間指導計画、指導事例等を取りまとめた。
	美術教育、工芸科(漆芸)、建築科、音楽学専攻(音楽学、音楽文芸、音楽教育)、音楽環境創造科		
3	サステナブル アートプロジェクト2005 「言の伝え」	10月14日 ~ 10月30日	環境プロセスアート並びに東京芸術大学を中心に市民と台東区が協力し合い行っているアートプロジェクト。2005年は、「台東・言問通り現代美術展 言の伝え 町も人を見つめる」(本学教員、学生他の作品発表)、「旧平櫛田中邸リノベーションワークショップ」、公開ディスカッション等を実施した。
	油画、壁画、保存修復 (http://www.geidai.ac.jp/event/sustain/)	上野桜木空き地 旧坂本小学校 旧平櫛田中邸	
4	TASKプロジェクト 台東区/墨田区/荒川区/葛飾区 地域資源活用プロジェクト	台東区、墨田区 荒川区、葛飾区	「デザインと伝統を活かしたものづくり産業の活性化」をメインテーマとした台東区、荒川区、墨田区、葛飾区(TASK)のプロジェクト。17年度は、プロジェクトへの参加準備段階として、TASKのものづくり現場の視察を実施。本学学生とTASKの技術者との商品共同開発等を構想中。
	工芸 デザイン		
5	ちずあと ワセダ・ゲーダイ図法	12月11日 ~ 12月18日	小島アートプラザ(旧小島小学校)を調査の拠点及びアトリエとして活用してきた本学と早稲田大学が連携して実施。共同製作を通じて、両者の関係作りを意図するとともに、「地図」というテーマのもと、この施設を活用することを通じて、地域の再発見と地域との関係作りを行うことを意図したものの。
	油画	小島アートプラザ (台東デザイナーズビレッジ)	
6	取手アートプロジェクト2005	11月12日 ~ 11月27日	取手アートプロジェクト(TAP)は、1999年より市民と取手市、東京芸術大学の三者が協働で行なっているアートプロジェクト。若いアーティストたちの創作発表活動を支援し、市民に広く芸術とふれあう機会を提供することで、取手市が文化都市として発展していくことをめざすもの。2005年は、TAPヒルズ、オープンスタジオ、TAPトラベル(芸大生なりきりツアー)等を期間中に実施。イベント期間中外も、TAPサテライトギャラリーでの展示やアーティストの学校派遣などを行っている。平成16年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」採択。
	先端芸術表現、音楽環境創造ほか (http://www.toride-ap.gr.jp/2005/)	茨城県取手市内各所	
7	取手ストリートアートステージ プロジェクト2005	茨城県取手市	取手市の「タウンミュージアム構想」の一貫として取手駅東口の歩道沿いに設置された屋外のアートギャラリーへの作品展示。2年に1回展示替えが行われ、2005年は3期目として新しく16作品が展示された。作品は、展示替え後に8作品ずつリング状に組み合わせられ、市内の講演に永久保存される。
	彫刻、鍛金		
8	壁画によるまちづくり	7月 ~ 9月	取手市が取り組んでいる快適な環境整備のための計画的な壁画制作への協力。市の「壁画によるまちづくり委員会」への参加、市民ボランティアと共同しての壁画制作を実施。本年度は、国道6号線高架下に本事業の第1号作品(25m×4.7m)を制作。次年度以降も継続予定。
	壁画	茨城県取手市	

No	プロジェクト等の名称	会期等	概要
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	開催場所・連携先等	
9	香川県 = 芸大交流事業	5月 ~ 10月	香川県が進める「県民アートアクション21」に協力。「美術ワークショップ イン 小豆島」は、平成13年から毎年行われ、5回目の開催となった。毎年デザイン科教員・大学院生など約20名が協力している。小学生、中学生・高校生、一般の3コースに分けてデッサン及び作品制作を指導する。(7/29~8/3)また、ワークショップで制作した作品と講師となった教員等の作品の展示も行っている。 「かがわ声楽講座」では、声楽科教員が協力。公開講座、コレペティティオン講座、個人レッスンで講師として指導した。10/2には個人レッスンの受講生24名によるコンサートも開かれた。
	デザイン、声楽	香川県	
10	ビデオアートフェスティバル 氷見クリック2005	8月1日 ~ 8月6日	アーティストと協働で新たな地域資源の発見・育成・伝達を目指したアートプロジェクト。中村政人助教授及び同研究室が協力。
	油画中村研究室 (http://www.commandn.net/%7ehimi_click/)	富山県氷見市	
11	第20回 国民文化祭・ふくい2005 デジタルプロジェクト	10月22日 ~ 10月23日	ワークショップ「巨大な群像写真をつくる」、「家族の肖像」で構成。最新の高精細デジタル画像を用いての現代美術表現等の研究に取り組んでいる油画研究室、油画技法材料研究室が中心となって企画実施。
	油画 油画技法材料	福井市美術館	
12	おわせひのき フェスタクレアーレ2005	9月11日 ~ 9月25日	尾鷲地域の地域文化を生かす試みに、本学工芸科が協力。2003年のものづくり勉強会以来、継続的にワークショップなどの取組に協力し、本年度9月に開催されたものづくり・クラフトの楽しさを提供するイベントである本フェスティバルには、実行委員会として参画。フェスティバルでは、染織専攻学生の野外作品展示のほか、トークショー、ワークショップ、専門分科会の展示・講評等に本学教員、学生が協力・参加した。
	工芸	三重県北牟婁郡 海山町	
13	第7回別府アルゲリッチ音楽祭	5月19日	本学学生及び教員で66名で「東京芸術大学別府アルゲリッチ音楽祭特別オーケストラ」を編成し演奏を披露している。本音楽祭は、「創造と発信」、「育む」、「アジア」を掲げて1998年から続いている音楽祭。本学は第5, 6, 7回と連続参加。
	音楽学部 (http://www.argerich-mf.jp/archives/f_7th.html)	別府ビーコンプラザ フィルハーモニア ホール	
14	3カ国交流展 -東京・北京・パリ- シンポジウム	7月8日	3カ国交流展は、2003年より3カ年の企画として計画したもので、初年度は「明日の水の色」、昨年度は「消費、デザイン」をテーマに開催し、本年度(4/28~5/8)は、「のこすもの、なくすもの」をテーマに本学陳列館で開催した。本シンポジウムは、3カ年の成果のまとめとして、全ての作品を一堂に展示し、改めてそれぞれの国の比較・評価をし、「風土から生まれるもの」をテーマとして行った。
	デザイン	総合工房棟デザイン 科プレゼンテーション ルーム	

平成17年度 東京芸術大学 奏楽堂演奏会 入場者数一覧

頁	演奏会名	開催日	天気	開演時間	終了時間	入場者数	備考	
1	第1回モーニング・コンサート(ピアノ)	H17.4.14	木 晴	11:00	12:00	553	(無料)	
1	第2回モーニング・コンサート(ハープ・ピアノ)	H17.4.21	木 晴	11:00	12:00	604	(無料)	
9	同声会新人演奏会 第1回	H17.4.22	金 晴	18:30	21:00	392		
9	同声会新人演奏会 第2回 (昼の部)	H17.4.23	土 晴	14:00	16:15	314		
9	同声会新人演奏会 第3回 (夜の部)	H17.4.23	土 晴	18:30	20:55	145		
13	藝大フィル特別演奏会 ゲルハルト・ボッセ先生を迎えて	H17.4.28	木 晴	19:00	21:10	511		
17	藝大21 和楽の美 ~邦楽叙事詩「スサノヲ」~	H17.5.6	金 雨	19:00	20:50	850		
1	第3回モーニング・コンサート(ピアノ・ヴァイオリン)	H17.5.12	木 曇	11:00	12:00	708	(無料)	
1	第4回モーニング・コンサート(作曲・フルート)	H17.5.19	木 晴	11:00	12:00	501	(無料)	
21	ラヴェル・プロジェクト 第1回 「声楽と2台ピアノの夕べ」 [レクチャー&コンサート1]	H17.5.21	土 晴	17:00	20:50	664		
1	第5回モーニング・コンサート(作曲・オルガン)	H17.5.26	木 晴	11:00	12:00	573	(無料)	
21	ラヴェル・プロジェクト 第2回 「ピアノ全曲演奏会」 [レクチャー&コンサート2]	H17.5.28	土 晴	17:00	21:30	981		
29	藝大定期邦楽第70回	H17.5.31	火 晴	18:30	21:20	811		
1	第6回モーニング・コンサート(サクソフォーン)	H17.6.2	木 曇	11:00	12:00	604	(無料)	
33	上野の森オルガンシリーズ 神秘のオルガン音楽~スペインの黄金時代~	H17.6.4	土 晴	15:00	16:55	346		
1	第7回モーニング・コンサート(作曲・声楽)	H17.6.9	木 曇	11:00	12:00	513	(無料)	
21	ラヴェル・プロジェクト 第3回 「室内楽全曲演奏会」 [レクチャー&コンサート3]	H17.6.11	土 曇	17:00	21:15	738		
37	藝大フィルハーモニア定期第313回 新卒業生紹介演奏会	H17.6.17	金 曇	18:30	21:25	685		
21	ラヴェル・プロジェクト 第4回 「ラヴェルとその周辺」 [レクチャー&コンサート4]	H17.6.18	土 晴	17:00	19:55	502		
41	ラヴェル・プロジェクト 第5回 藝大フィルハーモニア定期第314回 オール・ラヴェル・プログラム	H17.6.24	金 晴	19:00	21:15	915		
45	東京藝大チェンバーオーケストラ第5回定期演奏会	H17.6.25	土 晴	15:00	16:50	325		
49	ラヴェル・プロジェクト 第6回 “うた”シリーズV 第1日オペラの夕べ	H17.6.28	火 晴	18:30	20:30	984		
1	第8回モーニング・コンサート(打楽器・クラリネット・声楽)	H17.6.30	木 雨	11:00	12:00	787	(無料)	
53	平成17年度吹奏楽学内演奏会	H17.6.30	木 曇	18:00	20:30	212	(無料)	
57	藝大とあそぼう ~オーケストラの逆襲~	H17.7.3	日 曇	15:00	16:15	826		
61	アジア 躍動する音たち~上海音楽学院を迎えて~	H17.7.6	水 晴	19:00	21:25	439		
1	第9回モーニング・コンサート(バストロンボーン・チェロ)	H17.7.7	木 晴	11:00	12:00	604	(無料)	
65	管楽器シリーズ モーツァルトの管楽器曲を集めて	H17.7.9	土 曇	17:00	18:35	400		
1	第10回モーニング・コンサート(ピアノ・ヴァイオリン)	H17.7.14	木 曇	11:00	12:00	1,110	(無料)	
69	時の響き JAZZ in 藝大~原 信夫とシャープス フラッツ VS Manto Vivo~	H17.7.16	土 晴	17:00	20:05	992		
1	第11回モーニング・コンサート(作曲・ピアノ)	H17.9.8	木 晴	11:00	12:00	867	(無料)	
1	第12回モーニング・コンサート(オーボエ・ヴァイオリン)	H17.9.15	木 晴	11:00	12:00	975	(無料)	
73	うたシリーズV - 2 森鷗外訳オペラ「オルフェウス」	H17.9.18	日 晴	17:00	19:30	1,039		
73	うたシリーズV - 2 森鷗外訳オペラ「オルフェウス」	H17.9.19	月 晴	18:30	21:10	1,023		
77	藝大オペラ定期第51回 W.A.モーツァルト 皇帝ティートの慈悲 全二幕 第1日	H17.10.9	日 曇	14:00	16:45	850		
77	藝大オペラ定期第51回 W.A.モーツァルト 皇帝ティートの慈悲 全二幕 第2日	H17.10.10	月 曇	14:00	16:45	840		
81	藝大フィルハーモニア定期(藝大定期第315回)	H17.10.21	金 晴	19:00	20:55	877		
85	上野の森オルガンシリーズ シンフォニックな響き~ロマン派のオルガン音楽~	H17.10.23	日 晴	15:00	17:15	403		
89	第17回東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校定期演奏会	H17.10.27	木 晴	18:30	21:15	939	(無料)	
91	東京芸術大学音楽学部 韓国藝術総合学校音楽院「友好交流学生オーケストラ演奏会」	H17.10.28	金 晴	19:00	21:10	未集計	(無料)	
95	ハイドン・シリーズ 第1夜	H17.11.2	水 晴	19:00	20:45	481		
95	ハイドン・シリーズ 第2夜	H17.11.4	金 晴	19:00	21:05	412		
99	藝大フィルハーモニア・合唱定期(藝大定期第316回)	H17.11.18	金 晴	18:30	20:45	708		
103	創造の杜 藝大現代音楽の夕べ	H17.11.24	木 晴	19:00	20:55	498		
107	藝大学生オーケストラ定期(藝大定期第317回)	H17.11.25	金 晴	18:30	20:10	1,103		
111	藝大定期吹奏楽 第71回	H17.11.30	水 晴	18:30	20:40	774		
115	うたシリーズV - ドイツリート夕べ ~ブラムスからウルマンまで~	H17.12.3	土 晴	17:00	19:30	558		
119	邦楽定期演奏会 第71回	H17.12.6	火 晴	18:00	20:45	868		
1	第13回モーニング・コンサート(ヴァイオリン・ピアノ)	H18.2.9	木 晴	11:00	12:00	1,461	(無料)	
123	藝大定期室内楽第32回 第1夜	H18.2.9	木 晴	18:30	20:45	416		
123	藝大定期室内楽第32回 第2夜	H18.2.10	金 晴	18:30	21:00	467		
127	東京藝大チェンバーオーケストラ 第6回定期演奏会	H18.2.17	金 雨	19:00	20:50	424		
131	管打楽器シリーズ アンドレ・ジョリヴェとその周辺	H18.2.19	日 曇	15:00	17:00	546		
135	藝大21 第一回東京芸術大学奏楽堂企画学内募集 最優秀企画 中島敦 原作 山月記 ~光と音の無言劇~	H18.3.19	日 晴	19:00	20:45	717	(無料)	
139	三林輝夫テノールリサイタル(退職記念演奏会)	H18.3.21	火 晴	15:00	17:10	924	(無料)	
合 計						(55件)	36,759	



平成17年度 演奏会スケジュール

- 芸大トップページ
- 奏楽堂について
- 演奏芸術センターについて
- これからの公演
- これまでの公演
- 定期演奏会について
- お問い合わせ

平成17年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	年間コンサートスケジュール(PDF)のダウンロード											
過去分	平成16年度 平成15年度 平成14年度											

これからの公演

[\[トップへ戻る\]](#)

これまでの公演

[\[トップへ戻る\]](#)

平成17年4月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
14日(木)	モーニング・コンサート1(ピアノ)	11:00	無料
21日(木)	モーニング・コンサート2(ハープ・ピアノ)	11:00	無料
22日(金)	同声会新人演奏会 第1回	18:30	1,800
23日(土)	同声会新人演奏会 第2回	14:00	1,800
	同声会新人演奏会 第3回	18:30	1,800
26日(火)	学内演奏会(学生オーケストラ)	18:30	無料
28日(木)	藝大フィル特別演奏会 ゲルハルト・ボッセ先生を迎えて	19:00	1,800

[\[トップへ戻る\]](#)

5月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
6日(金)	藝大21 和楽の美 ~ 邦楽叙事詩「スサノヲ」~	19:00	2,400
10日(火)	学内演奏会(古楽)	11:00	無料
	学内演奏会(オルガン)	14:00	無料
12日(木)	モーニング・コンサート3(ピアノ・ヴァイオリン)	11:00	無料
13日(金)	学内演奏会(管打楽器)	13:00	無料
19日(木)	モーニング・コンサート4(作曲・フルート)	11:00	無料
21日(土)	ラヴェル・プロジェクト 第1回 「声楽と2台ピアノの夕べ」 [レクチャー&コンサート1]	レクチャー 17:00 コンサート 18:30	1800
24日(火)	学内演奏会(ピアノ)	13:00	無料
26日(木)	モーニング・コンサート5(作曲・オルガン)	11:00	無料

	学内演奏会(管打楽器)	13:00	無料
27日(金)	学内演奏会(学生オーケストラ)	18:30	無料
28日(土)	ラヴェル・プロジェクト 第2回 「ピアノ全曲演奏会」 [レクチャー&コンサート2]	レクチャー 17:00 コンサート 18:30	1800
30日(月)	学内演奏会(管打楽器)	13:00	無料
31日(火)	邦楽定期演奏会 第70回	18:30	1800

[\[トップへ戻る\]](#)

6月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
2日(木)	モーニング・コンサート6(サクソフォーン)	11:00	無料
4日(土)	上野の森オルガンシリーズ 神秘のオルガン音楽～スペインの黄金時代～	15:00	1,800
7日(火)	学内演奏会(ピアノ)	13:00	無料
9日(木)	モーニング・コンサート7(作曲・声楽)	11:00	無料
10日(金)	学内演奏会(ピアノ)	13:00	無料
11日(土)	ラヴェル・プロジェクト 第3回 「室内楽全曲演奏会」 [レクチャー&コンサート3]	レクチャー 17:00 コンサート 18:30	1,800
14日(火)	学内演奏会(ピアノ)	13:00	無料
17日(金)	藝大フィルハーモニア定期第313回 新卒業生紹介演奏会	18:30	1,300
18日(土)	ラヴェル・プロジェクト 第4回 「ラヴェルとその周辺」 [レクチャー&コンサート4]	レクチャー 17:00 コンサート 18:30	1,800
19日(日)	芸高3年公開試験(ピアノ)	10:00	無料
21日(火)	芸高3年公開試験(弦楽器)	10:00	無料
	第 期オペラハイライト 於:第3ホール	13:30	無料
24日(金)	ラヴェル・プロジェクト 第5回 藝大フィルハーモニア定期第314回 オール・ラヴェル・プログラム	19:00	1,800
25日(土)	東京藝大チェンバーオーケストラ第5回定期演奏会	15:00	1,300
28日(火)	ラヴェル・プロジェクト 第6回 “うた”シリーズⅤ 第1日オペラの夕べ	18:30	1,800
30日(木)	モーニング・コンサート8(打楽器・クラリネット・声楽)	11:00	無料
	学内演奏会(吹奏楽)	18:30	無料

[\[トップへ戻る\]](#)

7月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
3日(日)	藝大とあそぼう ～オーケストラの逆襲～	15:00	未定
6日(水)	アジア・躍動する音たち～上海音楽学院を迎えて～	19:00	1,800
7日(木)	モーニング・コンサート9(バストロンボーン・チェロ)	11:00	無料
8日(金)	学内演奏会(ピアノ)	13:00	無料
9日(土)	管楽器シリーズ モーツァルトの管楽器曲を集めて	17:00	1,800
14日(木)	モーニング・コンサート10(ピアノ・ヴァイオリン)	11:00	無料
16日(土)	時の響き JAZZ in 藝大～原 信夫とシャープス フラッツ VS Manto Vivo～	17:00	2,400

[\[トップへ戻る\]](#)

9月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
8日(木)	モーニング・コンサート11(作曲・ピアノ)	11:00	無料
15日(木)	モーニング・コンサート12(オーボエ・ヴァイオリン)	11:00	無料
18日(日)	うたシリーズV - 2 森鷗外訳オペラ「オルフェウス」	17:00	2,400
19日(月)	うたシリーズV - 2 森鷗外訳オペラ「オルフェウス」	18:30	2,400

[\[トップへ戻る\]](#)

10月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
9日(日)	藝大オペラ定期第51回 W.A.モーツァルト 皇帝ティートの慈悲 全二幕 第1日	14:00	2,400
10日(月)	藝大オペラ定期第51回 W.A.モーツァルト 皇帝ティートの慈悲 全二幕 第2日	14:00	2,400
13日(木)	学内演奏会(雅楽) 於:第6ホール	18:00	無料
14日(金)	学内演奏会(弦楽)	13:00	無料
17日(月)	学内演奏会(弦楽)	13:00	無料
18日(火)	学内演奏会(弦楽)	13:00	無料
21日(金)	藝大フィルハーモニア定期(藝大定期第315回)	19:00	1,800
23日(日)	上野の森オルガンシリーズ シンフォニックな響き～ロマン派のオルガン音楽～	15:00	1,800
24日(月)	学内演奏会(声楽)	13:30	無料
25日(火)	学内演奏会(声楽)	13:30	無料
26日(水)	学内演奏会(声楽)	13:30	無料
	学内演奏会(能楽) 於:第4ホール	14:00	無料
27日(木)	学内演奏会(指揮)	11:00	無料
	第17回東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校定期演奏会	18:30	無料 (要:整理券)
28日(金)	学内演奏会(声楽)	13:30	無料
	東京芸術大学音楽学部・韓国藝術総合学校音楽院「友好交流学生オーケストラ演奏会」(学内演奏会)	19:00	無料
31日(月)	学内演奏会(箏曲・尺八)	12:30	無料

[\[トップへ戻る\]](#)

11月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
1日(火)	学内演奏会(三味線音楽・日本舞踊)	11:00	無料
2日(水)	ハイドン・シリーズ 第1夜	19:00	1,300
4日(金)	ハイドン・シリーズ 第2夜	19:00	1,300
8日(火)	学内演奏会(作曲)	14:00	無料
11日(金)	学内演奏会(作曲)	14:00	無料
18日(金)	藝大フィルハーモニア・合唱定期(藝大定期第316回)	18:30	1,800
24日(木)	創造の杜 藝大現代音楽の夕べ	19:00	1,800
25日(金)	藝大学生オーケストラ定期(藝大定期第317回)	18:30	1,300
30日(水)	藝大定期吹奏楽 第71回	18:30	1,300

[\[トップへ戻る\]](#)

12月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
1日(木)	卒業試験公開演奏会(ピアノ)	10:00	無料
2日(金)	卒業試験公開演奏会(ピアノ)	10:00	無料
3日(土)	うたシリーズ リヒター教授監修によるドイツ歌曲コンサート	17:00	1,800
5日(月)	卒業試験公開演奏会(ピアノ)	10:00	無料
6日(火)	邦楽定期演奏会 第71回	18:00	1,800
13日(火)	学内演奏会(楽理) 於:第6ホール	13:00	無料
21日(水)	卒業試験公開演奏会(管打楽器)	11:15	無料
22日(木)	卒業試験公開演奏会(管打楽器)	13:00	無料

[\[トップへ戻る\]](#)

平成18年1月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
10日(火)	卒業試験公開演奏会(声楽)	10:00	無料
11日(水)	卒業試験公開演奏会(声楽)	10:00	無料
16日(月)	卒業試験公開演奏会(弦楽)	9:30	無料
17日(火)	卒業試験公開演奏会(弦楽)	10:00	無料
18日(水)	卒業試験公開演奏会(箏曲・尺八)	10:00	無料
19日(木)	卒業試験公開演奏会(指揮)	11:00	無料
20日(金)	卒業試験公開演奏会(古楽)	10:30	無料
	卒業試験公開演奏会(オルガン)	14:00	無料
23日(月)	卒業試験公開演奏会(三味線音楽・邦楽囃子・日本舞踊)	11:30	無料
25日(水)	修士課程学位審査演奏会(独唱)	11:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(ソルフェージュ) 於:第1ホール	13:00	無料
26日(木)	修士課程学位審査演奏会(独唱)	11:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(指揮) 於:第6ホール	11:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(弦楽) 於:第6ホール	13:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(室内楽) 於:第6ホール	16:00	無料
27日(金)	修士課程学位審査演奏会(弦楽) 於:第6ホール	10:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(古楽)	10:00	無料
30日(月)	修士課程学位審査演奏会(古楽)	10:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(ピアノ) 於:第1ホール	10:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(弦楽) 於:第6ホール	14:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(オルガン・チェンバロ)	14:00	無料
31日(火)	修士課程学位審査演奏会(ピアノ) 於:第1ホール	10:00	無料

[\[トップへ戻る\]](#)

2月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
2日(木)	修士課程学位審査演奏会(オペラ)	13:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(邦楽) 於:第6ホール	13:00	無料

3日(金)	修士課程学位審査演奏会(管打楽) 於:第6ホール	12:00	無料
	修士課程学位審査演奏会(オペラ)	13:00	無料
9日(木)	モーニング・コンサート13(ヴァイオリン・ピアノ)	11:00	無料
	藝大定期室内楽第32回 第1夜	18:30	1,300
10日(金)	藝大定期室内楽第32回 第2夜	18:30	1,300
17日(金)	東京藝大チェンバーオーケストラ 第6回定期演奏会	19:00	1,300
19日(日)	管打楽器シリーズ アンドレ・ジョリヴェとその周辺	15:00	1,800

[\[トップへ戻る\]](#)

3月

日程	公演名	開演時間	入場料(円)
19日(日)	藝大21 第一回東京藝術大学音楽堂企画学内募集 最優秀企画 中島敦 原作 山月記 ~光と音の無言劇~	19:00	無料事前申し込み制 受付終了
21日(火)	三林輝夫テノールリサイタル(退職記念演奏会)	15:00	無料 事前申し込み制 受付終了

[\[トップへ戻る\]](#)

定期演奏会について

[\[トップへ戻る\]](#)

芸大定期演奏会(オーケストラ・吹奏楽・邦楽・オペラ・室内楽)

音楽学部の行事として、実施している定期演奏会。
管弦楽研究部によるものを年4回(うち、合唱つき1回)、邦楽を年2回、学生オーケストラ・吹奏楽・オペラ・室内楽を年1回開催している。

モーニングコンサート

毎年、作曲・声楽・ピアノ・弦楽・管打楽器・オルガンの各科から選ばれた優秀な学生が、芸大フィルハーモニアと共演し日頃の研究成果を披露する特別企画コンサート。(年間13回実施。入場無料。演奏時間:約1時間)

学内演奏会

3・4年生を中心とした専攻実技の公開研究発表会。

卒業試験公開演奏会

毎年、年末に実施している専攻実技の卒業試験公開演奏会。入場無料。演奏中は試験官が採点しておりますので、受け付けの案内に従って御入場願います。

お問い合わせ

[\[トップへ戻る\]](#)

公演・チケットに関するお問い合わせ

東京芸術大学 演奏芸術センター
TEL 050-5525-2300
〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学

平成17年度

コンサート スケジュール

TOKYO NATIONAL UNIVERSITY OF FINE ARTS AND MUSIC

2005年4月-2006年3月

発行：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター





東京藝術大学奏楽堂について

東京藝術大学奏楽堂は、昭和59年の旧奏楽堂の老朽化による解体・移築以降続いてきたコンサートホールの不在を解消すべく、平成10年3月に新しく建設されました。新奏楽堂の設計にあたっては、芸術音楽の教育および研究の場としての機能、音響効果、設備を重視し、周囲の環境と調和する格調の高いものとなるよう配慮いたしました。ホール全体があかもひとつの楽器であるかのように、調和のとれた響きを生むものとして考え、音響特性を使用目的に応じて変えられるよう、世界で初めての、可動式の客席天井を採用しています。

◎奏楽堂データ
竣工：平成10年3月
形状：シューボックスタイプ
座席数：1,140席（オケピット使用時1,018席）
残響時間：1.7～2.4秒（可変式天井により変更可能）
設計：東京藝術大学施設課
（株）岡田新一設計事務所
（株）永田音響設計

◎パイプオルガンデータ
製造：フランス カルニエ社製
仕様：3手鍵盤、足鍵盤、ストップ数76

本書についての説明

本パンフレットには平成17年度（2005年4月から2006年3月）に開催される、東京藝術大学が主催するすべての公開演奏会（公開試験等も含む）、および本学がその開催にあたって深く関わりを持つ演奏会を掲載しております。また本学の敷地内にある、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校（芸高）の演奏会も一部掲載しました。

奏楽堂をはじめとして学内で行われる演奏会は、①会場②開演時間③出演者④入場料⑤その他の各データを掲載しました。なお（財）台東区芸術文化財団と本学が共催する「木曜コンサート」シリーズの会場である旧東京音楽学校奏楽堂は、上野公園内にある施設で、芸大構内の奏楽堂とは別の建物ですのでご注意ください。

奏楽堂で開催される外部主催のコンサートは末尾に一括して別に掲載しました。詳細は各主催者にお問い合わせください。

掲載データは2005年3月15日現在のものです。今後都合により変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。なお、本学のホームページでは、演奏会情報を随時更新しておりますので、そちらでもご確認ください（<http://www.geidai.ac.jp>）。

東京藝術大学演奏芸術センターについて

東京藝術大学演奏芸術センターは、平成9年4月、奏楽堂を舞台に、美術学部・音楽学部の枠を超えて、演奏および音楽的舞台芸術の創造的な「場」をプロデュースするために設置されました。さまざまなコンサートの企画・制作にあたっていますが、平成16年度より以下の3つの柱を軸に活動しております。

- ① 藝大の響き
音楽学部各講座の枠を越えたインタラクティブな試み
- ② 奏楽堂シリーズ
音楽学部各講座の専門性、独自性を活かしたコンサートシリーズ
- ③ 藝大21
広いスペースをタイプで「今」という時代を見つめる企画

上記3つの柱は本パンフレットでは色分けして表示しています。
◎お問い合わせ — 東京藝術大学演奏芸術センター TEL.03-5685-7700

2005.04 APRIL

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 ■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 奏楽堂シリーズ ■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

7日(木)

修士リサイタル(声楽)

①第6ホール ④無料

14日(木)

モーニング・コンサート 1

①ラマニノフ:ピアノ協奏曲第3番-短調 Op.30
 ①奏楽堂 ②11:00 ③松田祐輔 (Pf)、
 田中良和 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

21日(木)

モーニング・コンサート 2

①ヘンデル:ハープ協奏曲変ロ長調
 ①サン=サーンス:ピアノ協奏曲第2番-短調 Op.22
 ①奏楽堂 ②11:00 ③津野田圭 (Hp)、伊藤わか
 奈 (Pf)、佐藤功太郎 (Con)、藝大フィルハーモニア
 ④無料

木曜コンサート(ピアノ)

①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00
 ④300 (旧奏楽堂入館料)

22日(金)

同声会新人演奏会 第1回

①シュペール:ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ
 ①ドニゼッティ:アリア “冢も旅籠もうまいく”
 ①ロッシーニ:アリア “私のような医者に向かって” 他
 ①奏楽堂 ②18:30
 ③大和加奈、渡辺美穂 (Vn)、奥田昌世、平福知夏
 (Sop)、相田麻純 (M Sop)、布施奈緒子 (Alt)、西岡
 慎尔 (Ten)、大山大輔 (Bar)、ほか東京芸大音楽学部
 同声会受賞者 ④1,800

23日(土)

同声会新人演奏会 第2回

①サン=サーンス:序奏とロンド・カブリチオーソ

①バッハ:半音階的幻想曲とフーガ
 ①シヨパン:幻想ポロネーズ Op.61 他
 ①奏楽堂 ②14:00 ③境祥子 (Per)、重岡菜穂子
 (Vn)、阿部真理、川岸麻理、津田裕也 (Pf)、ほか東京
 芸大音楽学部同声会受賞者 ④1,800

同声会新人演奏会 第3回

①宮城道雄:水の変態
 ①リーバーマン:ソナタ
 ①鈴木輝昭:コンドウトゥス 他
 ①奏楽堂 ②18:30 ③河合佐季子 (長唄三味線)、
 永池あかり (箏曲生田流)、渡邊玲奈 (Fl)、岩下奈未
 (Hr)、梅干野安未 (Org)、ほか東京芸大音楽学部同
 声会受賞者 ④1,800

26日(火)

学内演奏会(学生オーケストラ)

①ベートーヴェン:交響曲第2番-長調 Op.36
 交響曲第4番-変ロ長調 Op.60
 ①奏楽堂 ②18:30 ③三河正典、佐藤功太郎
 (Con)、東京藝術大学学生オーケストラ ④無料

28日(木)

特別演奏会

「ゲルハルト・ボッセ先生を迎えて」

①ハイ든:交響曲第86番-長調
 ①ブルックナー:交響曲第4番-変ホ長調
 「ロマンティック」(ハース版)
 ①奏楽堂 ②19:00 ③ゲルハルト・ボッセ (Con)、
 藝大フィルハーモニア ④1,800

昨年度の公演から一藝大の響き [ドヴォルザーク・プロジェクト]



2004.5.1 — ドヴォルザーク・プロジェクト I
 世界のマエストロを迎えて (Con:クルト・マズア)



2004.5.22 — ドヴォルザーク・プロジェクト II
 レクチャール・コンサート第1回



2004.5.29 — ドヴォルザーク・プロジェクト III
 レクチャール・コンサート第2回



2004.6.5 — ドヴォルザーク・プロジェクト IV
 レクチャール・コンサート第3回



2004.6.19 — ドヴォルザーク・プロジェクト V
 レクチャール・コンサート第5回



2004.11.19 — ドヴォルザーク・プロジェクト XI
 藝大フィルハーモニア・合唱定期演奏会

2005.05 MAY

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 ■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 音楽学部主催コンサート ■ 藝大21 ■ 音楽堂・リールズ ■ 音楽堂・ソニーズ

6日(金)

藝大21 和楽の美

邦楽叙事詩「スサノヲ」

脚本:千野嘉實、演出:實相寺昭雄、舞台美術:伊藤隆道、衣裳:小日向千秋、照明:牛場賢二、舞台映像:馬場美次、舞台監督:貫川英司

- ① 音楽堂 ② 19:00 ③ 作曲:山本邦山、東音大塚隆子、安藤政輝、萩岡松韻、筋付:武田孝史、関根知孝、作詞:望月太喜雄、振付:花柳寿美、出演:関根知孝(語り部)、武田孝史(スサノヲ)、花柳寿美(アメノウズメ、アジナズチ)、野村万蔵(オモイカネ)、野村小三郎(タジカラヲ)、吾妻節禰(クシナダ)、野村四郎(テナズチ)、ほか邦楽科学生 ④ 2,400

9日(月)

アカンサス・コンサート(芸高)

- ① 芸高201ホール ② 13:00 ④ 無料

10日(火)

学内演奏会(古楽)

- ① 音楽堂 ② 11:00
- ③ 天野寿彦(バロックVn)、郡司和也(Cem)
- ④ 無料

学内演奏会(オルガン)

- ① 音楽堂 ② 14:00 ③ 野田亜紀、吉村伶子(Org)
- ④ 無料

12日(木)

モーニング・コンサート 3

- ◎ シュエマン:序奏とアレグロ・アバランシヨナー
- ◎ プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲第2番ト短調 Op.63
- ① 音楽堂 ② 11:00
- ③ 外山啓介(Pf)、小杉結(Vn)、ハンズ=マルティン・シユナイト(Cem)、藝大フィルハーモニア ④ 無料

13日(金)

学内演奏会(管打楽器)

- ① 音楽堂 ② 13:00 ④ 無料

19日(木)

モーニング・コンサート 4

- ◎ 後藤英江:パンチチュール・ボエム=ミロの絵画に寄せて
- ◎ イサン・ユン:フルート協奏曲
- ① 音楽堂 ② 11:00
- ③ 神田勇哉(F)、田中良和(Cem)、藝大フィルハーモニア ④ 無料

21日(土)

ラヴェル・プロジェクト 第1回

レクチャー&コンサート1

声楽と2台ピアノの夕べ

【レクチャー】

「光七色の戯れ-ラヴェルの時代のフランス絵画」
 講師:高階秀爾(大原美術館館長)

【コンサート】

- ◎ ラヴェル:5つのギリシャ民謡

博物誌

マダガスカル人の歌

耳で聞く風景

口絵

ラ・ヴェルス 他

- ① 音楽堂 ② レクチャー-17:00/コンサート18:30
- ③ 歌:三林輝夫(Ten)、大島洋子(Sop)、栗林朋子、永井和子(M Sop)、ピアノ伴奏:海老裕子、奥千歌子、大島裕子、ピアノ:植田克己、多美智子、児嶋一江、白石光隆、ほかピアノ科学生 ④ 1,800

24日(火)

学内演奏会(ピアノ)

- ① 音楽堂 ② 13:00 ④ 無料

26日(木)

モーニング・コンサート 5

- ◎ 飯島純子:寂寞〜オーケストラのための
- ◎ プーランク:オルガン、弦楽とティンパニのための協奏曲
- ① 音楽堂 ② 11:00 ③ 梅干野安未(Org)、松尾葉子(Cem)、藝大フィルハーモニア ④ 無料

学内演奏会(管打楽器)

- ① 音楽堂 ② 13:00 ④ 無料

木曜コンサート(弦楽)

- ① 旧東京音楽学校音楽堂 ② 14:00 ④ 300

27日(金)

学内演奏会(学生オーケストラ)

- ◎ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第1番ハ長調 Op.21
- ◎ プラームス:交響曲第1番ハ短調 Op.68
- ① 音楽堂 ② 18:30

- ③ 佐藤卓史(Pf)、ハンズ=マルティン・シユナイト(Cem)、東京藝術大学学生オーケストラ ④ 無料

28日(土)

ラヴェル・プロジェクト 第2回

レクチャー&コンサート2

ピアノ曲全曲演奏会

【レクチャー】

「ラヴェル-その“メヌエット”を通して」

講師:松橋麻利

【コンサート】

- ◎ ラヴェル:水の戯れ
- 鐘
- 古風なメヌエット
- 亡き王女のためのパヴァーヌ
- クーブランの墓
- 夜のガスバール 他

- ① 音楽堂 ② レクチャー-17:00/コンサート18:30
- ③ 出演:青柳晋、伊藤恵、遠藤郁子、浜口奈々、岡本

愛子、砂原悟、佐藤俊、松岡淳、ほかピアノ科学生

- ④ 1,800

30日(月)

学内演奏会(管打楽器)

- ① 音楽堂 ② 13:00 ④ 無料

31日(火)

邦楽定期演奏会 第70回

- ◎ 雅楽「春鶯囀遊聲」
- ◎ 能楽宝生流「草紙洗」
- ◎ 生田流箏曲「八重衣」
- ◎ 山田流箏曲「七福神」
- ◎ Rハ「鶴の巢籠・鹿の遠音吹き合わせ」
- ◎ 長唄・邦楽離子「蜘蛛拍子舞」
- ① 音楽堂 ② 18:30 ③ 多忠輝、東條雅季(雅楽)、渡邊若之助、武田孝史(能楽)、安藤政輝、新宮順子(生田流)、萩岡松韻(山田流)、徳丸十盟(尺八)、東音西垣和彦、東音大塚隆子(長唄)、望月太喜雄(邦楽離子)、ほか邦楽科教員・学生 ④ 1,800

楽器等の略号の説明

F:フルート	Ob:オーボエ
Cl:クラリネット	Fg:ファゴット
Hr:ホルン	Trp:トランペット
Tbn:トロンボーン	Tuba:チューバ
Vn:ヴァイオリン	Vcl:ヴィオラ
Vc:チェロ	Cb:コントラバス
Hp:ハープ	Pf:ピアノ
Cem:チェンバロ	Org:オルガン
Per:パーカッション	G:ギター
Sop:ソプラノ	M Sop:メゾソプラノ
Alt:アルト	Ten:テノール
Bar:バリトン	Bas:バス
Con:指揮	

2005.06 JUNE

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 ■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 音楽学部主催コンサート ■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

2日(木)

モーニング・コンサート 6

- ◎トマゾ:アルト・サクソフォーンのための協奏曲
- ◎バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番
- ① 奏楽堂 ②11:00 ③ 田村真寛 (A Sax)、宮下綾子 (Vn)、尾高忠明 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

4日(土)

上野の森オルガン・シリーズ

- 神祕のオルガン音楽～スベインの黄金時代～
- ◎カバニェリョス:第6旋法によるティエント
- ◎アラウホ:第4旋法によるカンジオン風ティエント 他
- ① 奏楽堂 ②15:00 ③ 鈴木雅明 (Org)、野々下由香里 (Sop)、つのだたかし (G) ④1,800

7日(火)

学内演奏会 (ピアノ)

- ① 奏楽堂 ②13:00 ④無料

9日(木)

モーニング・コンサート 7

- ◎佐野秀典:交響的譚詩
- ◎モーツァルト:ロンド「汝をあかめるもの望みとして」
アリア「お願いだ、詮察しないでくれ」
- ① 奏楽堂 ②11:00
- ③ 峯道子 (Sop)、藤井雄介 (Ten)、広上浄一 (Con)、
藝大フィルハーモニア ④無料

10日(金)

学内演奏会 (ピアノ)

- ① 奏楽堂 ②13:00 ④無料

11日(土)

ラヴェル・プロジェクト 第3回

レクチャー&コンサート3 室内楽全曲演奏会

- レクチャー
「ラヴェルとバリ音楽院」 講師:井上さつき
- コンサート
◎ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ
弦楽四重奏曲へ長調
序奏とアレグロ
ピアノ三重奏曲 他
- ① 奏楽堂 ②レクチャー17:00/コンサート18:30
- ③レクチャー「ラヴェルとバリ音楽院」(講師:井上さつき)、出演:玉井菜採、漆原啓子、ジェラルド・ブーレ (Vn)、朝吹園子、クロード・ルロン (Va)、山崎伸子、門脇大樹 (Vc)、篠崎史子 (Hp)、青柳晋、川島余理 (Pf)、ほか 芸大教員・学生 ④1,800

14日(火)

学内演奏会 (ピアノ)

- ① 奏楽堂 ②13:00 ④無料

16日(木)

木曜コンサート (指揮)

- ①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

17日(金)

- 藝大フィルハーモニア定期
(藝大定期第313回) 新卒業生紹介演奏会
- ◎新倉一梓:サンサーラの笛
- ◎ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番 長調 Op.58 他
- ① 奏楽堂 ②18:30
- ③近藤千花子 (Cl)、津田裕也 (Pf)、遠藤真理 (Vc)、
大山大輔 (Bar)、鈴木竜哉 (Con)、佐藤功太郎 (Con)、
藝大フィルハーモニア ④1,300

18日(土)

ラヴェル・プロジェクト 第4回

- レクチャー&コンサート4 ラヴェルとその周辺

【レクチャー】

- 「ラヴェルとその時代」 講師:松山隆
- 【コンサート】
◎ラヴェル:マラルメの3つの詩
- ◎エンニャンベルク:月に遊かれたピエロ 他
- ① 奏楽堂 ②レクチャー17:00/コンサート18:30
- ③ 寺谷千枝子 (M Sop)、佐藤ひさら、坂本知亜紀 (Sop)、漆原朝子、山崎貴子 (Vn)、百武由紀 (Va)、
河野文昭 (Vc)、秦はるひ (Pf)、現田茂夫 (Con)、ほか
芸大教員・学生 ④1,800

19日(日)

芸高3年公開試験 (ピアノ)

- ① 奏楽堂 ②10:00 ④無料

21日(火)

芸高3年公開試験 (弦楽器)

- ① 奏楽堂 ②10:00 ④無料

第1期オペラ・ハイライト

- ① 第3ホール ②13:30
- ③ 大学院オペラ専攻生、オペラ教員 ④無料

24日(金)

- ラヴェル・プロジェクト 第5回
- 藝大フィルハーモニア定期 (藝大定期第314回)
- ラヴェル・プログラム
- ◎ラヴェル:シエラザード
ピアノ協奏曲 長調
ダフニスとクロエ第2組曲 他
- ① 奏楽堂 ②19:00
- ③ 栗林朋子 (M Sop)、東誠三、北川暁子 (Pf)、
尾高忠明 (Con)、藝大フィルハーモニア ④1,800
- ⑤ プレ・コンサートあり (18:15～)

芸高3年公開試験 (管楽器・邦楽)

- ① 芸高201ホール ②13:00 ④無料

25日(土)

東京藝大チェンバーオーケストラ

- 第5回定期演奏会
- ◎ヘンデル:合奏協奏曲 Op.67
- ◎エルガー:序奏とアレグロ Op.47
- ◎V.ウイリアムズ:タリスの主題による幻想曲 他
- ① 奏楽堂 ②15:00
- ③ マルコム・レイフィールド (Con)、東京藝大チェンバー
オーケストラ ④1,300

28日(火)

ラヴェル・プロジェクト 第6回

- うたシリーズV-1～オペラの夕べ
- 演出:直井研二、美術:伊藤隆道、照明:海藤春樹
- ◎ラヴェル:オペラ「スベインの詩」
オペラ「子供と呪文」
- ① 奏楽堂 ②18:30
- ③ コンセプション:佐藤ひさら、コンサルヴァエ:小林彰英、
トルケマダマ:吉田伸昭、ラミロ:今尾滋、ドン・イニコ:小
野和彦、坊や:永井和子、母親:伊原直子、ほか 音楽科
教員・大学院生、合唱:音楽科学生、佐藤功太郎、松
尾葉子、東京藝術大学学生オーケストラ ④1,800

30日(木)

モーニング・コンサート 8

- ◎コッセル:ヴァイブラフォン、マリンバと
オーケストラのためのトッカータ
- ◎ワーグナー:ヴェーゼンドククの5つの歌 他
- ① 奏楽堂 ②11:00 ③ 相川隼、石橋知佳 (Per)、中
秀仁、西崎智子 (Cl)、富岡明子、坂上賀奈子 (M Sop)、
小田野宏之 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

学内演奏会 (吹奏楽)

- ① 奏楽堂 ②18:30 ④無料

2005.07 JULY

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 ■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 奏楽堂シリーズ ■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

3日(日)
藝大21 藝大とあそぼう
オーケストラの逆襲
 演出: 西川信廣
 ◎ジョン・ウィリアムズ: 「スター・ウォーズ」組曲より
 ◎マスカーニ: 「ガヴァレリア・アル・ステイカーナ」間奏曲
 ◎ハチャトラヤン: 剣の舞
 ◎ストラヴィンスキー: 組曲「火の鳥」より 他
 ①奏楽堂 ②15:00
 ③直井大輔 (Con)、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校オーケストラ ④1,000

6日(水)
藝大21 アジア・躍動する音たち
～上海音楽学院を招いて～
 ◎「一枝花」
 ◎「虚籁」
 ◎「夜深沉」
 ◎楊立青: 幻想曲 (新作初演) 他
 ①奏楽堂 ②19:00
 ③Liu Ying (唢呐)、Li Jingxia (琵琶)、Wu Qiang (柳琴)、ほか上海音楽学院中国音楽科学生、東京藝術大学邦楽科教員・学生有志 ④1,800

7日(木)
モーニング・コンサート 9
 ◎エフイゼン: バストロンボーン、ハープと弦楽オーケストラのためのバラード Op. 107
 ◎ショスタコヴィチ: チェロ協奏曲第1番 変ホ長調 Op. 107
 ①奏楽堂 ②11:00
 ③山口隼士 (Trb)、辻本鈴 (Vc)、佐藤功太郎 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

9日(土)
管打楽器シリーズ

モーツァルトの管楽器曲を集めて
 ◎モーツァルト: 13楽器のためのセレナード変ロ長調
 ①奏楽堂 ②17:00 ③金昌国 (Con)、小畑善昭 (Ob)、村井祐児 (Cl)、守山光三 (Hr)ほか、東京藝術大学管打楽器専攻生および卒業生 ④1,800

11日(月)
アカンサス・コンサート (芸高)
 ①芸高201ホール ②13:00 ④無料

14日(木)
モーニング・コンサート 10
 ◎プロコフィエフ: ヒア協奏曲第3番 八長調 Op. 26
 ◎チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op. 35
 ①奏楽堂 ②11:00
 ③今西泰彦 (Pf)、小寺里奈 (Vn)、小田野宏之 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

16日(土)
藝大21 時の響き
ジャズin 藝大～シャーブVSヴィーヴォ
 ◎ガーシュウィン: ランディ・イン・ブルー (原典版) 他
 ①奏楽堂 ②17:00
 ③羽田健太郎 (Pf)、藤本隆文 (Vib)、山本洋山 (R/H)ほか、原信夫・シャープス&フラッツ、藝大Manto Vivo ④2,400 ⑤<東京の夏>関連事業

21日(木)
木曜コンサート(オペラ・指揮)
 ①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

昨年度の公演から一藝大21 [その1]



2004.5.7 — 和装の美 和楽劇「買物字留風茶屋」



2004.5.27 — 劇団の社 礼楽劇「買物字留風茶屋」



2004.7.17 — 時の響き～ジャズin 藝大



2004.5.30 — 劇団の社 礼楽劇「買物字留風茶屋」



2005.08 AUGUST

- ①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
- 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 奏楽堂シリーズ ■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

18日(木)

木曜コンサート(声楽)

- ①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

昨年度の公演から—藝大21[その2]



2004.9.16—アジア・躍動する音たち シンボシウム



2004.9.19—藝大とあそぼう〜ゆかいな動物園



同コンサート 安 藤京(ピリ)



2004.9.19—藝大とあそぼう〜ゆかいな動物園

2005.09 SEPTEMBER

8日(木)

モーニング・コンサート 11

- ◎轟 千尋:管弦楽のための「宴客」
- ◎ブームス:ピアノ協奏曲第一番ニ短調 Op.15
- ①奏楽堂 ②11:00 ③多賀 谷祐輔 (Pf)、佐藤 功太郎 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

9日(金)

芸術祭演奏会(予定)

- ①奏楽堂 ④無料

15日(木)

モーニング・コンサート 12

- ◎ツインマーマン:オーボエ協奏曲
- ◎ブームス:ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.77
- ①奏楽堂 ②11:00
- ③久寿米木知子 (Ob)、千葉清加 (Vn)、三河正典 (Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

木曜コンサート(木管・金管)

- ①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

19日(月・祝)

うたシリーズV-2

森鷗外訳オペラ「オルフェウス」

舞台美術:宮廻正明、照明:海藤春樹

- ◎グルック:オペラ「オルフェウス」(森鷗外訳)

- ①奏楽堂 ②18:30

- ③オルフェウス:寺谷千枝子、エウリンヂケ:佐々木典子、アモレレ:山口清子、コーラス:声楽科学生、高岡健(Con)、東京藝術大学「オルフェウス」記念オーケストラ ④2,400 ⑤日本におけるドイツ年2005/2006関連事業、ドイツ連邦共和国大使館後援

2005.10 OCTOBER

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
■ 藝大の響き(ラヴェル・プロジェクト) ■ 奏楽堂シリーズ ■ 音楽学部主催コンサート

藝大21

音楽学部主催コンサート

9日(日)

藝大オペラ定期第51回 第1日

◎モーツァルト: 皇帝テイトウスの慈悲
 ①奏楽堂 ②14:00 ④2,400

10日(月・祝)

藝大オペラ定期第51回 第2日

◎モーツァルト: 皇帝テイトウスの慈悲
 ①奏楽堂 ②14:00
 ③声楽科学生・大学院生他、合唱、声楽科学生、
 ハンス=マルティン・シュナイト(Con)、藝大フィルハー
 モニア ④2,400

14日(金)

学内演奏会(弦楽)

①奏楽堂 ②13:00 ④無料

17日(月)

学内演奏会(弦楽)

①奏楽堂 ②13:00 ④無料

18日(火)

学内演奏会(弦楽)

①奏楽堂 ②13:00 ④無料

20日(木)

学内演奏会(雅楽)

①第6ホール ②16:00 ④無料

木曜コンサート(古楽)

①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

21日(金)

藝大フィルハーモニア定期

(藝大定期第315回)

◎プログラム: 交響曲第一番ハ短調 Op.68 他

①奏楽堂 ②19:00 ③円光寺雅彦(Con)、藝大フ
 イルハーモニア ④1,800

23日(日)

上野の森オルガンシリーズ

シンフォニクな響き~ロマン派のオルガン音楽~
 ①奏楽堂 ②15:00
 ③廣野剛雄、廣江理枝(Org) ④1,800

24日(月)

学内演奏会(声楽)

①奏楽堂 ②13:30 ④無料

25日(火)

学内演奏会(声楽)

①奏楽堂 ②13:30 ④無料

26日(水)

学内演奏会(声楽)

①奏楽堂 ②13:30 ④無料

学内演奏会(能楽)

①第4ホール ②14:00 ④無料

27日(木)

学内演奏会(指揮)

①奏楽堂 ②11:00 ④無料

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校
 定期演奏会

◎邦楽合奏曲

◎ハイドン: オラトリオ「四季」

◎モーツァルト: 交響曲第31番「ハバ」

◎ストラヴィンスキー: レレ組曲「火の鳥」

①奏楽堂 ②18:30

③佐藤功太郎(Con)、東京藝術大学音楽学部附属
 音楽高等学校生徒

28日(金)

学内演奏会(声楽)

①奏楽堂 ②13:30 ④無料

学内演奏会(学生オーケストラ)

①奏楽堂 ②18:30 ④無料

31日(月)

学内演奏会(箏曲)

①奏楽堂 ②12:30 ④無料

昨年度の公演から



2004.10.9~10 藝大オペラ定期第50回
 モーツァルト「コンツェルト」

©林エーコーフィルムプロダクション

2005.11 NOVEMBER

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト)  奏楽堂シリーズ

 藝大21  音楽学部主催コンサート

1日(火)

学内演奏会(三味線音楽・日本舞踊)

①奏楽堂 ②11:00 ④無料

2日(水)

ハイドン・シリーズ 第1夜

◎ハイドン:交響曲第6番ニ長調「朝」
 ピア/協奏曲ニ長調 Hob.18-11
 交響曲第45番嬰へ短調「告別」

①奏楽堂 ②19:00 ③未定 (Pf)、東京藝大チェン
 パーオーケストラ ④1,300

4日(金)

ハイドン・シリーズ 第2夜

弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズ

◎ハイドン:弦楽四重奏曲
 ①奏楽堂 ②19:00
 ③古典弦楽四重奏団 ④1,300

8日(火)

学内演奏会(作曲)

◎作曲科4年生の作品
 ①奏楽堂 ②14:00 ④無料

11日(金)

学内演奏会(作曲)

◎作曲科4年生の作品
 ①奏楽堂 ②14:00 ④無料

14日(月)

アカンサス・コンサート(芸高)

①芸高201ホール ②13:00 ④無料

17日(木)

木曜コンサート(作曲)

①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

18日(金)

藝大フィルハーモニア・合唱定期

(藝大定期第316回)

◎ブルックナー:ミサ曲第3番へ短調
 テ・デウム

①奏楽堂 ②18:30
 ③合唱:声楽専攻学生、ハンス=マルティン・シュユイト
 (Con)、藝大フィルハーモニア ④1,800

22日(火)

第Ⅱ期オペラ・ハイライト

①第3ホール ②13:30
 ③大学院オペラ専攻生、オペラ教員 ④無料

24日(木)

藝大21 創造の杜

藝大現代音楽の夕べ

◎橋本国彦:曲目未定
 ◎佐藤眞:ヴァイオリン・協奏曲(初演)
 ◎他大学院生新作

①奏楽堂 ②19:00
 ③清水高師(Vn)、若杉弘(Con)、
 藝大フィルハーモニア ④1,800

25日(金)

藝大学生オーケストラ定期

(藝大定期第317回)

◎マーラー:交響曲第1番ニ長調「巨人」
 ①奏楽堂 ②18:30 ③小林研一郎(Con)、東京藝
 術大学学生オーケストラ ④1,300

30日(水)

藝大定期吹奏楽 第71回

◎曲目未定
 ①奏楽堂 ②18:30
 ③管打楽器科学生・大学院生 ④1,300

昨年度の公演から一奏楽堂シリーズ



2004.10.31 — 上野の森 オルガンシリーズ
 賛歌の京唄Ⅱ



2004.11.4 — 室内楽演奏会 ハイドンシリーズ
 ハイドン:弦楽四重奏曲全曲演奏 その6



2004.11.20 — うたシリーズ
 名曲でたどるハノラマ・ファンタジー



2005.2.13 — 管楽隊シリーズ
 藝大フラスの歴史を辿り履いて

2005.12 DECEMBER

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 ■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 音楽堂シリーズ ■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

1日(木)

卒業試験公開演奏会(ピアノ)

①音楽堂・1ホール ②10:00 ④無料

2日(金)

卒業試験公開演奏会(ピアノ)

①音楽堂 ②10:00 ④無料

3日(土)

うたシリーズV-3

リッター教授監修によるドイツ歌曲コンサート

◎シラーの詩による歌曲
 ◎ウルマン、ブラームス、レーガー他
 ①音楽堂 ②17:00
 ③朝倉蒼生 (Sop)、伊原直子 (Alt)、多田羅迪夫 (Bar) ほか声楽科教員・大学院生 ④1,800

5日(月)

卒業試験公開演奏会(ピアノ)

①音楽堂・1ホール ②10:00 ④無料

6日(火)

邦楽定期演奏会 第71回

◎曲目未定
 ①音楽堂 ②18:00
 ③邦楽科教員・学生ほか ④1,800

13日(火)

学内演奏会(楽理)

①第6ホール ②13:00 ④無料

15日(木)

木曜コンサート(打楽器)

①旧東京音楽学校音楽堂 ②14:00 ④300

21日(水)

卒業試験公開演奏会(管打楽器)

①音楽堂 ②10:00 ④無料

22日(木)

卒業試験公開演奏会(管打楽器)

①音楽堂 ②10:00 ④無料

第55回チャリティーコンサート

メサイア公演

◎ヘンデル:オラトリオ「メサイア」
 ①東京文化会館 ②18:30
 ③未定 (Con)、藝大フィルハーモニア、合唱、声楽専攻生
 ⑤主催:朝日新聞厚生文化事業団 朝日新聞社

27日(火)

創造の今日と未来(予定)

①音楽堂 ②19:00
 ③照明:海藤春樹、音楽・美術学部学生有志
 ④未定

昨年度の公演から—音楽学部主催定期演奏会



2004.6.25 — 藝大フィルハーモニア定期演奏会 (ドヴォルザーク:プロジェクトⅢ)



2004.6.28 — 東京藝大学生ハンマーオーケストラ定期演奏会 (ドヴォルザーク:プロジェクトⅣ)



2004.11.8 — 吹奏楽定期演奏会



2004.11.9 — 藝大フィルハーモニア・合唱定期演奏会 (ドヴォルザーク:プロジェクトⅤ)



2004.11.30 — 邦楽定期演奏会



2005.2.9-10 — 室内楽定期演奏会

2006.01 JANUARY

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
 ■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジエクト) ■ 奏楽堂シリーズ

■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

10日 (火)
 卒業試験公開演奏会 (声楽)

①奏楽堂 ②10:00 ④無料

11日 (水)
 卒業試験公開演奏会 (声楽)

①奏楽堂 ②10:00 ④無料

16日 (月)
 卒業試験公開演奏会 (ヴァイオリン)

①奏楽堂 ②9:30 ④無料

17日 (火)
 卒業試験公開演奏会 (ヴァイオラ・チェロ・コントラバス・ハープ)

①奏楽堂 ②10:00 ④無料

第Ⅲ期オペラ・ハイライト

①第6ホール ②13:30

③大学院オペラ専攻生、オペラ教員 ④無料

18日 (水)
 卒業試験公開演奏会 (箏曲・尺八)

①奏楽堂 ②10:00 ④無料

卒業試験公開演奏会 (雅楽)

①第6ホール ②18:00 ④無料

19日 (木)
 卒業試験公開演奏会 (指揮)

①奏楽堂 ②11:00 ④無料

卒業試験公開演奏会 (能楽)

①第4ホール ②14:00 ④無料

木曜コンサート (声楽)

①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

20日 (金)
 卒業試験公開演奏会 (オルガン)

①奏楽堂 ②14:30 ④無料

卒業試験公開演奏会 (古楽)

①奏楽堂 ②16:30 ④無料

23日 (月)
 卒業試験公開演奏会 (三味線音楽・日本舞踊)

①奏楽堂 ②10:00 ④無料

25日 (水)
 修士課程学位審査演奏会 (声楽)

①奏楽堂 ②11:00 ④無料

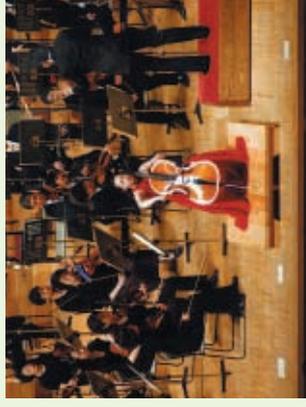
26日 (木)
 修士課程学位審査演奏会 (声楽)

①奏楽堂 ②11:00 ④無料

30日 (月)
 修士課程学位審査演奏会 (オルガン・チェンバロ)

①奏楽堂 ②10:30 ④無料

昨年度の公演からモーニング・コンサート



2004.5.13 - 遠藤真理 (Vc)



2004.7.1 - 渡邊玲奈、上野由恵 (Fl)



2004.9.9 - 佐藤卓史 (P)



2004.11.25 - 日本あい (Sop)

モーニング・コンサートは選抜された技能優秀な学生・大学院生が藝大フィルと協演するコンサートです。木曜日の午前11時から約1時間のプログラムで、無料で開催されています。平成17年度は13回のコンサートが予定されています。

2006.02 FEBRUARY

2006.03 MARCH

①会場 ②開演時間 ③出演者 ④入場料 ⑤その他
■ 藝大の響き (ラヴェル・プロジェクト) ■ 奏楽堂シリーズ ■ 藝大21 ■ 音楽学部主催コンサート

2日(木)

修士課程学位審査演奏会(オペラ)

①奏楽堂 ②13:00 ④無料

3日(金)

修士課程学位審査演奏会(オペラ)

①奏楽堂 ②13:00 ④無料

6日(月)

アカンサス・コンサート(芸高)

①芸高201ホール ②13:00 ④無料

9日(木)

モーニング・コンサート 13

◎プログラム:ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.77

◎ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番ハ短調 Op.18

①奏楽堂 ②11:00 ③守屋剛志(Vn)、秋場敬浩(Pf)、未定(Con)、藝大フィルハーモニア ④無料

藝大定期室内楽第32回 第1夜

◎曲目未定

①奏楽堂 ②18:30

③音楽学部各科学学生・大学院生 ④1,300

10日(金)

藝大定期室内楽第32回 第2夜

◎曲目未定

①奏楽堂 ②18:30

③音楽学部各科学学生・大学院生 ④1,300

16日(木)

木曜コンサート(邦楽)

①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

17日(金)

東京藝大チエンバンオーケストラ

第6回定期演奏会

◎曲目未定

①奏楽堂 ②19:00 ③未定(Con)、

東京藝大チエンバンオーケストラ ④1,300

19日(日)

管打楽器シリーズ

日本の吹奏楽の歴史#1

◎曲目未定

①奏楽堂 ②15:00

③稲川榮一(Tuba)、杉木肇夫(Trp)、守山光三(Hr)、藤本隆文(Perc)、ほか芸大教員・学生 ④1,800

16日(木)

木曜コンサート(室内楽)

①旧東京音楽学校奏楽堂 ②14:00 ④300

19日(日)

藝大21

奏楽堂公募企画(学生から企画を公募)

①奏楽堂 ②15:00 ④未定

21日(火)

三林輝夫先生退職記念演奏会

①奏楽堂 ④無料招待制

昨年度の公演から



2006.3.13 ー 上野の音

芸大以外で開かれる芸大関連コンサート

旧東京音楽学校奏楽堂木曜コンサート(2005年度シーズン予定)

(財)台東区芸術文化財団・東京藝術大学音楽学部共催

旧東京音楽学校奏楽堂は明治23年、当時の東京音楽学校(東京藝術大学の前身)構内に建てられた音楽ホール(昭和62年に現在地に移転)で、ベートーヴェンの「交響曲第九番」が初演されるなど、日本の音楽史のうえで大きな役割を果たしてきました。「木曜コンサート」はその由緒ある旧奏楽堂のステージで、芸大音楽学部の学生たちが演奏する月一回のコンサートシリーズです。入場には旧奏楽堂の入館料(一般300円、小・中学生100円)が必要です。

開催日	開演時間	内容
2005年4月21日(木)	14:00	ピアノ
5月26日(木)	14:00	弦楽
6月16日(木)	14:00	指揮
7月21日(木)	14:00	オペラ・指揮
8月18日(木)	14:00	声楽(独唱)
9月15日(木)	14:00	木管・金管
10月20日(木)	14:00	古楽
11月17日(木)	14:00	作曲
12月15日(木)	14:00	打楽器
2006年1月19日(木)	14:00	声楽
2月16日(木)	14:00	邦楽
3月16日(木)	14:00	室内楽

お問い合わせ:奏楽堂 TEL.03-3824-1988



旧東京音楽学校奏楽堂

依頼演奏会

芸大の学生たちは学内で演奏するばかりでなく、各自治体などからの要請を受けて音楽祭に参加するなど、学外でも広く演奏活動を行っています。本学としては学生たちにとって貴重な体験になるばかりでなく、重要な社会貢献のひとつとしてとらえている活動であり、その主なものを下記にまとめました。

公演名	開催日	場所	主催
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン	4月29日(金)	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
別府アルゲリッチ音楽祭	5月19日(木)	別府ビーコンプラザ	別府アルゲリッチ音楽祭組織委員会、大分県、別府市
伊沢修二先生記念音楽祭	10月29日(土)	高遠町文化体育館	長野県高遠町

奏楽堂での外部主催コンサート

芸大奏楽堂は公共のホールではありませんが、外部からの使用申請についても、その趣旨が本学の理念に合致すれば、貸し出し使用を認めています。特に地元台東区とは地域に密着した活動を展開するべく、さまざまな形で連携しコンサートを行っています。ここでは来年度のそうしたコンサートを一覧表にまとめました。

開催日時	公演名&料金	主催
4月17日(日)	創立50周年記念上野演劇合唱団新15回定期演奏会	上野演劇合唱団
14:00~	◎無料招待制	03-3875-2241
7月17日(日)	東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー	東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー
15:00~	ベートーヴェン「莊嚴ミサ曲」演奏会	03-3772-6592
	◎3,000円	
7月18日(月・祝)	日本の音楽芸術を伝える会チャリティー演奏会	NPO法人日本の音楽芸術を創る会
18:00~	海にきらめく珠玉のチャリティガラコンサートIII	03-5834-0615
	◎3,500円	
9月4日(日)	台東区ジュニアオーケストラ25周年記念	台東区教育委員会文化課東スポーズ課
13:30~	第25回定期演奏会 ◎入場無料(整理券配布)	03-5246-5851
10月30日(日)	第50回台東区合唱祭	台東区合唱連盟
13:30~	◎無料招待制	03-3845-0116
12月11日(日)	東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー	東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー
15:00~	ハッハ「クリスマス・オラトリオ」演奏会	http://homepages3.nifty.com/christmas_chor/
	◎2,500円	
12月18日(日)	第25回「台東第九公演」下町で第九	台東区立御徒町台東中学校
15:00~	◎2,000円	03-5246-5851
12月23日(金・祝)	奏楽堂演奏会—御徒町台東中と芸大による	台東区立御徒町台東中学校
14:00~	◎入場無料	03-3831-3787
2006年	台東区ジュニアオーケストラ	台東区教育委員会文化課東スポーズ課
3月26日(日)	第24回ファミリーコンサート	03-5246-5851
13:30~	◎入場無料(整理券配付)	

公演内容の詳細は各主催者にお問い合わせください。

「藝大フレンズ」入会のお誘い

東京藝術大学では、毎年継続的に本学の教育研究活動をご支援いただくとともに、本学の大学美術館、奏楽堂における展覧会、コンサートを楽しんでいただくために、大学サポート制度として「藝大フレンズ」制度を創設しました。

ご入会いただくと、大学美術館展覧会や奏楽堂におけるコンサートの無料ご招待など、様々な特典がございます。詳しくは東京藝術大学「藝大フレンズ」担当までお問い合わせください。

東京藝術大学「藝大フレンズ」担当

TEL 03-3828-1155 FAX 03-5685-7760

E-Mail: friends@off.geidai.ac.jp

インフォメーション

東京藝術大学奏楽堂

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

TEL 03-5685-7700 (東京藝術大学演奏藝術センター)



有料コンサートチケットお取り扱い

チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用になれません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

外部主催演奏会については各主催者にお問い合わせください

発行:

東京藝術大学音楽学部

東京藝術大学演奏藝術センター

企画・編集:

東京藝術大学演奏藝術センター

本文デザイン:

大槻 学

印刷:

株式会社アポロ社

2005年4月発行

禁無断転載

Re:100
REPRODUCTION RIGHTS CO., LTD.

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

2005年度奏楽堂モーニングコンサート

日時 : 第1回 2005年4月14日(木)
 第2回 2005年4月21日(木)
 第3回 2005年5月12日(木)
 第4回 2005年5月19日(木)
 第5回 2005年5月26日(木)
 第6回 2005年6月2日(木)
 第7回 2005年6月9日(木)
 第8回 2005年6月30日(木)
 第9回 2005年7月7日(木)
 第10回 2005年7月14日(木)
 第11回 2005年9月8日(木)
 第12回 2005年9月15日(木)
 第13回 2006年2月9日(木)
 10:30開場
 11:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 入場無料

主催 : 東京芸術大学音楽学部
東京芸術大学演奏芸術センター

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター
03-5685-7700



東京芸術大学の独自の特別企画演奏会として行っていますモーニング・コンサートは、作曲、声楽、ピアノ、オルガン、弦楽、管打楽の各科から選ばれた優秀な学生が、芸大フィルハ - モニアとの共演により協奏曲や作品の演奏をするものです。若き学生達の熱い演奏をご期待下さい。(演奏時間は1回当たり概ね1時間です)

第1回	4月14日(木)	指揮:田中良和 松田祐輔(ピアノ)	S.ラフマニノフ : ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30
第2回	4月21日(木)	指揮:佐藤功太郎 津野田圭(ハープ) 伊藤わか奈(ピアノ)	G.F.ヘンデル : ハ - プ協奏曲 変ロ長調 C.サン=サーンス : ピアノ協奏曲 第2番ト短調 op.22
第3回	5月12日(木)	指揮:H. M. シュナイト 外山啓介(ピアノ) 小杉 結(ヴァイオリン)	R.シューマン : 序奏とアレグロ・アパッショナート op.92 S.プロコフィエフ : ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63
第4回	5月19日(木)	指揮:田中良和 後藤英江(作曲) 神田勇哉(フルート)	パンチュール・ボエム - ミロの絵画に寄せて イサン・ユン : フルード協奏曲
第5回	5月26日(木)	指揮:松尾葉子 飯島絢子(作曲) 梅干野安未(オルガン)	寂寞 ~ オーケストラのための ~ F.プーランク : オルガン・弦楽とティンパニの為の協奏曲
第6回	6月2日(木)	指揮:尾高忠明 田村真寛(サクソフォーン)	H.トマジ : アルトサクソフォーン協奏曲
第7回	6月9日(木)	指揮:広上淳 - 佐野秀典(作曲) 蒼 道子、藤井雄介(声楽)	交響的譚詩 W.A.モーツァルト : コンサートアリアK.577 W.A.モーツァルト : アリア「お願いだ、詮索しないでくれ」K.420

W. A. モーツァルト : 「後宮よりの逃走」より「何という運命！この心の痛みよ」

第8回	6月30日(木)	指揮:小田野宏之	
		相川 瞳、石橋知佳(打楽器)	石井真木 : アフロコンチェルト ヴァージョンA 作品50
		中 秀仁、西崎智子(クラリネット)	F. クロンマー : 2本のクラリネットのための協奏曲
		富岡明子、坂上賀奈子(声楽)	R. ワークナー : ヴェ - ゼンドクスの5つの歌
第9回	7月7日(木)	指揮:高関 健	
		山口隼士(パストロンボーン)	E. エワイゼン : パストロンボーン、ハ - プと弦楽オーケストラのためのバラード
		辻本 玲(チェロ)	D. ショスタコーヴィチ : チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 op. 107
第10回	7月14日(木)	指揮:小田野宏之	
		今西泰彦(ピアノ)	S. プロコフィエフ : ピアノ協奏曲 第3番 八長調 op. 26
		小寺里奈(ヴァイオリン)	P. チャイコフスキー : ヴァイオリン協奏曲 二長調 op. 35
第11回	9月8日(木)	指揮:田中良和	指揮者佐藤功太郎は急病のため出演不可能となりました。 指揮者を田中良和に変更いたします。
		轟 千尋(作曲)	管弦楽のための「変容」
		多賀谷祐輔(ピアノ)	J. ブラームス : ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op. 15
第12回	9月15日(木)	指揮:三河正典	
		久寿米木知子(オーボエ)	B. A. ツィンマーマン : オーボエ協奏曲
		千葉清加(ヴァイオリン)	J. ブラームス : ヴァイオリン協奏曲 二長調 op. 77
第13回	2月9日(木)	指揮:未定	
		守屋剛志(ヴァイオリン)	J. ブラームス : ヴァイオリン協奏曲 二長調 op. 77
		秋場敬浩(ピアノ)	S. ラフマニノフ : ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op. 18

指揮者

田中良和 Yoshikazu TANAKA (第1回・第4回)

東京芸術大学指揮科を卒業。第14回民音コンクール指揮部門第1位受賞。BBC主催ルパート指揮者コンクール特別賞受賞。関西フィル、広島交響楽団の指揮者を務める。
東京芸術大学非常勤講師。

佐藤功太郎 Kotaro SATO (第2回・第9回)

東京芸術大学にてクラリネットを専攻、後に指揮科に移り、渡辺暁雄暁雄氏に師事。ボストンのニューイングランド音楽院指揮科入学。群馬交響楽団、京都市交響楽団の常任指揮者、また新星日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者等を歴任。
東京芸術大学指揮科主任教授。

ハンス=マルティン・シュナイト Hanns-Martin SCHNEIDT (第3回)

ミュンヘン音楽大学を経て、ベルリン協会音楽学校長、ヴッパータール市立劇場音楽総監督、ハンブルグ音楽大学教授等を歴任。1984年には、カーン・リヒターの後任として、ミュンヘン・パツハ合唱団及び管弦楽団の芸術監督に就任(現在は名誉指揮者)。バイエルン国立歌劇場常任指揮者、ミュンヘン音楽大学等を兼務する。
2001年より東京芸術大学外国人客員教授に着任。

松尾葉子 Yoko MATSUO (第5回)

東京芸術大学指揮科を卒業。同大学院修了後、パリに留学。プザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内の主要オーケストラ・オペラを指揮する。セントラル愛知首席客演指揮者。
東京芸術大学非常勤講師。

尾高忠明 Tadaaki OTAKA (第6回)

1987年BBCウェールズ交響楽団首席指揮者に就任して以来、国内の主要オーケストラはもとより、海外からの客演の要請が引きも切らない。現在、札幌交響楽団音楽監督、紀尾井シンフォニエッタ東京桂冠名誉指揮者、東京フィルハーモニー及びBBCウェールズ交響楽団桂冠指揮者、読売交響楽団名誉客演指揮者。
東京芸術大学非常勤客員教授。

広上淳 - Junichi HIROGAMI (第7回)

東京音楽大学指揮科卒業。1984年第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクール優勝。以後、NHK交響楽団をはじめ、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、等、ヨーロッパの主要オーケストラを多数指揮。ロイヤル・リヴァプールフィル客演指揮者、オランダのリンブルク響首席指揮者を歴任。現在、東京音楽大学教授及び東京芸術大学非常勤講師。

小田野宏之 Hiroyuki ODANO (第8回、第10回)

東京芸術大学指揮科を卒業。同大学院修了。第17回民音コンクール指揮部門第3位入賞。第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクール第2位。大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。
東京芸術大学非常勤講師。

藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部) Geidai Philharmonia, Tokyo

藝大フィルハーモニア(管弦楽研究部)は、オーケストラ演奏を専門とする研究部員によって組織されている。
研究発表として毎年春と秋に開かれる定期演奏会では、オーケストラ主体の演奏、声楽科と共に合唱付オーケストラ作品の演奏、そして選抜された新卒業生の紹介演奏を行う。その他、オペラ研究部との共演、年末には恒例のメサイア演奏会などを行っている。
教育面では、器楽科および声楽学生との協奏曲等の共演、作曲科学生の作品演奏、指揮科学生の指揮演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。さらに各地の音楽文化向上のための出張演奏も行っている。

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅

東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地：〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

2005年度 奏楽堂 モーニングコンサート

◇ 第1回 4月14日(木) ◇
松田祐輔(ピアノ)

◇ 第2回 4月21日(木) ◇
津野田圭(ハープ) 伊藤わか奈(ピアノ)

◇ 第3回 5月12日(木) ◇
外山啓介(ピアノ) 小杉 結(ヴァイオリン)

◇ 第4回 5月19日(木) ◇
後藤英江(作曲) 神田勇哉(フルート)

◇ 第5回 5月26日(木) ◇
飯嶋絢子(作曲) 梅干野安未(オルガン)

◇ 第6回 6月2日(木) ◇
田村真寛(サクソフォーン) 宮下綾子(ヴァイオリン)

◇ 第7回 6月9日(木) ◇
佐野秀典(作曲) 蒼 道子・藤井雄介(声楽)

◇ 第8回 6月30日(木) ◇
相川 瞳・石橋知佳(打楽器) 中 秀仁・西崎智子(クラリネット) 富岡明子・坂上賀奈子(声楽)

◇ 第9回 7月7日(木) ◇
山口隼士(バストロンボーン) 辻本 玲(チェロ)

◇ 第10回 7月14日(木) ◇
今西泰彦(ピアノ) 小寺里奈(ヴァイオリン)

◇ 第11回 9月8日(木) ◇
轟 千尋(作曲) 多賀谷祐輔(ピアノ)

◇ 第12回 9月15日(木) ◇
久寿米木知子(オーボエ) 千葉清加(ヴァイオリン)

◇ 第13回 2月9日(木) ◇
守屋剛志(ヴァイオリン) 秋場敬浩(ピアノ)

11時開演
東京藝術大学奏楽堂

◆田中良和 Yoshikazu TANAKA (第1回・第4回)

東京芸術大学指揮科を卒業。第14回民音コンクール指揮部門第1位受賞。BBC主催ルパート指揮者コンクール特別賞受賞。関西フィル、広島交響楽団の指揮者を務める。

東京芸術大学非常勤講師。

◆佐藤功太郎 Kotaro SATO (第2回・第9回)

東京芸術大学にてクラリネットを専攻、後に指揮科に移り、渡辺暁雄氏に師事。ボストンのニューイングランド音楽院指揮科入学。群馬交響楽団、京都市交響楽団の常任指揮者、また新星日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者等を歴任。

東京芸術大学指揮科主任教授。

◆ハンス=マルティン・シュナイト Hanns-Martin SCHNEIDT (第3回)

ミュンヘン音楽大学を経て、ベルリン協会音楽学校校長、ヴッパータール市立劇場音楽総監督、ハンブルグ音楽大学教授等を歴任。1984年には、カール・リヒターの後任として、ミュンヘン・バッハ合唱団及び管弦楽団の芸術監督に就任（現在は名誉指揮者）。バイエルン国立歌劇場常任指揮者、ミュンヘン音楽大学等を兼務する。

2001年より東京芸術大学外国人客員教授に着任。

◆松尾葉子 Yoko MATSUO (第5回)

東京芸術大学指揮科を卒業。同大学院修了後、パリに留学。プザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内の主要オーケストラ・オペラを指揮する。セントラル愛知首席客演指揮者。

東京芸術大学非常勤講師。

◆尾高忠明 Tadaaki OTAKA (第6回)

1987年BBCウェールズ交響楽団首席指揮者に就任して以来、国内の主要オーケストラはもとより、海外からの客演の要請が引きも切らない。現在、札幌交響楽団音楽監督、紀尾井シンフォニエッタ東京桂冠名誉指揮者、東京フィルハーモニー及びBBCウェールズ交響楽団桂冠指揮者、読売交響楽団名誉客演指揮者。

東京芸術大学非常勤客員教授。

◆広上淳一 Junichi HIROGAMI (第7回)

東京音楽大学指揮科卒業。1984年第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクール優勝。以後、NHK交響楽団をはじめ、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、等、ヨーロッパの主要オーケストラを多数指揮。ロイヤル・リヴァプールフィル客演指揮者、オランダのリンブルク響首席指揮者を歴任。現在、東京音楽大学教授及び東京芸術大学非常勤講師。

◆小田野宏之 Hiroyuki ODANO (第8回、第10回)

東京芸術大学指揮科を卒業。同大学院修了。第17回民音コンクール指揮部門第3位入賞。第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクール第2位。大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。

東京芸術大学非常勤講師。

◆藝大フィルハーモニア (東京芸術大学管弦楽研究部)

Geidai Philharmonia, Tokyo

藝大フィルハーモニア(管弦楽研究部)は、オーケストラ演奏を専門とする研究部員によって組織されている。研究発表として毎年春と秋に開かれる定期演奏会では、オーケストラ主体の演奏、声楽科と共に合唱付オーケストラ作品の演奏、そして選抜された新卒業生の紹介演奏を行う。その他、オペラ研究部との共演、年末には恒例のメサイア演奏会などを行っている。

教育面では、器楽科および声楽学生との協奏曲等の共演、作曲科学生の作品演奏、指揮科学生の指揮演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。さらに各地の音楽文化向上のための出張演奏も行っている。

東京芸術大学の独自の特別企画演奏会として行っていますモーニング・コンサートは、作曲、声楽、ピアノ、オルガン、弦楽、管打楽の各科から選ばれた優秀な学生が、芸大フィルハーモニアとの共演により協奏曲や作品の演奏をするものです。

若き学生達の熱い演奏をご期待下さい。(演奏時間は1回当たり概ね1時間です)

- | | | | |
|------|---------------|-----------------------|--|
| 第1回 | 4月14日(木) | 松田祐輔 | S. ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30 |
| | 指揮：田中良和 | | |
| 第2回 | 4月21日(木) | 津野田圭 | G. F. ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 |
| | 指揮：佐藤功太郎 | 伊藤わか奈 | C. サン＝サーンス：ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22 |
| 第3回 | 5月12日(木) | 外山啓介 | R. シューマン：序奏とアレグロ・アパッショナート op.92 |
| | 指揮：H.M. シュナイト | 小杉 結 | S. プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63 |
| 第4回 | 5月19日(木) | 後藤英江 | パンチュール・ポエムーミロの絵画に寄せて |
| | 指揮：田中良和 | 神田勇哉 | イサン・ユン：フルート協奏曲 |
| 第5回 | 5月26日(木) | 飯嶋 ^{ほのあみ} 絢子 | 寂寞～オーケストラのための～ |
| | 指揮：松尾葉子 | 梅千野安未 | F. プーランク：オルガン・弦楽とティンパニの為の協奏曲 |
| 第6回 | 6月2日(木) | 田村真寛 | H. トマジ：アルトサクソフーン協奏曲 |
| | 指揮：尾高忠明 | 宮下綾子 | B. バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 BB.117 |
| 第7回 | 6月9日(木) | 佐野秀典 | 交響的譚詩 |
| | 指揮：広上淳一 | 蒼 道子 | 藤井雄介 W. A. モーツァルト：コンサートアリアK. 577 |
| | | | W. A. モーツァルト：アリア「お願いだ、詮索しないでくれ」K.420 |
| | | | W. A. モーツァルト：「後宮よりの逃走」より「何という運命！この心の痛みよ」 |
| 第8回 | 6月30日(木) | 相川 瞳 | 石橋知佳 A. コッペル：ヴィブラフォンとマリンバのためのトッカータ |
| | 指揮：小田野宏之 | 中 秀仁 | 西崎智子 F. クロンマー：2本のクラリネットのための協奏曲 |
| | | 富岡明子 | 坂上賀奈子 R. ワグナー：ヴェーゼンドンクの5つの歌 |
| 第9回 | 7月7日(木) | 山口隼士 | E. エワイゼン：バストロンボーン、ハープと弦楽オーケストラのためのバラード |
| | 指揮：佐藤功太郎 | 辻本 玲 | D. ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 op.107 |
| 第10回 | 7月14日(木) | 今西泰彦 | S. プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第3番 八長調 op.26 |
| | 指揮：小田野宏之 | 小寺里奈 | P. チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35 |
| 第11回 | 9月8日(木) | 轟 千尋 | 管弦楽のための「変容」 |
| | 指揮：佐藤功太郎 | 多賀谷祐輔 | J. ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15 |
| 第12回 | 9月15日(木) | 久寿米木知子 | B.A. ツィンマーマン：オーボエ協奏曲 |
| | 指揮：三河正典 | 千葉清加 | J. ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77 |
| 第13回 | 2月9日(木) | 守屋剛志 | J. ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77 |
| | 指揮：未定 | 秋場敬浩 | S. ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18 |

管弦楽：藝大フィルハーモニア

同声会新人演奏会

日時 : 第1回 弦楽器・声楽
2005年4月22日(金)
18:00開場
18:30開演

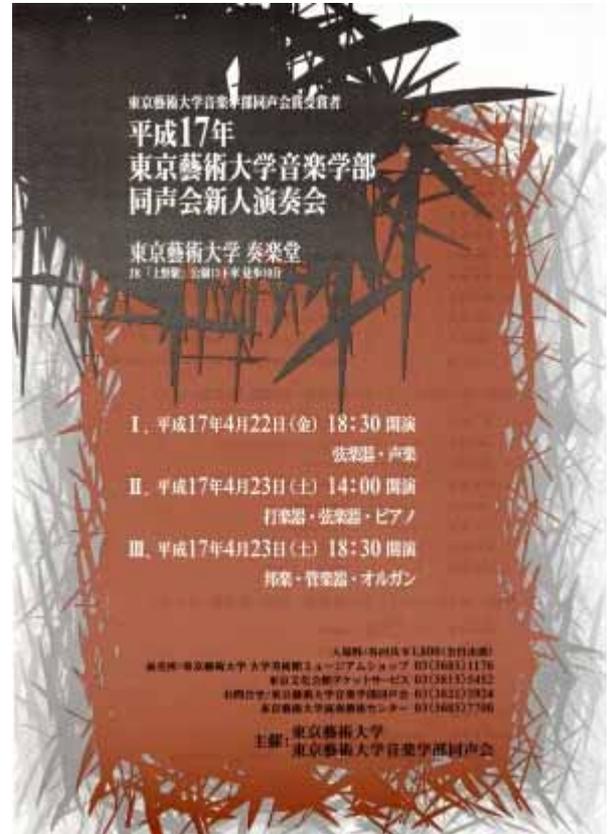
第2回 打楽器・弦楽器・ピアノ
2005年4月23日(土)
13:30開場
14:00開演

第3回 邦楽・管楽器・オルガン
2005年4月23日(土)
18:00開場
18:30開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学
東京芸術大学音楽学部同声会



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
お問い合わせ : 東京芸術大学音楽学部同声会 03-3821-3924
東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

東京藝術大学音楽学部同声会賞受賞者

平成17年

東京藝術大学音楽学部
同声会新人演奏会

東京藝術大学 奏楽堂

JR「上野駅」公園口下車 徒歩10分

I. 平成17年4月22日(金) 18:30 開演

弦楽器・声楽

II. 平成17年4月23日(土) 14:00 開演

打楽器・弦楽器・ピアノ

III. 平成17年4月23日(土) 18:30 開演

邦楽・管楽器・オルガン

入場料/各回共々1,800(全自由席)

前売所/東京藝術大学 大学美術館ミュージアムショップ 03(5685)1176

東京文化会館チケットサービス 03(5815)5452

お問合せ/東京藝術大学音楽学部同声会 03(3821)3924

東京藝術大学演奏芸術センター 03(5685)7700

主催: 東京藝術大学
東京藝術大学音楽学部同声会

I. 平成17年4月22日(金) 18:30 開演 弦楽器・声楽

- | | | |
|--------------------|-----------|--|
| 1. ヴァイオリン
大和加奈 | シューベルト | ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第2番 イ短調 I・III・IV楽章 |
| 2. ヴァイオリン
渡辺美穂 | ドビュッシー | ヴァイオリンソナタ ト短調 |
| 3. チェロ
武澤秀平 | ショスタコーヴィチ | チェロソナタ 二短調 第1,2楽章 |
| 4. ソプラノ
奥田昌世 | ドニゼッティ | 歌劇「リタ」より(リタのアリア) “家も旅籠もうまくいく” 他 |
| 5. テノール
西岡慎介 | ドニゼッティ | 歌劇「アルバ公爵」より(マルチェロのアリア) “清らかで美しい天使よ” 他 |
| 6. ソプラノ
平福知夏 | ジョルダノ | 歌劇「アンドレア・シェニエ」より(マッターレナのアリア) “亡くなった母を” 他 |
| 7. ソプラノ
首藤玲奈 | ヴェルディ | 歌劇「運命の力」より(レオノーラのアリア) “神よ平和を与えたまへ” 他 |
| 8. アルト
布施奈緒子 | モーツァルト | 歌劇「皇帝ティトの慈悲」より(セストのアリア) “行きますとも、愛しい人よ” |
| 9. メゾ・ソプラノ
相田麻純 | ロッシーニ | 歌劇「シンデレラ」より(アンジェリーナのアリア) “悲しみと涙に生まれ育ち” |
| 10. ソプラノ
藤谷佳奈枝 | マスネ | 歌劇「ル・シッド」より(シメヌスのアリア) “泣け、泣け、わが目” 他 |
| 11. バス
山田大智 | ワーグナー | 歌劇「タンホイザー」より “夕星の歌” 他 |
| 12. ソプラノ
高原亜希子 | ドリーブ | 歌劇「ラクメ」より(ラクメのアリア) “若いインド娘はどこへ行く” |
| 13. バス
大山大輔 | ロッシーニ | 歌劇「セヴィリアの理髪師」より(バルトロのアリア) “私のような医者に向かって” |

II. 平成17年4月23日(土) 14:00 開演 打楽器・弦楽器・ピアノ

- | | | |
|--------------------|---------|-------------------------------------|
| 1. 打楽器
境祥子 | ヘンツェ | ファイヴ・シーンズ・フロム・ザ・スノー・カントリー |
| 2. ヴァイオリン
重岡菜穂子 | サン＝サーンス | 序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28 |
| 3. ヴァイオリン
荒木江里佳 | ルトスワフスキ | パルティータ |
| 4. ピアノ
阿部真理 | ラフマニノフ | 6つの楽興の時 作品16より「No.1 No.2 No.4 No.5」 |
| 5. ピアノ
大野真由子 | ショパン | 幻想曲 作品49 |
| 6. ピアノ
川岸麻理 | バッハ | 半音階的幻想曲とフーガ |
| 7. ピアノ
和田紘平 | ショパン | バラード 第4番 作品52 |
| 8. ピアノ
津田裕也 | ショパン | 幻想ポロネーズ 作品61 |

III. 平成17年4月23日(土) 18:30 開演 邦楽・管楽器・オルガン

- | | | |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 長唄三味線
河合佐季子 | 五代目 杵屋勘五郎
十三代目 杵屋六左衛門 | 新曲浦島 |
| 2. 箏曲生田流
永池あかり | 宮城道雄 | 水の変態 |
| 3. フルート
古田土明歌 | ユレル | エオリア(1982) 他 |
| 4. フルート
渡邊玲奈 | リーバーマン | ソナタ 作品23 |
| 5. ホルン
宮本梨絵 | | 未定 |
| 6. フルート
岩下奈未 | ルクレール | ソナタ 作品2-1 他 |
| 7. オルガン
梅千野安未 | 鈴木輝昭 | コンドゥクトゥス —オルガンとティンパニのために |

藝大フィル特別演奏会 ゲルハルト・ボッセ先生を迎えて

日時 : 2005年4月28日(木)
 18:30開場
 19:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

ハイドン : 交響曲第86番 二長調
 ブルックナー : 交響曲第4番 変ホ長調『ロマンティック』(ハース版)

指揮 : ゲルハルト・ボッセ
 管弦楽 : 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)

特別演奏会
ゲルハルト・ボッセ先生
を迎えて
 GERHARD BOSSE

ハイドン: 交響曲第86番 二長調
F. J. Haydn: Symphony No. 86, D major, Hob. I: 86

ブルックナー: 交響曲第4番 変ホ長調『ロマンティック』(ハース版)
A. Bruckner: Symphony No. 4, E-flat major "Romantisch" (Edition Haas)

指揮: ゲルハルト・ボッセ
Gerhard BOSSE, Dirigent

管弦楽: 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)
Geidai Philharmonia

2005年4月28日(木) 18時30分開場 19時開演
会場: 東京芸術大学奏楽堂
入場料: 1,800円(全席自由)

お問い合わせ: 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700
 チケット: チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
 東京文化会館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5615-5452

主催: 東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏芸術センター

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線 上野駅
 東京メトロ銀座線 上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

特別演奏会

ゲルハルト・ボッセ先生 を迎えて

GERHARD BOSSE

ハイドン：交響曲第86番 二長調

F. J. Haydn : Symphonie Nr.86 D-dur Hob.I: 86

ブルックナー：交響曲第4番 変ホ長調『ロマンティック』（ハース版）

A. Bruckner : Symphonie Nr.4 Es-dur "Romantisch" (Edition Haas)

指揮：ゲルハルト・ボッセ

Gerhard BOSSE, Dirigent

管弦楽：藝大フィルハーモニア（東京藝術大学管弦楽研究部）

Geidai Philharmonia

2005年4月28日(木) 18時30分開場 19時開演

会場：東京藝術大学奏楽堂

入場料：1,800円(全席自由)

お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

チケット：チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター

東京藝術大学奏楽堂



- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より
徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 ☎ 110-8714

藝大21 和楽の美 ~邦楽叙事詩「スサノヲ」~

日時 : 2005年5月6日(金)
 18:30開場
 19:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 2,400円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部・美術学部

協力 : シーアイ化成株式会社
 丸茂電機株式会社
 ウシオライティング株式会社

スサノヲ : 武田孝史
 アマテラス : 吾妻節穂
 アメノウズメ : 花柳寿美
 オモイカネ : 野村万蔵
 タジカラヲ : 野村小三郎
 クシナダ : 吾妻節穂
 アシナズチ : 花柳寿美
 テナズチ : 野村四郎
 語り部 : 関根知孝

作曲 : 山本邦山
 東音大塚睦子
 安藤政輝
 萩岡松韻

節付 : 武田孝史
 関根知孝

作調 : 望月太喜雄

振付 : 花柳寿美

演出 : 実相時昭雄

脚本・構成 : 千野喜資

舞台美術 : 伊藤隆道

衣装 : 小日向千秋

照明 : 牛場賢二

映像 : 馬場美次

舞台監督 : 寅川英司



演奏芸術センター公演の邦楽総合アンサンブル第四回は、日本神話の世界を採り上げ、多くの神の中からスサノヲに焦点を当ててみました。荒ぶる神スサノヲの話は、「古事記」「日本書紀」「出雲風土記」などに出て来て、強烈な印象を与えますが、詳細不明のところが多い神になっています。

今回の公演で今までと少し異なるところがあります。それは邦楽演奏の方にやや重点を置いたことです。「天地創造」から「天の岩戸」「オロチ退治」、終曲はスサノヲを祀る現代の祭で構成された音楽によって締め括ります。

奏楽堂の舞台では、上段を高天原、下段を根の国出雲に見立て、真ん中に天と地を結ぶ道が作られています。この舞台空間に、能狂言・日本舞踊・舞台美術の創造とが相俟って、神話の世界が展開されます。

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
 東京メトロ日比谷線上野駅、
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

演奏藝術センター企画公演 ● 和楽の美 ●

邦楽叙事詩

スサノヲ

平成十七年五月六日(金)

● 十八時三十分開場 ● 十九時開演 ●

東京藝術大学演奏藝術センター ● 大学構内 ●

主催 ● 東京藝術大学演奏藝術センター ●

● 東京藝術大学音楽学部 美術学部 ●

協力 ● シーアイ化成株式会社 ● 丸茂電機株式会社 ●

● ウシオライティング株式会社 ●

入場料 二千四百円(全自由席)

お問い合わせ

東京藝術大学演奏藝術センター

〇三五六八五・七七〇〇

チケット ● チケットぴあ 〇五七〇・〇一九九〇 (部携

帯電話と全社PISは)利用いただけません

● 藝大美術館ミュージアムショップ

〇三五六八五・二七六

● 東京文化会館チケットサービス

〇三五八二五・五四五二



スサノヲ ● 武田孝史

アマテラス ● 吾妻節穂

アメノウズメ ● 花柳寿美

オモイカネ ● 野村万蔵

タジカララ ● 野村小三郎

クシナダ ● 吾妻節穂

アシナズチ ● 花柳寿美

テナズチ ● 野村四郎

語り部 ● 関根知孝

作曲 ● 山本邦山

東音大塚睦子

安藤政輝

萩岡松韻

演出 ● 実相寺昭雄

脚本・構成 ● 千野喜資

舞台美術 ● 伊藤隆道

節付 ● 武田孝史

関根知孝

作調 ● 望月太喜雄

振付 ● 花柳寿美

衣装 ● 小日向千秋

照明 ● 牛場賢二

映像 ● 馬場美次

舞台監督 ● 寅川英司

スサノヲ

平成十七年五月六日(金)

● 十八時三十分開場 ● 十九時開演 ●

東京藝術大学奏楽堂

邦楽叙事詩「スサノヲ」 古事記より

演奏藝術センター公演の邦楽総合アンサンブル第四回は、日本神話の世界を採り上げ、多くの神の中からスサノヲに焦点を当ててみました。荒ぶる神スサノヲの話は、「古事記」「日本書紀」「出雲風土記」などに出て来て、強烈な印象を与えますが、詳細不明のところが多い神になっています。

今回の公演で今までと少し異なるところがあります。それは邦楽演奏の方にやや重点を置いたことです。「天地創造」から「天の岩戸」「オロチ退治」、終曲はスサノヲを祀る現代の祭で構成された音楽によって締め括ります。

奏楽堂の舞台では、上段を高天原、下段を根の国出雲に見立て、真真中に天と地を結ぶ道が作られています。この舞台空間に、能狂言・日本舞踊・舞台美術の創造とが相俟って、神話の世界が展開されます。

出演者

【長唄】

唄 東音大森多津子

東音浅見 文子

東音小林 百合

東音西垣 和彦

東音大塚 睦子

東音新井 康子

東音伊藤 恭子

東音高橋 智久

他学生・大学院生

【能楽】

武田 孝史

関根 知孝

野村 万蔵

野村 小三郎

野村 四郎

坂 真太郎

他学生

【尺八】

山本 邦山

徳丸 十盟

川村 泰山

武田 旺山

安島 瑤山

他学生・大学院生

【山田流箏曲】

唄 I 今藤 郁子

樋口 里実

唄 II 杉本禰代賀

箏 I 萩岡 松韻

箏 II 大間 隆之

武藤 松圃

三十絃 宮下 秀冽

他学生・大学院生

【生田流箏曲】

I 箏 安藤 政輝

安藤 珠希

II 箏 新宮 順子

石井まなみ

十七絃 上條 妙子

横山佳世子

【邦楽囃子】

打物 中川 善雄

望月太喜雄

梅屋福太郎

望月左喜三郎

望月太喜之丞

他学生・大学院生

【雅楽】

笙 増田 千斐

中村 容子

【日本舞踊】

吾妻 節穂

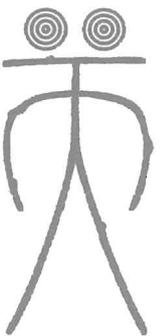
花柳 寿美

花柳 達真

花柳源九郎

藤間 豊彦

他学生



- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ地下鉄千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ地下鉄日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714
- チケット発売
チケットぴあ Tel.0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません。)
藝大美術館ミュージアムショップ Tel.03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5815-5452
- お問い合わせ
東京藝術大学演奏藝術センター Tel.03-5685-7700

ラヴェル・プロジェクト レクチャー&コンサート 全4回

日時 : 第1回 2005年5月21日(土)
 第2回 2005年5月28日(土)
 第3回 2005年6月11日(土)
 第4回 2005年6月18日(土)
 レクチャー 17:00開演
 (コンサートのチケットでご入場いただけます。)
 コンサート 18:30開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部

2005年5月21日(土)

第1回 声楽曲&2台ピアノの夕べ

[レクチャー] 光と色の戯れ ラヴェルの時代のフランス絵画
講師: 高階秀爾

[コンサート] - 声楽曲 -
 ハバネラの形をしたヴォカリーズ・エチュード
 トリパトス
 クレマン・マロの2つのエビグラム
 ソプラノ: 大島洋子
 ピアノ: 海老裕子
 ロンサールがおのが魂に寄せて
 草の上で
 5つのギリシア民謡
 テノール: 三林輝夫
 ピアノ: 奥千歌子
 博物誌
 メゾソプラノ: 栗林朋子
 ピアノ: 大島裕子
 マダガスカル人の歌
 メゾソプラノ: 永井和子
 ピアノ: 高木由雅
 フルート: 井出朋子
 チェロ: 苅田雅治

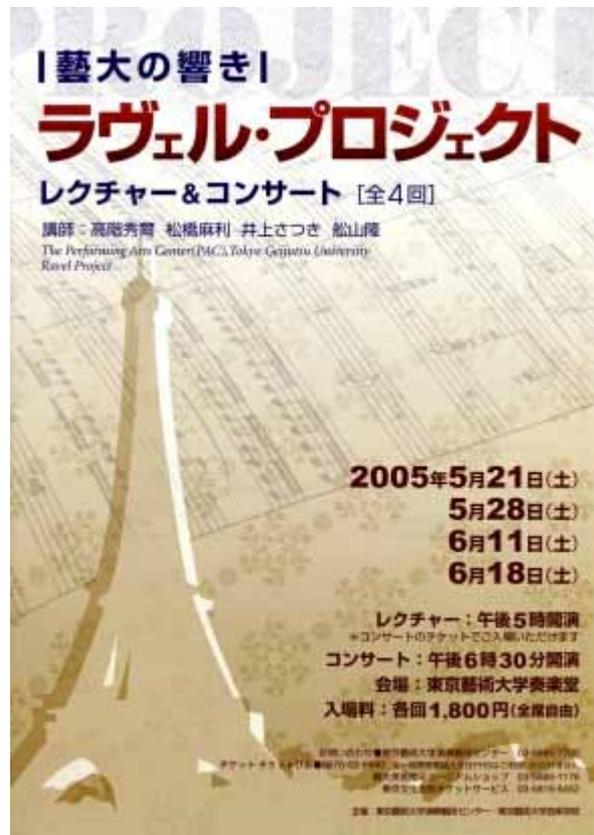
- 2台ピアノ曲 -
 耳で聴く風景
 口絵(5手)
 大野真由子
 恩田佳奈
 前田三奈
 スペイン狂詩曲
 植田克己
 多美智子
 ラ・ヴァルス
 児島一江
 白石光隆

2005年5月28日(土)

第2回 ピアノ全曲演奏会

[レクチャー] ラヴェル その“メヌエット”を通して
講師: 松橋麻利

[コンサート] グロテスクなセレナード
 古風なメヌエット
 亡き女王のためのパヴァーヌ
 砂原悟
 水の戯れ
 ソナチネ
 佐藤俊
 鏡
 遠藤郁子
 夜のガスパール
 岡本愛子
 マ・メール・ロワ(4手)
 伊藤恵、青柳晋
 ハイドンの名によるメヌエット
 高雅で感傷的なワルツ



浜口奈々
……風に
ボロディン風に;シャブリエ風に
前奏曲
佐野隆哉
クーブランの墓
松岡淳

2005年6月11日(土)
第3回 室内楽全曲演奏会

[レクチャー] ラヴェルとパリ音楽院
講師:井上さつき
ヴァイオリン・ソナタ(1897)
ヴァイオリン:角岡道子
ピアノ:斎木ユリ
ガブリエル・フォーレの名による子守歌
ハバネラの形をしたヴォカリーズ・エチュード
ヴァイオリン:玉井菜採
ピアノ:山田剛史

[コンサート] ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
ヴァイオリン:ジェラルド・ブーレ
チェロ:山崎伸子
ヴァイオリン・ソナタ
ヴァイオリン:ジェラルド・ブーレ
ピアノ:川島余理
弦楽四重奏曲 へ長調
ヴァイオリン:竹内弦、千葉清加
ヴィオラ:朝吹園子
チェロ:辻本玲
序奏とアレグロ
ハープ:篠崎史子
フルート:井出朋子
クラリネット:飯田真弓
ヴァイオリン:漆原啓子、太田雅音
ヴィオラ:クロード・ルローン
チェロ:花崎薫
ツイガース
ヴァイオリン:玉井菜採
ピアノ:青柳晋
ピアノ三重奏曲
ピアノ:津田裕也
ヴァイオリン:ジェラルド・ブーレ
チェロ:門脇大樹

2005年6月18日(土)
第4回 ラヴェルとその周辺

[レクチャー] ラヴェルとその周辺
講師:船山隆
[コンサート] ラヴェル:マラルメの3つの詩
メゾソプラノ:寺谷千枝子
ストラヴィンスキー:3つの日本の抒情詩
ソプラノ:佐藤ひさら
シューベルト:月に憑かれたピエロ 作品21
ソプラノ:坂本知亜紀
フルート:田所博、古田土明歌、神田勇哉
クラリネット:川井夏香、大橋裕子
ヴァイオリン:漆原朝子、山崎貴子
ヴィオラ:百武由紀
チェロ:河野文昭
ピアノ:秦はるひ
指揮:現田茂夫

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

「藝大の響き」

ラヴェル・プロジェクト

レクチャー&コンサート [全4回]

講師：高階秀爾 松橋麻利 井上さつき 船山隆

The Performing Arts Center(PAC), Tokyo Geijutsu University
Ravel Project

2005年5月21日(土)

5月28日(土)

6月11日(土)

6月18日(土)

レクチャー：午後5時開演

※コンサートのチケットでご入場いただけます

コンサート：午後6時30分開演

会場：東京藝術大学奏楽堂

入場料：各回1,800円(全席自由)

お問い合わせ●東京藝術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

チケット チケットぴあ●0570-02-9990 ※一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催：東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部

2005年5月21日(土) May 21, 2005 (Sat)

第1回 声楽曲&2台ピアノの夕べ

[レクチャー] 光と色の戯れ — ラヴェルの時代のフランス絵画 午後5時開演

講師:高階秀爾

[コンサート]午後6時30分開演

—声楽曲—

ハバネラの形をしたヴォカリーズ・エチュード *Vocalise-étude en forme de habanera*

トリパトス *Tripatos*

クレマン・マロの2つのエピグラム *Deux épigrammes de Clément Marot*

ソプラノ:大島洋子 ピアノ:海老裕子

ロンサールがおのが魂に寄せて *Ronsard à son âme*

草の上で *Sur l'herbe*

5つのギリシア民謡 *Cinq mélodies populaires grecques*

テノール:三林輝夫 ピアノ:奥千歌子

博物誌 *Histoires naturelles*

メゾソプラノ:栗林朋子 ピアノ:大島裕子

マダガスカル人の歌 *Chansons Madécasses*

メゾソプラノ:永井和子 ピアノ:高木由雅 フルーツ:井出朋子 チェロ:荻田雅治

—2台ピアノ曲—

耳で聴く風景 *Sites auriculaires*

口絵 *Frontispice* (5手)

大野真由子、恩田佳奈、前田三奈

スペイン狂詩曲 *Rhapsodie espagnole*

植田克己、多美智子

ラ・ヴァルス *La valse*

児嶋一江、白石光隆

2005年5月28日(土) May 28, 2005 (Sat)

第2回 ピアノ全曲演奏会

[レクチャー] ラヴェル — その“メヌエット”を通して 午後5時開演

講師:松橋麻利

[コンサート]午後6時30分開演

グロテスクなセレナード *Sérénade grotesque*

古風なメヌエット *Menuet antique*

亡き王女のためのパヴァーヌ *Pavane pour une infante defunte*

砂原悟

水の戯れ *Jeux d'eau*

ソナチネ *Sonatine*

佐藤俊

鏡 *Miroirs*

遠藤郁子

夜のガスパール *Gaspard de la nuit*

岡本愛子

マ・メール・ロワ (4手) *Ma mère l'oye*

伊藤恵、青柳晋

ハイドンの名によるメヌエット *Menuet sur le nom d'Haydn*

高雅で感傷的なワルツ *Valses nobles et sentimentales*

浜口奈々

……風に *A la manière de...*

ボロディン風に *Borodin*; シャブリエ風に *Chabrier*

前奏曲 *Prélude*

佐野隆哉

クーブランの墓 *Le tombeau de Couperin*

松岡淳

2005年6月11日(土) June 11, 2005 (Sat)

第3回 室内楽全曲演奏会

[レクチャー] ラヴェルとパリ音楽院 午後5時開演

講師:井上さつき

ヴァイオリン・ソナタ(1897) *Sonate pour violon et piano*

ヴァイオリン:角岡道子 ピアノ:齋木ユリ

ガブリエル・フォーレの名による子守歌 *Berceuse sur le nom de Gabriel Fauré*

ハバネラの形をしたヴォカリーズ・エチュード *Vocalise-étude en forme de habanera*

ヴァイオリン:玉井菜探 ピアノ:山田剛史

[コンサート] 午後6時30分開演

ヴァイオリンとチェロのためのソナタ *Sonate pour violon et violoncelle*

ヴァイオリン:ジェラルド・ブーレ チェロ:山崎伸子

ヴァイオリン・ソナタ *Sonate pour violon et piano*

ヴァイオリン:ジェラルド・ブーレ ピアノ:川島余理

弦楽四重奏曲 ヘ長調 *Quatuor à cordes en fa majeur*

ヴァイオリン:竹内弦、千葉清加 ヴィオラ:朝吹園子 チェロ:辻本玲

序奏とアレグロ *Introduction et allegro*

ハープ:篠崎史子 フルート:井出朋子 クラリネット:飯田真弓 ヴァイオリン:漆原啓子、太田雅音

ヴィオラ:クロード・ルローン チェロ:花崎薫

ツイガヌ *Tzigane*

ヴァイオリン:玉井菜探 ピアノ:青柳晋

ピアノ三重奏曲 *Trio pour piano, violon et violoncelle*

ピアノ:津田裕也 ヴァイオリン:ジェラルド・ブーレ チェロ:門脇大樹

2005年6月18日(土) June 18, 2005 (Sat)

第4回 ラヴェルとその周辺

[レクチャー] ラヴェルとその時代 午後5時開演

講師:松山隆

[コンサート] 午後6時30分開演

ラヴェル:マラルメの3つの詩 *Trois poèmes de Stéphane Mallarmé*

メゾソプラノ:寺谷千枝子

ストラヴィンスキー:3つの日本の抒情詩 *Trois poésies de la lyrique japonais*

ソプラノ:佐藤ひさら

シェーンベルク:月に憑かれたピエロ 作品21 *Pierrot lunaire, op.21*

ソプラノ:坂本知亜紀

フルート:田所博、古田土明歌、神田勇哉 クラリネット:川井夏香、大橋裕子 ヴァイオリン:漆原朝子、山崎貴子

ヴィオラ:百武由紀 チェロ:河野文昭 ピアノ:秦はるひ 指揮:現田茂夫

※曲目及び演奏者は都合により変更になる場合があります。

ラヴェル・プロジェクト [全6回]

会場：東京藝術大学奏楽堂

フランスの作曲家、モーリス・ラヴェル(1875～1937)は印象主義を代表する作曲家として、ドビュッシーと並び称される存在です。印象主義の音楽というと、マネやモネの絵画から連想されるように、なんとなく輪郭のぼんやりした感覚的な音楽をイメージしがちですが、ラヴェルの作品はむしろ理知的で古典的な明快さを持っています。ラヴェル生誕130年の今年、改めてその全体像を展覧してみるべく、藝大では全学をあげてラヴェル・プロジェクトに取り組みます。ピアノ曲からオーケストラ作品、そしてオペラまで、ラヴェルの代表作を網羅する今回の企画に是非ご期待ください。



- No.1 レクチャー&コンサート 第1回「声楽曲&2台ピアノの夕べ」2005年5月21日(土)
- No.2 レクチャー&コンサート 第2回「ピアノ全曲演奏会」2005年5月28日(土)
- No.3 レクチャー&コンサート 第3回「室内楽全曲演奏会」2005年6月11日(土)
- No.4 レクチャー&コンサート 第4回「ラヴェルとその周辺」2005年6月18日(土)

No.5 藝大フィルハーモニア定期演奏会

2005年6月24日(金) 午後7時開演

入場料：1,800円(全席自由)

[ラヴェル・プログラム]

指揮：尾高忠明

シェエラザード *Sheherazade*

メゾソプラノ：栗林朋子

ピアノ協奏曲ト長調 *Concerto pour piano en sol majeur*

ピアノ：東誠三

ラ・ヴァルス *La valse*

左手のためのピアノ協奏曲 *Concerto pour la main gauche*

ピアノ：北川暁子

ダフニスとクロエ 組曲第2番 *Daphnis et Chloé Suite no.2*

[プレ・コンサート] ラ・ヴァルス(ピアノ独奏版) 午後6時15分開演

ピアノ：中谷政文

No.6 “うた”シリーズ V 第1日

2005年6月28日(火) 午後6時30分開演

入場料：1,800円(全席自由)

[オペラ]

演出：直井研二 美術：伊藤隆道 照明デザイン：海藤春樹

スペインの時 *L'heure espagnole* 指揮：松尾葉子

トルケマダ：吉田伸昭 ゴンサルヴェ：小林彰英 ドン・イニゴ：小野和彦 ラミロ：今尾滋

コンセプト：佐藤ひさら

子供と呪文 *L'enfant et les sortilèges* 指揮：佐藤功太郎

坊や：永井和子 母親：伊原直子 ほか大学院声楽専攻生

合唱：声楽科学生 管弦楽：東京藝術大学学生オーケストラ

邦楽定期演奏会 第70回

日時 : 2005年5月31日(火)
 18:00開場
 18:30開演

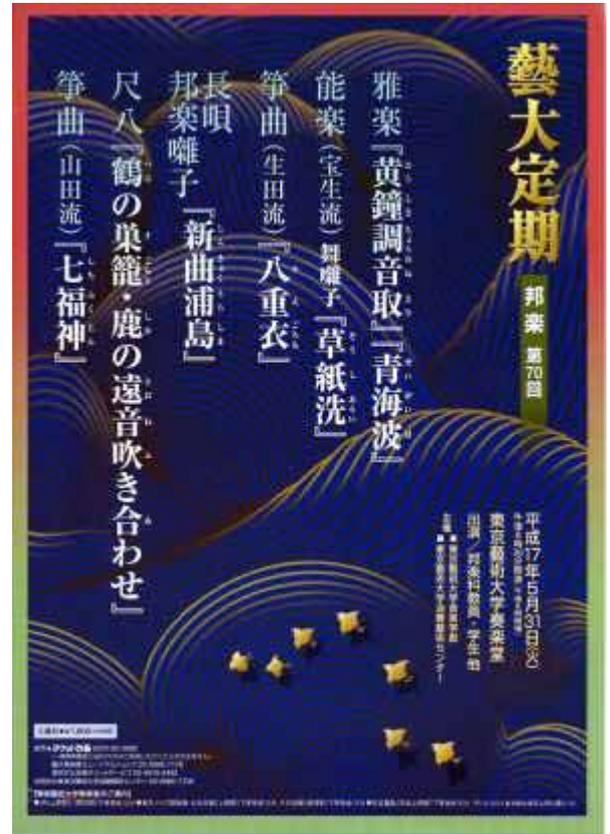
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

出演 : 邦楽科教員・学生 他

雅楽 『黄鐘調音取』『青海波』
 能楽(宝生流) 舞囃子『草紙洗』
 箏曲(生田流) 『八重衣』
 長唄
 邦楽囃子 『新曲浦島』
 尺八 『鶴の巢籠・鹿の遠音吹き合わせ』
 箏曲(山田流) 『七福神』



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期

邦楽 第70回

平成17年5月31日(火)
午後6時30分開演(午後6時開場)

東京藝術大学奏楽堂

出演／邦楽科教員・学生他

主催 ■ 東京藝術大学音楽学部
■ 東京藝術大学演奏藝術センター

雅楽『黄鐘調音取』『青海波』

能楽(宝生流)舞囃子『草紙洗』

箏曲(生田流)『八重衣』

長唄 邦楽囃子『新曲浦島』

尺八『鶴の巣籠・鹿の遠音吹き合わせ』

箏曲(山田流)『七福神』

入場料 ■ ¥1,800 (全自由席)

前売 ■ チケットぴあ 0570-02-9990
(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただくことができません)
藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
お問合せ ■ 東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

【東京藝術大学奏楽堂のご案内】

●JR[上野駅]・[鶯谷駅]下車徒歩10分 ●東京メトロ銀座線・日比谷線[上野駅]下車徒歩15分、千代田線[根津駅]下車徒歩10分 ●京成電鉄[京成上野駅]下車徒歩15分 (〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8)

雅楽「黄鐘調音取」「青海波」

鞀鼓 多 忠輝 太鼓 東儀 雅季 鉦鼓 桑原 治子
 琵琶 ○太田 豊 高多 祥司
 箏 岩波 孝昌 中村 容子
 笙 ○米澤 もも 増田 千斐
 篳篥 高桑 賢治 ○三浦 元則
 龍笛 越後 眞美 片山 寛美

能楽(宝生流)舞囃子「草紙洗」

シテ 渡邊荷之助 大鼓○佃 良勝 笛 宮崎 由梨
 小鼓 亀井 俊一

地謡 三田由美子 小倉健太郎
 金森 隆晋 武田 孝史
 佐野 弘宜

箏曲(生田流)「八重衣」(石川勾当作曲)

箏 安藤 政輝 新宮 順子 伊藤(石井)まなみ
 安藤 珠希 日原 暢子 小畔 香子
 三絃 牧瀬裕理子 吉川(深海)さとみ 上條 妙子
 長谷川 慎 横山佳世子 平田 紀子
 大森孔美子 永池あかり 寺井 結子

長唄・邦楽囃子「新曲浦島」(五代目 坪内 逍遥 作詞
 十三代目 杵屋六左衛門 作曲)

唄 三味線 邦楽囃子
 東音大森多津子 東音大塚 睦子 打物 望月太喜雄
 東音浅見 文子 東音新井 康子 望月左喜三郎
 ○東音圓井 英子 東音小島 直文 島村 聖香
 東音小林 百合 東音高橋 智久 島 萌黄
 北村 彩 守 啓伊子 鈴木 秀幸
 福村 奈美 箕田 弘大 石井 千鶴
 村尾 俊和 山口 祐子 大澤 良恵
 鈴木 桜 山沖 聡 橋内 幹
 半田 綾子 渡邊 麻子 星 英頭
 丸山登紀子 佐藤 里佳 中川 善雄
 西野 朋子 坪井 一将 吉田 振也
 藤原 彩綾 安岡 史博 松田 佳子
 横山 雅弘

尺八「鶴の巢籠・鹿の遠音吹き合わせ」

琴古流 徳丸 十盟 神 令 高須 理恵 田嶋 謙一
 中村 仁樹 前田 希絵 藪内 洋介 渡邊 元子
 都山流 川村 泰山 武田 旺山 遠藤 直幸 櫻井 理香
 田中 洋平

箏曲(山田流)「七福神」(初代中能島松声作曲)

浄瑠璃 箏 萩岡 松韻 杉本禮代賀 萩岡 未貴 三浦 昌子
 箏 大間 隆之 山口明代賀 船木 麻代 新井未来子
 三味線○井口 法能 高橋 衣勢 ○設楽 聡子
 箏 鈴木 厚一 山岸妃貞子 樋口 里実 金澤みず葉
 箏 田中奈央人 山木 七重 佐野 美和 中 香里
 三味線 東音伊藤恭子 河合佐季子 矢田 茜
 邦楽囃子 笛 吉田 振也 小鼓 石井 千鶴 太鼓 島 萌黄
 小鼓 望月太喜雄 大鼓 鈴木 秀幸

※○印は、学外助演者

上野の森オルガンシリーズ 神秘のオルガン音楽～スペインの黄金時代～

日時 : 2005年6月4日(土)
 14:30開場
 15:00開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部

後援 : スペイン大使館
 愛知万博(2005年日本国際博覧会)スペイン館

ホセ・マリノ : 魂を奪うひと
 瞳よ、私を蔑むのなら
 そうは思いなざるな、メンギーリャ

ファン・カバニーレス : 第6旋法によるテイエント

コレア・デ・アラウホ : 第4旋法によるカンシオン風テイエント第2番

パブロ・ブルーナ : 聖母マリアのための連祷

オルガン : 鈴木雅明
 ソプラノ : 野々下由香里
 ギター : つのだたかし



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

奏楽堂シリーズ'05



ORGAN SERIES

《オルガン・シリーズI》

神秘のオルガン音楽 ～スペインの黄金時代～

2005年6月4日(土)

14時30分開場 15時00分開演

ホセ・マリン：魂を奪うひと/瞳よ、私を蔑むのなら/そうは思いなざるな、メンギーリヤ
José Marín: Que se lleva las almas/Ojos pues me desdeñáis/No piense Menguilla ya

ファン・カバニーリエス：第6旋法によるティエント
Juan Bautista José Cabanilles: Tiento llano de 6º tono

コレア・デ・アラウホ：第4旋法によるカンシオン風ティエント第2番
Francisco Correa de Arauxo: Segundo Tiento de quatro tono

パブロ・ブルーナ：聖母マリアのための連祷
Pablo Bruna: Tiento sobre la leuania de la Virgen

オルガン：鈴木雅明 ソプラノ：野々下由香里 ギター：つのだたかし
Organ: Masaaki SUZUKI Soprano: Yukari NONOSHITA Guitar: Takashi TSUNODA

会場：東京藝術大学奏楽堂(大学構内) 入場料：1,800円(全席自由)

主催：東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

後援：スペイン大使館・愛知万博(2005年日本国際博覧会) スペイン館

Supported by the Spanish Embassy; Organized by the Spanish Pavilion at EXPO 2005 Aichi



チケット発売：チケットぴあ ☎0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません)

藝大美術館ミュージアムショップ ☎03-5685-1176 東京文化会館チケットサービス ☎03-5815-5452

お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター ☎03-5685-7700



交通案内

- JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

藝大フィルハーモニア定期第313回 新卒業生紹介演奏会

日時 : 2005年6月17日(金)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,300円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

指揮 : 佐藤功太郎

管弦楽 : 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)

新倉一梓 : 新倉一梓
 (作曲) サンサーラの笛

大山大輔 : G. ロッシーニ
 (声楽) 歌劇「セビリヤの理髪師」より「私の様な医者に向かって」

津田裕也 : L. v. ベートーヴェン
 (ピアノ) ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58

鈴木竜哉 : J. ブラームス
 (指揮) 悲劇的序曲 作品81

近藤千花子 : W. A. モーツァルト
 (クラリネット) クラリネット協奏曲 A-dur K.622

遠藤真理 : E. エルガー
 (チェロ) チェロ協奏曲 作品85



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期

オーケストラ第313回

GEIDAI ORCHESTRA
CONCERT SERIES #313

新卒業生紹介演奏会

Featuring graduates of 2005 as soloists

2005年6月17日(金) 18:30開演 (18:00開場)

東京藝術大学 奏楽堂

入場料 ¥1,300 (全自由席)

指揮: 佐藤功太郎

Conductor: Kōtarō SATŌ

管弦楽: 藝大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽研究部)

Orchestra: GEIDAI PHILHARMONIA



Kazusa NIHKURA

作曲

新倉一梓

サンサーラの笛 / 新倉一梓

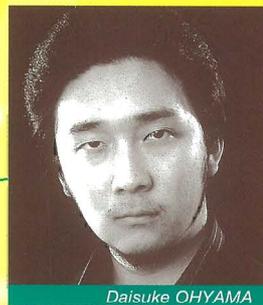
The pipe of samsāra / K. Niikura

声楽

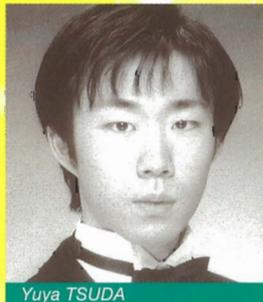
大山大輔

歌劇「セビリヤの理髪師」より「私の様な医者に向かって」/
G. ロッシーニ

"Aun dottor della mia sorte" from "Il barbiere di Siviglia" / G. Rossini



Daisuke OHYAMA



Yuya TSUDA

ピアノ

津田裕也

ピアノ協奏曲 第4番ト長調 作品58 / L.v. ベートーヴェン

Piano Concerto No.4 in G major Op.58 / L.v. Beethoven

指揮

鈴木竜哉

悲劇的序曲 作品81 / J. ブラームス

Tragische Ouverture Op.81 / J. Brahms



Tatsuya SUZUKI



Chikako KONDO

クラリネット

近藤千花子

クラリネット協奏曲 A-dur K.622 / W.A. モーツァルト

Konzert für Klarinette und Orchester A-dur K.622 / W.A. Mozart

チェロ

遠藤真理

チェロ協奏曲 作品85 / E. エルガー

Cello Concerto Op.85 / E. Elgar



Mari ENDO

主催: 東京藝術大学音楽学部

前売: **チケットぴあ** 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません) ■ 藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176 ■ 東京文化会館チケットサービス 03-3815-4442
お問合せ: 東京藝術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

藝大定期 [オーケストラ第313回] 新卒業生紹介演奏会



新倉 一梓 (作曲)

1981年 横浜市生まれ。
2001年 東京藝術大学音楽学部作曲科入学。
2004年 同大学を首席卒業、アカンサス音楽賞受賞。
これまでに作曲を末吉保雄、夏田昌和の各氏に師事。



鈴木 竜哉 (指揮)

1982年 横浜市生まれ。
2001年 東京音楽大学付属高等学校トランペット専攻を卒業、東京藝術大学音楽学部指揮科に入学。
2004年 安宅賞を受賞。
2005年 同大学を卒業。
これまでに指揮を佐藤功太郎、汐澤安彦の両氏に、トランペットを林昭世氏に、ピアノを北川暁子、井田康子、渡辺真知子、西澤はな子の各氏に師事。



大山 大輔 (声楽)

1982年 鹿児島県生まれ。
2004年 7月奏楽堂モーニングコンサート出演、同8月サントリーホールにて東京交響楽団「真夏の午後のファンタジア」に出演。
2005年 東京藝術大学音楽学部声楽科を首席卒業。卒業時に松田トシ賞、アカンサス音楽賞、同声会新人賞を受賞。
現在、東京藝術大学大学院修士1年に在学中。
これまでに平野忠彦、寺谷千枝子、西澤明の各氏に師事。



近藤 千花子 (クラリネット)

1983年 神奈川県生まれ。
2001年 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業、東京藝術大学音楽学部器楽科入学。第6回「コンセール・マロニエ21」木管部門第1位。
2003年 第14回日本木管コンクール、クラリネット部門第2位。
2004年 学内モーニングコンサートにて広上淳一指揮、藝大フィルハーモニアとフランスのクラリネット協奏曲を共演。
2005年 同大学を首席卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。
現在、桐朋オーケストラ・アカデミー研修生。
これまでに磯部周平、山本正治、村井祐晃の各氏に師事。



津田 裕也 (ピアノ)

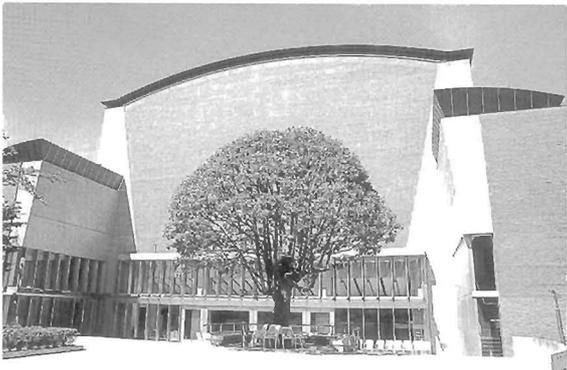
1982年 仙台市生まれ。
第42回全東北ピアノコンクール第1位、文部大臣奨励賞。
第70回日本音楽コンクール第3位。
第7回宮崎国際音楽祭においてウラディミール・アシュケナージ氏のレッスンを受講。
2003年 藝大校内においてアリアドネ・ムジカ賞。モーニングコンサートに出演。
2004年 藝大定期・室内楽に出演。第2回仙台国際音楽コンクールにおいて聴衆賞・ディプロマ。
2005年 藝大定期・室内楽に出演。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。
これまでにピアノを角野裕、渋谷るり子の両氏に、室内楽をゴールドベルク山根美代子、田中千香士、河野文昭の各氏に師事。



遠藤 真理 (チェロ)

1982年 神奈川県生まれ。
2003年 第72回日本音楽コンクール第1位、徳永賞。
2005年 東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学卒業。学内にて福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。
これまでに臼井洋治、藤森亮一、山崎伸子、河野文昭の各氏に師事。

東京藝術大学 奏楽堂



●交通案内
JR上野駅・鶯谷駅より徒歩10分
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分
※本学に駐車場はございません

●所在地
東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

トップ > 演奏会スケジュール >

ラヴェル・プロジェクト 第5回
藝大フィルハーモニア定期第314回 オール・ラヴェル・プログラム

日時 : 2005年6月24日(金)
18:30開場
19:00開演
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料 : 1,800円(全席自由)
主催 : 東京芸術大学音楽学部
東京芸術大学演奏芸術センター

- ラヴェル : シェエラザード
メゾソプラノ 栗林朋子
- ラヴェル : ピアノ協奏曲ト長調
ピアノ 東誠三
- ラヴェル : ラ・ヴァルス
- ラヴェル : 左手のためのピアノ協奏曲
ピアノ 北川暁子
- ラヴェル : ダフニスとクロエ 組曲第2番

指揮者変更のお知らせ

指揮者尾高忠明は急病のため出演不可能となりました。
指揮者を佐藤功太郎に変更いたします。

管弦楽 : 藝大フィルハーモニア (東京芸術大学管弦楽研究部)

プレ・コンサート(奏楽堂ホワイエ)
18:00会場 18:15開演
ラ・ヴァルス(ピアノ独奏版)
ピアノ 中谷政文

ラヴェル・プロジェクト No.5

藝大定期 オーケストラ第314回

藝大フィルハーモニア 定期演奏会

ラヴェル: シェエラザード M. Ravel: Sinfonietta
メゾソプラノ: 栗林朋子 Mezzo Soprano: RYUBAIKASHI
ラヴェル: ピアノ協奏曲ト長調 M. Ravel: Concerto pour piano et orchestre en sol majeur
ピアノ: 東誠三 Piano: AUMAMI
ラヴェル: ラ・ヴァルス M. Ravel: La valse
ラヴェル: 左手のためのピアノ協奏曲 M. Ravel: Concerto pour la main gauche
ピアノ: 北川暁子 Piano: AKIKO KITAGAWA
ラヴェル: ダフニスとクロエ 組曲第2番 M. Ravel: Daphnis et Chloe: Fragments Symphoniques 2^{me} Serie

2005年6月24日(金) 19時開演

指揮: 尾高忠明
Conductor: Tadamichi OEGAKI
管弦楽: 藝大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽研究部)
Orchestra: Geidai Philharmonia

プレ・コンサート(奏楽堂ホワイエ) 18時開場 18時15分開演
ラ・ヴァルス(ピアノ独奏版)
ピアノ: 中谷政文

東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料: 1800円(全席自由)

お問い合わせ: 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700
チケット予約: 03-5685-7700 (03-5685-7700) (03-5685-7700) (03-5685-7700) (03-5685-7700) (03-5685-7700)
東京美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
主催: 東京芸術大学音楽学部・東京芸術大学演奏芸術センター

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期 オーケストラ第314回

藝大フィルハーモニア 定期演奏会

ラヴェル：シェエラザード *M. Ravel : Shéhérazade*メゾソプラノ：栗林朋子 *M-sop : Tomoko KURIBAYASHI*ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調 *M. Ravel : Concerto pour piano et orchestre en sol majeur*ピアノ：東誠三 *pf : Seizō AZUMA*ラヴェル：ラ・ヴァルス *M. Ravel : La valse*ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲 *M. Ravel : Concerto pour la main gauche*ピアノ：北川曉子 *pf : Akiko KITAGAWA*ラヴェル：ダフニスとクロエ 組曲第2番 *M. Ravel : Daphnis et Chloé Fragments Symphoniques 2^{me} Série*

2005年6月24日(金) 19時開演

指揮：尾高忠明

Conductor : Tadaaki OTAKA

管弦楽：藝大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽研究部)

Orchestra : Geidai Philharmonia

プレ・コンサート(奏楽堂ホワイエ) 18時開場 18時15分開演

ラ・ヴァルス(ピアノ独奏版)

ピアノ：中谷政文

東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

入場料：1800円(全自由席)

お問い合わせ：東京藝術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

チケット：チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

ラヴェル・プロジェクト (全6回)

フランスの作曲家、モーリス・ラヴェル (1875~1937) は印象主義を代表する作曲家として、ドビュッシーと並び称される存在です。印象主義の音楽というと、マネやモネの絵画から連想されるように、なんとなく輪郭のぼんやりした感覚的な音楽をイメージしがちですが、ラヴェルの作品はむしろ理知的で古典的な明快さを持っています。ラヴェル生誕130年の今年、改めてその全体像を展覧してみるべく、藝大では全学をあげてラヴェル・プロジェクトに取り組みます。ピアノ曲からオーケストラ作品、そしてオペラまで、ラヴェルの代表作を網羅する今回の企画に是非ご期待ください。

No.6 “うた”シリーズ V 第1日

2005年6月28日(火) 午後6時30分開演 入場料：1,800円(全席自由)

[オペラ]

演出：直井研二 美術：伊藤隆道 照明デザイン：海藤春樹

スペインの時 *L'heure espagnole* 指揮：松尾葉子

トルケマダ：吉田伸昭 ゴンサルヴェ：小林彰英 ドン・イニゴ：小野和彦

ラミロ：今尾滋 コンセプション：佐藤ひさら

子供と呪文 *L'enfant et les sortilèges* 指揮：佐藤功太郎

坊や：永井和子 母親：伊原直子 ほか大学院声楽専攻生

合唱：声楽科学生 管弦楽：東京藝術大学学生オーケストラ

Access >>>



● 交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

● 駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください

● 所在地：東京都台東区上野公園12-8 ☎110-8714

東京藝大チェンバーオーケストラ第5回定期演奏会

日時 : 2005年6月25日(土)
 14:30開場
 15:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,300円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

指揮 : マルコム・レイフィールド
 オーケストラ : 東京藝大チェンバーオーケストラ

ヘンデル : 合奏協奏曲 op.6-7
 エルガー : 序奏とアレグロ op.47
 ヴォーン=ウィリアムズ : タリスの主題による幻想曲
 ティベット : 2つの弦楽オーケストラのための協奏曲



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

東京藝大チェンバーオーケストラ

第5回 定期演奏会

2005年6月25日(土)

14時30分開場 15時開演

会場：東京藝術大学 奏楽堂

入場料：1,300円（全席自由）

ヘンデル：合奏協奏曲 op.6-7

G.F.Händel：Concerti Grossi op.6-7

エルガー：序奏とアレグロ op.47

E.Elgar：Introduction and Allegro op.47

ヴォーン＝ウィリアムズ：タリスの主題による幻想曲

R.Vaughan Williams：Fantasia on a Theme by Thomas Tallis

ティペット：2つの弦楽オーケストラのための協奏曲

M.Tippett：Concerto for Double String Orchestra

指揮：マルコム・レイフィールド

Conductor：Malcolm Layfield

オーケストラ：東京藝大チェンバーオーケストラ

Orchestra：Geidai Chamber Orchestra

お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

チケット：チケットぴあ 0570-02-9990（一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません）

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター

東京藝術大学奏楽堂



●交通案内

JR上野駅・JR荒谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

●駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

●所在地：東京都台東区上野公園12-8 ☎110-8714

ラヴェル・プロジェクト 第6回
“うた”シリーズV 第1日 オペラの夕べ

日時 : 2005年6月28日(火)
18:00開場
18:30開演
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料 : 1,800円(全席自由)
主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部

オペラ「スペインの時」
指揮 : 松尾葉子
コンセプト : 佐藤ひさら
トルケマダ : 吉田伸昭
ゴンサルヴェ : 小林彰英
ドン・イニゴ : 小野和彦
ラミロ : 今尾 滋

オペラ「子供と呪文」
指揮 : 佐藤功太郎
坊や : 永井和子
母親 : 伊原直子
大学院声楽専攻生

演出 : 直井研二
美術 : 伊藤隆道



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地 : 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大の響き—ラヴェル・プロジェクト第6回

“うた”シリーズV

第1日 オペラの夕べ

2005年6月28日(火) 午後6時開場 午後6時30分開演

東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

主催: 東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

モーリス・ラヴェル MAURICE RAVEL

オペラ

「スペインの時」

L'heure espagnole



指揮: 松尾葉子

コンセプト: 佐藤ひさら

トルケマダ: 吉田伸昭

ゴンサルヴェ: 小林彰英

ドン・イニゴ: 小野和彦

ラミロ: 今尾 滋

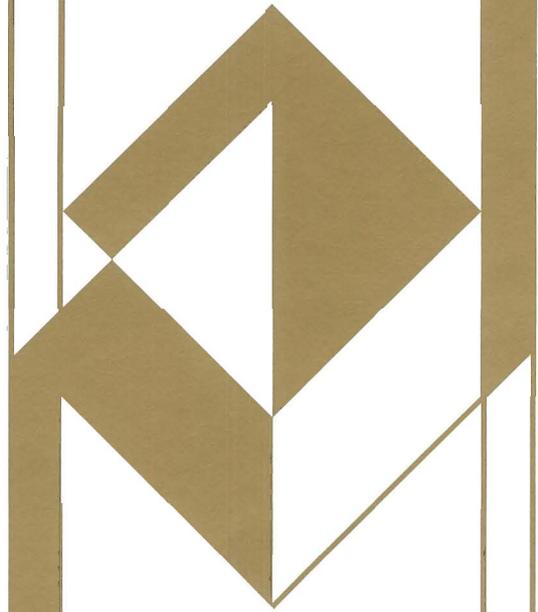
演出: 直井研二

美術: 伊藤隆道

オペラ

「子供と呪文」

L'enfant et les sortilèges



指揮: 佐藤功太郎

坊や: 永井和子

母親: 伊原直子

大学院声楽専攻生

演出: 直井研二

美術: 伊藤隆道

音楽監督: 三林輝夫

照明デザイン: 海藤春樹

協力: 東京藝術大学美術学部デザイン科

合唱: 声楽科学生 管弦楽: 東京藝術大学学生オーケストラ

入場料: 1,800円(全自由席)

チケット: チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

お問い合わせ: 東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

藝大の響き—ラヴェル・プロジェクト 第6回

“うた”シリーズV

第1日 オペラの夕べ

2005年6月28日(火) 午後6時開場 午後6時30分開演

東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

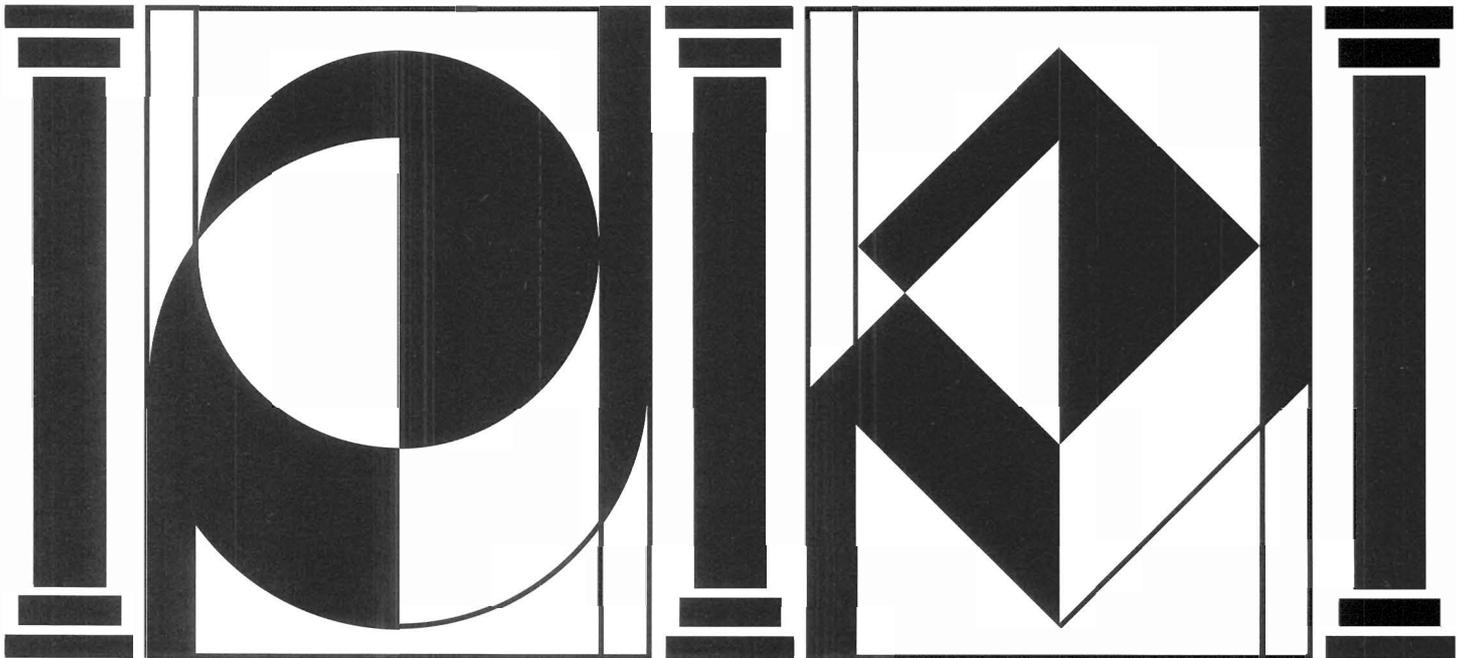
主催：東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

フランスオペラへのお誘い

フランス近代音楽の巨匠、ラヴェルが描く洒落たフランスのユーモアとエスプリ溢れるオペラ《スペインの時》、そして夢とファンタジー
いっぱいの幻想音楽劇《子供と呪文》の二本立ては、思っただけでも胸がどります。望みうるベストキャストが繰り広げるステージ
は、きっと皆さんに大満足していただけることでしょう。

“今ラヴェルがナウい!” “今年はラヴェルが旬!” 6月28日は是非、芸大奏楽堂へお出かけください。

東京藝術大学演奏藝術センター長 三林 輝夫



モーリス・ラヴェル

オペラ「スペインの時」

L'heure espagnole

MAURICE RAVEL

オペラ「子供と呪文」

L'enfant et les sortilèges

入場料：1,800円(全自由席)



●交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ地下鉄千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ地下鉄日比谷線上野駅・銀座線上野駅より
徒歩15分

●駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

●所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

●チケット発売

チケットぴあ Tel.0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いた
だけできません。)

藝大美術館ミュージアムショップ Tel.03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス Tel.03-5815-5452

●お問い合わせ

東京藝術大学演奏藝術センター Tel.03-5685-7700

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

平成17年度吹奏楽学内演奏会

日時 : 2005年6月30日(木)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 入場無料

主催 : 東京芸術大学音楽学部

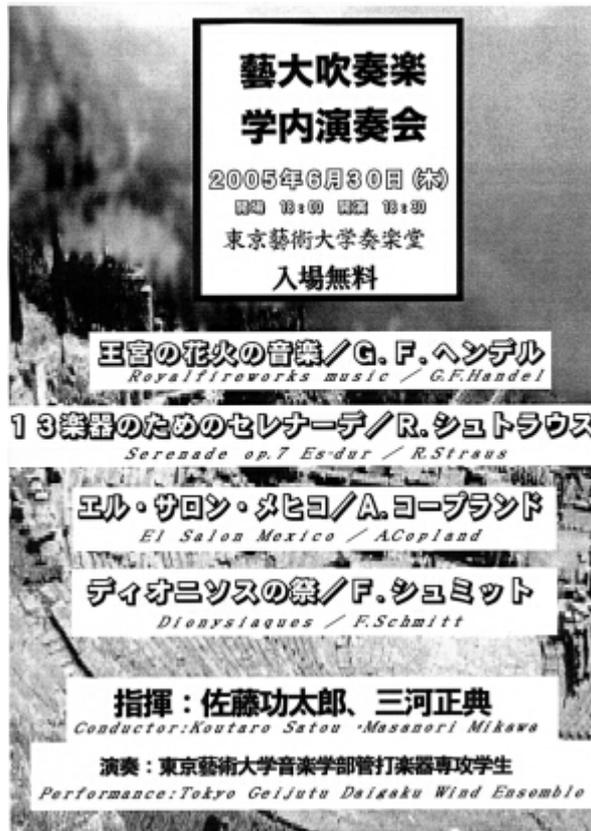
指揮 : 三河正典

G.F.ヘンデル 王宮の花火の音楽
 R.シュトラウス 13楽器のためのセレナーデ
 C.グノー パレエ組曲「ファウスト」

指揮 : 佐藤功太郎

A.コープランド エル・サロン・メヒコ
 W.R.ワーグナー 「神々の黄昏」より
 ジークフリートの葬送音楽
 F.シュミット デュオニソスの祭り

演奏 : 東京芸術大学音楽学部管打楽器専攻学生



お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地 : 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期 吹奏楽

2005年6月30日(木)

開場 13:00 開演 18:30

東京藝術大学奏楽堂

入場無料

王宮の花火の音楽 / G. F. ヘンデル
Royal fireworks music / G.F. Handel

1 3楽器のためのセレナーデ / R. シュトラウス
Serenade op. 7 Es-dur / R. Straus

エル・サロン・メヒコ / A. コープラント
El Salon Mexico / A. Copland

ディオニソスの祭 / F. シュミット
Dionysiaques / F. Schmitt

指揮：佐藤功太郎、三河正典
Conductor: Koutaro Satou・Masanori Mikawa

演奏：東京藝術大学音楽学部管打楽器専攻学生
Performance: Tokyo Geijutu Daigaku Wind Ensemble

平成17年度吹奏楽学内演奏会

平成17年6月30日(木)
東京藝術大学奏楽堂
18:00開場18:30開演
入場無料

Program

指揮：三河正典

G.F.ヘンデル / 王宮の花火の音楽

R.シュトラウス / 13楽器のためのセレナーデ

C.グノー / バレエ組曲「ファウスト」

・～・ 休憩 ・～・

指揮：佐藤功太郎

A.コープランド / エル・サロン・メヒコ

W.R.ワーグナー / 「神々の黄昏」よりジークフリートの葬送音楽

F.シュミット / デュオニソスの祭り

指揮：佐藤功太郎、三河正典

演奏：東京藝術大学管打楽器専攻生



トップ > 演奏会スケジュール >

藝大とあそぼう ~ オーケストラの逆襲 ~

日時 : 2005年7月3日(日)
14:30開場
15:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,000円(全席自由)
未就学児のご入場はご遠慮ください

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部

共催 : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

協力 : 台東区教育委員会

曲目

ジョン・ウィリアムズ 「スター・ウォーズ」のテーマ
ハチャトゥリアン 「剣の舞」
マスカーニ 「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
スッペ 「軽騎兵」序曲
ストラヴィンスキー 組曲「火の鳥」より「魔王カスチエイの踊り」ほか

出演 : 原田 圭、中嶋克彦、栗原未和
(以上声楽科大学院生)
関口直仁(声楽科)
瀬戸口郁、神野 崇、細貝弘二、斉藤祐一
(以上文学座)
芸大音楽学部打楽器専攻学生

指揮 : 直井大輔

演奏 : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校オーケストラ

企画原案 : 大石 泰

台本 : 小山隼平

演出 : 西川信廣

照明 : 金 英秀

ファイティングコーディネーター : 渥美 博

舞台監督 : 林 和孝



オーケストラコンサートと朗読劇が合体した全く新しいタイプのコンサートです。
この日、奏楽堂が広大な宇宙空間になります。

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大★あそぼう

オーケストラの逆襲

2005年7月3日(日) 14:30開場 15:00開演 東京藝術大学奏楽堂



絵: 田原小学校 安保政亮

オーケストラコンサートと朗読劇が合体した全く新しいタイプのコンサートです。この日、奏楽堂が広大な宇宙空間になります。

- 曲目:
- ★ジョン・ウィリアムズ「スター・ウォーズ」のテーマ
 - ★ハチャトゥリアン「剣の舞」
 - ★マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
 - ★スッペ「軽騎兵」序曲
 - ★ストラヴィンスキー組曲「火の鳥」より“魔王カステイの踊り”ほか

出演: 原田 圭 中嶋克彦 栗原未和
(以上声楽科大学院生)
関口直仁(声楽科)
瀬戸口郁 神野 崇 細貝弘二
斉藤祐一(以上文学座)
芸大音楽学部打楽器専攻学生

指揮: 直井大輔
演奏: 東京藝術大学音楽学部
附属音楽高等学校オーケストラ
企画原案: 大石 泰
台本: 小山隼平 演出: 西川信廣
照明: 金 英秀
ファイティングコーディネーター: 湊美 博
舞台監督: 林 和孝

入場料 1,000円(全席自由)
未就学児のご入場はご遠慮ください
チケット:
チケットぴあ 0570-02-9990
(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません)
藝大美術館ミュージアムショップ
03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス
03-5815-5452

主催: 東京藝術大学演奏藝術センター
東京藝術大学音楽学部
共催: 東京藝術大学音楽学部附属
音楽高等学校
協力: 台東区教育委員会
お問合わせ:
東京藝術大学演奏藝術センター
03-5685-7700

藝大☆あそぼう オーケストラの逆襲

2005年7月3日(日) 14:30開場 15:00開演 東京藝術大学奏楽堂

「芸大とあそぼう～オーケストラの逆襲」のチラシ・ポスターの制作にあたり、台東区内の小学校に通う小学5年生(現6年生)から、「宇宙」をテーマに絵を募集いたしました。その結果367点もの作品が集まり、厳正な審査の結果、田原小学校の安保政亮君の作品がチラシの原画として採用されました。応募くださった方々は下記の皆さんです。本当にありがとうございました。なおコンサート当日は、すべての作品を奏楽堂ロビーに展示いたしますので、是非ご来場・ご鑑賞ください。

今回ご応募いただいた皆さん(順不同・敬称略)

上野小学校 重岡有沙 有田いず美 佐藤愛子 頓所由依子 根本咲紀 棟方梨華子 佐藤優姫 天野杏南 櫻井貴喜 鈴木英太郎／**平成小学校** 森田佳輝 小川恵梨華 有木北斗 松居実穂 原田寿美花 山口真奈 相澤沙希 武井美沙紀 福永さおり 藤本大三郎／**根岸小学校** 宮本祐希 萩原直輝 山本楓 野崎彩 小島瑞貴 西山徳磨 水谷結香 長島大知 神谷泉 大須賀康真 山口崇浩 小川咲 佐藤ちはる 鳥越衣都美 西岡恵利 岩井桃子 安田直樹 上山小野華 鈴木翼 山内遼斗 酒井佳菜子 井上菜々実 谷川侑菜／**東泉小学校** 土井川淳志 森村真衣子 辻田祥彦 竹之下綾菜 伊藤舞 古賀夕鶴 水谷淳 内山千晴 根本ゆみの／**谷中小学校** 西花菜子 村上千夏 金山智香 栗原瞳 高島史帆 成田秀夫 有元麻央 吉本孝司 岡田彩花 清水石菜葉 三井卓弥 木野紗央里 中島亜沙子 竹内真季子 高野友明 小川透 鈴木多聞
／**金曾木小学校** 山川了 堀圭佑 内藤洋平 土田創 井田智之 佐々木正勝 島原奈那 小関祐富／**台東小学校** 平野桜子 片岡雅貴 小林敦也 小林愛結美 北沢ひかる 小堺光 棚橋藤香 岩市寛子 伊藤秀栄 西中川萌 岩山俊一 鈴木子竜 三村健太 北島桃花 高橋美幸 井原優太／**黒門小学校** 平柳佑花 益戸一穂 中野幸 原田かおり 前島久美 木村香奈 金島善美 高宮礼奈／**大正小学校** 石田茂年 榎本良平 川俣奈摘 佐々木悠太 佐藤泰斗 滝口桃芳 田辺夕尋 真下孝典 松本光恵 山田裕仁 村橋大志 門井元樹 増子梓紗 三浦理暉 室町晴香 横尾頼近 吉田麻綸 横山咲希子 佐々木泰二郎 金澤孝輝 大瀨謙太郎 佐藤翼 大澤久美子 古谷真夢／**浅草小学校** 中原結苗 小椋琴巳 奥木翔一朗 高瀬咲絵 野村美帆 戸部泰大 根津有希央 潮麻美 酒井翔太 長島伽連 岡村綾奈 松本麻実 吉良瞳 高橋舞苗 伊藤成美／**台東育英小学校** 重松涼介 窪田麗土 樋川知美 桐山貴央 田村隼士 高柳彩織 川島康昭 川野悠一郎 田村真子 乙坂知里 薮本晶子 高橋采希 高橋知宏 吉田有里 大関彩音 山本静夏 田中優希 数永紗恵 日崎茂 秋田詩織／**蔵前小学校** 長谷川菜摘 上杉美里 白木香穂／**東浅草小学校** 市橋美樹 今關風子 大森彩加 北山仁 木村茉椰 工藤貴則 窪田悠介 桑原遥奈 近藤ロストム 笹沼颯 佐竹翔太 佐藤恭一 進藤誉也 鈴木勇弥 千葉アイナ 中村彩乃 西村大 平井孝紘 福田裕樹 松島康太 三浦桃美 山根慶子 渡邊浩美
／**富士小学校** 清野純希 曾我和弘 関根謙太 松田拓也 小浦一樹 瀬田陽花里 神谷光紀 小林茉莉奈 増田幸雄 川崎紗也加 酒井美範 小野早紀 豊田陽平 西来あずさ 小山萌 清水政人 木崎裕菜 木村拓人 上田涼子 小林徳子 後藤玲奈 田中理香 石丸啓介 山本恵美 近藤健太 高橋紗耶 窪田崇志 石塚博明 高橋未弥 藤田大 成澤慎平 細井礼子 内山雄太 武藤恵利奈 三牧潤平 森泉純 荒明正樹 牧夏美 山中寛士 大崎滉太 笹川達矢 林未奈美 岩口朝子 田中恵 山中雄登 仙波拓朗 福地凜太郎 桂優斗 桑崎友里江 鶴田純菜 鈴木友梨 小竹由起 會津祥子 渡邊怜奈 新沼優美 柿沼義人 田中優平 松尾亜南 長尾稜平 布施宜義 宮崎美子 宇田川景介 石川嘉一 伊東舜 阿部史明 丸智哉 宮田啓雅 松本健吾 高橋那月 君塚康太 荒木雄吾 柴田愛花 丸山直宏 大竹梨乃 坪田ちひろ 江口晃弘 栗田怜奈 了戒早紀 高橋ゆみか／**松葉小学校** 徳田大海 中村天馬 片岡奨太 浅沼沙紀 佐藤有希 鶴田憲昭 小林力志 樋口祐介 加藤亮 武田萌花 眞々田基 真野寿敬 大澄翔太郎 宮川真帆 西原宗道 中田雅子 百瀬鮎香 大瀧晃久 中島知也 池田瑞季 川合航右 原友希 野口良太 坂森晴弥 星野秀征／**千束小学校** 荒井悠次 片岡愛 芳賀舞香 鈴木夏那 田中里奈 石谷孝章 龍口琴美 新谷美紅／**石浜小学校** 益田行人／**田原小学校** 安保政亮 関晃佑 鈴木沙織 高木杏奈 中森杏奈 鈴木泰成 藤尾唯 松坂くるみ 宮元佳旺 宮代祐介 高橋真貴子 中森麻倫 渡部ありさ 河合勇佑 磯貝春奈 富永有希 三木恵 石井紗瑛 松本莉果 杉山紗英子 森田愛美 生井和輝 猪狩柚葉 西山奈菜／**金竜小学校** 小峰健太 川井大介 小泉愛 原大輔 勝見恒太 中村遥佳 石井綾子 藤本あおい 門脇真央 田中博文 中西梨歌 中田南海 畠中駿 市川恵 関根基 関口勇輝 新中良樹 奥山昇平 南智祐 久保田涼介 伊藤紘二 荒井絵理子 明石遙香 小山真以 梅田つかさ 野原さおり 高瀬直樹 嶋村翔太 勅使河原健斗 琴寄正太郎 間島知香 辻未緒子 千秋小百合 中西舞喜 堀崎奈緒 渡邊瑛里奈 阿曾瑞季 森野恭代 勝見亮太 盧韓男 高津綾香 船大工海月 奥山智哉 三村安紀



●交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ地下鉄千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ地下鉄日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分

●駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

●所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

●チケット発売

チケットぴあ Tel.0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません。)

藝大美術館ミュージアムショップ Tel.03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス Tel.03-5815-5452

●お問い合わせ 東京藝術大学演奏芸術センター Tel.03-5685-7700

トップ > 演奏会スケジュール >

アジア・躍動する音たち～上海音楽学院を迎えて～

日時 : 2005年7月6日(水)
19:00開演
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料 : 1,800円(全席自由)
主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部

レクチャー

日時 : 17:30開演
会場 : 奏楽堂ホワイエ
「上海の音楽状況」
講師: 徐孟東

和・その響き : 春の海

作曲 宮城道雄
尺八・箏

秋の色種

作曲 十代目杵屋六左衛門
笛・長唄・長唄三味線・箏

悠久なる響き : 一枝花 (山東民間曲)

編曲 任同祥、朱曉谷
唢呐

鉄馬吟

作曲 趙登山
古箏

瀛洲古調

編曲 沈肇洲
琵琶

剣器

作曲 徐昌俊
柳琴

迎送鼓楽

作曲 覚暁
中音唢呐・琵琶・古箏・中阮

響きの交流～日本と中国の伝統楽器による～

: 声声漫

作曲 胡銀岳
王昭君

作曲 中田博之



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大21

アジア.

躍動する音たち

～上海音楽学院を迎えて～

平成17年7月6日(水)午後7時開演

東京藝術大学演奏堂(大学構内)

入場料:1800円(全自由席)

レクチャー / 演奏堂ホワイエ

午後5時30分 開演

「上海の音楽状況」

講師:徐孟東(XU Mengdong)

(上海音楽学院副院長・作曲家)

和・その響き

春の海 Haru-no-Umi

作曲 宮城道雄 MIYAGI Michio

尺八・箏

秋の色種 Aki-no-Irokusa

作曲 十代目杵屋六左衛門

KINEYA Rokuzaemon

笛・長唄・長唄三味線・箏

悠久なる響き

一枝花 A Spray of Blossom 山東民間曲

編曲 任同祥 REN Tongxiang

朱晓谷 ZHU Xiaogu

噴呐

鉄馬吟 Song of Shims

作曲 趙登山 ZHAO Dengshan

古箏

瀛洲古調 Old Melody of Yingzhou 伝統曲目

編曲 沈肇洲 SHEN Zhaozhou

琵琶

剣器 Swords

作曲 徐昌俊 XU Changjun

柳琴

迎送鼓楽 Welcome Drum

作曲 覚嘎 JUE Ga

中音噴呐・琵琶・古箏・中阮

響きの交流 ～日本と中国の伝統楽器による～

声声漫 Sheng sheng man

作曲 胡銀岳 HU Yinyue

王昭君 Wang Zhaojun

作曲 中田博之 NAKATA Hiroyuki

上海音楽学院伝統音楽科

噴呐:劉英 Suona: LIU Ying

古箏:祁璿 Guzheng: QI Yao

柳琴・中阮:呉嶺 Liuqin / Zhongruan: WU Qiang

琵琶:張亮 Pipa: ZHANG Liang

東京藝術大学音楽学部邦楽科

謡:武田孝史

長唄:東音大森多津子 東音浅見文子

長唄三味線:東音大塚陸子 東音高橋智久 東音伊藤恭子

邦楽離子:望月大喜雄 中川善雄 望月左喜三郎

箏曲山田流:森岡松韻 鈴木厚一 大間隆之 樋口里実 田中奈央人 山本七重

箏曲生田流:安藤政輝

尺八:川村泰山 徳丸千盟

●お問い合わせ 東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

●チケット チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催 東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

ペルシアで発祥したいくつもの楽器は、陸と海のシルクロードを通り、東へ東へと向かい、日本へと渡ってきました。琵琶、箏、笛など東南アジアと東アジア、そして日本の伝統楽器には、それぞれ類意する点が多く見られます。しかし、それぞれの楽器は長い歴史の中で、各々の文化に育まれながら異なった音楽を生み出しました。

一つの音に深遠を求める日本の音楽は、雅びな世界感を生み出し、大陸が培ったエネルギーを彷彿とさせる中国の音楽は、悠久なる時を生み出しました。今回の「アジア・躍動する音たち」は、2004年に姉妹校締結を結んだ上海音楽学院より、中国伝統楽器の名手たちをお招きし、藝大の邦楽科との交流演奏会を企画致しました。日中の伝統音楽の継承者たちによる文化の類異性と相違性を考察することによって、東アジア文化圏の新たな出会いの場を提示することが出来るでしょう。

上海音楽院プロフィール

上海音楽院は中国で最も歴史があり、全身の国立大学は1927年11月27日に設立されました。音楽科、作曲指揮科、声楽科、ピアノ科、管弦楽器科、中国楽器科、音楽教育科の7つ専攻の他に、附属音楽研究所、楽器工場などを併設しています。教授50名、副教授120名、講師300名以上が教え、学生の総数は約900名。



東京藝術大学奏楽堂

- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 ☎ 110-8714

[トップ](#) > 演奏会スケジュール >

管楽器シリーズ モーツァルトの管楽器曲を集めて

日時 : 2005年7月9日(土)
 16:30開場
 17:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
 入場料 : 1,800円(全席自由)
 主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部

フルート四重奏曲 第1番 二長調 K.285
 浅生典子 (フルート)
 清水高師 (ヴァイオリン)
 岡さおり (ヴィオラ)
 松本卓以 (チェロ)

セレナード 第10番 変ロ長調 「グラン・パルティータ」 K.361
 小畑善昭、久壽米木知子 (オーボエ)
 村井祐児、菊次 翼 (クラリネット)
 大橋裕子、中秀 仁 (バセットホルン)
 水谷上総、黒木綾子 (ファゴット)
 依田晃宣 (コントラファゴット)
 水野信行、守山光三 (ホルン)
 宮本梨絵、大瀧智美 (ホルン)
 山本 修 (コントラバス)

指揮: 金 昌国



W.A.Mozart

《管楽器シリーズ》モーツァルトの管楽器曲を集めて

2005年7月9日(土)

開演 17時開演

フルート四重奏曲 第1番 二長調 K.285 (Sonata for Flute and Piano)

演奏者: 浅生典子 (フルート)、清水高師 (ヴァイオリン)、岡さおり (ヴィオラ)、松本卓以 (チェロ)

セレナード 第10番 変ロ長調 「グラン・パルティータ」 K.361 (Serenade for Clarinet and Bassoon)

演奏者: 小畑善昭、久壽米木知子 (オーボエ)、村井祐児、菊次 翼 (クラリネット)、大橋裕子、中秀 仁 (バセットホルン)、水谷上総、黒木綾子 (ファゴット)、依田晃宣 (コントラファゴット)、水野信行、守山光三 (ホルン)、宮本梨絵、大瀧智美 (ホルン)、山本 修 (コントラバス)

指揮: 金昌国

東京芸術大学演奏芸術センター 入場料 1,800円 (全席自由) 主催: 東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。



W.A. Mozart

《管楽器シリーズ》モーツァルトの管楽器曲を集めて

2005年7月9日(土)

16時30分開場 17時開演

フルート四重奏曲 第1番 二長調 K.285 Quartett für Flöte und Streichtrio Nr.1 in D-dur K.285

浅生典子(フルート)/清水高師(ヴァイオリン)/岡さおり(ヴィオラ)/松本卓以(チェロ)

セレナード 第10番 変口長調「グラン・バルティータ」K.361 Serenade Nr.10 in B-dur "Grand Partita" K.361

小畑善昭・久喜米木知子(オーボエ)/村井祐児・菊次寛(クラリネット)

大橋裕子・中秀仁(バセットホルン)/水谷上総・黒木綾子(ファゴット)/篠田晃宣(コントラファゴット)

水野信行・守山光三・宮本梨絵・大瀧智美(ホルン)/山本修(コントラバス)

【指揮】金昌国

会場:東京藝術大学演奏堂(大学構内) 入場料:1,800円(全自由席) 主催:東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

チケット発売:チケットぴあ ☎0570-012-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません)

藝大美術館ミュージアムショップ ☎03-5685-1176 東京文化会館チケットサービス ☎03-5811-5452

お問い合わせ:東京藝術大学演奏藝術センター ☎03-5685-7700

The map shows the Ueno Park area in Tokyo. Aikido-Dojo (奏楽堂) is highlighted in a black box. Other landmarks include the National Museum (東京国立博物館), National Museum of Western Art (国立西洋美術館), and various museums and cultural centers. Major train lines like the Yamanote Line and Keihin-Tohoku Line are also shown.

交通案内

- JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

時の響き JAZZ in 藝大

～原 信夫とシャープス&フラッツ VS Manto Vivo～

日時 : 2005年7月16日(土)
16:30開場
17:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 2,400円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部

曲目 : ラブソディー・イン・ブルー
A列車で行こう
ブルース・オン・パレード
スワニー
ビギン・ザ・ビギン
ディー・フォー・トゥー
シャレード
ドレミの歌
箱根八里
ほか(予定)

出演 : 原信夫とシャープス&フラッツ
Manto Vivo(藝大学生ジャズ・バンド)ほか
東京芸術大学音楽学部教員、学生

ゲスト : 羽田健太郎(ピアノ)
藤本隆文(ヴァイプ)
山本邦山(尺八)



出演者プロフィール

原信夫

1926年富山市出身。海軍軍楽隊に入隊し、そこで音楽の基礎、並びにサクソフォンを習得。終戦後間もなくプロに転じ、1951年弱冠24歳でジャズ・オーケストラ「原信夫とシャープス&フラッツ」を結成。以後今日まで、常に斬新な試みに挑戦し、多彩な演奏活動で日本のビッグ・バンド・ジャズ界をリードしてきた。名リーダーとして辣腕を揮う一方、作曲家としても美空ひばりに提供した大ヒット曲「真っ赤な太陽」をはじめ、多くの佳作を世に送り出してきた。こうした幅広く精力的な活動によって、「南里文雄賞」「芸術祭優秀賞」及び「芸術祭賞」など数々の賞に輝き、「紫綬褒章」(1988年)を受賞。また永年の日本の音楽文化に対する貢献が高く評価され「勲四等旭日小綬賞」(1998年)を叙勲。

原信夫とシャープス&フラッツ

1951年9月、原信夫によって結成されたジャズ・バンド。当初は10人編成であったが、その後17人編成のビッグ・バンド・スタイルを取り入れ、スイング・ジャズからモダン・ジャズへの推移を敏感な感覚で捕らえ、デューク・エリントン、カント・ベイシー、スタン・ケントン、ウディー・ハーマンなどの本場のトップ・クラスを射程におさめた音楽活動を繰り返している。1967年にはアメリカの<ニューポートジャズ・フェスティバル>に日本人ジャズ・バンドとして初めて出演、成功を収め、以後アメリカ、ソビエト、ヨーロッパ、アジア各国から招待され公演を行っている。クインシー・ジョーンズ、サミー・デイヴィスJr. など多くの国際級の大スターとの共演も数多く、世界へ向けてその実力をアピールしている。

Manto Vivo

東京芸術大学で、代々引き継がれているビッグ・バンド。主に管打楽器専攻生で構成され、入学式や芸祭などで活動している。昨年の「JAZZ in 藝大」の公演では、日本を代表するビッグ・バンドの一つである「森寿男 & ブルーコーツオーケストラ」と共演。

羽田健太郎(ピアニスト、作・編曲家)

東京都出身。高枚、大学と桐朋学園に学び、有賀和子、故井口基成両氏に師事。大学4年の時、第39回「音楽コンクール」(主催: NHK、毎日新聞社)でピアノ部門第3位入賞、大学卒業と同時にスタジオ・ミュージシャンとして活躍。一方、作曲家としてもドラマ「渡る世間は鬼ばかり」(TBS)、「西部警察PART 1」(ANB)等を手掛け、アニメ「超時空要塞マクロス」では日本アニメ大賞・音楽賞、映画「薔薇の標的」では日本アカデミー優秀音楽賞等を受賞。その後、N響定期出演をはじめ、日本のすべてのプロ・オーケストラと共演。現在はテレビ朝日「題名のない音楽会21」の司会者としても馴染み。今年は音楽家生活35周年を迎える。

ウェブサイト <http://www.haneken.com>

藤本隆文(パーカッション・東京芸術大学音楽学部器楽科助教授)

東京音楽大学卒業。ジュネーヴ国際音楽コンクール打楽器部門第2位。ルクセンブルグ国際打楽器コンクール第2位。(打楽器四重奏団「Shun-Ka-Shu-Toh」のメンバーとして)日本管打楽器コンクール打楽器部門第2位。1993年より11年間、紳奈川フィルハーモニー管弦楽団ティンパニ奏者を務める。現在、東京芸術大学音楽学部器楽科助教授。東京音楽大学非常勤講師。打楽器四重奏団「Shun-Ka-Shu-Toh」代表。柴田順子、有賀誠門、野口力、菅原淳、岡田真理子の各氏に師事。クラシックばかりでなくジャズもこよなく愛し、数々のライブでその演奏を披露している。

山本邦山(尺八・東京藝術大学名誉教授)

1975年芸術選奨文部大臣賞、1990年第11回松尾芸能賞、1991年モービル音楽賞、1997年大津市特別文化賞、2000年滋賀県文化賞、2002年重要無形文化財(人間国宝)保持者認定。作曲家としても意欲的に活動を展開し、作品は芸術祭優秀賞受賞作品「現代鈴慕」(NHK委嘱)等、百数十曲を数える。演奏活動は尺八のリサイタルだけでなく、NHK交響楽団や日本フィルハーモニー交響楽団など、主要オーケストラとの協演も多い。2000年は東京交響楽団と「尺八と管弦楽のための協奏曲」を協演。東京藝術大学名誉教授、(財)郡山流尺八楽会専務理事及び参事、(社)日本三曲協会常任理事。

チケット販売：芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ：東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地：〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大21 時の響き

JAZZ in 藝大

～原 信夫とシャープス&フラッツ vs Manto Vivo～

Sharp
vs
Vivo

2005.7.16.(土)

17:00開演(16:30開場)

東京藝術大学奏楽堂

入場料 2,400円(全自由席)

曲目

「ラプソディ・イン・ブルー」(原典版)
「A列車で行こう」「ブルース・オン・パレード」
「スワニー」「ビギン・ザ・ビギン」「ティー・フォー・トゥー」
「シャレード」「ドレミの歌」「箱根八里」ほか(予定)

出演

原信夫とシャープス&フラッツ
Manto Vivo(藝大学生ジャズ・バンド)ほか
東京藝術大学音楽学部教員、学生

ゲスト

羽田健太郎(ピアノ)／藤本隆文(ヴァイブ)／山本邦山(尺八)

主催

東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部



チケット

チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

お問い合わせ:東京藝術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

■出演者プロフィール

原信夫

1926年富山市出身。海軍軍楽隊に入隊し、そこで音楽の基礎、並びにサキソフオンを習得。終戦後間もなくプロに転じ、1951年弱冠24歳でジャズ・オーケストラ「原信夫とシャープス&フラッツ」を結成。以後今日まで、常に斬新な試みに挑戦し、多彩な演奏活動で日本のビッグ・バンド・ジャズ界をリードしてきた。名リーダーとして辣腕を揮う一方、作曲家としても美空ひばりに提供した大ヒット曲「真っ赤な太陽」をはじめ、多くの佳作を世に送り出してきた。こうした幅広く精力的な活動によって、「南里文雄賞」「芸術祭優秀賞」及び「芸術祭賞」など数々の賞に輝き、「紫綬褒章」(1988年)を受賞。また永年の日本の音楽文化に対する貢献が高く評価され「勲四等旭日小綬賞」(1998年)を叙勲。



原信夫とシャープス&フラッツ

1951年9月、原信夫によって結成されたジャズ・バンド。当初は10人編成であったが、その後17人編成のビッグ・バンド・スタイルを取り入れ、スイング・ジャズからモダン・ジャズへの推移を敏感な感覚で捕らえ、デューク・エリントン、カウント・ベイシー、スタン・ケントン、ウディー・ハーマンなどの本場のトップ・クラスを射程におさめた音楽活動を繰り広げている。1967年にはアメリカの<ニューポート・ジャズ・フェスティバル>に日本人ジャズ・バンドとして初めて出演、成功を収め、以後アメリカ、ソビエト、ヨーロッパ、アジア各国から招待され公演を行っている。クインシー・ジョーンズ、サミー・デイヴィスJr.など多くの国際級の大スターとの共演も数多く、世界へ向けてその実力をアピールしている。

Manto Vivo

東京藝術大学で、代々引き継がれているビッグ・バンド。主に管打楽器専攻生で構成され、入学式や芸祭などで活動している。昨年の「ジャズin藝大」の公演では、日本を代表するビッグ・バンドの一つである「森寿男&ブルーーツオーケストラ」と共演。

羽田健太郎(ピアニスト、作・編曲家)

東京都出身。高校、大学と桐朋学園に学び、有賀和子、故井口基成両氏に師事。大学4年の時、第39回「音楽コンクール」(主催:NHK、毎日新聞社)でピアノ部門第3位入賞。大学卒業と同時にスタジオ・ミュージシャンとして活躍。一方、作曲家としてもドラマ「渡る世間は鬼ばかり」(TBS)、「西部警察PART II」(ANB)等を手掛け、アニメ「超時空要塞マクロス」では日本アニメ大賞・音楽賞、映画「薔薇の標的」では日本アカデミー優秀音楽賞等を受賞。その後、N響定期出演をはじめ、日本のすべてのプロ・オーケストラと共演。現在はテレビ朝日「題名のない音楽会21」の司会者としてもお馴染み。今年に音楽家生活35周年を迎える。ウェブサイト <http://www.haneken.com>



藤本隆文(パーカッション・東京藝術大学音楽学部器楽科助教授)

東京音楽大学卒業。ジュネーヴ国際音楽コンクール打楽器部門第2位。ルクセンブルグ国際打楽器コンクール第2位。(打楽器四重奏団「Shun-Ka-Shu-Toh」のメンバーとして)日本管打楽器コンクール打楽器部門第2位。1993年より11年間、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ティンパニ奏者を務める。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科助教授。東京音楽大学非常勤講師。打楽器四重奏団「Shun-Ka-Shu-Toh」代表。柴田順子、有賀誠門、野口力、菅原淳、岡田真理子の各氏に師事。クラシックばかりでなくジャズもこよなく愛し、数々のライブでその演奏を披露している。



山本邦山(尺八・東京藝術大学名誉教授)

1975年芸術選奨文部大臣賞、1990年第11回松尾芸能賞、1991年モービル音楽賞、1997年大津市特別文化賞。2000年滋賀県文化賞。2002年重要無形文化財(人間国宝)保持者認定。作曲家としても意欲的に活動を展開し、作品は芸術祭優秀賞受賞作品「現代鈴慕」(NHK委嘱)等、百数十曲を数える。演奏活動は尺八のリサイタルだけでなく、NHK交響楽団や日本フィルハーモニー交響楽団など、主要オーケストラとの協演も多い。2000年は東京交響楽団と「尺八と管弦楽のための協奏曲」を協演。東京藝術大学名誉教授、(財)都山流尺八楽会専務理事及び参事、(社)日本三曲協会常任理事。



東京藝術大学奏楽堂

- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください
- 所在地:東京都台東区上野公園12-8 ☎110-8714

トップ > 演奏会スケジュール >

うたシリーズV - 2 森鷗外訳オペラ「オルフェウス」

日時 : 2005年9月18日(日)
 16:30開場
 17:00開演
 2005年9月19日(月・祝)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)
 入場料 : 2,400円(全席自由)
 主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部

オペラ制作統括 : 多田羅迪夫

キャスト : オルフエウス 寺谷千枝子
 エウリチケ 佐々木典子
 アモオル 山口清子

指揮 : 高関 健
 管弦楽 : 東京芸術大学「オルフェウス」記念オーケストラ
 合唱指揮 : 栗山文昭
 合唱 : 東京芸術大学音楽学部声楽科学生有志
 振付・演技指導 : 中村しんじ
 舞踏群 : ナチュラル・ダンスアトル

舞台美術 : 宮廻正明
 照明デザイン : 海藤春樹
 ステージ・
 コーディネーター : 直井研二
 舞台監督 : 賀川祐之
 コレペティートル : 鈴木真理子
 高木由雅
 朴 令鈴
 山口佳代
 ドラマトゥルギー : 瀧井敬子

助成 : 朝日新聞文化財団
 東京芸術大学音楽学部同声会
 東京芸術大学音楽教育振興会
 野村国際文化財団
 東日本鉄道株式会社文化財団
 文化財保護・芸術研究助成財団

(50音順)

協賛 : 上野精養軒
 鹿島建設
 カルビー
 角川書店
 紀伊國屋書店
 講談社
 小学館
 新潮社
 東海ビジネスサービス
 東京上野ロータリークラブ
 東京本郷ロータリークラブ
 日本出版販売
 広島大学附属中・高等学校創立記念事業実行本部



森鷗外訳オペラ、初めての本格的上演!

森鷗外(1862~1922)はドイツ留学時代の明治18年(1885)6月21日、グルック作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」をライプツィヒの劇場で観て感激しました。そのときドイツで買った台本の余白に漢文体で記されたメモからは、舞台で観たことをあますところなく記憶におさめ祖国にもって帰ろうという、若き鷗外の「文明開化」への情熱が伝わってきます。その30年後の大正3年(1914)、彼は「国民歌劇会」音楽顧問・本居長世、後援メンバー:与謝野鉄幹・晶子(ほか)から頼まれて、このオペラ全三幕を「オルフェウス」というタイトルにして翻訳しました。この団体はグルック(1714~1787)の生誕200年を祝って、その誕生日である7月2日に上演しようとしたのです。しかし、第一次世界大戦が勃発するなど不幸な事情が重なって、森鷗外の訳詞は舞台にかけられることなく、活字としてのみ今日に伝えられました。90年あまりを経て、それが初めて本格的に上演されます。

森鷗外訳「オルフェウス」は、流麗でみやびな日本語で書かれています。とはいえ、文語体です。そこで今回の上演に際しては、わかりやすく新字体の漢字と新かなづかいを用いて鷗外の訳詞を字幕に出します。

ちなみに、グルック作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」は、明治36年(1903)、東京音楽学校(東京芸術大学音楽学部の前

ペーターズ社
文藝春秋
三菱地所

(50音順)

協力：東京ハッスルコピー
ヤマハ銀座店

(50音順)

後援：ドイツ連邦共和国大使館

「日本におけるドイツ年2005/2006」参加行事
メセナ協議会助成認定

身)の学生と外国人教師、それに東京帝国大学の学生も加わって、本邦初演されました。これは「日本人による初のオペラ上演」として、今日、高く評価されています。したがって、グルックのこのオペラは、日本近代音楽史においてもきわめて重要な作品といえましょう。

チケット販売：芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
お問い合わせ：東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地：〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。
このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

演奏藝術センター企画“うた”シリーズV-2

森鷗外訳オペラ「オルフェウス」 全三幕：Chr.W.グルック作曲

2005年9/18(日) 16:30開場 17:00開演, 19(月) 18:00開場 18:30開演 東京藝術大学奏楽堂 | 大学構内 | 入場料2,400円 | 全自由席 |

●チケット販売 ●チケットぴあ ☎0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただくことができません) ●藝大美術館ミュージアムショップ ☎03-5685-1176

●東京文化会館チケットサービス ☎03-5815-5452

●お問い合わせ ●東京藝術大学演奏藝術センター ☎03-5685-7700 URL <http://www.geidai.ac.jp>



CHR. W. GLUCK

J A P A N I S C H E
Ü B E R S E T Z U N G
V O N
Ō G A I M O R I

オペラ制作統括：多田羅迪夫

キャスト：オルフェウス 寺谷千枝子
エウリチケ 佐々木典子
アモオル 山口清子

指揮：高関 健

管弦楽：東京藝術大学「オルフェウス」記念オーケストラ

合唱指揮：栗山文昭 合唱：東京藝術大学音楽学部声楽科学生有志

振付・演技指導：中村しんじ 舞踏群：ナチュラル・ダンステアトル

舞台美術：宮廻正明 照明デザイン：海藤春樹

ステージ・コーディネーター：直井研二 舞台監督：賀川祐之

コレペティートル：鈴木真理子、高木由雅、朴 令鈴、山口佳代

ドラマトゥルク：瀧井敬子

主催：

東京藝術大学演奏藝術センター・音楽学部

助成(50音順)：

朝日新聞文化財団 東京藝術大学音楽学部同声会

東京藝術大学音楽教育振興会 野村国際文化財団

東日本鉄道文化財団 文化財保護・芸術研究助成財団

協賛(50音順)：

鹿島建設 カルビー 角川書店 紀伊國屋書店 講談社 小学館 新潮社 精養軒

東海ビジネスサービス 東京上野ロータリークラブ 東京本郷ロータリークラブ

日本出版販売 広島大学附属中・高等学校創立百周年記念事業実行本部

ペータース社 文藝春秋 三菱地所

協力(50音順)：

東京ハッスルコピー

東銀座印刷出版

ヤマハ銀座店

後援：

ドイツ連邦共和国大使館

2005/2006

2005
2006
Deutschland
in Japan
日本における
ドイツ

「日本におけるドイツ年2005/2006」参加行事

メセナ協議会助成認定



森鷗外訳オペラ、初めての本格的上演！

森鷗外(1862~1922)はドイツ留学時代の明治18年(1885)6月21日、グルック作曲のオペラ《オルフェオとエウリディーチェ》をライプツィヒの劇場で観て感激しました。そのときドイツで買った台本の余白に漢文体で記されたメモからは、舞台上で観たことをあますところなく記憶におさめ祖国にもって帰ろうという、若き鷗外の「文明開化」への情熱が伝わってきます。その30年後の大正3年(1914)、彼は「国民歌劇会」(音楽顧問:本居長世、後援メンバー:与謝野鉄幹・晶子ほか)から頼まれて、このオペラ全3幕を「オルフェウス」というタイトルにして翻訳しました。この団体はグルック(1714~1787)の生誕200年を祝って、その誕生日である7月2日に上演しようとしたのです。しかし、第一次世界大戦が勃発するなど不幸な事情が重なって、森鷗外の訳詞は舞台にかけられることなく、活字としてのみ今日に伝えられました。90年あまりを経て、それが初めて本格的に上演されます。

森鷗外訳『オルフェウス』は、流麗でみやびな日本語で書かれています。とはいえ、文語体です。そこで今回の上演に際しては、わかりやすく新字体の漢字と新かなづかいを用いて鷗外の訳詞を字幕に出します。

ちなみに、グルック作曲のオペラ《オルフェオとエウリディーチェ》は、明治36年(1903)、東京音楽学校(東京藝術大学音楽学部の前身)の学生と外国人教師、それに東京帝国大学の学生も加わって、本邦初演されました。これは「日本人による初のオペラ上演」として、今日、高く評価されています。したがって、グルックのこのオペラは、日本近代音楽史においてもきわめて重要な作品といえましょう。



● お問い合わせ

東京藝術大学演奏芸術センター … ☎03-5685-7700

● チケット販売

チケットぴあ … ☎0570-02-9990
(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ … ☎03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス … ☎03-5815-5452

交通案内

JR[上野駅(公園口)]・JR[鶯谷駅]、
東京メトロ地下鉄千代田線[根津駅]より徒歩10分
京成線[上野駅]、東京メトロ地下鉄日比谷線[上野駅]・
銀座線[上野駅]より徒歩1.5分

● 駐車場はございませんので、お車でのご来場は
ご遠慮ください。

● 所在地:東京都台東区上野公園12-8 ☎110-8714



トップ > 演奏会スケジュール >

藝大オペラ定期第51回

W.A.モーツァルト 皇帝ティートの慈悲 全二幕 (原語上演 / 字幕スーパー付)

日時 : 2005年10月9日(日)
2005年10月10日(月・祝)
13:30開場
14:00開演
会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)
入場料 : 2,400円(全席自由)
主催 : 東京芸術大学音楽学部
藝大オペラプロジェクト実行委員会

指揮 : 高関 健
演出 : 直井研二
出演 : 東京芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻生
東京芸術大学音楽学部オペラ研究部
オーケストラ : 東京芸術大学音楽学部管弦楽研究部
合唱 : 声楽科学部3年生(オペラ実習 履修生)

キャスト

10月9日(日)
ティート : 武吉史雄
ヴィテリッア : 藤野沙優
セルヴィーリア : 小林実佐子
セスト : 郷家暁子
アンニオ : 坂上賀奈子
プブリオ : 黒木 純

10月10日(月・祝)
ティート : 児玉和弘
ヴィテリッア(1幕) : 鈴木江美
ヴィテリッア(2幕) : 平松亮子
セルヴィーリア : 田中樹里
セスト(1幕) : 見崎千夏
セスト(2幕) : 柴田真由美
アンニオ : 小泉詠子
プブリオ : 今村雅彦

美術 : 川口直次
照明 : 奥畑康夫
衣装 : 渡辺園子
舞台監督 : 賀川祐之
演出助手 : 小野寺東子
原語指導 : ジャンニ・クリスチャック
アントン・トレンメル
副指揮 : 宮平恭平
副指揮・合唱指揮 : 千葉芳裕
合唱指導 : 桑原英明
コーチ : 山口佳代
田中 梢
大藤玲子

皇帝ティートの慈悲
全二幕 あらすじ

第一幕

ローマ皇帝ティートはユダヤの女王ベレニーチェと結婚しようとしていた。先帝の娘ヴィテリッアは皇妃の地位を狙って、愛人のセストにティートの暗殺を唆す。そこに皇帝とベレニーチェとの結婚の取り止めの知らせが入るので、皇后への希望を持ったヴィテリッアはセストに暗殺の実行は延期するように告げる。セストの妹セルヴィーリアと愛し合っていたアンニオは、結婚の同意を皇帝から取ってくれと願い、それを快く引き受けてくれたセストと固い友情を誓う。

皇帝はセルヴィーリアを皇妃とすることにしたと告げる。それを聞いたアンニオは愕然とするが、彼女への愛をおさえ彼女こそ皇妃にふさわしい女性であるというので、皇帝は彼に、彼女のところに行きこの知らせを告げよと命じる。アンニオは皇帝の命令をセルヴィーリアに伝え、もはや恋人ではなくなると苦しい思いを告げる。しかし、彼女は皇妃になれることを喜ぶどころか、かえって彼への変わらぬ愛を告白する。

セルヴィーリアは、自分は既にアンニオを愛してしまっていると告白するので慈悲深い皇帝は二人の愛情を断つことを思い止まり、セルヴィーリアの正直さを讃える。皇后の座につく機会を再び失ったと思いついてヴィテリッアが現われセストに皇帝を暗殺するようにと命じる。セストは彼女への愛のため実行を誓う。その後でプブリオが現われ、ヴィテリッアが皇妃に選ばれたことを告げる。しかしもはやセストは皇帝の暗殺へと走った後だった。

セストは慈悲深い皇帝を暗殺することの罪深さに怖れながらもカンピドーリオの宮殿に火をつけた。火災から逃れて、アンニオ、セルヴィーリアと共にヴィテリッアも現われる。ヴィテリッアは気の弱くなりがちなセストに絶対に自白はするなどと厳しく言う。

第二幕

しかし皇帝は生きていた。セストは自分が犯人であることをアンニオに打ち明ける。そこにヴィテリリアが現われ早く逃げてというが遅く、プブリオがセストを逮捕に来る。

セスト自身が罪を認め、元老院も有罪宣告をしたときいては、皇帝も死刑執行書に署名せざるを得なくなる。しかし最後に自ら直接会って話を聞いた上で刑を執行させようとセストを召喚する。現われたセストに皇帝は、きっとこの事件の裏にはわけがあるに違いない、それを昔からの友人である自分に打ち明けてくれと静かに話す。

セストはヴィテリリアへの愛と皇帝への友情との間で悩み、ただ死のみを願う。皇帝は怒りセストを闘技場に引っ立てよと命ずる。アンニオとセルヴィーリアは新しい皇妃の願いならきっと断われないだろうとヴィテリリアにセストの助命をなんとか取りなしてくれと願う。ヴィテリリアはセストが自白しなかったことから彼の愛を強く感じ、彼を死に追いやって自らは皇妃の位につくことを恥じ、皇帝との結婚を断念し、自らの罪を告白すると決意する。

皇帝がセストに死を宣告しようとした時ヴィテリリアが現われ、全ての罪の原因は自分にあったことを告白する。皇帝は自らの花嫁となるべき者までが裏切っていたことに驚くが、他人の背信よりも自分の慈悲の方が必ず勝つであろうと、全員を赦す。

チケット販売：芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ：東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地：〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

W.A.モーツァルト

Wolfgang Amadeus Mozart

皇帝ティートの慈悲

La clemenza di Tito Opera seria in two acts [in Italian]

全二幕 原語上演/字幕スーパー付

- 指揮/高関 健
- 演出/直井 研二
- 出演/東京藝術大学大学院音楽研究科声楽専攻生
東京藝術大学音楽学部オペラ研究部
- オーケストラ/東京藝術大学音楽学部管弦楽研究部
- 合唱/声楽科学部3年生 (オペラ実習Ⅰ履修生)

10/9 (日)・10/10 (月・祝)

両日共 14:00開演 (13:30開場)

東京藝術大学奏楽堂



Photo by Masahide Sato
指揮/Conductor
高関 健
Takaseki Ken



演出/Director
直井 研二
Naoi Kenji

美術●川口 直次
Set designer/Kawaguchi Naoji

照明●奥畑 康夫
Lighting designer/Okuhata Yasuo

衣装●渡辺 園子
Costume designer/Watanabe Sonoko

舞台監督●賀川 祐之
Stage manager/Kagawa Hiroyuki

演出助手●小野寺東子
Assistant director/Onodera Touko

原語指導●ジャンニ・クリスチャック
Italian diction coach/Gianni Kriscak
アントン・トレンメル
Anton Tremmel

副指揮●富平 恭平
Assistant conductor/Tomihira Kyouhei

副指揮・合唱指揮●千葉 芳裕
Assistant conductor・Chorus preparation/
Chiba Yoshihiro

合唱指導●桑原 英明
Chorus preparation/Kuwahara Hideaki

コーチ●山口 佳代
Musical preparation/Cembalo/Yamaguchi Kayo

田中 梢
Musical preparation/Tanaka Kozue

大藤 玲子
Ohfuji Reiko

キャスト

9日(日)



ティート
武吉 史雄
Tito
Takeyoshi Fumio



ヴィテリリア
藤野 沙優
Vitellia
Fujino Sayu



セルヴィーリア
小林実佐子
Servilia
Kobayashi Misako



セスト
郷家 暁子
Sesto
Gouke Akiko



アンニオ
坂上賀奈子
Annio
Sakaue Kanako



プブリオ
黒木 純
Publio
Kuroki Jun

10日(月・祝)



ティート
児玉 和弘
Tito
Kodama Kazuhiro



ヴィテリリア(1幕)
鈴木 江美
Vitellia
Suzuki Emi



ヴィテリリア(2幕)
平松 亮子
Vitellia
Hiramatsu Akiko



セルヴィーリア
田中 樹里
Servilia
Tanaka Juri



セスト(1幕)
見崎 千夏
Sesto
Misaki Chinatsu



セスト(2幕)
柴田真由美
Sesto
Shibata Mayumi



アンニオ
小泉 詠子
Annio
Koizumi Eiko



プブリオ
今村 雅彦
Publio
Imamura Masahiko

●入場料¥2,400. (全自由席) 前売 電子チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 ●芸大美術館ミュージアムショップ (大学構内) ●東京文化会館チケットサービス ☎03 (5815) 5452

主催/東京藝術大学音楽学部 藝大オペラプロジェクト実行委員会

お問合せ ☎03 (5685) 7700

皇帝ティートの慈悲

全二幕 あらすじ

第一幕

ロマ皇帝ティートはユダヤの王女ベレニーチェと結婚しようとしていた。先帝の娘ヴィテリリアは皇妃の地位を狙って、愛人のセストにティートの暗殺を唆す。そこに皇帝とベレニーチェとの結婚の取り止めの知らせが入るので、皇后への希望を持ったヴィテリリアはセストに暗殺の実行は延期するように告げる。セストの妹セルヴィーリアと愛し合っていたアンニオは、結婚の同意を皇帝から取ってくれと願い、それを快く引き受けてくれたセストと固い友情を誓う。

皇帝はセルヴィーリアを皇妃とすることにしたと告げる。それを聞いたアンニオは愕然とするが、彼女への愛をおさえ彼女こそ皇妃にふさわしい女性であるというので、皇帝は彼に、彼女のところに行きこの知らせを告げよと命じる。アンニオは皇帝の命令をセルヴィーリアに伝え、もはや恋人ではなくなったと苦しい思いを告げる。しかし、彼女は皇妃になれることを喜ぶどころか、かえって彼への変わらぬ愛を告白する。

セルヴィーリアは、自分は既にアンニオを愛してしまっていると告白するので慈悲深い皇帝は二人の愛情を断つことを思い止まり、セルヴィーリアの正直さを讃える。皇后の座につく機会を再び失ったと思い込んでいるヴィテリリアが現われセストに皇帝を暗殺するようにと命じる。セストは彼女への愛のため実行を誓う。その後でプブリオが現われ、ヴィテリリアが皇妃に選ばれたことを告げる。しかしもはやセストは皇帝の暗殺へと走った後だった。

セストは慈悲深い皇帝を暗殺することの罪深さに怖れながらもカンピドーリオの宮殿に火をつけた。火災から逃れて、アンニオ、セルヴィーリアと共にヴィテリリアも現われる。ヴィテリリアは気の弱くなりがちなセストに絶対に自白はするなと厳しく言う。

第二幕

しかし皇帝は生きていた。セストは自分が犯人であることをアンニオに打ち明ける。そこにヴィテリリアが現われ早く逃げてというのが時遅く、プブリオがセストを逮捕に来る。

セスト自身が罪を認め、元老院も有罪宣告をしたときいは、皇帝も死刑執行書に署名せざるを得なくなる。しかし最後に自ら直接会って話を聴いた上で刑を執行させようとセストを召喚する。現われたセストに皇帝は、きっとこの事件の裏にはわけがあるに違いない、それを昔からの友人である自分に打ち明けてくれと静かに話す。

セストはヴィテリリアへの愛と皇帝への友情との間で悩み、ただ死のみを願う。皇帝は怒りセストを闘技場に引立てよと命ずる。アンニオとセルヴィーリアは新しい皇妃の願いならきっと断われないだろうとヴィテリリアにセストの助命をなんとか取りなしてくれと願う。

東京藝術大学音楽学部オペラ研究部

「藝大オペラプロジェクト実行委員会」構成メンバー

【特別顧問】

川井 學 (東京藝術大学音楽学部長、作曲科教授)

三林 輝夫 (東京藝術大学演奏芸術センター長、声楽科教授)

【実行委員長】

伊原 直子 (オペラ研究部教授) 制作統括、渉外担当

【実行委員】

朝倉 蒼生 (声楽科教授)

川上 洋司 (オペラ研究部教授) 渉外補佐

多田羅迪夫 (声楽科教授)

直野 資 (オペラ研究部教授) 制作補佐

林 康子 (声楽科教授)

佐々木典子 (声楽科助教授)

寺谷千枝子 (声楽科助教授)

永井 和子 (声楽科助教授)

吉田 浩之 (声楽科助教授) 制作補佐・渉外補佐

直井 研二 (オペラ研究部常勤助手)

制作補佐、会計担当、今公演の演出

熊倉 英夫 (熊工房) プロジェクト支援

●実行委員会事務局

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学音楽学部演奏企画室内 電話 03(5685)7700

オペラ研究室 電話 03(5685)7688 FAX 03(5685)7788



(交通案内)

JR上野駅・JR鶯谷駅・東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分
駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください。

【所在地】東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

ヴィテリリアはセストが自白しなかったことから彼の愛を強く感じ、彼を死に追いやって自らは皇妃の位につくことを恥じ、皇帝との結婚を断念し、自らの罪を告白すると決意する。

皇帝がセストに死を宣告しようとした時ヴィテリリアが現われ、全ての罪の原因は自分にあったことを告白する。皇帝は自らの花嫁となるべき者までが裏切っていたことに驚くが、他人の背信よりも自分の慈悲の方が必ず勝つであろうと、全員を赦す。



Tokyo National University of Fine Arts and Music

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

藝大フィルハーモニア定期(藝大定期第315回)

日時 : 2005年10月21日(金)
 18:30開場
 19:00開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全自由席)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

プログラム

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77
 交響曲第1番 八短調 作品68

ヴァイオリン : 漆原朝子
 指揮 : 円光寺雅彦
 管弦楽 : 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)

プレ・コンサート(音楽堂ホワイエ)

18:15開演
 インドジフ・フェルト
 4つのヴァイオリンのためのセレナード
 ヴァイオリン : 菅谷早葉、生田絵美、野村良子、堀井希美

藝大定期オーケストラ第315回

藝大フィルハーモニア 定期演奏会

プログラム: ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77
 Brahms: Konzert für Violine und Orchester in G-dur Op.77
 交響曲第1番 八短調 作品68
 Symphony No.1 in c-minor Op.68

ヴァイオリン: 漆原朝子
 Vi: Aozaki YUKIYUKA
 指揮: 円光寺雅彦
 Conductor: Masahiko ENDO
 管弦楽: 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)
 Orchestra: Geidai Philharmonia

2005.10.21
19:00開演 (18:30開場)

会場: 東京芸術大学音楽堂(大学構内)
 入場料: 1,800円(全自由席)

プレ・コンサート(音楽堂ホワイエ) 18:15開演
 インドジフ・フェルト: 4つのヴァイオリンのためのセレナード
 ヴァイオリン: 菅谷早葉、生田絵美、野村良子、堀井希美

お問い合わせ: 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700
 チケット: 東京文化会館 03-5815-5452
 東京芸術大学ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大フィルハーモニア 定期演奏会

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77
Brahms: Konzert für Violine und Orchester in D-dur Op.77

交響曲第1番 八短調 作品68
Symphonie Nr.1 in c-moll Op.68

ヴァイオリン：漆原朝子
Vn: Asako URUSHIHARA

指揮：円光寺雅彦
Conductor: Masahiko ENKŌJI

管弦楽：藝大フィルハーモニア（東京藝術大学管弦楽研究部）
Orchestra: Geidai Philharmonia

2005.10月21日 金

19:00開演（18:30開場）

会場：東京藝術大学奏楽堂（大学構内）

入場料：1,800円（全自由席）

プレ・コンサート（奏楽堂ホワイエ） 18:15 開演

インドジフ・フェルト：4つのヴァイオリンのためのセレナード

ヴァイオリン：菅谷早葉、生田絵美、野村良子、堀井希美

お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

チケット：チケットぴあ 0570-02-9990（一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません）

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター

Geidai Philharmonia
the 315th Regular Concert
2005. 10. 21



- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

東京藝術大学奏楽堂

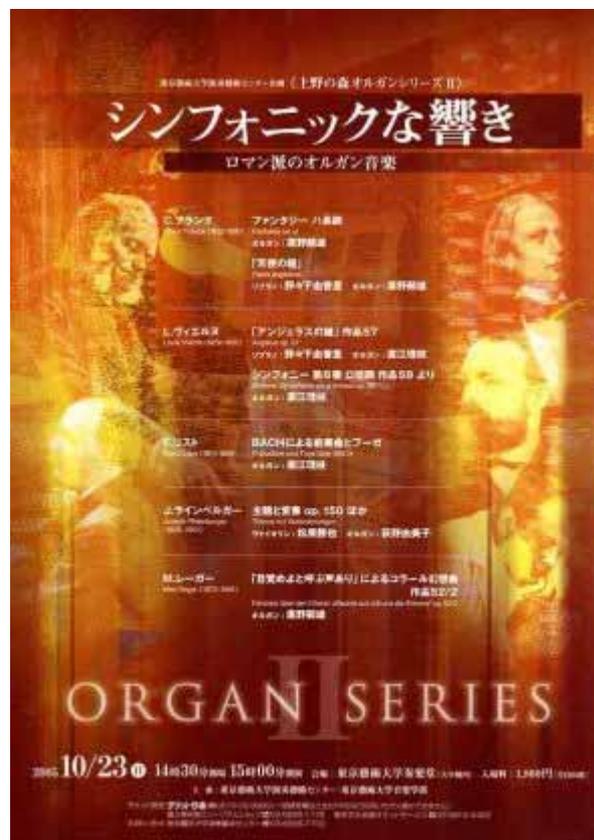
[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

上野の森オルガンシリーズ シンフォニックな響き～ロマン派のオルガン音楽～

日時 : 2005年10月23日(日)
 14:30開場
 15:00開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)
 入場料 : 1,800円(全席自由)
 主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部

- C.フランク ファンタジー 八長調
 オルガン: 廣野嗣雄
 「天使の糧」
 ソプラノ: 野々下由香里
 オルガン: 廣野嗣雄
- L.ヴェルヌ 「アンジェラスの鐘」 作品57
 ソプラノ: 野々下由香里
 オルガン: 廣江理枝
 シンフォニー 第6番 口短調 作品59より
 オルガン: 廣江理枝
- F.リスト BACHによる前奏曲とフーガ
 オルガン: 廣江理枝
- J.ラインベルガー 主題と変奏 op.150 ほか
 ヴァイオリン: 松原勝也
 オルガン: 荻野由美子
- M.レーガー 「目覚めよと叫ぶ声あり」によるコラル幻想曲 作品52/2
 オルガン: 廣野嗣雄



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

東京藝術大学演奏芸術センター企画 《上野の森オルガンシリーズⅡ》

シンフォニクな響き

ロマン派のオルガン音楽

C. フランク

César Franck (1822-1890)

ファンタジー ハ長調

Fantaisie en ut

オルガン：廣野嗣雄

「天使の糧」

Paris angelicus

ソプラノ：野々下由香里 オルガン：廣野嗣雄

L. ヴィエルク

Louis Vierne (1870-1937)

「アンジェラスの鐘」作品57

Angélus op. 57

ソプラノ：野々下由香里 オルガン：廣江理枝

シンフォニー 第6番 口短調 作品59 より

Sixième Symphonie en si mineur op. 59

オルガン：廣江理枝

F. リスト

Franz Liszt (1811-1886)

BACHによる前奏曲とフーガ

Präludium und Fuge über BACH

オルガン：廣江理枝

J. ラインベルガー

Joseph Rheinberger
(1839-1901)

主題と変奏 op. 150 ほか

Thema mit Veränderungen

ヴァイオリン：松原勝也 オルガン：萩野由美子

M. レーガー

Max Reger (1873-1916)

「目覚めよと呼ぶ声あり」によるコラール幻想曲
作品52/2

Fantasie über den Choral: „Wachet auf, ruft uns die Stimme“ op. 52/2

オルガン：廣野嗣雄

ORGAN SERIES

2005 10/23 日 14時30分開場 15時00分開演 会場：東京藝術大学演奏堂 [大学構内] 入場料：1,800円 [全自由席]

主催：東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部

チケット発売：チケットぴあ ☎0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません)

藝大美術館ミュージアムショップ ☎03-5685-1176 東京文化会館チケットサービス ☎03-5815-5452

お問い合わせ：東京藝術大学演奏芸術センター ☎03-5685-7700

東京藝術大学演奏芸術センター企画 《上野の森オルガンシリーズⅡ》

シンフォニックな響き

ロマン派のオルガン音楽

●
オルガンは常に時代とともにある。建物に固定されるからだ。

オルガンは作られた時代の理想を色濃く映し、

それを後世に伝える。

19世紀、ロマン主義の時代。

それはオーケストラ、ピアノ、そしてオペラの時代だ。

ロマン派交響曲では、

しばしばオルガン的な響きについて語られる。

同じ時代のオルガン曲では、

巨匠たちのオーケストラ的な響きへの憧れが実を結んでいる。

静肅な祈りの歌、親しげに語りかけるヴァイオリンの音、

華やかな技巧でピアノッシモから

フォルティッシモへの壮大な音空間を作るオルガンが、

聴くものをつつみ、心を楽しませる。

それはまさに『シンフォニックな響き』の世界だ。

●

交通案内

JR[上野駅(公園口)]・JR[鶯谷駅]、
東京メトロ地下鉄千代田線[根津駅]より徒歩10分
京成線[上野駅]、東京メトロ地下鉄日比谷線[上野駅]・
銀座線[上野駅]より徒歩15分

- 駐車場はございませんので、お車でのご来場は
ご遠慮ください
- 所在地：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

第17回 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校 定期演奏会

日時 : 2005年10月27日(木)
18:00開場
18:30開演
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料 : 入場無料(整理券が必要です)
9月26日(月)9時より事務室窓口にて整理券配布開始
主催 : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

第1部 邦楽合奏

宮城道雄(作曲) : 「都踊」
十世 杵屋六左衛門(作曲) : 「供奴」

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校生徒
演奏補助: 芸大助手、院生、学部生

第2部 オーケストラと合唱

モーツァルト : 交響曲 第31番「パリ」 二長調K.297
ハチャトゥリアン : 剣の舞
ストラヴィンスキー : バレエ組曲「火の鳥」1919年版

指揮: 直井大輔

ハイドン : オラトリオ「四季」より
指揮: 佐藤功太郎

合唱指導 : 木部敏司

管弦楽・合唱 : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校生徒
演奏補助: 本校教員、院生、学部生、卒業生

お問い合わせ : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校事務室 03-5685-7732

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。
このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

東京芸術大学音楽学部・韓国藝術総合学校音楽院 「友好交流学生オーケストラ演奏会」(学内演奏会)

日時 : 2005年10月28日(金)
18:30開場
19:00開演
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料 : 入場無料
主催 : 東京芸術大学音楽学部
東京芸術大学演奏芸術センター
後援 : 駐日韓国大使館 韓国文化院

プログラム : チャイコフスキー
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
マーラー
交響曲 第1番 二長調 「巨人」
指揮 : 鄭 致溶
ピアノ : 金 泰亨
オーケストラ : 東京芸術大学音楽学部学生オーケストラ



日本と韓国は長い歴史の中で両国の共通性を認識しながら、独自の文化を発展させ、それぞれ際立った藝術を形成してきました。日本における昨年からの韓流ブームは、隣国をより身近に感じせるばかりでなく、韓国でも今、その相乗効果として日本文化が紹介されています。

日韓友情年の今年、韓国藝術総合学校音楽院から指揮者とソリストを迎えて「友好交流学生オーケストラ演奏会」を開催します。この東京芸術大学の学生オーケストラ演奏会は日韓の友好交流をさらに促進する催し物となることでしょう。

韓国藝術総合学校音楽院プロフィール

韓国藝術総合学校は1993年に創設され、音楽院、演劇院、映像院、舞踊院、美術院、伝統藝術院を設けています。音楽院は海外有名校の音楽教育カリキュラムを積極的に取り入れるばかりでなく、専門かつ一般教養を重視した独自の教育カリキュラムにより、国際コンクール等に上位入賞者を多数輩出しています。2003年には総合学校として「最高経営者(CEO)文化・藝術課程」を開設、一般社会と新進芸術家との接点を目的とした新しいモデル・プランニングを掲げました。

東京芸術大学とは2001年より姉妹校提携の締結、その翌年には両校の共同事業として記念演奏会を奏楽堂で行うなど、両国の架け橋として文化交流の一端を担っています。

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

토쿄예술대학음악부

東京藝術大学音楽学部・韓国藝術総合学校音楽院

友好交流学生オーケストラ演奏会

한국예술종합학교 음악원

平成17年 10月28日(金)

18時30分開場 19時開演

東京藝術大学演奏堂

入場無料 (全自由席)

(お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700)

プログラム

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
P.I.TCHAIKOVSKY : Piano Concerto No.1 In B Flat Minor Op.23

マーラー：交響曲 第1番 二長調「巨人」
G.MAHLER : Symphony No.1 In D Major "Titan"

指揮：鄭 致溶 정 치용 CHUNG CHI-YONG
韓国藝術総合学校音楽院 指揮科教授

ピアノ：金 泰亨 김 태형 KIM TAE-HYUNG
韓国藝術総合学校音楽院 2年生

オーケストラ：東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ

主催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター
後援：駐日韓国大使館 韓国文化院

日本と韓国は長い歴史の中で両国の共通性を認識しながら、独自の文化を発展させ、それぞれ際立った藝術を形成してきました。日本における昨年からの韓流ブームは、隣国をより身近に感じせるばかりでなく、韓国でも今、その相乗効果として日本文化が紹介されています。

日韓友情年の今年、韓国藝術総合学校音楽院から指揮者とソリストを迎えて「友好交流学生オーケストラ演奏会」を開催します。この東京藝術大学の学生オーケストラ演奏会は日韓の友好交流をさらに促進する催し物となることでしょう。

韓国藝術総合学校音楽院プロフィール

韓国藝術総合学校は1993年に創設され、音楽院、演劇院、映像院、舞踊院、美術院、伝統藝術院を設けています。音楽院は海外有名校の音楽教育カリキュラムを積極的に取り入れるばかりでなく、専門かつ一般教養を重視した独自の教育カリキュラムにより、国際コンクール等に上位入賞者を多数輩出しています。2003年には総合学校として「最高経営者（CEO）文化・藝術課程」を開設、一般社会と新進芸術家との接点を目的とした新しいモデル・プランニングを掲げました。

東京藝術大学とは2001年より姉妹校提携の締結、その翌年には両校の共同事業として記念演奏会を奏楽堂で行うなど、両国の架け橋として文化交流の一端を担っています。



東京藝術大学奏楽堂

- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 ☎ 110-8714

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

ハイドン・シリーズ

日時 : 第1夜 2005年11月2日(水)
 第2夜 2005年11月4日(金)
 18:30開場
 19:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
 入場料 : 各1,300円(全席自由)
 主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部

第1夜 室内オーケストラ演奏会

ハイドン : 交響曲第6番 二長調 「朝」
 ピアノ協奏曲 二長調 Hob. :11
 交響曲第45番 嬰へ短調 「告别」

ピアノ : 角野 裕
 管弦楽 : 東京藝大チェンバーオーケストラ

第2夜 ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏 その7

ハイドン : 弦楽四重奏曲 変ロ長調 Hob. :40(作品33-4)
 弦楽四重奏曲 二短調 Hob. :76(作品76-2) 「五度」

ベートーヴェン : 弦楽四重奏曲第13番 変ロ長調 作品130(大フーガ付)
 演奏 : 古典四重奏団

ハイドン・シリーズ

第1夜
室内オーケストラ演奏会
2005年11月2日(水)

ハイドン : 交響曲第6番 二長調 「朝」
 J.Haydn / Symphonie No.6 D-dur Hob.IV "Le matin"
 ピアノ協奏曲 二長調 Hob. XVIII:11
 Piano Concerto D-dur Hob. XVIII:11
 交響曲第45番 嬰へ短調 「告别」
 Symphonie No.45 es-moll "Abschieds-Symphonie"

ピアノ : 角野裕
 管弦楽 : 東京藝大チェンバーオーケストラ
 Orchestra: Tokyo National Chamber Orchestra

第2夜
ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏 その7
2005年11月4日(金)

ハイドン : 弦楽四重奏曲 変ロ長調 Hob. III:40(作品33-4)
 J.Haydn / Streichquartett Nr.40 D-dur Hob. III:40 (Op.33-4)
 弦楽四重奏曲 二短調 Hob. III:76(作品76-2) 「五度」
 Streichquartett Nr.76 B-dur Hob. III:76 (Op.76-2) "Quintet"
 ベートーヴェン : 弦楽四重奏曲第13番 変ロ長調 作品130(大フーガ付)
 Beethoven / Streichquartett Nr.13 B-dur Op.130 (mit Große Fuge)

演奏 : 古典四重奏団
 Ensemble: Classica

19:00開演(18:30開場)
 会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
 入場料 : 各日1,300円(全席自由)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7799
 チケット : チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
 東京芸術大学ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-6815-5452
 主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター / 東京芸術大学音楽学部

東京藝大チェンバーオーケストラ

メンバーは東京芸術大学音楽学部と大学院に在籍する弦楽器の精鋭25名が中心となり、曲目によって管打楽器や鍵盤楽器の学生も加わり、多彩に活動を行う室内オーケストラです。

2003年の創立時から、本学教員による地道なアンサンブル指導に加え、公演ごとに世界的に活躍する指揮者を迎えての演奏内容は、国内外から非常に高く評価されてきました。

来年の秋にはウィーン、ミュンヘン、シュトゥットガルト、ライプツィヒなどヨーロッパ主要都市での公演も予定されています。

今回の「ハイドンの夕べ」は昨年に続き、指揮者なしによる公演です。

古典四重奏団

1986年東京芸術大学及び大学院卒業生により結成。現在、わが国を代表する弦楽四重奏団の一つ。

レパートリーはJ.S.バッハの「フーガの技法」に始まり、バルトーク、ベルリオーシなど現代に至るまで60数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。それぞれの作品の様式感を深く研究し、その作品の本質をどこまでも追求する彼らの演奏は多くの室内楽ファンの支持を得ています。1997年度「村松賞」及び昨年度の文化庁芸術祭大賞受賞。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、バルトーク等のCD録音も多数。

今秋にはライプツィヒのバッハ・アルヒーフの招へいでヨーロッパ公演を行います。

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地 : 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

ハイドン・シリーズ

♪ 第1夜

室内オーケストラ演奏会

2005年11月2日(水)

ハイドン：交響曲第6番 ニ長調 『朝』
J.Haydn : Symphonie Nr.6 D-dur Hob.I:6 "Le matin"

ピアノ協奏曲 ニ長調 Hob.XVIII:11
Piano Concerto D-dur Hob.XVIII:11

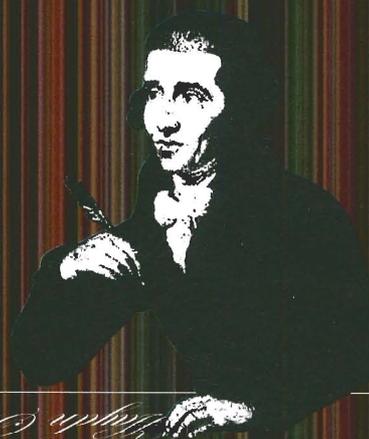
交響曲第45番 嬰へ短調 『告別』
Symphonie Nr.45 fis-moll "Abschieds-Symphonie"

ピアノ：角野裕

Pf: Yū KAKUNO

管弦楽：東京藝大チェンバーオーケストラ

Orchestra : Tokyo Geidai Chamber Orchestra



♪ 第2夜

ハイドン弦楽四重奏曲全曲演奏 その7 平成17年度(第60回記念)文化庁芸術祭協賛



2005年11月4日(金)

ハイドン：弦楽四重奏曲 変ロ長調 Hob.III : 40 (作品33-4)
J.Haydn : Streichquartett B-dur Hob.III : 40 (Op.33-4)

弦楽四重奏曲 ニ短調 Hob.III : 76 (作品76-2) 『五度』
Streichquartett d-moll Hob.III : 76 (Op.76-2) "Quinten"

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第13番 変ロ長調 作品130 (大フーガ付)
Beethoven : Streichquartett Nr.13 B-dur Op.130 (mit Großer Fuge)

演奏：古典四重奏団

Quartetto Classico

19:00 開演 (18:30開場)

会場：東京藝術大学演奏堂 (大学構内)

入場料：各日1,300円 (全自由席)

お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

チケット：チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催：東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

東京藝大チェンバーオーケストラ

メンバーは東京藝術大学音楽学部と大学院に在籍する弦楽器の精鋭25名が中心となり、曲目によって管打楽器や鍵盤楽器の学生も加わり、多彩に活動を行う室内オーケストラです。

2003年の創立時から、本学教員による地道なアンサンブル指導に加え、公演ごとに世界的に活躍する指揮者を迎えての演奏内容は、国内外から非常に高く評価されてきました。

来年の秋にはウィーン、ミュンヘン、シュトゥットガルト、ライプツィヒなどヨーロッパ主要都市での公演も予定されています。

今回の「ハイドンの夕べ」は昨年に続き、指揮者なしによる公演です。

古典四重奏団

1986年東京藝術大学及び大学院卒業生により結成。現在、わが国を代表する弦楽四重奏団の一つ。

レパートリーはJ.S.バッハの「フーガの技法」に始まり、バルトーク、ベルトなど現代に至るまで60数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。それぞれの作品の様式感を深く研究し、その作品の本質をどこまでも追求する彼らの演奏は多くの室内楽ファンの支持を得ています。1997年度「村松賞」及び昨年度の文化庁芸術祭大賞受賞。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、バルトーク等のCD録音も多数。

今秋にはライプツィヒのバッハ・アルヒーフの招へいでヨーロッパ公演を行います。

会場へのアクセス>>>



- 交通案内
JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線の上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

藝大フィルハーモニア・合唱定期(藝大定期第316回)

日時 : 2005年11月18日(金)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)

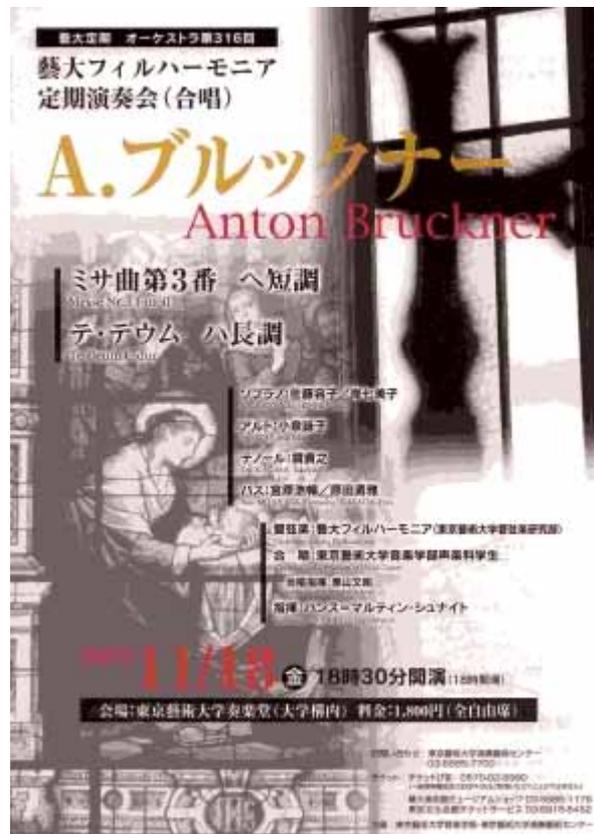
入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

A.ブルックナー : ミサ曲第3番 ヘ短調
 テ・デウム 八長調

ソプラノ : 佐藤容子、岸七美子
 アルト : 小泉詠子
 テノール : 鏡 貴之
 バス : 宮原浩暢、原田勇雅

管弦楽 : 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)
 合唱 : 東京芸術大学音楽学部声楽科学生
 合唱指揮 : 栗山文昭
 指揮 : ハンス=マルティン・シュナイト



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期 オーケストラ第316回

藝大フィルハーモニア
定期演奏会(合唱)

A.ブルックナー

Anton Bruckner

ミサ曲第3番 へ短調

Messe Nr.3 f-moll

テ・デウム ハ長調

Te Deum C-dur

ソプラノ:佐藤容子/岸七美子

Sopr: SATO, Yoko / KISHI, Namiko

アルト:小泉詠子

Alt: KOIZUMI, Eiko

テノール:鏡貴之

Ten: KAGAMI, Takayuki

バス:宮原浩暢/原田勇雅

Bass: MIYAHARA, Hinonobu / HARADA, Yūya

管弦楽:藝大フィルハーモニア(東京藝術大学管弦楽研究部)

Orchestra: Geidai Philharmonia

合唱:東京藝術大学音楽学部声楽科学生

Chorus: Geidai Students of Vocal Course

合唱指揮:栗山文昭

Chorus master: KURIYAMA, Fumioaki

指揮:ハンス=マルティン・シュナイト

Conduction: SCHNEIDT, Hans-Martin

2005 **11/18** 金 18時30分開演(18時開場)

会場:東京藝術大学奏楽堂(大学構内) 料金:1,800円(全自由席)

お問い合わせ:東京藝術大学演奏藝術センター
03-5685-7700

チケット:チケットぴあ 0570-02-9990
(一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催:東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター

お問い合わせ

東京藝術大学演奏藝術センター
03-5685-7700

チケット

チケットぴあ

0570-02-9990

(一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ

03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス

03-5815-5452



東京藝術大学奏楽堂

●交通案内

JR上野駅・鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分

●駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

●所在地:東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

トップ > 演奏会スケジュール >

創造の杜 藝大現代音楽の夕べ

日時 : 2005年11月24日(木)
18:30開場
19:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部

石田匡志 幻想曲第2番(2004) 初演
小坂咲子 蒼石阜 - オーケストラのための - (2005) 初演
佐藤 真 ヴァイオリン協奏曲(2005) 初演
ヴァイオリン 清水高師

橋本國彦管弦楽編曲(高野辰之作歌、吉住小三郎・稀音家六四郎作曲)
長唄新曲「曙」(1931)

三味線 : 藤原睦子
新井康子、高橋智久、樋口里実、守啓伊子、河合佐季子、田中奈央人、蓑田弘大、山沖祐子、山口聡、渡邊麻子、佐藤里佳、西野朋子、矢田茜、船木麻代、萩岡未貴、坪井一将、藤原彩綾、安岡史博、横山雅弘、小藤滋子

唄 : 大森多津子、浅見文子、小林百合、齋藤尚子、竹内さくら、守屋沙弥香、山本七重、北村彩、福村奈美、石川浩美、村尾俊和、佐野美和、三浦昌子、鈴木桜、半田綾子、丸山登紀子、金澤みず葉、中 香里、新井未来子、野口賀功

指揮 : 若杉 弘
管弦楽 : 藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

創造の杜

Souzou no Mori

藝大
21

2005年11月24日(木)

18:30開場 19:00開演

東京藝術大学演奏堂(大学構内)

入場料1,800円(全自由席)

石田匡志／幻想曲第2番(2004) ※初演

Masafumi ISHIDA: Fantasy No.2 for orchestra (2004) ※première

小坂咲子／蒼石阜-オーケストラのための-(2005) ※初演

Sakiko KOSAKA: So-seki-sou (Blue stone's calling) for orchestra (2005) ※première

佐藤眞／ヴァイオリン協奏曲(2005) ※初演

Shin SATO: Concerto per violino e orchestra (2005) ※première

ヴァイオリン／清水高師

Violine: Takashi SHIMIZU

橋本國彦管弦楽編曲(高野辰之作歌、吉住小三郎・稀音家六四郎作曲)／長唄新曲「曙」(1931)

Kunifiko HASHIMOTO, Orchestration: Nagauta "AKEBONO"

三味線／藤原陸子 Shamisen: Mutsuko FUJIFURU

新井康子／高橋智久／樋口里実／守啓伊子／河合佐季子

田中奈央人／蓑田弘大／山沖祐子／山口 聡／渡邊麻子

佐藤里佳／西野朋子／矢田 茜／船木麻代／萩岡未貴

坪井一将／藤原彩綾／安岡史博／横山雅弘／小藤滋子

唄／Uta

大森多津子／浅見文子／小林百合／齋藤尚子／竹内さくら

守屋沙弥香／山木七重／北村 彩／福村奈美／石川浩美

村尾俊和／佐野美和／三浦昌子／鈴木 桜／半田綾子

丸山登紀子／金澤みず葉／中 香里／新井未菜子／野口賀功

指揮／若杉弘

Conductor: Hiroshi WAKASUGI

管弦楽／藝大フィルハーモニア(東京藝術大学管弦楽研究部)

Orchestra: Geidai Philharmonia

お問い合わせ
チケット

東京藝術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

主催

東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部



創造の杜

Souzou no mori

藝大
21

大現代音楽の夕べ



東京藝術大学奏楽堂

●交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

●駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

●所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

2005年11月24日(木) 18:30開場 19:00開演
東京藝術大学奏楽堂(大学構内)
入場料:1,800円(全自由席)

●お問い合わせ

東京藝術大学演奏藝術センター 03-5685-7700

●チケット販売

チケットぴあ 0570-02-9990

(一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

藝大学生オーケストラ定期(藝大定期第317回)

日時 : 2005年11月25日(金)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)

入場料 : 1,300円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

G.マーラー : 交響曲 第5番 嬰八短調

指揮 : 小林研一郎
 管弦楽 : 東京芸術大学音楽学部学生オーケストラ



東京芸術大学は、近代日本の美術と音楽の創造を推進する学校として、1887年に創立された東京音楽学校と東京美術学校が1949年に併合されて生まれた。日本唯一の国立芸術大学として、内外にその高い権威を誇り、年々日本全国の最も優秀な学生が、東京都心山野公園にあるそのキャンパスを目指してやってくる。厳しい試験に合格して入学を許された学生には、国内唯一の音楽・美術の専門教育と共に、充実した一般教養教育が必修として課される。大学院は、修士課程が1963年、博士課程が1977年に創設された。2004年4月より国立大学法人化により大学の名称がかわり「国立大学法人 東京芸術大学」となった。

東京芸術大学音楽学部は例年250人の新生を迎えるが、その内の70人ほどを占める弦楽及び管打楽の学生は、1年次を終えると、2年次から4年次まで通してオーケストラ訓練を必修として課せられ、学生オーケストラが編成される。また、大学院音楽研究科は例年110人ほどの修士課程生と20人ほどの博士後期課程生を受け入れるが、これらの4分の1をなす管弦打楽の専攻生も、学部学生同様に学生オーケストラに加わる。つまり、総員250人ほどの学生が日常的にキャンパス内の学生オーケストラで演奏しているのである。現在指揮及び指導に、小林研一郎教授、佐藤功太郎教授、客員教授としてハンス＝マルティン・シュナイト(Hanns-Martin Schneidt)教授を迎え、レヴェルの向上をはかり、英国王立学院、ジュリアード音楽院、北京市中央音楽院・ソウル大学校音楽大学、韓国藝術総合学校音楽院等と交流演奏も行っている。

東京芸術大学学生オーケストラの、これまでの主な共演者(指揮者)は以下の通りである。

日本人指揮者
 金子 登、山田一雄、渡邊暁雄、若杉 弘、岩城宏之、手塚幸紀、遠藤雅古、小林研一郎、佐藤功太郎

外国人指揮者
 カール・ビュンテ、マルティン・メルツァー、ヴィクター・フェルドブリル、フランシス・トラヴィス、パブレ・デシュパイ、セルジュ・チェリビダッケ、ジェームス・ロックハート、ダグラス・ポストック、ネルロ・サンティ、クルト・マズア、ハンス＝マルティン・シュナイト

また、2003年のイギリス演奏旅行をはじめ、海外公演や音楽祭参加も多く、2001年より毎年、別府アルゲリッチ音楽祭に参加しており、総監督マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich 氏、指揮者のアントニオ・パッパーノ Antonio Pappano 氏より、高い評価を得ている。

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。



藝大定期
オーケストラ 第317回

第36回

学生オーケストラ演奏会

交響曲 第5番 嬰ハ短調 / G.マーラー
Symphonie Nr.5 cis moll / Gustav Mahler

指揮: 小林 研一郎
Conductor: Ken-ichiro Kobayashi

管弦楽: 東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ
Tokyo National University of Fine Arts and Music Student Orchestra

2005 **11/25** 金 18時開場 18時30分開演

料金: 全席自由 1,300円

会場: 東京藝術大学演奏堂

主催: 東京藝術大学音楽学部 東京藝術大学演奏芸術センター

東京藝術大学 学生オーケストラ

東京藝術大学は、近代日本の美術と音楽の創造を推進する学校として、1887年に創立された東京音楽学校と東京美術学校が1949年に併合されて生まれた。日本唯一の国立芸術大学として、内外にその高い権威を誇り、年々日本全国の最も優秀な学生が、東京都心上野公園にあるそのキャンパスを目指してやってくる。厳しい試験に合格して入学を許された学生には、国内随一の音楽・美術の専門教育と共に、充実した一般教養教育が必修として課される。大学院は、修士課程が1963年、博士課程が1977年に創設された。2004年4月より国立大学法人化により大学の名称が変わり「国立大学法人 東京藝術大学」となった。

東京藝術大学音楽学部は例年250人の新入生を迎えるが、その内の70人ほどを占める弦楽及び管打楽の学生は、1年次を終えると、2年次から4年次まで通してオーケストラ訓練を必修として課せられ、学生オーケストラが編成される。また、大学院音楽研究科は例年110人ほどの修士課程生と20人ほどの博士後期課程生を受け入れるが、これらの4分の1をなす管弦打楽の専攻生も、学部学生同様に学生オーケストラに加わる。つまり、総員250人ほどの学生が日常的にキャンパス内の学生オーケストラで演奏しているのである。現在指揮及び指導に、小林研一郎教授、佐藤功太郎教授、客員教授としてハンス＝マルティン・シュナイト(Hanns-Martin Schneidt)教授を迎え、レベルの向上をはかり、英国王立学院、ジュリアード音楽院、北京市中央音楽院・ソウル大学校音楽大学、韓国藝術総合学校音楽院等と交流演奏も行っている。



東京藝術大学学生オーケストラの、これまでの主な共演者(指揮者)は以下の通りである。

〈日本人指揮者〉	〈外国人指揮者〉	
金子 登	カール・ビュンテ	クルト・マズア
山田 一雄	マルティン・メルツァー	ハンス＝マルティン・シュナイト
渡邊 暁雄	ヴィクター・フェルドブリル	
若杉 弘	フランシス・トラヴィス	
岩城 宏之	パプレ・デシュパイ	
手塚 幸紀	セルジュ・チェリビダッケ	
遠藤 雅古	ジェームス・ロックハート	
小林研一郎	ダグラス・ボストック	
佐藤功太郎	ネルロ・サンティ	

また、2003年のイギリス演奏旅行をはじめ、海外公演や音楽祭参加も多く、2001年より毎年、別府アルゲリッチ音楽祭に参加しており、総監督マルタ・アルゲリッチ(Martha Argerich)氏、指揮者のアントニオ・パッパーノ(Antonio Pappano)氏より、高い評価を得ている。



交通案内

- JR上野駅・鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
- 所在地：東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

トップ > 演奏会スケジュール >

藝大定期吹奏楽 第71回

日時 : 2005年11月30日(水)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,300円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

指揮 : ゲルノート・シュマルフス
 演奏 : 東京芸術大学音楽学部管打楽器専攻学生

ヘンデル : 組曲「王宮の花火の音楽」
 レスピーギ : 風変わりな店
 ワーグナー : 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より
 ロッシーニ : 泥棒かささぎ
 チャイコフスキー : 組曲「くるみ割り人形」
 デ・メイ : 交響曲 第1番「指輪物語」



新奏楽堂を得て6年、感謝しつつ大変嬉しく思っております。ホールの子ではないのかもしれませんが、高度な音響の為に計算が充分になされ、あとは演奏者の責任を問うているこのホールは、無言の中で我々に作品の質を要求しているように感じます。

その静かに立つ音楽の「箱」を見ながら、日々私達は隣の建物の中で晴れの舞台を思いつつ練習して参りました。

再びドイツよりG.シュマルフスを迎え、今回はオリジナルのプラス曲よりも名作曲家の作品により比重を置き音楽の基本的な音作りを学びたいと思い表記のようなプログラムを作りました。

クラシック音楽が私連日本人にも身近なものになった今、紙一重の差と思われる(但し、とても高いハードルの)エレガンス、ユーモア、音質のあたりを本場の指揮者の元で探してみたいと思います。

是非御来聴を。

東京芸術大学音楽学部・管打部会

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期

吹奏楽

第71回

2005年11月30日(水)

開場18:00 開演18:30

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

入場料 ¥1,300 (全席自由)

指揮:ゲルノート・シュマルフス

Conductor: Gernot Schmalfuss

演奏:東京藝術大学音楽学部 管打楽器専攻学生

Performance: Tokyo Geijutu Daigaku Wind Ensemble

主催:東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

Händel/Suite “Royal Fireworks music”

ヘンデル/組曲「王宮の花火の音楽」

Respighi/La Boutique Fantasque

レスピーギ/風変わりな店

Wagner/“Die Meistersinger von Nürnberg”

ワーグナー/「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より

Rossini/La Gazza Ladra

ロッシーニ/泥棒かささぎ

Tchaikovsky/Suite “Der Nussknacker”

チャイコフスキー/組曲「くるみ割り人形」

de Meij/Symphony No.1 “The Load of the Rings”

デ・メイ/交響曲 第1番「指輪物語」I, III

チケット販売 ●チケットぴあ 0570-02-9990

(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません)

●藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

●東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

お問い合わせ ●東京藝術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

ごあいさつ

新奏楽堂を得て6年、感謝しつつ大変嬉しく思っております。ホールのせいではないのかもしれませんが、高度な音響の為の計算が充分になされ、あとは演奏者の責任を問うているこのホールは、無言の中で我々に作品の質を要求しているように感じます。

その静かに立つ音楽の「箱」を見ながら、日々私達はその隣りの建物の中で晴れの舞台を思いつつ練習して参りました。

再びドイツよりG.シュマルフスを迎え、今回はオリジナルのプラス曲よりも名作曲家の作品により比重を置き音楽の基本的な音作りを学びたいと思ひ表記のようなプログラムを作りました。

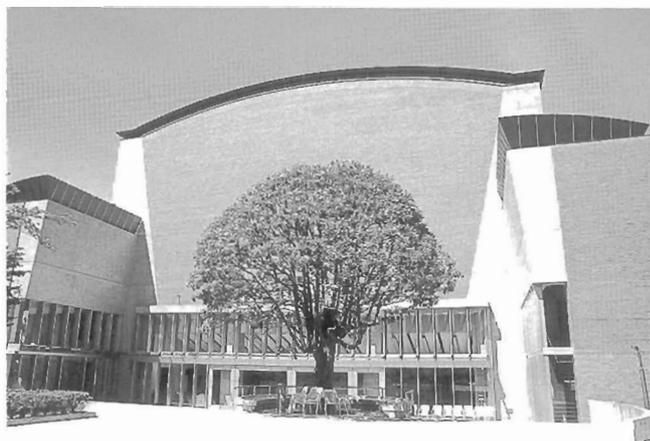
クラシック音楽が私達日本人にも身近なものになった今、紙一重の差と思われる(但し、とても高いハードルの)エレガンス、ユーモア、音質のあたりを本場の指揮者の元で探ってみたいと思います。

是非 御来聴を。

東京藝術大学 音楽学部・管打部会



東京藝術大学奏楽堂



所在地：東京都台東区上野公園12-8 ☎110-8714



交通案内
 JR上野駅・鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩5分
 ※本学に駐車場はございません

トップ > 演奏会スケジュール >

うたシリーズV-3 ドイツリートのタペ ~ブラームスからウルマンまで~

日時 : 2005年12月3日(土)
16:30開場
17:00開演
会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)
入場料 : 1,800円(全席自由)
主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部
後援 : ドイツ連邦共和国大使館

監修 : コンラート・リヒター教授

ソプラノ : 朝倉蒼生、佐々木典子、佐藤ひさら
メゾソプラノ/アルト : 伊原直子、寺谷千枝子、庄司祐美
バリトン/バス : 多田羅迪夫、高橋啓三、河野克典
ピアノ : コンラート・リヒター
東京芸術大学音楽学部声楽科・ピアノ科大学院生

ブラームス : 永遠の愛について
ツェムリンスキー : 呼びかけ
シェーンベルク : 夢の生活
ベルク : そよ風はあたたかく
R.シュトラウス : 我が子に
ヴォルフ : 君よ知るや南の国
レーガー : 衝動
ウルマン : 嵐の歌

他



コンラート・リヒター教授
Prof. Konrad Richter (本学声楽科客員教授)

1935年旧東独のオーバーラウズィッツに生まれる。デトモルト音楽大学で教会音楽とピアノを専攻。61年からハンブルク音楽大学で教鞭をとり、68年に教授となる。70年からはシュトゥットガルト音楽大学でピアノ並びにリートクラスの教授、86年から90年まで同大学学長を務める。

現在、東京芸術大学及び東京音楽大学客員教授。

ソロ、室内楽、リートのピアニストとして国際的に活躍し、ベルリン音楽祭、ザルツブルク音楽祭、プラハの春、モスクワの12月、またウィーン音楽祭などに招待される一方、多くのラジオ、テレビ放送にも出演。作品集はDDG社、エレクトローラ社、プレイザー・レコード社、パイヤー・レコード社からそれぞれ出版されている。

シュトゥットガルト音楽大学学長在職中には、「暴力の犠牲者たちに」と呼ばれるプロジェクトを発足させ、両世界大戦で殺害された作曲家達の作品を発掘、その普及に大きく貢献した。その際に出会った作曲家ヴィクトール・ウルマンの作品についての研究をその後も進め、彼のピアノ・コンチェルトop.25を92年に初演、93年にはドイツ・レコード賞を贈られる。またショット音楽出版社よりウルマンのピアノ・ソナタ集を校訂、出版。2000年には、ウルマンの作曲技法に関する紹介を、「瞬間に生き、永遠に生き」(ザールブリュッケン、プファウ社)において発表している。

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください

所在地 : 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

演奏藝術センター企画“うた”シリーズV-3

ドイツリートの夕べ

～ブラームスからウルマンまで～

監修: コンラート・リヒター教授

2005/12/3[土] 17:00開演 (16:30開場)

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)



Soprano : 朝倉蒼生 佐々木典子 佐藤ひさら
Mezzo-Soprano / Alto : 伊原直子 寺谷千枝子 庄司祐美
Baritone / Bass : 多田羅迪夫 高橋啓三 河野克典
Piano : コンラート・リヒター
東京藝術大学音楽学部声楽科・ピアノ科大学院生

ブラームス J.Brahms : 永遠の愛について Von ewiger Liebe, Op.43-1
ツェムリンスキー A. Zemlinsky : 呼びかけ Entbietung, Op.7-2
シェーンベルク A. Schönberg : 夢の生活 Traumleben, Op.6-1
ベルク A. Berg : そよ風はあたたかく Warm die Lüfte, Op.2-4
R.シュトラウス R.Strauss : 我が子に Meinem Kinde, Op. 37-3
ヴォルフ H. Wolf : 君よ知るや南の国 Kennst du das Land
レーガー M.Reger : 衝動 Ein Drängen, Op.97-3
ウルマン V.Ullmann : 嵐の歌 Sturmlied, Op.26-3 他

主催:東京藝術大学演奏藝術センター
東京藝術大学音楽学部
後援:ドイツ連邦共和国大使館

お問い合わせ:
東京藝術大学演奏藝術センター
050-5525-2300

入場料:1,800円 (全自由席)

チケット:チケットぴあ 0570-02-9990
(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません)
藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

2005
2006
Deutschland
in Japan
日本における
ドイツ



学芸文化庁 (国) (03)5712-1111
文化庁芸術部

演奏藝術センター企画“うた”シリーズV-3

ドイツリートのタベ

～ブラームスから
ウルマンまで～

監修: コンラート・
リヒター教授



2005/12/3[土]

17:00開演 (16:30開場)

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

コンラート・リヒター教授

Prof. Konrad Richter (本学声楽科客員教授)

1935年旧東独のオーバーラウズッツに生まれる。テトモルト音楽大学で教会音楽とピアノを専攻。61年からハンブルク音楽大学で教鞭をとり、68年に教授となる。70年からはシュトゥットガルト音楽大学でピアノ並びにリートクラスの教授、86年から90年まで同大学学長を務める。

現在、東京藝術大学及び東京音楽大学客員教授。

ソロ、室内楽、リートのピアニストとして国際的に活躍し、ベルリン音楽祭、ザルツブルク音楽祭、プラハの春、モスクワの12月、またウィーン音楽祭などに招待される一方、多くのラジオ、テレビ放送にも出演。作品集はDDG社、エレクトローラ社、プライザー・レコード社、バイヤー・レコード社からそれぞれ出版されている。

シュトゥットガルト音楽大学学長在職中には、「暴力の犠牲者たちに」と呼ばれるプロジェクトを発足させ、両世界大戦で殺害された作曲家達の作品を発掘、その普及に大きく貢献した。その際に出会った作曲家ヴィクトール・ウルマンの作品についての研究をその後も進め、彼のピアノ・コンチェルト op.25を92年に初演、93年にはドイツ・レコード賞を贈られる。またショット音楽出版社よりウルマンのピアノ・ソナタ集を校訂、出版。

2000年には、ウルマンの作曲技法に関する紹介を、「瞬間に生き、永遠に生き」(ザールブリュッケン、プファウ社)において発表している。



●交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、東京メトロ地下鉄千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ地下鉄日比谷線上野駅・銀座線上野駅より
徒歩15分

●駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

●所在地: 東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

●チケット発売

チケットぴあ Tel.0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません。)

藝大美術館ミュージアムショップ Tel.03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス Tel.03-5815-5452

●お問い合わせ

東京藝術大学演奏藝術センター Tel.050-5525-2300

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

邦楽定期演奏会 第71回

日時 : 2005年12月6日(火)
 17:30開場
 18:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

出演 : 邦楽科教員・学生他

能楽 (観世流) : 舞囃子「高砂」
 (宝生流) : 舞囃子「女郎花」

箏曲 (山田流) : 「歌暦」

日本舞踊・長唄
 邦楽囃子 : 「雛鶴三番叟」

尺八 (琴古流) : 「竹彩々」
 (都山流) : 「竹彩々」

箏曲 (生田流) : 「春の賦」



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5685-7700

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地 : 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期

邦楽 第71回

能楽

(観世流) 舞囃子

『高砂』

(宝生流) 舞囃子

『女おみなめし郎花』

箏曲 (山田流)

『歌うた曆ごよみ』

日本舞踊・長唄

邦楽囃子

『雛ひな鶴づる三番さん叟ば』

尺八

(琴古流 都山流)

『竹たけ彩さい々さい』

箏曲 (生田流)

『春はるの賦ふ』

平成17年12月6日(火)

午後6時開演(午後5時30開場)

東京藝術大学奏楽堂

出演 / 邦楽科教員・学生他

入場料 ■ 1,800円 (全自由席)

主催 ■ 東京藝術大学音楽学部

■ 東京藝術大学演奏藝術センター

能楽(観世流)舞囃子「高砂」

(宝生流)舞囃子「女郎花」

高砂

関根 知孝

大鼓 安福 建雄
小鼓 亀井 俊一 太鼓 小寺 佐七
藤田 貴寛

地謡 坂東 愛子
寺井 千景 津村 聡子
岡 久広 浅見 重好

女郎花

武田 孝史

大鼓 安福 建雄
小鼓 亀井 俊一 笛 加藤 俊彦

地謡 宝生 和英
金森 良充 小倉健太郎
大坪喜美雄 境野 直美

箏曲(山田流)「歌曆」(小倉百人一首の四季)

(萩岡 松韻 作曲)
(望月太喜雄 作調)

箏本手I

箏本手II

箏替手

三絃
三絃
十七絃

萩岡 松韻
樋口 里実
佐野 美和
新井未来子
山岸妃貞子
石川 浩美
萩岡 未貴
金澤みず葉
宮下 秀冽
山口明代賀
船木 麻代
中 香里
山登 松和
田中奈央人
高橋 衣勢
山木 七重
大間 隆之
武藤 松圃
三浦 昌子

鳴物 笛 吉田 振也
笛 松田 佳子
打物 島村 聖香
打物 盧 慶順
打物 島 萌黄
打物 鈴木 秀幸
打物 石井 千鶴

日本舞踊・長唄・邦楽囃子「雛鶴三番叟」

立方

唄

三味線

囃子

花柳 寿美 東音大森多津子
吾妻 節穂 東音浅見 文子
野崎麻衣子 東音小島 直文
太田 久恵 東音新井 康子
諸井 慶子 北村 彩 東音高橋 智久
伊賀健一郎 福村 奈美 守 啓伊子
今泉 琴絵 村尾 俊和 河合佐季子
富山 倫依 丸山登紀子 山沖 祐子 小鼓 望月太喜雄
丸山登紀子 山口 聡 小鼓 島村 聖香
渡邊 麻子 小鼓 石井 千鶴
大鼓 望月左喜三郎
太鼓 鈴木 秀幸
太鼓 橘内 幹

尺八(琴古流)「竹彩々」(山本邦山作曲)

IA 川村 泰山
IIA 徳丸 十盟
IIIA 武田 旺山
IVA 神 令 前田 希絵
IB 高須 理恵
IIB 遠藤 直幸
IIIB 田嶋 謙一
IVB 櫻井 理香 中村 仁樹
渡邊 元子
藪内 洋介
田中 洋平

箏曲(生田流)「春の賦」(宮城道雄作曲)

箏独奏 安藤 政輝
第一箏 吉川さとみ 安藤 珠希 永池あかり 石田真奈美
第二箏 渡部 祐子 細井 美欧 寺井 結子 大西 愛子
新宮 順子 鈴木 麻衣 伊藤まなみ 松崎 かな 押切 さち
柿木原こう 小畔 香子 阿佐美穂芽 前川 智世
中村あゆみ 長谷川 慎 利根 英法 門井 良博
上條 妙子 長谷川 愛子 平田 紀子 大森孔美子
国澤 秀麿 牧瀬裕理子 日原 暢子 澤村 史裕 光原 大樹
尺八I 川村 玲璃 武田 守永 高須 理恵 遠藤 直幸
尺八II 徳丸 裕二 神 令 櫻井 理香
フルート 北川 森央
笙 増田 千斐
打物 窪田 健志

トップ>演奏会スケジュール>

藝大定期室内楽第32回

日時 : 第1夜 2006年2月9日(木)
 第2夜 2006年2月10日(金)
 18:00開場
 18:30開演

会場 : 東京芸術大学演奏堂(大学構内)

入場料 : 1,300円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

第1夜

シューマン : 弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品41の2
 Vn.清岡優子(院1年)、漆原直美(院2年)
 Va.富田大輔(院3年)
 Vc.夏秋 彩(院2年)

エヴァルト : 金管五重奏曲 第3番
 Tp.阿部一樹(4年)、山崎千裕(4年)
 Hn.大瀧智美(4年)
 Tb.上田智美(4年)
 Tu.横田和宏(4年)

ハイドン : 弦楽四重奏曲 ニ長調 作品76の5「ラルゴ」
 Vn.山本美樹子(4年)、竹内 弦(4年)
 Va.脇屋冴子(3年)、Vc.市 寛也(4年)

リゲティ : 6つのバガテル
 Fl.上原由季(4年)
 Ob.久壽米木知子(4年)
 Cl.西崎智子(4年)
 Hn.大瀧智美(4年)
 Fg.川西史恵(4年)

バルトーク : 2台のピアノと打楽器のためのソナタ
 Pf.居福健太郎(院1年)、小澤佳永(4年)
 Perc.窪田健志(院1年)、相川 瞳(4年)

第2夜

ドヴォルザーク : ピアノ三重奏曲 ヘ短調 作品65
 Pf.岩田珠美(院3年)
 Vn.吉成とも子(院3年)
 Vc.石 豊久(院2年)

グラズノフ : サクソフォン四重奏曲 作品109
 Sax.林田祐和(院1年)、田村真寛(4年)、貝沼拓実(院2年)、坂口大介(院1年)

リゲティ : 木管五重奏のための10の小品
 Fl.神田勇哉(4年)
 Ob.是澤 悠(4年)
 Cl.芳賀史徳(3年)
 Hn.安田健太(4年)
 Fg.荒井 涉(2年)

ベートーヴェン : 弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品59の1「ラズモフスキー」
 Vn.守屋剛志(4年)、千葉清加(4年)
 Va.朝吹園子(院2年)
 Vc.辻本 玲(4年)



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 03-5525-2300

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、

東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

藝大定期

Geidai Chamber Music Concert No.32

室内楽

第32回

東京藝術大学 奏楽堂

入場料 ■ ¥1,300 (全自由席)

主催 ■ 東京藝術大学音楽学部
東京藝術大学演奏芸術センター

第1夜

2006年2月9日(木) 6:30p.m. (開場6:00)

弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品41の2 ◆ シューマン

String Quartet in F major, op.41-2 ◆ Robert Schumann

Vn. 清岡優子(院1年) 漆原直美(院2年) Va. 富田大輔(院3年) Vc. 夏秋 彩(院2年)

金管五重奏曲 第3番 ◆ エヴァルド

Brass Quintet no.3 ◆ Victor Ewald

Tp. 阿部一樹(4年) 山崎千裕(4年) Hn. 大瀧智美(4年)

Tb. 上田智美(4年) Tu. 横田和宏(4年)

弦楽四重奏曲 ニ長調 作品76の5「ラルゴ」◆ ハイドン

String Quartet in D major, op.76-5 "Largo" ◆ Joseph Haydn

Vn. 山本美樹子(4年) 竹内 弦(4年) Va. 脇屋冴子(3年) Vc. 市 寛也(4年)

6つのバガテル ◆ リゲティ

Sechs Bagatellen für Bläserquintett ◆ György Ligeti

Fl. 上原由李(4年) Ob. 久壽米木知子(4年) Cl. 西崎智子(4年)

Hn. 大瀧智美(4年) Fg. 川西史恵(4年)

2台のピアノと打楽器のためのソナタ ◆ バルトーク

Sonata for 2 pianos and percussion ◆ Béla Bartók

Pf. 居福健太郎(院1年) 小澤佳永(4年) Perc. 窪田健志(院1年) 相川 瞳(4年)

第2夜

2006年2月10日(金) 6:30p.m. (開場6:00)

ピアノ三重奏曲 ヘ短調 作品65 ◆ ドヴォルザーク

Piano Trio in f minor, op.65 ◆ Antonín Dvořák

Pf. 岩田珠美(院3年) Vn. 吉成とも子(院3年) Vc. 石 豊久(院2年)

サクソフォン四重奏曲 作品109 ◆ グラズノフ

Quatuor pour 4 Saxophones, op.109 ◆ Alexander Glazunov

Sax. 林田祐和(院1年) 田村真寛(4年) 貝沼拓実(院2年) 坂口大介(院1年)

木管五重奏のための10の小品 ◆ リゲティ

Zehn Stücke für Bläserquintett ◆ György Ligeti

Fl. 神田勇哉(4年) Ob. 是澤 悠(4年) Cl. 芳賀史徳(3年)

Hn. 安田健太(4年) Fg. 荒井 渉(2年)

弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品59の1
「ラズモフスキー」◆ ベートーヴェン

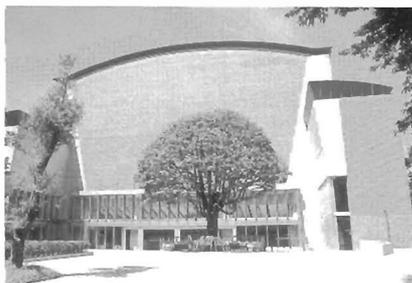
String Quartet in F major, op.59-1 "Razumovsky" ◆ Ludwig van Beethoven

Vn. 守屋剛志(4年) 千葉清加(4年) Va. 朝吹園子(院2年) Vc. 辻本 玲(4年)

*毎年80数組のグループが、様々な編成の室内楽に意欲的に取り組んでいます。



東京藝術大学奏楽堂



【交通のご案内】

●JR[上野駅] (公園口)・[鶯谷駅]下車徒歩10分 ●東京メトロ銀座線・日比谷線[上野駅]下車徒歩10分、千代田線[根津駅]下車徒歩10分 ●京成電鉄[京成上野駅]下車徒歩15分
住所/東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714 ※本学に駐車場はありません。

トップ>演奏会スケジュール>

東京藝大チェンバーオーケストラ 第6回定期演奏会

日時 : 2006年2月17日(金)
18:30開場
19:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,300円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学音楽学部
東京芸術大学演奏芸術センター

指揮 : Johannes Meissl (ヨハネス・マイスル)

オーケストラ : 東京藝大チェンバーオーケストラ

J.S.バッハ : (音楽のささげもの) BWV1079から<6声のリチェルカーレ>
(ウェーベルン編)

A.ウェーベルン : 管弦楽のための5つの楽章 Op.5

F.シューベルト : 交響曲第5番 D.485

A.ドヴォルジャーク : チェコ組曲 Op.39

東京芸術大学音楽学部・東京芸術大学演奏芸術センター

J.S.バッハ (ウェーベルン編)
《音楽のささげもの》BWV1079から《6声のリチェルカーレ》
J.S.Bach (A.Webster)
Fuga (Ricercare) a 6 voci aus dem (Musikalisches Opfer)

A.ウェーベルン
管弦楽のための5つの楽章 Op.5
A. Webern
Fünf Satze für Streichorchester op.5

F.シューベルト
交響曲第5番 D.485
F. Schubert
Symphonie No.5 D.485

A.ドヴォルジャーク
チェコ組曲 Op.39
A. Dvorak
Ceska suite op.39

東京藝大 チェンバーオーケストラ 第6回 定期演奏会

2006年 2月17日 (金) ◎東京芸術大学 奏楽堂
18:30開場 19:00開演 入場料:1,300円 (全席自由)

指揮: Johannes Meissl (ヨハネス・マイスル)
オーケストラ: 東京藝大チェンバーオーケストラ

※お問い合わせ先: 東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300
※チケット・チケットぴあ 0570-02-9990 (一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)
※東京芸術大学演奏芸術センター 03-6865-1176 東京芸術大学演奏芸術センター 03-6819-0402

東京藝大チェンバーオーケストラ

2003年に創設され、メンバーは東京芸術大学音楽学部と大学院に在籍する弦楽器の精鋭25名が中心となり、曲目によって管打楽器や鍵盤楽器の学生も加わり、多彩に活動を行なう室内オーケストラである。
創立時から大学教員による地道で緻密なアンサンブル指導に加え、公演毎に国の内外から卓越した指揮者を迎えての演奏内容は常に高い評価を得ている。

これまでにG.ボッセを中心にP.チャバ、M.レイフィールド、W.ヤーン、高関健氏等を指揮者、指導者として招き、J.S.バッハ、J.C.バッハ、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、メンデルスゾーン、ドヴォルジャーク、グリーグ、チャイコフスキー、エルガー、R.シュトラウス、シェーンベルク、バルトーク、K.A.ハルトマン、ブリテン、V.ウィリアムス、M.ティベット等の古典から現代まで幅広いレパートリーを意欲的に取り上げている。
今回の定期公演ではウィーンからの俊英、マイスル氏とのウェーベルン、シューベルト等の共演が非常に楽しみである。
2006年秋にはウィーン、ミュンヘン、シュトゥットガルト、ライプツィヒなどヨーロッパ主要都市での公演が予定されている。

Johannes Meissl(ヨハネス・マイスル)

オーストリア生まれ、リンツのブルックナー音楽院でヴァイオリンと作曲を学び、引き続き、ウィーン音楽大学でヴァイオリンをシュナイダーハーンとG.ヘツェル氏に師事する。同大学卒業後、弦楽四重奏でラ・サール・カルテットの薫陶を受け、1982年アルティス・カルテットを結成し、数々の国際コンクールに入賞。ウィーンを本拠地に世界を代表するカルテットとして多彩な演奏活動を展開している。

1992年からウィーン音楽・演劇大学、室内楽科で教鞭をとる。

2004年から国際夏期アカデミー(ウィーン・プラハ・ブダペスト3大学主催)の音楽監督を務める。近年はオーケストラ教育にも情熱をもって取り組み、ウィーン青少年オーケストラやジュネス・ムジカール等ヨーロッパの各地で学生オーケストラの指揮者及びトレーナーとして高い評価を得ている。

現在、ウィーン音楽・演劇大学室内楽科教授。

チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅、
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅、
東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

J.S.バッハ（ウェーベルン編）

《音楽のささげもの》BWV1079から〈6声のリチェルカーレ〉

J.S.Bach (A.Webern)

Fuga 〈Ricercare〉 a 6 voci aus dem 《Musikalischen Opfer》

A.ウェーベルン

管弦楽のための5つの楽章 Op.5

A.Webern

Fünf Sätze für Streichorchester op.5

F.シューベルト

交響曲第5番 D.485

F.Schubert

Symphonie Nr.5 D.485

A.ドヴォルジャーク

チェコ組曲 Op.39

A.Dvořák

Česká suite op.39

東京藝大

チェンバーオーケストラ

第6回 定期演奏会

2006年 2月17日（金）@東京藝術大学 奏楽堂

18:30開場 19:00開演 入場料:1,300円（全席自由）

指揮：Johanes Meissl（ヨハネス・マイルス）

オーケストラ：東京藝大チェンバーオーケストラ

●お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 050-5525-2300

●チケット：チケットぴあ 0570-02-9990（一部携帯電話と全社PHSはご利用いただけません）

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

東京藝大

チェンバーオーケストラ

第6回 定期演奏会

東京藝大チェンバーオーケストラ

2003年に創設され、メンバーは東京藝術大学音楽学部と大学院に在籍する弦楽器の精鋭25名が中心となり、曲目によって管打楽器や鍵盤楽器の学生も加わり、多彩に活動を行なう室内オーケストラである。

創立時から大学教員による地道で緻密なアンサンブル指導に加え、公演毎に国の内外から卓越した指揮者を迎えての演奏内容は常に高い評価を得ている。

これまでにG.ボッセを中心にP.チャバ、M.レイフィールド、W.ヤーン、高関 健氏等を指揮者、指導者として招き、J.S.バッハ、J.C.バッハ、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、メンデルスゾーン、ドヴォルザーク、グリーグ、チャイコフスキー、エルガー、R.シュトラウス、シェーンベルク、バルトーク、K.A.ハルトマン、ブリテン、V.ウィリアムス、M.ティペット等の古典から現代まで幅広いレパートリーを意欲的に取り上げている。

今回の定期公演ではウィーンからの俊英、マイルス氏とのウェーベルン、シューベルト等の共演が非常に楽しみである。2006年秋にはウィーン、ミュンヘン、シュトゥットガルト、ライプツィヒなどヨーロッパ主要都市での公演が予定されている。

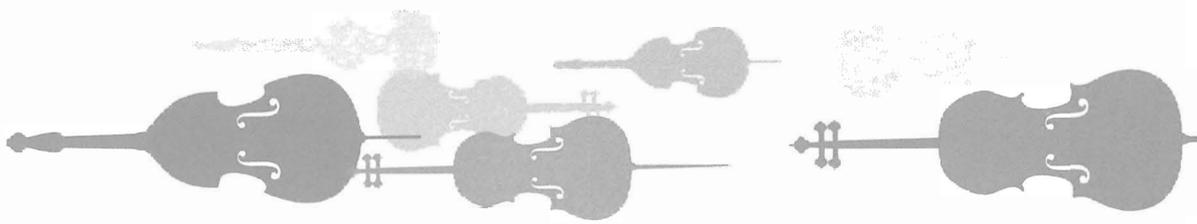
Johannes Meissl (ヨハネス・マイルス)

オーストリア生まれ、リンツのブルックナー音楽院でヴァイオリンと作曲を学び、引き続き、ウィーン音楽大学でヴァイオリンをシュナイダーハンとG.ヘッツェル氏に師事する。同大学卒業後、弦楽四重奏でラ・サール・カルテットの薫陶を受け、1982年アルティス・カルテットを結成し、数々の国際コンクールに入賞。ウィーンを本拠地に世界を代表するカルテットとして多彩な演奏活動を展開している。

1992年からウィーン音楽・演劇大学、室内楽科で教鞭をとる。

2004年から国際夏期アカデミー（ウィーン-プラハ-ブダペスト3大学主催）の音楽監督を務める。近年はオーケストラ教育にも情熱をもって取り組み、ウィーン青少年オーケストラやジュネス・ムジカール等ヨーロッパの各地で学生オーケストラの指揮者及びトレーナーとして高い評価を得ている。

現在、ウィーン音楽・演劇大学室内楽科教授。



- 交通案内
JR上野駅・鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- 所在地：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

トップ>演奏会スケジュール>

管打楽器シリーズ アンドレ・ジョリヴェとその周辺

日時 : 2006年2月19日(日)
 14:30開場
 15:00開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 1,800円(全席自由)

主催 : 東京芸術大学演奏芸術センター
 東京芸術大学音楽学部

協力 : 台東ケーブルテレビ

ジョリヴェ : 劇音楽『ブリタニクス』のためのファンファーレより
 「前奏曲」「ネロ」「後奏曲」

ヴァレーズ : イオニザシオン

ジョリヴェ : 7つの楽器のための『ラソディー』

ストラヴィンスキー : 演奏会用組曲『兵士の物語』

ジョリヴェ : セレモニアル

クラリネット : 村井祐児、中 秀仁

ファゴット : 依田晃宣

トランペット : 杉木峯夫、坂井俊博、柴田紘子、松居洋輔、阿部一樹、山崎千裕

ホルン : 安田健太、大瀧智美、余村亮太、嵯峨郁恵

トロンボーン : 古賀慎治、梶原彰人、永見 智、山口隼士、片野坂りさん

チューバ : 朽方 聡

打楽器 : 藤本隆文、竹内将也、窪田健志、相川 瞳、青木紗央、赤迫翔太、上原なな江、中山航介、篠田浩美、林 瑞穂、目等貴士、秋田孝訓、大家一将、久米彩音

ヴァイオリン : 漆原朝子

コントラバス : 永島義男



チケット販売 : 芸大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 チケットぴあ 0570-02-9990(一部携帯電話と全社PHSはご利用いただく事ができません。)

お問い合わせ : 東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



このページの先頭へ

管打楽器シリーズ

アンドレ・ジヨリヴェとその周辺

ジヨリヴェ Jolivet

劇音楽『ブリタニクス』のためのファンファーレより
「前奏曲」「ネロ」「後奏曲」

"Prélude", "Néron", "Postlude"
from "Fanfares pour Britannicus"

ヴァレーズ Varèse

イオニザシオン
Ionisation

ジヨリヴェ Jolivet

7つの楽器のための『ラプソディー』
Rhapsodie à sept

ストラヴィンスキー Stravinsky

演奏会用組曲『兵士の物語』
Suite- "Histoire du Soldat"

ジヨリヴェ Jolivet

セレモニアル
Ceremonial

2006年2月19日(日)

14:30開場 15:00開演

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

入場料: 1,800円 (全自由席)

●チケット: チケットぴあ 0570-02-9990
(一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

●主催: 東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部

●協力: 台東ケーブルテレビ

【お問い合わせ】 東京藝術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

クラリネット: 村井祐見、中秀仁

ファゴット: 依田晃宣

トランペット: 杉木峯夫、坂井俊博、柴田紘子、
松居洋輔、阿部一樹、山崎千裕

ホルン: 安田健太、大瀧智美、余村亮太、
嵯峨郁恵

トロンボーン: 古賀慎治、梶原彰人、永見智、
山口隼士、片野坂りさ

チューバ: 朽方聡

打楽器: 藤本隆文、竹内将也、窪田健志、相川瞳、
青木紗央、赤迫翔太、上原なな江、
中山航介、篠田浩美、林瑞穂、目等貴士、
秋田孝訓、大家一将、久米彩音

ヴァイオリン: 漆原朝子

コントラバス: 永島義男

2006年2月19日(日)

14:30開場 15:00開演

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

入場料: 1,800円 (全自由席)

● チケット

チケットぴあ 0570-02-9990
(一部携帯電話及び全社PHSはご利用いただくことができません)

藝大美術館ミュージアムショップ 03-5685-1176

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

● お問い合わせ: 東京藝術大学演奏芸術センター 050-5525-2300



東京藝術大学奏楽堂 東京都台東区上野公園12-8

交通案内

- JR上野駅・鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線・上野駅、東京メトロ日比谷線・上野駅、銀座線・上野駅より徒歩15分

※ 本学に駐車場はございません

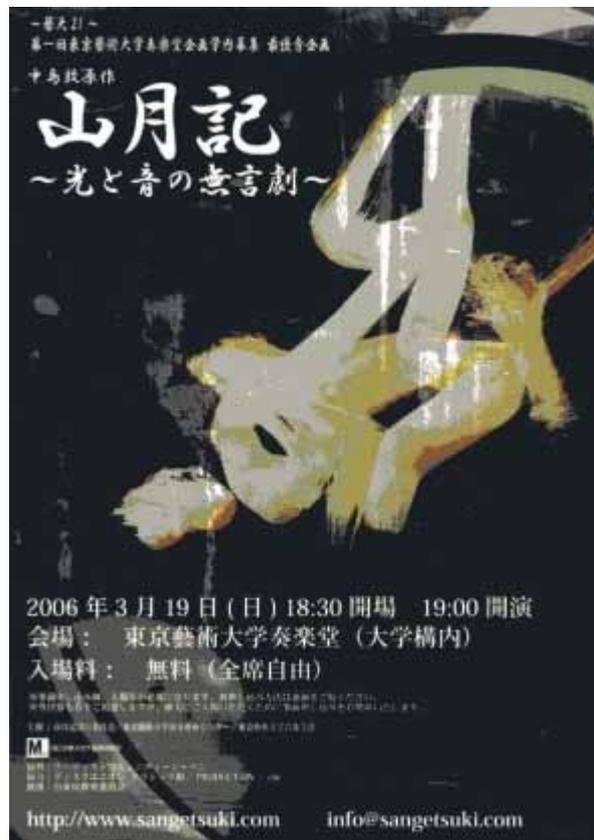
[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

藝大21 第一回東京芸術大学奏楽堂企画学内募集 最優秀企画
中島敦 原作 山月記 ~光と音の無言劇~

日時 : 2006年3月19日(日)
18:30開場
19:00開演
会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料 : 無料 事前申し込み制
主催 : 山月記実行委員会
東京芸術大学演奏芸術センター
東京芸術大学音楽学部
協賛 : アーティストコミュニティージャパン
協力 : ディスクユニオン クラシック館
PRODUCT-ON
ebc
後援 : 台東区教育委員会

社団法人企業メセナ協議会認定

企画・プロデュース : 小池 卓
作曲 : 佐野秀典
指揮 : 羽部真紀子
演出 : 庭野綾加
演出助手・衣装 : 後藤温子
パフォーマンス : 酒井幸菜、宇野澤梨菜
振り付け : 酒井幸菜
映像製作 : 岡村一輝
制作 : 中島裕美、狩野芳子、峯田祐希、山田亜寿香
宣伝美術 : 上 雄平
オーケストラ : 東京芸術大学音楽学部有志「山月記特別記念オーケストラ」
舞台監督 : 葛西伸一
照明 : 大平智己(株)ASG
ウェブデザイン : 堤 岳彦(ebc)



[>>公式ホームページ](#)

お申し込み方 : ハガキあるいはメールに、お名前、住所、郵便番号、電話番号、メールアドレス、希望人数(2名様まで)を明記の上、3月8日までに下記までご応募ください。

お申し込みから3日(通常)~5日(土日をはさむ場合)以内に入場券をハガキにてお届けいたします。
尚、応募者多数の場合は先着順とし、応募を締め切らせていただく場合がございます。予めご了承くださいませ。
当日券も若干ご用意しますが、確実にご入場いただくために事前申し込みをお奨めいたします。

宛先(1) : 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
東京芸術大学演奏芸術センター内「山月記実行委員会」宛

宛先(2) : info@sangetsuki.com
件名は「山月記観覧希望」をお願い致します。

お問い合わせ : 山月記実行委員会 info@sangetsuki.com
東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
東京メトロ日比谷線上野駅
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地 : 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。
それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

～藝大21～

第一回東京藝術大学奏楽堂企画学内募集 最優秀企画

中島敦原作

山月記

～光と音の無言劇～

2006年3月19日(日) 18:30 開場 19:00 開演

会場：東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

入場料：無料 (全席自由)

※事前申し込み制、入場券が必要になります。お申し込み方法は裏面をご覧ください。
※当日券も若干ご用意しますが、確実にご入場いただくために事前申し込みをお奨めいたします。

主催：山月記実行委員会 / 東京藝術大学演奏芸術センター / 東京藝術大学音楽学部



【社】企業×セナ協議会認定

協賛：アーティストコミュニティー・ジャパン

協力：ディスクユニオン / クラシック館 / PRODUCT-ON / ebc

後援：台東区教育委員会

<http://www.sangetsuki.com>

info@sangetsuki.com

山月記

中島敦原作

企画・プロデュース： 小池卓
作曲： 佐野秀典
指揮： 羽部真紀子
演出： 庭野綾加
演出助手・衣装： 後藤温子
パフォーマンス： 酒井幸菜 宇野澤梨菜
振り付け： 酒井幸菜
映像製作： 岡村一輝
制作： 中島裕美 狩野芳子 峯田祐希 山田亜寿香
宣伝美術： 上雄平

オーケストラ： 東京藝術大学音楽学部有志「山月記特別記念オーケストラ」

舞台監督： 葛西伸一
照明： 大平智己 (株 ASG)
ウェブデザイン： 堤岳彦 (ebc)

偶因狂疾成殊類 災患相仍不可逃
今日爪牙誰敢敵 当時声跡共相高
我為異物蓬茅下 君已乘輶氣勢豪
此夕溪山对明月 不成長嘯但成嗥

- お申し込み方法：ハガキあるいはメールに、お名前、住所、郵便番号、電話番号、メールアドレス、希望人数(2名様まで)を明記の上、3月8日までに下記までご応募ください。
お申し込みから3日(通常)～5日(土日をはさむ場合)以内に入場券をハガキにてお届けいたします。
尚、応募者多数の場合は先着順とし、応募を締め切らせていただく場合がございます。予めご了承くださいませ。

※当日券も若干ご用意しますが、確実にご入場いただくために事前申し込みをお奨めいたします。

【宛先①】〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

東京藝術大学演奏藝術センター内「山月記実行委員会」宛

【宛先②】info@sangetsuki.com ※件名は「山月記 観覧希望」でお願い致します。

■お問い合わせ：山月記実行委員会 info@sangetsuki.com
東京藝術大学演奏藝術センター TEL：050-(5525)2300

■交通案内：JR 上野駅・JR 鶯谷駅、
東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分。
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、
東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分。
駐車場はございませんので、
お車でのご来場はご遠慮ください。

■所在地：東京都台東区上野公園 12-8



トップ > 演奏会スケジュール >

三林輝夫テノールリサイタル(退職記念演奏会)

日時 : 2006年3月21日(火・祝)
 14:30開場
 15:00開演

会場 : 東京芸術大学音楽堂(大学構内)

入場料 : 無料 事前申し込み制

主催 : 東京芸術大学音楽学部
 東京芸術大学演奏芸術センター

共催 : 同声会

後援 : 三輝会

フランス歌曲10人の作曲家
 グノー、デュバルク、シャプリエ、ショーソン、フォーレ、ドビュッシー、ルセル、ラヴェル、
 アーン、プーランク
 曲目:旅への誘い、夢の後に、愛の小径、ほか

日本歌曲10人の作曲家
 山田耕筰、信時 潔、橋本国彦、平井康三郎、團 伊玖磨、別宮貞雄、中田喜直、小林
 秀雄、大中 恩、三善 晃
 曲目:馬売り、お六娘、ひぐらし、ほか

ピアノ:高木由雅、鈴木真理子

【お申し込み方法】
 返信用切手(80円)を同封し、郵便番号、住所、お名前、希望人数(5名様まで)を明記の
 上、3月10日までに下記までご応募ください。

宛先
 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
 東京芸術大学音楽学部演奏企画室
 「三林輝夫テノールリサイタル招待状」係
 宛てをお願いいたします。

応募者多数の場合は先着順とし、応募を締め切らせていただく場合がございます。予
 めご了承くださいませ。

東京芸術大学音楽学部退職記念
三林輝夫テノールリサイタル
 2006年3月21日(火/祝祭日) 14:30開場 15:00開演

東京芸術大学音楽堂(大学構内) [全席招待]

フランス歌曲10人の作曲家	日本歌曲10人の作曲家
Ch. Debussy (グノー)	山田 耕筰
M. Duparc (デュバルク)	信時 潔
E. Chabrier (シャプリエ)	橋本 国彦
E. Chausson (ショーソン)	平井 康三郎
G. Faure (フォーレ)	團 伊玖磨
C. Debussy (ドビュッシー)	別宮 貞雄
A. Roussel (ルセル)	中田 喜直
M. Ravel (ラヴェル)	小林 秀雄
R. Hahn (アーン)	大中 恩
F. Poulenc (プーランク)	三善 晃

曲目:旅への誘い、夢の後に、愛の小径、ほか
 ピアノ
 高木 由雅 | 鈴木 真理子
 曲目:馬売り、お六娘、ひぐらし、ほか

お問い合わせ: 東京芸術大学演奏芸術センター 03-3821-2380
 主催: 東京芸術大学音楽学部・東京芸術大学演奏芸術センター 共催: 同声会 後援: 三輝会

御挨拶

まだまだ先のことと思っておりました芸大定年退職の日が間近になって参りました。非常勤講師として15年、常勤として20年、併せて35年の長きにわたって芸大には大変お世話になりました。学生生活6年を入れると40余年にわたって上野の杜に親しんで来たこととなります。関係の皆様には改めて深く感謝申し上げます次第です。

諸先生方に助けられながらも、学生のみならず共に楽しく歩んで来た年月を思うと、これ以上ない幸せな時間だったことを強く感じております。

音楽の道に終わりはないのは当然ですが、この度任を終えるにあたり、一つの通過点として、また私の音楽人生の一区切りとして、長年の感謝の気持ちを込めたりサイタルを催すことに致しました。

年度末のご多忙な時と存じますが何卒ご来駕、ご高評賜りますようお願い申し上げます。

交通案内

JR上野駅・JR鶯谷駅
 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成線上野駅
 東京メトロ日比谷線上野駅、
 東京メトロ銀座線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

所在地: 〒110-8714東京都台東区上野公園12-8



[このページの先頭へ](#)

このページは、東京芸術大学 広報委員会が管理しています。

このページに関するお問い合わせは、toiawase@ml.geidai.ac.jpへどうぞ。

それぞれのページ内容に関するお問い合わせは、それぞれのページに表示されている問い合わせ先にご確認下さい。

東京藝術大学音楽学部退任記念

三林輝夫 テノールリサイタル

2006年3月21日(火/祝祭日)

14:30開場 15:00開演



絲遊変奏部分 宮廻正明

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

[全席招待]

フランス歌曲10人の作曲家

Ch.Gounod (グノー)
H.Duparc (デュパルク)
E.Chabrier (シャブリエ)
E.Chausson (ショーソン)
G.Fauré (フォーレ)
C.Debussy (ドビュッシー)
A.Roussel (ルセル)
M.Ravel (ラヴェル)
R.Hahn (アーン)
F.Poulenc (プーランク)

曲目：旅への誘い、夢の後に、愛の小径、ほか

日本歌曲10人の作曲家

山田 耕筰
信時 潔
橋本 国彦
平井 康三郎
團 伊玖磨
別宮 貞雄
中田 喜直
小林 秀雄
大中 恩
三善 晃

曲目：馬売り、お六娘、ひぐらし、ほか

ピアノ

高木 由雅

鈴木 真理子

お問い合わせ：東京藝術大学演奏藝術センター 050-5525-2300

主催：東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター 共催：同声会 後援：三輝会

DESIGN: Masaaki MIYASAKO

御 挨拶

まだまだ先のことと思っておりました芸大定年退職の日が間近になって参りました。非常勤講師として15年、常勤として20年、併せて35年の長きにわたって芸大には大変お世話になりました。学生生活6年を入れると40余年にわたって上野の杜に親しんで来たこととなります。関係の皆様には改めて深く感謝申し上げる次第です。

諸先生方に助けられながらも、学生のみならず共に楽しく歩んで来た年月を思うと、これ以上ない幸せな時間だったことを強く感じております。

音楽の道に終わりは無いのは当然ですが、この度任を終えるにあたり、一つの通過点として、また私の音楽人生の一区切りとして、長年の感謝の気持ちを込めたりサイタルを催すことに致しました。

年度末のご多用な時と存じますが何卒ご来駕、ご高評賜りますようお願い申し上げます。

さん ばやし てる お
三林 輝夫



JR上野駅・鶯谷駅、営団地下鉄千代田線根津駅より徒歩10分
京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分

※本学に駐車場はございません

平成17年度 東京芸術大学 公開試験等演奏会 一覧(無料演奏会)

演奏会名	開催日	天気	開演時間	備考
修士リサイタル(声楽)	第6ホール	H17.4.6 水	晴 10:00	
学内演奏会(学生オーケストラ)	奏楽堂	H17.4.26 火	晴 18:30	
アカンサス・コンサート(芸高)	芸高201ホール	H17.5.9 月	晴 13:00	
学内演奏会(古楽)	奏楽堂	H17.5.10 火	晴 11:00	
学内演奏会(オルガン)	奏楽堂	H17.5.10 火	晴 14:00	
学内演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H17.5.13 金	曇 13:00	
学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.5.24 火	晴 13:00	
学内演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H17.5.26 木	晴 13:00	
学内演奏会(学生オーケストラ)	奏楽堂	H17.5.27 金	晴 18:30	
学内演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H17.5.30 月	雨 13:00	
学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.6.7 火	晴 13:00	
学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.6.10 金	雨 13:00	
学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.6.14 火	曇 13:00	
芸高3年公開試験(ピアノ)	奏楽堂	H17.6.19 日	曇 10:00	入場者700名
芸高3年公開試験(弦楽器)	奏楽堂	H17.6.21 火	晴 10:00	入場者415名
第 期オペラハイライト	第3ホール	H17.6.21 火	曇 13:30	
芸高3年公開試験(管楽器・邦楽)	芸高201ホール	H17.6.24 金	曇 13:00	
学内演奏会(吹奏楽)	奏楽堂	H17.6.30 木	曇 18:30	
学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.7.8 金	曇 13:00	
アカンサス・コンサート(芸高)	芸高201ホール	H17.7.11 月	曇 13:00	
学内演奏会(雅楽)	第6ホール	H17.10.13 木	晴 18:00	
学内演奏会(弦楽)	奏楽堂	H17.10.14 金	晴 13:00	
学内演奏会(弦楽)	奏楽堂	H17.10.17 月	雨 13:00	
学内演奏会(弦楽)	奏楽堂	H17.10.18 火	雨 13:00	
学内演奏会(雅楽)	第6ホール	H17.10.20 木	晴 16:00	
学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H17.10.24 月	晴 13:30	
学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H17.10.25 火	晴 13:30	
学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H17.10.26 水	曇 13:30	
学内演奏会(能楽)	第4ホール	H17.10.26 水	曇 14:00	
学内演奏会(指揮)	奏楽堂	H17.10.27 木	雨 11:00	
学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H17.10.28 金	晴 13:30	
学内演奏会(箏曲・尺八)	奏楽堂	H17.10.31 月	曇 12:30	
学内演奏会(三味線音楽・日本舞踊)	奏楽堂	H17.11.1 火	晴 11:00	
学内演奏会(作曲)	奏楽堂	H17.11.8 火	晴 14:00	
学内演奏会(作曲)	奏楽堂	H17.11.11 金	曇 14:00	
アカンサス・コンサート(芸高)	芸高201ホール	H17.11.14 月	曇 13:00	
第 期オペラハイライト	第3ホール	H17.11.22 火	晴 13:30	
卒業試験公開演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.12.1 木	晴 10:00	
卒業試験公開演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.12.2 金	曇 10:00	
卒業試験公開演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H17.12.5 月	晴 10:00	
学内演奏会(楽理)	第6ホール	H17.12.13 火	晴 13:00	
卒業試験公開演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H17.12.21 水	曇 11:15	
卒業試験公開演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H17.12.22 木	晴 13:00	
創造の今日と未来 1227雪 ~積もれ言葉の数だけ~	奏楽堂	H17.12.27 火	晴 19:00	
卒業試験公開演奏会(声楽)	奏楽堂	H18.1.10 火	曇 10:00	
卒業試験公開演奏会(声楽)	奏楽堂	H18.1.11 水	晴 10:00	
卒業試験公開演奏会(弦楽)	奏楽堂	H18.1.16 月	曇 9:30	
卒業試験公開演奏会(弦楽)	奏楽堂	H18.1.17 火	曇 10:00	
第 期オペラハイライト	第6ホール	H18.1.17 火	曇 13:30	
卒業試験公開演奏会(箏曲・尺八)	奏楽堂	H18.1.18 水	曇 10:00	
卒業試験公開演奏会(雅楽)	第6ホール	H18.1.18 水	晴 18:00	
卒業試験公開演奏会(指揮)	奏楽堂	H18.1.19 木	晴 11:00	
卒業試験公開演奏会(能楽)	第4ホール	H18.1.19 木	晴 14:00	
卒業試験公開演奏会(古楽)	奏楽堂	H18.1.20 金	曇 10:30	
卒業試験公開演奏会(オルガン)	奏楽堂	H18.1.20 金	曇 14:00	
卒業試験公開演奏会(三味線音楽・邦楽囃子・日本舞踊)	奏楽堂	H18.1.23 月	晴 11:30	
修士課程学位審査演奏会(独唱)	奏楽堂	H18.1.25 水	晴 11:00	
修士課程学位審査演奏会(ソルフェージュ・ピアノ)	第1ホール	H18.1.25 水	晴 13:00	
修士課程学位審査演奏会(独唱)	奏楽堂	H18.1.26 木	晴 11:00	
修士課程学位審査演奏会(指揮)	第6ホール	H18.1.26 木	晴 11:00	
修士課程学位審査演奏会(弦楽)	第6ホール	H18.1.26 木	晴 13:00	
修士課程学位審査演奏会(室内楽)	第6ホール	H18.1.26 木	晴 16:00	
修士課程学位審査演奏会(弦楽)	第6ホール	H18.1.27 金	晴 10:00	
修士課程学位審査演奏会(古楽)	奏楽堂	H18.1.27 金	晴 10:00	
修士課程学位審査演奏会(古楽)	奏楽堂	H18.1.30 月	晴 10:00	
修士課程学位審査演奏会(ピアノ)	第1ホール	H18.1.30 月	晴 10:00	
修士課程学位審査演奏会(弦楽)	第6ホール	H18.1.30 月	晴 14:00	
修士課程学位審査演奏会(オルガン)	奏楽堂	H18.1.30 月	晴 14:45	
修士課程学位審査演奏会(ピアノ)	第1ホール	H18.1.31 火	曇 10:00	
修士課程学位審査演奏会(オペラ)	奏楽堂	H18.2.2 木	曇 13:00	
修士課程学位審査演奏会(邦楽)	第6ホール	H18.2.2 木	曇 13:00	
修士課程学位審査演奏会(管楽)	第6ホール	H18.2.3 金	晴 12:00	
修士課程学位審査演奏会(オペラ)	奏楽堂	H18.2.3 金	晴 13:00	
アカンサス・コンサート(芸高)	芸高201ホール	H18.2.6 月	曇 13:00	
合 計			(74件)	

平成17年度 演奏依頼等一覧

月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
4月	5日	火	平成17年度東京工業大学学部・大学院入学記念演奏会	ピアノ	東京工業大学講堂	東京工業大学
	21日	木	第189回木曜コンサート	ピアノ	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
	29日	金	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2005	特別編成学生オーケストラ・木管アンサンブル	東京国際フォーラム	東京都
5月	4日	水	第75回読売新聞社主催新人演奏会	声楽・ピアノ・弦楽・管打楽	東京文化会館	読売新聞社
	5日	木				
	19日	木	第7回別府アルゲリッチ音楽祭	特別編成学生オーケストラ	別府ビーコンプラザ	別府アルゲリッチ音楽祭事務局
	21日	土	東洋女子学園創立100周年記念式典・記念演奏会	邦楽	文京シビック	学校法人 東洋女子学園
	25日	水	京都・国際音楽学生フェスティバル2005	Hr(1名)	京都府立府民ホール	ロームミュージックファンデーション
	26日	木	第190回木曜コンサート	弦楽	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
6月	5日	日	スワミー・ヴィヴェカタ第143回生誕記念祝賀会演奏	邦楽	豊島公会堂	日本ヴェーダータ協会
	5日	日	しょうぶまつり&ウォークラリー2005ステージショー	音楽環境創造	都立東綾瀬公園	足立区観光交流協会
	7日	火	レインボー21 サントリー デビューコンサート2005	応用音楽学	サントリーホール	サントリーホール
	13日	月	日本学士院第95回授賞式 ()	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	日本学士院	日本学士院
	16日	木	第191回木曜コンサート	指揮	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
	20日	月	第61回日本芸術院授賞式	邦楽(箏曲・生田流)	日本芸術院	日本芸術院
	22日	水	都立北養護学校芸中学部2年移動教室 ()	指揮・管弦楽研究部	奏楽堂	都立北養護学校
	24日	金	平成17年度三輪田学園邦楽鑑賞会	邦楽	三輪田学園講堂	三輪田学園中学校
7月	2日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・打楽器	戸頭中学校	取手市教育委員会
	2日	土		木管・金管・打楽器	取手東中学校	
	2日	土		木管・金管	藤代中学校	
	7日	木	日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会	声楽科学生有志	サントリーホール	(財)日本フィルハーモニー交響楽団
	8日	金				
	9日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・打楽器	戸頭中学校	取手市教育委員会
	9日	土		金管・打楽器	永山中学校	

	月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
25	7月	9日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	取手東中学校	取手市教育委員会
26		9日	土		木管・金管・打楽器	野々井中学校	
27		10日	日	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器・弦	取手第一中学校	取手市教育委員会
28		16日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	取手東中学校	取手市教育委員会
29		16日	土		木管・金管・打楽器	野々井中学校	
30		16日	土		木管・金管・打楽器	取手第二中学校	
31			21日	木	第192回木曜コンサート	オペラ・指揮	旧東京音楽学校奏楽堂
32	8月	5日	金	JTアフタヌーンコンサート	Pf	JTアートホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
33		11日	木	第1回穂高町西中学校・穂高東中学校音楽教室	木管・金管楽器	穂高町民会館・講堂	穂高町教育委員会・両中学校
34		12日	金				
35		15日	月	全国戦没者追悼式典 ()	指揮・管弦楽研究部	日本武道館	厚生労働省
36		18日	木	第193回木曜コンサート	声楽(独唱)	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
37		23日	火	芸大生による未来館コンサート	Pf・Fl・マリンバ	女性と仕事の未来館ホール	女性と仕事の未来館
38		23日	火	平成17年度伝統音楽研修会	邦楽	奏楽堂	文部科学省初等中等教育局
39	9月	15日	木	第194回木曜コンサート	木管・金管	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
40		17日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管	取手第一中学校	取手市教育委員会
41		17日	土		金管・弦	藤代南中学校	
42		19日	月	教育交流 柏葉中学敬老の日コンサート	声楽・木管・金管・音楽教育	柏葉中学校	台東区立柏葉中学校
43		25日	日	第3回文京シビック定期演奏会 ()	指揮・管弦楽研究部	文京シビック	文京シビック合唱団
44	10月	1日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・打楽器	永山中学校	取手市教育委員会
45		7日	金	【受託研究】野外空間における舞台芸術の研究	美術学部・演奏芸術センター	ガスの科学館	東京ガス豊州開発株式会社
46		8日	土	上野・浅草にほんの音(芸大生による邦楽フレッシュコンサート)	邦楽	生涯学習センター	(財)台東区芸術文化財団
47		8日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	取手第二中学校	取手市教育委員会
48		8日	土	第2回穂高町西中学校・穂高東中学校音楽教室	打楽器・金管楽器	穂高町民会館・講堂	穂高町教育委員会・両中学校
49		9日	日				
50		12日	水	05年 銀座 芸術の秋 赤レンガ名画・名曲サロン	クラリネット五重奏	ワード資生堂	文化パステル

	月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
51	10月	15日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・弦	藤代南中学校	取手市教育委員会
52		20日	木	第195回木曜コンサート	古楽	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
53		20日	木	小さな小さな音楽会	邦楽(尺八)	調布市文化会館たづくり	調布市文化コミュニティ振興財団
54		22日	土	平成17年度教育委員会主催ミニコンサート	打楽器アンサンブル	福祉交流センター	取手市教育委員会
55		24日	月	台東区立大正小学校創立90周年記念演奏会	特別編成オーケストラ	大正小学校体育館	台東区立大正小学校
56		29日	土	第19回伊沢修二先生 記念音楽祭	指揮・学生オーケストラ・声楽	高遠町文化体育館	高遠町教育委員会
57		29日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	藤代中学校	取手市教育委員会
58		29日	土	平成17年度国立磐梯青年の家主催事業「部活動サポート磐梯ミュージックセミナー2005」	木管・金管・打楽器	国立磐梯青年の家	国立青年の家 国立磐梯青年の家
59		30日	日				
60	11月	3日	木	足立区柳原音楽祭	指揮・学生オーケストラ・声楽	千寿桜堤中学校	柳原音楽祭実行委員会
61		5日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・打楽器	戸頭中学校	取手市教育委員会
62		5日	土		木管・金管	藤代中学校	
63		17日	木	第196回木曜コンサート	作曲	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
64		17日	木	東京藝大チェンバーオーケストラ仙台公演ワンコインコンサート・知的障害者施設へのアウトリーチ活動	藝大チェンバーオーケストラ	仙台市青年文化センター	(財)仙台市市民文化事業団
65		18日	金				
66		19日	土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管	取手第二中学校	取手市教育委員会
67		19日	土		金管・打楽器	永山中学校	
68		19日	土		木管	藤代中学校	
69		26日	土	上野・浅草 - にほんの音(古典鑑賞)	邦楽	台東区浅草公会堂	(財)台東区芸術文化財団
70	28日	月	ホール・クワテル原作「女と影」音楽伴奏	邦楽	早稲田大学大隈講堂	早稲田大学演劇博物館	
71	12月	4日	日	第25回取手市民音楽祭	金・管・打楽器各アンサンブル	取手市立市民会館	取手市文化事業団
72		5日	月	第21回国際生物学賞授賞式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	日本学士院	日本学術振興会
73		8日	木	第54回チャリティーコンサート メサイア	指揮・声楽・管弦楽研究部	東京文化会館	朝日新聞厚生文化事業団
74		8日	木	JTアフタヌーンコンサート	Pf	JTアートホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
75		10日	土	平成17年度取手市教育委員会主催ミニコンサート	弦楽四重奏	藤代公民館	取手市教育委員会
76		15日	木	第197回木曜コンサート	打楽器	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂

	月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催	
77	12月	17日	土	「大学地域解放事業」御徒町台東中学校吹奏楽指導	木管・金管・打楽器	芸大第1ホール	台東区立御徒町台東中学校・台東区教育委員会	
78		18日	日		木管・金管・打楽器			
79		18日	日	第25回「台東第九公演」	指揮・管弦楽研究部	奏楽堂	台東区教育委員会	
80		19日	月	「大学地域解放事業」御徒町台東中学校吹奏楽指導	木管・金管・打楽器	芸大第1ホール	台東区立御徒町台東中学校・台東区教育委員会	
81		20日	火	「大学地域解放事業」御徒町台東中学校吹奏楽指導	木管・金管・打楽器	芸大第1ホール	台東区立御徒町台東中学校・台東区教育委員会	
82		21日	水		木管・金管・打楽器			
83		22日	木		木管・金管・打楽器			
84		22日	木	日本フィルハーモニー交響楽団「第九」特別演奏会	声楽科学生有志	東京芸術劇場	日本フィルハーモニー交響楽団	
85		23日	金	第4回御徒町台東中と芸大による奏楽堂演奏会	木管・金管・打楽器・指揮	奏楽堂	台東区教育委員会	
86		23日	金	天皇陛下御誕生祝賀レプションにおける国歌独唱	声楽(テノール)	飯倉公館	外務省	
87	24日	土	第1回とちの木音楽祭	特別編成学生オーケストラ	栃木市文化会館	NPO法人 とちの木国際芸術文化センター		
88	25日	日	日本フィルハーモニー交響楽団「第九」特別演奏会	声楽科学生有志	東京芸術劇場	日本フィルハーモニー交響楽団		
89	1月	7日	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・弦	藤代南中学校	取手市教育委員会		
90		8日	平成17年度第16回取手市少年の主張大会	Vn(P伴奏)	取手市立市民会館	取手市教育委員会		
91		19日	木	第198回木曜コンサート	声楽	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂	
92		20日	金	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス晴海	東京トヨペット株式会社	
93		20日	金			レクサス雪谷		
94		21日	土	平成17年度旧奏楽堂デビューコンサート	Fl	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団	
95		1月	21日	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス晴海	東京トヨペット株式会社	
96			21日			土		レクサス雪谷
97			21日			土		レクサスときわ台
98			21日			土		レクサス足立
99	21日		土			レクサス三鷹		
100	22日	日	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサスときわ台	東京トヨペット株式会社		
101	22日	日			レクサス足立			
102	22日	日			レクサス三鷹			

	月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
103	1月	26日	木	JTアフタヌーンコンサート	弦楽四重奏	JTアートホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
104		27日	金	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス高輪	東京トヨペット株式会社
105		27日	金			レクサス荻窪	
106		28日	土	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス高輪	東京トヨペット株式会社
107		28日	土			レクサス用賀	
108		28日	土			レクサス荻窪	
109		28日	土	2007レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサ府中	東京トヨペット株式会社
110		29日	日	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス用賀	東京トヨペット株式会社
111		29日	日			レクサ府中	
112		2月	4日	土	平成17年度旧奏楽堂デビューコンサート	声楽(独唱ソプラノ)	旧東京音楽学校奏楽堂
113	9日		木	平成17年度碧南市芸術文化ホール自主事業「小・中学校音楽教室・一般向けコンサート」	Pf・木管	碧南市芸術文化ホール	碧南市教育委員会
114	10日		金				
115	11日		土				
116	10日		金	芸大生による未来館コンサート	邦楽(長唄・長唄三味線・邦楽囃子)	女性と仕事の未来館ホール	女性と仕事の未来館
117	16日		木	第199回木曜コンサート	邦楽	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
118	18日		土	平成17年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	金管・弦	藤代南中学校	取手市教育委員会
119	18日		土	第3回穂高町西中学校・穂高東中学校音楽教室と演奏会	打楽器・木管楽器	穂高町民会館・講堂	穂高町教育委員会・両中学校
120	19日		日				
121	19日		日	板東市「芸大生による箏コンサート」	邦楽	板東市民音楽ホール	板東市文化振興事業団
122	24日	金	平成17年度邦楽鑑賞教室	邦楽	恵泉女学園グレイスホール	恵泉女学園中学・高等学校	
123	25日	土	平成18年「浅草・隅田公園・梅まつり」	邦楽	台東区立隅田公園特設会場	台東区公園緑地課	
124	26日	日					
125	3月	4日	土	平成17年度旧奏楽堂デビューコンサート	邦楽(箏曲山田流)	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団
126		5日	日	宇都宮短期大学創立100周年記念特別演奏会	声楽(ソプラノ2名)	栃木総合文化センター	宇都宮短期大学
127		9日	木	第2回日本学術振興会賞及び日本学士院学術奨励賞授賞式奏楽()	弦楽四重奏(弦楽科教員)	日本学士院	日本学術振興会

	月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催																																																																										
128	3月	9日	木	平成17年度台東区小・中学校音楽鑑賞教室 ()	管弦楽研究部	奏楽堂	台東区教育委員会																																																																										
129		10日	金					130	10日	金	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス三鷹	東京トヨペット株式会社	131	11日	土	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス三鷹	東京トヨペット株式会社	132	11日	土	レクサス雪谷	133	16日	木	第200回木曜コンサート	室内楽	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂	134	18日	土	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサ府中	東京トヨペット株式会社	135	22日	水	東京上野ロータリークラブ第20回旧奏楽堂コンサート	Pf・特別編成学生オーケストラ	旧東京音楽学校奏楽堂	東京・上野ロータリークラブ	136	24日	金	2006東京トヨペット演奏会	弦楽四重奏	足立入谷店	東京トヨペット株式会社	137	25日	土	2006東京トヨペット演奏会	弦楽四重奏	足立入谷店	東京トヨペット株式会社	138	26日	日	139	27日	月	【受託事業】豊洲プロジェクト「蒼楽」	美術学部・演奏芸術センター	ガスの科学館	東京ガス豊州開発株式会社	140	29日	水	音楽大学卒業生演奏会	声楽(Pf・Vn伴奏)・邦楽	桃華楽堂	当番校・上野学園大学	合			
130		10日	金	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス三鷹	東京トヨペット株式会社																																																																										
131		11日	土	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス三鷹	東京トヨペット株式会社																																																																										
132		11日	土			レクサス雪谷																																																																											
133		16日	木	第200回木曜コンサート	室内楽	旧東京音楽学校奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂																																																																										
134		18日	土	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサ府中	東京トヨペット株式会社																																																																										
135		22日	水	東京上野ロータリークラブ第20回旧奏楽堂コンサート	Pf・特別編成学生オーケストラ	旧東京音楽学校奏楽堂	東京・上野ロータリークラブ																																																																										
136		24日	金	2006東京トヨペット演奏会	弦楽四重奏	足立入谷店	東京トヨペット株式会社																																																																										
137		25日	土	2006東京トヨペット演奏会	弦楽四重奏	足立入谷店	東京トヨペット株式会社																																																																										
138		26日	日																																																																														
139		27日	月	【受託事業】豊洲プロジェクト「蒼楽」	美術学部・演奏芸術センター	ガスの科学館	東京ガス豊州開発株式会社																																																																										
140		29日	水	音楽大学卒業生演奏会	声楽(Pf・Vn伴奏)・邦楽	桃華楽堂	当番校・上野学園大学																																																																										
合				計		(140件)																																																																											

(注):演奏会名に「 」があるものは、教員のみで実施したもの(7件)、よって学生が参加しているものは、133件となる。

平成17年度 美術学部特別講演等について

No.	日付	企画担当学科・専攻	題目	講師氏名	講師所属等
1	5月19日(木)	先端芸術表現	もう1つの万博	イラー・カメリッチ 渡辺真也	サラエボ出身の現代美術家 スパイキーアート・キュレーター
2	6月2日(木)	油画・先端芸術表現	ベルリンダダの芸術	カーリン・オーチャード	ドイツ・シュプレングル美術館
3	6月9日(木)	油画・先端芸術表現	日本におけるダダと村山知義	マルク・ダシー 白川昌生	フランス人・美術史家 美術作家
4	6月21日()	先端芸術表現	自作品	ダニ・カラヴァン	イスラエル・美術作家
5	7月14日(木)	油画・彫刻・建築・先端芸術表現	アーティストと作るアートプロジェクト	マイケル・ガヴァン 秋元雄史	ニューヨーク・DIA館長 地中美術館長
6	9月2日(金)	先端芸術表現	Rosa! あらわになる色 ピンク	カール・シャヴェルカ	ハウハウス大学造形学部教授・学部長
7	10月3日(月)	油画・彫刻	自作の絵画論	シグマー・ボルケ	ドイツ人・美術作家
8	10月20日(木)	工芸	ヨーロッパのジュエリー史と現状	クリスティアンネ・ ウェーバー・シュト パー	ドイツ金工芸術協会理事長
9	11月2日(水)	工芸	05 ベネツィア・ピエンナーレと 増田洋美のガラス造形	増田洋美	ガラス造形作家
10	11月28日(月)	日本画・芸術学	アメリカ社会における日本美術の受容	村瀬実恵子	メトロポリタン美術館特別顧問
11	12月2日(金)	建築	吉村順三の設計手法	藤岡洋保	東京工業大学教授 (他2名)
12	12月5日(月)	先端芸術表現	芸術と社会	ミヒャエル・ヘルター	ドイツ・前芸術家会館ベタニエン館長
13	2月22日(水)	工芸	中国陶磁の伝統的技法	鄭 寧	清華大学教授

14	11月11日(金)～ 12月11日(日)	壁画	モザイクによるドロイ ング展	フェリーチェ・ニッ ロ ハリエット・バッケ ル	イタリア人美術家 ノルウェー人美術家
			海外の美術家の作品展示。 11/11には、フェリーチェ・ニットロ氏の講演会も実施した。 題目：「歴史からの解放」		

平成17年度 音楽学部特別公開講座について

No.	日時	題目	講師氏名	講師所属等
1	4月26日(火) 14:10～17:00	ドイツのオペラハウスの仕組みと実際、及びオペラ制作の過程について	岡本 和之	新国立劇場音楽ヘッドコーチ。
2	5月10日(火) 13:00～15:00	Expanded Music - 音と超越	小杉 武久	マース・カンプリム舞蹈団の音楽監督を務める一方、個人としても世界各地でコンサート活動、サウンド・インストレーションを発表している。
3	5月17日(火) 14:10～15:35	教育行政の動向と音楽科教育の課題	加藤 徹也	文部科学省教科書調査官(音楽)。
4	5月17日(火) 17:00～19:30	室内楽(ヴィオラとピアノの二重奏)特別講座	ウォルフガング・クローズ	ウィーン国立音大のヴィオラ科教授。ウィーン弦楽三重奏団メンバー。
5	5月18日(水) 18:00～20:00	ラップトップはターンテーブルの夢を見るか? - ライブ・コーディングとコード・ジョッキー	久保田 晃弘	多摩美術大学美術学部情報デザイン学科情報芸術コース教授。
6	5月25日(水) 17:30～19:30	ヤナーチェク ピアノ作品についてのレクチャーと演奏	ギルアド・ミシヨリ	ヤナーチェク全ピアノ作品CD録音等ヤナーチェクの研究の評価が高い。
7	5月31日(火) 18:00～20:00	Discussion with Ingo Günther	インゴ・ギュンター	87年「ドクメンタ」でラッドサット映像を活かした作品を発表したほか、メディアやテクノロジー、コミュニケーションネットワークに焦点をあてた作品を制作。
8	6月1日(水) 17:00～20:00 (準備時間含む)	シグスワルド・クイケン氏によるバロックヴァイオリン公開レッスン	Sigiswald Kuijken	ブリュッセルの王立音楽院教授。
9	6月6日(月) 13:00～15:30	現代のクラリネット・レパートリー	ロマン・ギュイオ	マーラーチェンバーオーケストラ団員。京都フランスアカデミー昨年度の講師。
10	6月7日(火) 13:00～14:00	音楽学のフロンティア(その4)	遠藤 徹	東京学芸大学助教授。2003年度東京芸術大学において博士(音楽学)の学位取得。2005年2月、学位論文に基づく著書『平安朝の雅楽-古楽譜による唐楽曲の楽理的研究』を刊行。
11	6月7日(火) 17:00～20:00	チューバのレパートリー研究	マルクス・タイネルト	チューバのリストとして国際的に高い評価を得、世界各地で活躍中。又、楽器の開発にも力を入れ、ドイツ・ミラフォン社の顧問も務める。
12	6月10日(金)・13日(月)・14日(火) 17:15～20:00	モーツァルト・オペラに於けるレシタティヴォの唱法(オペラ「テイトの慈悲」を中心として)	ウバルト・ガルディーニ	コヴェント・ガーデン劇場のオペラコーチ、グランドボーン音楽祭のコーチ、ロンドン歌劇場のコーチ、ザルツブルグ音楽祭のコーチを務める。また、シリアード音楽院客員講師、東京芸術大学客員教授を歴任。
13	6/15(月)、22(水)、 10/26(水)、11/2(水)、9(水) 17:15～19:15	楽器学特別講座	山嶺 茂、小島修一	(株)ヤマハ銀座アトリエ主任
14	6月20日(月) 16:30～18:30	映像と音楽のコラボレーションにおけるインターフェースについて	矢沢 朋子	これまでに新日本フィルハーモニー、東京都交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団とリストとして共演。
15	6月20日(月) 17:15～18:45	アコーディオン - その魅力と可能性 -	デビット・ファーマー	リスト、室内楽奏者として国際的な活動を展開している。2003年より日本に在住し、クラシック・アコーディオン奏者として、各地でリサイタル等開催。
16	7月1日(金) 17:00～20:00	ホルン楽曲解釈と演奏法	アレッシオ・アレグリーニ	サンア・フェチーリア・オーケストラ首席ホルン奏者。「ブラハの春」国際コンクール、ミュンヘン国際コンクール優勝。
17	9月14日(水) 17:30～19:30 11月16日(水) 18:00～20:00	19世紀のプソーニ	金澤 攝	作曲家、ピアニスト、研究家。知られざる作曲家や作品の紹介で大きな実績がある。

No.	日時	題目	講師氏名	講師所属等
18	10月13日(木) 17:15～18:45	エネスコの室内楽作品	コンテナ弦楽四重奏団	1995年ブカレスト音楽院(ルーマニア)在学中に結成された弦楽四重奏団。世界の各地で演奏活動を展開している。現在、アイルランドのゴールウェイ大学のレジデンス・カルテット。
19	10月14日(金) 17:00～20:00	リチャード・シュトラウス、ホルン協奏曲第2番を掘り下げる	エサ・タパニ	フィンランド放送交響楽団首席ホルン奏者。国際ホルン協会理事(副会長)。
20	10月19日(水) 17:30～20:00	フィンランドのトランペット事情及び演奏法について	ヨウコ・ハルヤンネ	フィンランド放送交響楽団首席トランペット奏者及び国立シベリウス・アカデミー教授。
21	10月21日(金) 14:15～17:00	ヴァイオリン公開講座	パヴェル・ヴェルニコフ	20年間、チャイコフスキー・トリオの一員として活動。イタリアにおいて、ロシア・アカデミー創立。2003年よりウィーン国立音楽大学教授。
22	10月24日(月) 9:00～10:25	音楽の身体科学～身体感覚とソルフェージュ～	渡會 公治	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻、生命環境科学系運動適応科学大講座助教授。
23	10月25日(火) 15:00～17:00	韓国におけるオーケストラの現状、また、その歴史と展望	鄭致溶	韓国芸術総合学校音楽院指揮科教授。
24	10月25日(火) 17:30～19:30	ロベルト・ホル(バス・バリトン) ドイツリート その解釈と演奏法	ロベルト・ホル	リート歌手、歌曲作曲家。ウィーン国立音楽大学リート科教授。
25	10月25日(火) 17:30～19:30	近代フランスのピアノ作品	パスカル・ロジェ	国際的に活躍しているピアニスト。
26	10月26日(水) 14:30～17:00	サキソフォンと云う楽器の方向性 林・板橋Duo	林 栄一 板橋 文夫	林栄一は山下洋輔と、板橋文夫は自己楽団Mix Dynamite にて演奏活動を行っていたが、ここ数年Duoを組み、新しい音、新しい領域を開拓している。
27	11月16日(水) 17:15～18:45	舞台人として生きる	黒柳徹子	女優。ユニセフ親善大使。
28	11月18日(金) 13:00～16:00	ダグラス・ロス - 近作を語る -	ダグラス・ロス	昨年度の音楽環境創造科客員アーティスト
29	11月21日(月) 16:00～19:00	20世紀フルート音楽	エマニュエル・パユ	・神戸国際フルートコンクール優勝 ・ジュネーヴ国際コンクール優勝 ・ベルリンフィル首席フルート奏者
30	11月22日(火) 13:00～14:00	音楽学のフロンティア(その5)「沖縄音楽の構造-歌詞のリズムと楽式の理論」	金城 厚	沖縄県立芸術大学音楽学部教授。2003年度東京芸術大学において博士(音楽学)の学位取得。2004年3月、学位論文に基づく著書『沖縄音楽の構造 - 歌詞のリズムと楽式の理論』を刊行。
31	11月22日(火) 17:30～20:00	ウイグルの古典音楽 - ドーランムカーム演奏団を迎えて -	ドーランムカーム演奏団	中国・新疆ウイグル自治区に伝承される古典音楽ムカームのうち、古い様式とされるドーラン地方の様式を伝える10名の音楽家により構成される。うち数名は新疆芸術学院の教授。
32	11月25日(金) 17:30～19:30	歌声の音響学 - - - 歌声が作られる仕組み	榊原 健一	日本電信電話株式会社、NTTコミュニケーション科学基礎研究所研究主任。
33	11月29日(火) 15:00～17:30	オーボエのレパートリー	Gernot Schmalfuß(ゲルノット・シュマルフス)	バンベルクSymph. ミュンヘンPhil.等を経て、現在、ドイツDetmoldのOb教授。Solo、室内楽、各国音楽祭で活躍。
34	11月29日(火) 17:00～20:00	ヴァイオリン演奏法	ギュンター ピヒラー	世界的な弦楽四重奏団の一つであるアルパンベルグクワルテットの第1ヴァイオリニスト。
35	11月30日(水) 15:00～17:00	吹奏楽のオリジナル曲と名曲	G. シュマルフス	デットモルト音楽院卒。ミュンヘンフィルのソロ・オーボエ奏者をつとめ、現在、デットモルト音大教授。

No.	日時	題目	講師氏名	講師所属等
36	12月2日(金) 17:15～18:45	ホーランド音楽の過去と現在。 現代音楽作曲家の任務と課題	クシトフ・メイエル	ホーランドを代表する作曲家・音楽評論家。これまで各種の国際コンクール(作曲)で多数の賞を受賞。ホーランドで初のシオスコヴィツァ論を出版。ケルン音楽大学教授。
37	12月12日(月) ・13日(火) 17:30～20:00	オペラ演出とは。オペラ演技の基本となるもの	栗山 昌良	日本を代表するオペラ演出家。
38	12月12日(月) 17:30～19:30	バロック音楽における打楽器奏法	ロバート・ハウス	英国王立スコットランド音楽院客員教授。英国王立音楽院アソシエイト(ARAM)。
39	1月17日(火) 13:00～14:00	音楽学とソルフェージュ	東川 清一	東京学芸大学教授、東海大学教授を経て、現在、東京学芸大学名誉教授。
40	1月19日(木) 17:30～19:30	みみをすます - 詩と音楽	谷川 俊太郎	詩のほかに劇作、映画台本、絵本などに幅広く活躍。
41	2月7日(火) 16:00～19:00	マリンバのための作品とその奏法について	カタルチナ ミチカ	International Katarzyna Mycka Marimba Academyの創設者。
42	2月8日(水) 17:30～19:30	エヴァ・ブラホーヴァ - チェコ語・ロシア語・他による歌曲とオペラリアその発音法と演奏法 -	エヴァ・ブラホーヴァ	ブラティスラヴァ音楽大学、ブラハモーツァルトアカデミーで教授を務めるほかウィーン・ミュージックセミナー、モントリオール、オランダなど世界各地でマスタークラスを度々行っている。
43	2月20日(月) 13:00～16:00	リコーダー奏法について	ダン・ラウリン	今日ももっとも卓越したリコーダー奏者の一人。現在、ブレメン音楽アカデミー教授、オランダ音楽院教授、ストックホルム王立音楽アカデミー、ロイヤルカレッジで教鞭をとっている。

平成17年度 東京芸術大学奨学金等 受賞者一覧

No	奨学金等名	沿革	所属		人数	計
			学部・研究科	学科・専攻		
1	安宅賞	故安宅英一氏(元安宅産業(株)会長。美術品収集家。安宅コレクションの基礎を築く。音楽愛好家)により設立。	美術	日本画	2	19
			美術	油画	3	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	6	
			美術	デザイン	2	
			美術	建築	1	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	芸術学	1	
			美術	造形学	1	
			美術	文化財保存学	1	
			音楽	作曲	1	11
			音楽	声楽	1	
			音楽	器楽	6	
			音楽	指揮	1	
			音楽	楽理	1	
			音楽	音楽環境創造	1	
2	平山郁夫奨学金	平山郁夫氏の寄附により本奨学金が設立(平1)された。	美術	日本画	1	10
			美術	油画	1	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	1	
			美術	デザイン	1	
			美術	建築	1	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	芸術学	1	
			美術	造形学	1	
			美術	文化財保存学	1	
3	〇氏記念賞	故大橋嘉一氏(大橋化学工業(株)会長)が設立(昭28)した「大橋賞」を母体として、氏の没後その功績を称え改称設立。	美術	油画	6	6
4	俵奨学金	俵正市氏(俵美術館(芦屋市)理事長)の寄附により設立。	美術	油画(版画)	1	1
5	久米桂一郎奨学基金	故久米桂一郎氏(元本学西洋画科教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により「久米美術館」(品川区)と共に本賞を設立。	美術	油画・彫刻	4	4
6	内藤春治奨学基金	故内藤春治氏(元本学工芸科(鍍金)教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	美術	工芸(鍍金)	3	3
7	原田賞奨学基金	本学工芸科(染織)3年に在学中、不慮の事故により夭折した故原田寛子氏を悼みご遺族により設立。	美術	工芸	13	13
8	伊藤廣利奨学金	故伊藤廣利氏(元本学美術教育教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	美術	工芸	1	2
			美術	美術教育	1	
9	藤野奨学金	藤野宗次郎氏(藤野金属(株)会長。日本銅センター会員。美術愛好家)の寄附により設立。	美術	工芸(鍛金)	1	2
			美術	美術教育	1	
10	吉田五十八奨学基金	故吉田五十八氏(元本学建築科教授)の寄附により設立。	美術	建築	2	2
11	長谷川良夫奨学基金	故長谷川良夫氏(元本学作曲科教授。イタリヤ賞受賞)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	本年度該当者なし		0
12	松田トシ賞	松田トシ氏(声楽家。本学前身、東京音楽学校卒。NHK『うたのおばさん』等)の寄附により設立。	音楽	声楽	2	2

No	奨学金等名	沿革	所属		人数	計
			学部・研究科	学科・専攻		
13	クロイツァー記念音楽賞	故レオニード・クロイツァー氏(ロシア生れ、元本学器楽科(ピアノ)教授)の功績を記念して、氏の子弟達の寄附により設立。	音楽	器楽(ピアノ)	1	1
14	浄観賞	故二世稀音家浄観氏(本名、杉本金太郎。元本学長唄三味線教授。芸術院会員。文化勲章受賞)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	邦楽	2	2
15	宮城賞	故宮城道雄氏(元本学箏曲教授。芸術院会員。第1回NHK放送文化賞受賞)の業績を記念して、箏曲演奏家の育成を目的に、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	邦楽	1	1
16	常英賞	常磐津文字衛氏(本名、鈴木英二。元本学常磐津三味線客員教授。重要無形文化財保持者)の寄附により設立。	音楽	邦楽	2	2
17	野村賞	野村証券(株)の基金拠出により、国際社会における真の相互理解の実現のために、音楽・美術分野における人材育成活動及び国際交流活動に対する助成を目的に設立。	美術	彫刻	1	3
			美術	工芸	1	
			美術	文化財保存学	1	
18	高橋芸友会賞	本学公開講座(美術学部)修了者の有志団体である「特定非営利活動法人上野芸友倶楽部」の寄附により設立。	美術	油画	5	5
19	伊達メモリアル基金(アドリアネ・ムジカ賞)	故伊達純氏(元本学器楽科(ピアノ)教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	器楽(ピアノ)	2	2
20	ユー国際文化交流支援基金	小葉将夫氏(株)丸正代表取締役社長の寄附により設立。	美術	壁画	1	2
			音楽	音楽文芸	1	
21	菅原安男奨学基金	故菅原安男氏(元本学彫刻科教授)のご遺族の寄附により設立。	美術	彫刻	1	1
22	セプテーニ奨学基金	七村 守氏(株)セプテーニ代表取締役会長の寄附により、若い優秀な芸術家育成の支援を目的に設立。	美術	油画(版画)	2	2
23	卒業・修了作品買上	当初は、学生が少ないこともあり、卒業生ほとんど全員の作品を買い上げていたが、戦争等、時代の推移の中で、半数買上や買上中断などを経て、現在は、「優秀作品」を買い上げている。また、昭和52年からは、「作曲作品」も買い上げるようになった。(現在は、「大学美術館所蔵品」総数約45,000点のうち、「買上作品」は、約3,300点になっている) また、「自画像」作品の買上は、明治31年に始まり、現在は、4,200点以上となっている。	美術	日本画	1	11
			美術	油画	1	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	1	
			美術	デザイン	2	
			美術	建築	2	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	造形学	1	
美術	文化財保存学	1				
24	サロン・ド・プランタン賞	当時、ベルギー国代理大使・総領事であったシュバリエ氏の夫人を中心とする外交官夫人などの美術愛好家グループが若い芸術家支援を目的にパリの「サロン・ドートンヌ」にならって設立。その後、(財)西欧学芸研究所が引き継ぎ、現在は、本学が運営している。	美術	日本画	1	17
			美術	油画	1	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	5	
			美術	デザイン	2	
			美術	建築	3	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	造形学	1	
			美術	文化財保存学	2	

No	奨学金等名	沿革	所属		人数	計
			学部・研究科	学科・専攻		
25	芸大デザイン賞	故小池岩太郎氏、故高田正二郎氏(両氏とも元本学デザイン科教授)により設立され、その後、寿美田与市氏(元本学デザイン科教授)及び小池岩太郎氏ご遺族小池タカ氏から寄附受入。	美術	デザイン	4	4
26	アカンス音楽賞	成績優秀を得て音楽学部を卒業する者を顕彰する目的に設立。	音楽	作曲	2	23
			音楽	声楽	6	
			音楽	器楽	5	
			音楽	指揮	1	
			音楽	邦楽	3	
			音楽	楽理	4	
			音楽	音楽環境創造	2	
受賞者合計						151

No.1～22は、東京芸術大学奨学金制度によるもの

(参考:台東区長賞等)

台東区長賞	美術2名
取手市長賞	美術2名
杜賞	美術5名

東京芸術大学 国際交流協定校一覧

大学/機関	国/地域	締結年月日	対象学部
中央美術学院	中国	平成元年 4月 1日	美術学部
ミュンヘン音楽演劇大学	ドイツ	平成元年 7月31日	音楽学部
シュトゥットガルト芸術大学	ドイツ	平成元年 7月31日	音楽学部
ソウル大学校美術大学	韓国	平成元年12月 7日	美術学部
シベリウス音楽大学	フィンランド	平成 4年12月10日	音楽学部
中央音楽学院	中国	平成 5年 4月 1日	音楽学部
ウィーン音楽演劇大学	オーストリア	平成 8年 5月27日	音楽学部
パリ国立高等音楽舞踊院	フランス	平成 9年11月10日	音楽学部
英国王立音楽院	イギリス	平成10年 5月18日	音楽学部
清華大学美術学院	中国	平成12年11月 7日	美術学部
王立メルボルン工科大学 (美術学部とデザイン&コミュニケーション学部との協定締結)	オーストラリア	平成13年 1月31日	美術学部
ソウル大学校音楽大学	韓国	平成13年 4月24日	音楽学部
王立北部音楽院	イギリス	平成13年10月12日	音楽学部
ユニバーシティ・カレッジ・フォー・ザ・クリエイティブ・アーツ (旧サリー芸術&デザイン研究大学)	イギリス	平成14年 5月13日	美術学部
スミソニアン研究所フリーア美術館、サックラー美術館	アメリカ	平成14年 7月30日	美術学部・美術館
アナドル大学	トルコ	平成14年12月20日	美術学部
ワイマール・パウハウス大学	ドイツ	平成15年12月18日	美術学部
ウズベキスタン国立音楽院	ウズベキスタン	平成16年 5月 5日	音楽学部
リヒテンシュタイン国立大学	リヒテンシュタイン	平成16年 6月30日	美術学部
シカゴ美術館附属美術大学	アメリカ	平成16年 9月17日	美術学部
上海音楽学院	中国	平成16年12月16日	音楽学部
ハレ・ブルグ・ギービエンシュタイン芸術大学	ドイツ	平成17年 1月10日	美術学部
シュトゥットガルト美術大学	ドイツ	平成17年 1月12日	美術学部
シドニー大学	オーストラリア	平成17年 5月 3日	美術学部
国立台南芸術大学	台湾	平成17年 6月16日	美術学部
中国美術学院	中国	平成17年 7月28日	美術学部
ミマール・シナン美術大学	トルコ	平成17年10月10日	美術学部
新疆芸術学院	中国	平成17年11月24日	美術学部・音楽学部
韓国芸術総合学校	韓国	平成17年12月6日	美術学部・音楽学部
大邱大学校	韓国	平成18年3月7日	美術学部

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
展覧会関係記事				
1	2005年4月1日	仏教壁画の再現で 旅の夢一気に	読売夕刊	修了作品展に出品されたバーミヤン遺跡西大仏天井壁画再現模写について
2	2005年4月9日	厳島神社国宝展にPRコーナー設置 宮島観光協会	読売朝刊	開催中の同展に宮島観光協会のPRコーナーが設置された
3	2005年4月25日	「平家納経」に見る信仰心	読売夕刊	「厳島神社国宝展」によせて 宮尾登美子氏
4	2005年6月18日	植物画至宝展	東京夕刊	展覧会紹介記事
5	2005年7月8日	パブルが呼んだ美、今に	朝日夕刊	カウエンホールンのチューリップの作品を紹介。(植物画世界の至宝展)
6	2005年6月21日	500年の体系 植物画世界の至宝展	新美術新聞(月3回発行)	大学美術館で開催の「500年の体系 植物画世界の至宝展」についての熊澤弘助手による解説記事
7	2005年8月27日	日独交流示す二つの展覧会	東京朝刊	「日本におけるドイツ年」にあたり陳列間で開催される2つの展覧会(D/J Brand展、Rosa展)の紹介。渡辺好明助教授。
8	2005年9月13日	独に学んだ芸術家の「理」	朝日夕刊	「D/J Brand」展「Rosa!」展の紹介。
9	2005年9月21日	H I K O x G E I D A I	新美術新聞(月3回発行)	ヒコ・みづのジュエリーカレッジとの合同展の紹介
10	2005年9月22日	非公開の仏像・絵巻を一同に	朝日朝刊	台東区のたからもの展の紹介
11	2005年10月4日	歴史の深さや伝統、文化に触れて	毎日朝刊	台東区のたからもの展の紹介、文化財など70点公開。
12	2005年10月5日	台東区の神社仏閣所蔵文化財一堂に	読売朝刊	台東区のたからもの展の紹介、文化財など70点公開。
13	2005年10月11日	台東区のたからもの	東京夕刊	台東区のたからもの展の紹介
14	2005年10月11日	堀越保二・手塚登久夫展	新美術新聞(月3回発行)	堀越・手塚両教授の退任記念展の紹介
15	2005年10月31日	吉村順三建築展	産経朝刊	展覧会紹介記事
16	2005年11月28日	個人住宅つくる喜び 吉村順三建築展	日経朝刊	展示内容の紹介。建築科創設100年の記念展でもある。
17	2005年12月1日	生活見据えた建築家	朝日夕刊	軽井沢の山荘等の代表作のほか、展示内容の紹介。(吉村順三建築展)
18	2005年12月2日	吉村順三と前川國男の近代建築展「戦後社会の健全さ」表現	朝日夕刊	2人の建築家の回顧展とその作品の共通点等を紹介。(吉村順三建築展)
19	2005年12月7日	吉村順三建築展 魅力伝わる空間演出	朝日朝刊	展覧会の紹介。工夫にとんだ会場づくりがされている。
20	2005年12月1日	吉村順三建築展	新美術新聞(月3回発行)	展覧会紹介記事
21	2005年12月22日	平櫛田中の旧邸 木彫継承18人展覧会	朝日朝刊	「アトリエの末裔あるいは未来」展の紹介
22	2006年1月11日	アトリエの末裔あるいは未来	毎日夕刊	展覧会紹介記事
23	2006年1月1・11日	スキノデリック - 彫刻の表層 - 展	新美術新聞(月3回発行)	大学美術館で開催の「スキノデリック - 彫刻の表層 - 展」についての北郷悟助教授による解説記事
24	2006年1月17日	ナビゲータ「彫刻の現在」多様な顔	朝日夕刊	「スキノデリック展」と「アトリエの末裔あるいは未来展」の紹介
25	2006年1月6日	世界遺産からのSOS展	毎日朝刊	危機にひんしたアジア各地の世界遺産の写真、映像などを紹介。大学美術館で開催。
26	2006年1月9日	写真・映像展「世界遺産からのSOS - アジア危機遺産からのメッセージ」	毎日朝刊	”
27	2006年1月14日	「世界遺産からのSOS展」開幕	毎日朝刊	展覧会紹介記事
28	2006年1月25日	写真・映像展「世界遺産からのSOS - アジア危機遺産からのメッセージ」	産経朝刊	展覧会紹介記事

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
29	2006年1月27日	「世界遺産からのSOS展」に紀子様	毎日夕刊	秋篠宮妃紀子様が同展を視察された。
30	2006年2月7日	「世界遺産展」募金総額は43万円	毎日朝刊	同展で、来場者から寄せられたお金は、日本ユネスコ協会連盟を通じ、遺産保護のために使われる。
31	2006年1月13日	脅かされる人類の宝	毎日朝刊	写真・映像展「世界遺産からのSOS～アジア危機遺産からのメッセージ」の紹介。
32	2006年3月1日	全ての宗教のための小さな寺	毎日朝刊	ノルウェー工科大学の学生らが来日し、美術学部の学生とワークショップを行った。
33	2006年3月21日	エルンスト・バルラ八展	新美術新聞(月3回発行)	エルンスト・バルラ八展の紹介
34	2006年3月21日	平成17年度東京藝術大学卒業・修了作品展	新美術新聞(月3回発行)	「各地の展覧会から」として2/22～26に開催された本学の卒業・修了作品展の展示作品を紹介
演奏会関係記事				
35	2005年4月19日	「鷗外とオペラ」レクチャーコン	毎日朝刊	東京国立博物館主催の「森鷗外のオペラへの憧れ」(瀧井敬子助手、大学院生協力)の紹介
36	2005年7月23日	” 幻の鷗外訳オペラ ” 上演へ	東京朝刊	本学演奏芸術センターで行うオペラ公演の紹介
37	2005年8月23日	森鷗外のオペラ初上演	読売夕刊	森鷗外訳詞の「オルフェウス」が初上演。
38	2005年9月28日	森鷗外の翻訳オペラに高評価 訳語上演への見方変えるか?	読売夕刊	森鷗外文語訳による「オルフェウス」公演を紹介。
39	2005年10月4日	東西の音大が日本語オペラ競演	日経朝刊	森鷗外文語訳による「オルフェウス」公演を紹介。
40	11月号	幻の鷗外訳オペラ	文芸春秋	森鷗外文語訳による「オルフェウス」についての記事
41	2005 秋号	東京芸術大学演奏芸術センター グルッグ《オルフェウス》	グランドオペラ	森鷗外文語訳による「オルフェウス」についての記事
42	11月号	字幕を堪能する	チケットクラシック	森鷗外文語訳による「オルフェウス」についての記事
43	2005年7月6日	ラヴェル・プロジェクト	赤旗	ラヴェル・プロジェクト第6回で行われたオペラの紹介
44	8月号	東京芸大「ラヴェル・プロジェクト」	音楽の友	ラヴェル・プロジェクトの紹介
45	2005/8/4号	刺激的プログラムが目白押し 開かれた“ 藝大 ” を体験したい	Weeklyぴあ	演奏芸術センターの紹介
46	2005年11月29日	3日に「ドイツリートの夕べ」	毎日夕刊	コンラート・リヒター客員教授が企画。奏楽堂。
47	2005年10月8日	第55回芸大メサイア演奏会	朝日朝刊	芸大メサイアの広報記事
48	2005年12月23日	芸大メサイア公演	朝日朝刊	芸大メサイアの紹介
社会連携関係記事				
49	2005年4月22日	「老化」木材で文化財を修復 東芸大・京大	朝日夕刊	木材を人工的に老化させ、文化財の保存や修復に役立つ試みが始まっている。
50	2005年5月24日	大学の社会人向け講座 得意分野で特色	日経朝刊	公開講座の紹介
51	2005年8月7日	マドラー作りに親子21組が挑戦	東京朝刊	親子で順銀製のマドラー作りに挑戦する「匠に学ぶ ワークショップ」が開かれた。
52	2005年6月7日	九州で聴く一流	読売夕刊	別府アルゲリッチ音楽祭の紹介(本学学生オーケストラ出演)
53	2005年6月8日	TAPサテライトギャラリーオープン	茨城朝刊	取手アートプロジェクトの市民への活動周知のため、取手駅東口のビルにオープン。
54	2005年9月4日	巨大壁画は美に ” 高架 ”	東京(茨城)	取手市新町の国道6号高架下橋脚に市と市民、芸大の「壁画によるまちづくり実行委員会」がボランティアの協力で壁画を描いた。
55	2005年9月4日	高架下彩る空と水と緑	朝日(茨城)	
56	2005年9月4日	巨大壁画が完成	常陽新聞	

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
57	2005年10月19日	町を舞台にアート展	東京朝刊	「サスティナブル・アートプロジェクト2005『言の伝え』-町も人を見つめる-」の紹介。
58	2005年9月9日	神輿、街を練り歩き	東京朝刊	上野商店街連合会の協賛で、学生制作の神輿が街に練り出す。
59	2005年12月16日	地域と交流街づくり	東京朝刊	早大と芸大生らが連携し展覧会「ちずあと ワセダ・ゲータイ図法」を開催。
60	2005年12月22日	芸大生と師弟共演	読売朝刊	台東区立御徒町東中学と本学との合同演奏会紹介
61	2006年1月31日	台東区 ネットに仮想美術館	毎日朝刊	台東区ホームページ内に「台東区ヴァーチャル美術館」が開設。芸大卒業制作から選ばれる「区長賞」により寄贈された作品を掲載。
62	2005年11月10日	平山学長らの作品販売	東京朝刊	藝大アートプラザを構内にオープンした。
63	2005年11月10日	窓	日経朝刊	藝大アートプラザを構内にオープンした。
64	2005年12月11日	「藝大アートプラザ」オープン	新美術新聞(月3回発行)	藝大アートプラザオープンの概要と商品の紹介。
65	2005年12月8日	下町に響くクラシック	毎日夕刊	葛飾フィルハーモニーと本学澤和樹教授の連携
66	2005年12月9日	黒衣の教授舞台へ	朝日朝刊	葛飾フィルハーモニーと本学澤和樹教授らの連携
67	2005年12月11日	東京芸大日本画科で完成 「源氏物語絵巻」模写の披露式	新美術新聞(月3回発行)	徳川美術館に現状模写贈呈。
68	2005年10月27日	足立「柳原音楽祭」手探り運営13年	朝日朝刊	今年は芸大学生オーケストラが出演する。
69	2005年11月4日	サンダル履きでオケ堪能	朝日朝刊	足立区の柳原音楽祭に学生オーケストラが出演。
70	2006年1月28日	芸大の講師、音楽の特別授業	朝日朝刊	足立区千住1丁目に移転する音楽環境創造科の講師が、地元の小学生がメンバーの足立ジュニア吹奏楽団にソルフェージュの授業を3回行う。
71	2006年3月23日	千住を「芸術と起業」の街に	日経朝刊	足立区の再生計画の紹介。本学千住キャンパスについても紹介。
学生・卒業生関係記事				
72	2005年4月27日	新人演奏会 気鋭の96人競演	読売朝刊	全国の音楽大学・短大の優秀卒業者による演奏会の紹介
73	2005年5月3日	第75回新人演奏会	読売朝刊	全国の音楽大学・短大の優秀卒業者による演奏会の紹介
74	2005年4月30日	芸大生、名手と一緒に「邦楽叙事詩・スサノヲ」	東京夕刊	学生、大学院生らとともに能楽、箏曲、尺八、舞踊の第一人者らが出演。
75	2005年5月16日	音大生たち夢のコンサート	毎日夕刊	学生公募による企画コンサートの紹介(本学学生による「邦楽極楽」)
76	2005年6月6日	飯塚音楽コンクール2部門入賞者決まる	朝日朝刊	ピアノ部門：大賞を本学大学院1年が受賞
77	2005年6月7日	芸大卒業生ら きょうコンサート	産経朝刊	藤舎流の秘曲現代風に披露
78	2005年8月30日	音コン声楽6人が本選へ	毎日朝刊	日本音楽コンクールの予選結果。本学大学院生3名、卒業生1名が本選出場
79	2005年9月1日	7人が本選へ 音コン作曲部門	毎日朝刊	日本音楽コンクールの予選結果。本学学部学生2名、大学院生1名、修了生1名が本選出場
80	2005年9月9日	学生音コン・ピアノ本選へ15人	毎日朝刊	全日本学生音楽コンクールの予選結果。本学附属高校生3名が本選出場。
81	2005年9月10日	学生音コン・フルート本選へ26人	毎日朝刊	全日本学生音楽コンクールの予選結果。本学附属高校生6名が本選出場。
82	2005年9月11日	音コン・ピアノ部門4人が本選へ	毎日朝刊	日本音楽コンクールの予選結果。本学学生1名が本選出場。
83	2005年9月16日	声楽部門大学・一般の部19人本選へ	毎日朝刊	全日本学生音楽コンクールの予選結果。本学卒業生1名が本選出場。
84	2005年9月24日	学生音コン・高校バイオリン本選へ13人	毎日朝刊	全日本学生音楽コンクールの予選結果。本学附属高校生4名が本選出場。

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
85	2005年9月26日	音コン ホルン部門は6人本選へ	毎日朝刊	日本音楽コンクールの予選結果。本学学生2名が本選出場。
86	2005年10月11日	日本音楽コンクール本選特集	毎日朝刊	本選出場者中 バイオリン1人、声楽5人、ホルン2人、チェロ1人、作曲4人、ピアノ1人が本学学生又は卒業生。
87	2005年10月18日	音コン作曲部門本選会	毎日朝刊	日本音楽コンクールの本選結果。本学卒業生が1位
88	2005年10月19日	音コンホルン本選会	毎日朝刊	日本音楽コンクールの本選結果。本学学生3位
89	2005年10月20日	音コン声楽部門	毎日朝刊	日本音楽コンクールの本選結果。本学大学院生が1位、2位、3位
90	2005年10月21日	音コン声楽部門1位	毎日朝刊	日本音楽コンクール関連記事。声楽部門1位の本学大学院生の談話。
91	2005年11月7日	学生音コン東京大会	毎日朝刊	全日本学生音楽コンクールの本選結果。本学附属高校生バイオリン部門3位。同奨励賞。2名がピアノ部門奨励賞。
92	2005年11月15日	一位の横顔	毎日夕刊	日本音楽コンクール作曲部門で1位になった本学卒業生の紹介
93	2005年12月7日	一位の横顔	毎日夕刊	日本音楽コンクールホルン部門で1位になった本学卒業生の紹介
94	2005年12月14日	一位の横顔	毎日夕刊	日本音楽コンクール声楽部門で1位になった本学大学院生の紹介
95	2006年2月15日	輝く才能晴れ舞台	毎日朝刊	第74回日本音楽コンクールの受賞者発表音楽会に関する記事
96	2006年2月1日	青山音楽賞決まる 新人奨励賞を新設	音楽舞踊新聞(月3回発行)	本学学部4年生が新人奨励賞を受賞
97	2005年9月28日	音色やわらか 木造ホール	読売夕刊	旧奏楽堂を紹介。本学学生による演奏についても。
98	2005年6月25日	コンサートを聴きにいこう	毎日夕刊	旧奏楽堂で行われている日曜コンサート、木曜コンサートの紹介
99	2006年3月12日	「木曜コンサート」200回に	毎日朝刊	旧奏楽堂で芸大院生らが演奏。
100	2006年3月15日	東京芸大生「木曜コンサート」	朝日朝刊	1988年から続く、木曜コンサートが、16日の講演で200回を迎える。
101	2005年11月22日	管打楽器コンクール 林田さんら1位	朝日朝刊	日本管打楽器コンクールの結果。本学大学院生がサクソフォーン1位。学部学生がオーボエ1位。
102	2006年3月30日	紀子さま公務に	毎日朝刊	東京芸術大学など五つの音大卒業生による演奏会が皇居で開かれた。
103	2005年4月1日	フェイス21世紀(74)	新美術新聞(月3回発行)	本学大学院修了生である彫刻家を紹介
104	2005年9月11日	彫刻展	新美術新聞(月3回発行)	本学大学院修了生である彫刻家の展覧会を紹介
105	2005年5月1・11日	フェイス21世紀(75)	新美術新聞(月3回発行)	本学大学院修了生である日本画家を紹介
106	2005年6月1日	フェイス21世紀(76)	新美術新聞(月3回発行)	本学博士後期課程在学中の日本画家を紹介
107	2005年7月1日	フェイス21世紀(77)	新美術新聞(月3回発行)	本学博士後期課程在学中の日本画家を紹介
108	2005年7月30日	新・職人列伝	日経夕刊	本学大学院修了生である外国人日本画家を紹介
109	2005年8月1・11日	フェイス21世紀(78)	新美術新聞(月3回発行)	本学大学院修了生である日本画家を紹介
110	2005年9月8日	存在感あるはかなさ	毎日夕刊	期待の新鋭として本学大学院修了生である彫刻家を紹介
111	2005年9月14日	美や美術は痛みをともなうもの	朝日夕刊	本学大学院修了生である美術家の個展を紹介
112	2005年11月13日	スタイルの職人	産経朝刊	本学卒業生であるアーティストの作品紹介
113	2005年12月8日	すてき私流	読売夕刊	本学大学院生である日本画家の紹介
114	2005年12月1日	フェイス21世紀(82)	新美術新聞(月3回発行)	本学博士後期課程在学中の日本画家を紹介

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
115	2005年4月11日	定期200回目、来年創立50周年 東京混声合唱団、フランスの重鎮招き公演	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	同合唱団は1956年東京芸術大学音楽科の卒業生により創設、コンサート開催を活動の中心に、幅広い分野の合唱作品の開拓と普及に取り組む
116	2005年4月11日	～10年間ヨーロッパで研鑽 集大成として日本で初のリサイタル～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるソプラノ歌手を紹介
117	2005年5月21日	バッハのオルガン曲全曲演奏	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるオルガニストがバッハのオルガン作品全曲演奏に挑んでいる。
118	2005年6月1日	～ショパンのコンクール最高位やドイツでの ショパン協会賞受賞など～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学卒業生であるピアニストを紹介
119	2005年7月11日	～デビュー20周年記念リサイタル～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるフルート奏者を紹介
120	2005年8月11日	～イタリアを拠点に活動 テミルカーノフと も共演も～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学卒業生であるピアニストを紹介
121	2005年9月21日	～パリ国際声楽コン・仏歌曲部門 日本人初のグランプリなど～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるソプラノ歌手を紹介
122	2005年10月1日	～戦いの犠牲となった全ての人々へのレクイエム～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるテノール歌手を紹介
123	2005年11月1日	～デュオで国際コン2位 ドイツの音大で研鑽も～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるピアニストを紹介
124	2005年12月1日	～ドイツに学び活動、今年2月帰国 演連コンサート176～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学卒業生であるクラリネット奏者を紹介
125	2005年12月11日	～フォーレの「舟歌」やルーセル、メシアン の作品から	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学卒業生であるピアニストを紹介
126	2006年1月1・11日号	～プラハで東洋人初の「椿姫」主役 フランスの様々な時代を歌う～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学大学院修了生であるソプラノ歌手を紹介
127	2006年3月1日	～バッハの時代のヴェルクマイスター音律で 弾く近・現代～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学卒業生であるピアニストを紹介
128	2006年3月11日	～生誕百年のショスタコーヴィチ 「24の前奏曲とフーガ」全曲演奏～	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	本学卒業生であるピアニストを紹介
教員・名誉教授等関係記事				
129	2005年11月2日	秋の褒章 827人に	朝日朝刊(各紙 同様の記事有り)	山本正道教授受章
130	2006年3月25日	芸術院賞 辻井喬さんら10人	読売朝刊	野村四郎名誉教授(邦楽)が受賞
131	2005年5月3日	現代画家・デッサンシリーズ平山郁夫展	朝日朝刊	展覧会紹介記事
132	2005年5月4日	人こと	朝日朝刊	展覧会関連記事
133	2005年5月23日	学校と私	毎日朝刊	本学学長による手記
134	2005年7月8日	もう動物では間に合わない	毎日夕刊	平山学長の手記
135	2005年5月17日	ユネスコメダルに湯川博士	日経夕刊他	湯川博士日本人初のユネスコメダルに(デザイン平山学長)
136	2005年8月4日	平山郁夫さん「広島生変図」	産経朝刊	原爆記念日関連記事
137	2005年8月6日	文化を通じ世界平和を	山陽新聞	平山学長の手記
138	2005年12月22日	「日韓文化交流フォーラム」結成	朝日朝刊	平山前学長のインタビュー
139	2006年2月20日	こころの玉手箱	日経夕刊	平山前学長に関する記事
140	2005年7月22日	東京芸大次期学長に宮田氏	読売朝刊	12月20日に任期満了を迎える平山郁夫学長の後任に宮田亮平理事を選出したと発表。
141	2005年7月22日	学長に宮田亮平氏	新潟日報	12月21日に任期満了を迎える平山郁夫学長の後任に宮田亮平理事を選出したと発表。
142	2005年10月1日	人	徳島新聞	次期学長の紹介。
143	2005年10月5日	この人	東京朝刊	次期学長の紹介。

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
144	2005年9月21日	垣根超えていく芸術を	新美術新聞（月3回発行）	次期学長の紹介。
145	2006年1月10日	東京芸大新学長 宮田亮平氏に聞く	新潟日報	インタビュー。大学運営の抱負や課題。
146	2006年2月20日	学校と私	毎日朝刊	学長インタビュー。
147	2005年4月1日	絹谷幸二展	新美術新聞（月3回発行）	絹谷教授の新作展の紹介
148	2005年4月21日	戴内佐斗司の小宇宙展	新美術新聞（月3回発行）	戴内教授の展覧会の紹介
149	2005年6月1日	野田哲也	新美術新聞（月3回発行）	野田教授のインタビュー
150	2005年6月1日	手塚雄二展	新美術新聞（月3回発行）	手塚教授の展覧会の紹介
151	2005年7月11日	9つの音色展	新美術新聞（月3回発行）	宮田教授、三田村教授参加の展覧会紹介
152	2005年9月1日	「9つの音色 芸術の対話 中国 韓国そして日本」の出版記念パーティが開催	新美術新聞（月3回発行）	宮田教授、三田村教授参加の展覧会に関する書籍の出版について
153	2005年10月11日	「漆とジャパン 美の謎を追う」	新美術新聞（月3回発行）	三田村教授の書籍出版について
154	2005年4月6日	国語教科書に書き下ろし	朝日夕刊	中学校用国語教科書に著名人の書き下ろしの文章が採用されていることについて（本学日比野克彦助教授）
155	2005年6月8日	みんなの癒集め段ボール作品	茨城朝刊	日比野克彦助教授の制作活動紹介
156	2005年9月1日	日比野克彦の一人万博	新美術新聞（月3回発行）	日比野助教授の展覧会紹介
157	2005年8月13日	日比野克彦の一人万博	日経朝刊	日比野助教授の展覧会紹介
158	2005年8月31日	おおらかに一人万博	朝日朝刊	日比野助教授の展覧会紹介
159	2006年3月7日	日比野克彦写真展	産経朝刊	日比野助教授の展覧会紹介
160	2005年10月11日	宮廻正明展	新美術新聞（月3回発行）	宮廻教授の展覧会紹介
161	2005年12月1日	宮廻正明 日本画展	新美術新聞（月3回発行）	宮廻教授の展覧会紹介
162	2005年4月21日	中島千波 屏風の世界展	新美術新聞（月3回発行）	中島教授の展覧会の紹介
163	2005年10月21日	中島千波の世界展	新美術新聞（月3回発行）	中島教授の展覧会特集
164	2005年11月2日	中島千波還暦記念展	東京夕刊	中島教授の展覧会紹介
165	2005年8月4日	平和コンサートとシンポジウム開催	毎日朝刊	東大・芸大有志教員らによる平和コンサートとシンポジウムの紹介
166	2005年10月21日	深井隆展 はじまりの物語	新美術新聞（月3回発行）	深井教授の展覧会紹介
167	2005年5月7日	人間国宝、名手、花形1600名豪華多彩に三曲名流大会	東京夕刊	演奏会紹介記事（萩岡松韻助教授出演）
168	2005年6月9日	違うベートーヴェン見えてきた	毎日夕刊	本学植田克己教授の20年にわたる「ベートーヴェンシリーズ」演奏会の紹介
169	2005年9月13日	新発見のバッハ声楽曲演奏	朝日夕刊	鈴木雅明教授の演奏活動に関する記事
170	2005年9月15日	時空を超える魂の音楽	読売夕刊	伊原直子教授の手記
171	2005年11月5日	女神の前髪をつかめ	毎日夕刊	小林研一郎教授へのインタビュー
172	2005年8月11日	2005年エクソンモービル音楽賞決まる	東京夕刊	味見亨名誉教授受賞
173	2005年4月30日	探求を続けるソプラノ歌手 嶺貞子さん	信濃毎日夕刊	本学名誉教授嶺貞子氏のインタビューと紹介
174	2005年12月21日	嶺貞子 イタリア星勳章を受章	毎日夕刊	嶺貞子名誉教授が受章

平成17年度 主な新聞掲載記事

	掲載日	記事名	掲載新聞	記事内容の概要
175	2005年6月11日	芸ひとすじ 尺八山本邦山	東京夕刊	山本邦山本学名誉教授の紹介
176	2005年12月24日	信じ待つことで生む音楽	朝日夕刊	松村禎三名誉教授のインタビュー
177	2005年7月1日	07年9月から新国立劇場芸術監督に内定 若杉弘氏、7月1日芸術参与に就任	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	新国立劇場オペラ部門の次期芸術監督に本学名誉教授若杉弘氏が内定、この7月1日から芸術参与に就任
178	2005年8月1日	日本人歌手の出演・舞台経験含め最善を尽くす	音楽舞踊新聞 (月3回発行)	オペラ部門の芸術参与に7月1日付で就任した若杉弘氏の就任記者会見を新国立劇場で行った
映像研究科関係記事				
179	2005年4月9日	映画・漫画学科に芸術家教授 現場主義で育て即戦力	日経朝刊	大学院映像研究科の紹介、黒沢教授のインタビュー。
180	2005年11月8日	“たけし教授”初講義	神奈川新聞	7日、北野教授の初講義が行われた。
181	2005年12月21日	東京芸大に寄附講座	毎日朝刊	メディア映像専攻に電通の寄附講座。
182	2005年11月22日	日本映画の人材育成	毎日夕刊	本学大学院映像研究科についても紹介
183	2006年1月21日	東京芸術大学大学院映像研究科に「メディア映像専攻」を開設	新美術新聞(月3回発行)	2006年4月開設のメディア映像専攻の紹介
184	2006年1月21日	文化の力で街再生	日経朝刊	横浜市の取組として本学大学院映像研究科を紹介
185	2005年7月5日	堀越謙三氏に第23回川喜多賞	東京夕刊	本学映像研究科堀越教授受賞
186	2006年3月2日	独自の表現 実践の軌跡 毎日デザイン賞	毎日朝刊	佐藤雅彦氏(2006/4/1 本学大学院映像研究科教授就任予定)が毎日デザイン賞を受賞
その他				
187	2005年6月4日	建築望見	読売夕刊	「建築計画論」の授業を紹介
188	2005年8月6日	本格メニュー学食で	東京朝刊	大学に本格的なレストランが増えている。大学美術館のホテルオークラも紹介。
189	2005年8月6日	ただいま大鼓修行中	東京夕刊	本学別科邦楽専修の留学生を取り上げて紹介
190	2005年11月5日	大楽人	毎日夕刊	本学で邦楽を学ぶ留学生を紹介